



C734 シリーズと C736 シリーズ

ユーザーズガイド

2012 年 3 月

www.lexmark.com

機種番号:

5026

機種:

210、230、280、410、430、480

目次

安全に関する情報	5
本機について	7
本製品をお選びいただき、誠にありがとうございます.....	7
プリンタの情報とその入手先.....	7
プリンタの設置場所を選ぶ.....	8
プリンタの構成.....	10
セキュリティロック機能を使用する.....	12
プリンタの操作パネルについて.....	12
追加のプリンタのセットアップ	14
内蔵オプションを取り付ける.....	14
ハードウェアオプションを取り付ける.....	30
ケーブルを接続する.....	32
プリンタのセットアップを確認する.....	33
プリンタソフトウェアをセットアップする.....	34
ワイヤレス印刷をセットアップする.....	36
有線ネットワークにプリンタをインストールする.....	41
内蔵ソリューションポートを取り付けた後でポート設定を変更する.....	43
シリアル印刷をセットアップする.....	45
プリンタの環境への影響を最小限に抑える	47
用紙とトナーの節約.....	47
節電.....	48
リサイクル.....	51
用紙および特殊用紙をセットする	52
用紙のサイズとタイプを設定する.....	52
カセットに用紙をセットする.....	52
多目的フィーダに用紙をセットする.....	55
カセットのリンクとリンクの解除.....	58
用紙および特殊用紙について	61
用紙に関するガイドライン.....	61
サポートされる用紙の大きさ、種類、重さ.....	63

印刷	66
ドキュメントを印刷する.....	66
特殊用紙を印刷する.....	67
コンフィデンシャルジョブおよびその他の保持ジョブを印刷する.....	69
フラッシュドライブから印刷する.....	71
PictBridge 対応のデジタルカメラから写真を印刷する.....	72
情報ページを印刷する.....	72
印刷ジョブを取り消す.....	73
モノクロで印刷する.....	75
最高印刷速度と最大イールドを使用する.....	75
プリンタのメニューについて	76
メニュー一覧.....	76
[消耗品]メニュー.....	77
[用紙]メニュー.....	78
[レポート]メニュー.....	87
[ネットワーク/ポート]メニュー.....	88
[セキュリティ]メニュー.....	102
[設定]メニュー.....	105
[ヘルプ]メニュー.....	123
プリンタのメンテナンス	124
プリンタの外側を掃除する.....	124
プリントヘッドレンズを清掃する.....	124
消耗品の保管.....	126
消耗品の状況を確認する.....	126
消耗品を注文する.....	127
消耗品を交換する.....	128
プリンタを移動する.....	137
管理サポート	139
ネットワークおよび管理者の詳細情報を入手する.....	139
内蔵 Web サーバを使用する.....	139
仮想ディスプレイを確認する.....	139
デバイス状況を確認する.....	139
E メール警告を設定する.....	140

レポートの表示.....	140
出荷時標準設定を復元する.....	140
他のプリンタに設定をコピーする.....	141
紙づまりを除去する.....	142
紙づまりを防ぐ.....	142
紙づまり箇所にアクセスする.....	142
200 ~ 201 紙づまり.....	143
202 紙づまり.....	144
203、230 紙づまり.....	146
24x 紙づまり.....	148
250 紙づまり.....	150
トラブルシューティング.....	151
プリンタのメッセージについて.....	151
基本的な問題を解決する.....	163
印刷の問題を解決する.....	164
オプションの問題を解決する.....	168
給紙の問題を解決する.....	170
印刷品質の問題を解決する.....	171
カラー品質の問題を解決する.....	184
カスタマサポートへの問い合わせ.....	187
通知事項.....	188
製品情報.....	188
改訂通知.....	188
電力消費.....	191
索引.....	196

安全に関する情報

電源コードは、本機の近くにあり容易にアクセスできる正しくアースしたコンセントに接続します。

本製品を水に濡れる恐れのある場所に置いたり、そのような場所で使用しないでください。

⚠ 危険！ケガの恐れあり：本製品はレーザーを使用しています。ここに記載されている手順以外の制御、調整などを行うと、有害な放射にさらされる恐れがあります。

本製品は印刷処理において印刷用紙を加熱するため、この熱が原因で用紙から有害ガスが発生する可能性があります。操作説明書に記載されている、用紙選択についてのセクションをよく読み、有害ガスが放出されないようにしてください。

リチウム電池の交換は慎重に行ってください。

⚠ 危険！ケガの恐れあり：リチウム電池の交換を誤ると破裂する危険性があります。同型または同種のリチウム電池とのみ交換してください。リチウム電池の充電、解体、焼却はしないでください。使用済みの電池を廃棄する際は、製造元の指示およびお使いの地域の法律に従ってください。

⚠ 危険！表面は高温です：プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温になったコンポーネントで火傷などを負わないように、表面が冷えてから触れてください。

⚠ 危険！ケガの恐れあり：プリンタの重量は 18 kg 以上あるため、安全に持ち上げるには訓練を受けた人が 2 名以上必要です。

⚠ 危険！ケガの恐れあり：プリンタを移動する前に、ケガやプリンタの破損を避けるため、以下のガイドラインに従ってください。

- プリンタの電源スイッチをオフにしてから、電源コードをコンセントから抜きます。
- プリンタを移動する前に、プリンタからすべてのコードやケーブルを取り外します。
- プリンタを持ち上げてオプションドロワーから取り外し、横に置きます。ドロワーとプリンタは同時に持ち上げないようにしてください。

メモ：プリンタの両側および背面にある取っ手に手をかけて持ち上げ、オプションドロワーから取り外します。

本製品に付属する、または製造元が代替品として認可した電源ケーブルのみを使用してください。

⚠ 危険！感電の恐れあり：プリンタの設置後にシステムボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアやメモリデバイスを取り付ける場合、作業を行う前にプリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。プリンタにその他のデバイスを接続している場合は、それらのデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているコードを抜いてください。

⚠ 危険！感電の恐れあり：Ethernet および電話線の接続など、すべての外部接続が表示どおりのポートに正しく行われていることを確認してください。

本機は、特定のメーカーのコンポーネントとともに使用した場合に、安全性に関する厳しい世界標準を満たすように設計されています。一部の部品の安全性に関する機能は開示されていない場合があります。メーカーは、他の交換部品の使用については責任を負わないものとします。

⚠ 危険！ケガの恐れあり：電源コードを切断したり、結んだり、束ねたり、傷を付けたりしないでください。また、コードの上に重いものを置いたりしないでください。電源コードがこすれたり、引っ張られたりする状態で使用しないでください。電源コードを家具や壁などの間に挟まないでください。以上のことを守らないと、火災や感電の原因になる恐れがあります。電源コードが以上の状態になっていないか、定期的に確認してください。確認の前には、電源コードをコンセントから抜いてください。

取扱説明書に記載されていないサービスまたは修理については、専門のサービス担当者にお問い合わせください。

-  **危険！感電の恐れあり：**プリンタの外側を掃除する場合に感電の危険を避けるため、掃除を始める前に電源コードをコンセントから抜き、プリンタのすべてのケーブルを外します。
-  **危険！感電の恐れあり：**雷雨時には FAX 機能を使用しないでください。雷雨時には、本機のセットアップや、FAX、電源コード、電話などの電氣的接続を行わないでください。
-  **危険！転倒の恐れあり：**床に設置する場合は、安定させるために追加のファニチャが必要です。大容量給紙トレイ、両面印刷ユニット、および 1 つ以上の給紙オプションを使用している場合は、プリンタのスタンドまたはベースを使用する必要があります。スキャン、コピー、および FAX 機能を持つプリンタ複合機(MFP)を購入した場合は、追加のファニチャが必要になることがあります。詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。

この手引きを大切に保管してください。

本機について

本製品をお選びいただき、誠にありがとうございます

お客様のニーズにお応えするため、弊社は日々努力を重ねております。

この新しいプリンタをすぐに使用するには、まずプリンタ付属のセットアップマニュアルを使用し、次に『ユーザーズガイド』に目を通して基本的な操作方法を学習してください。プリンタを最大限に活用するには、『ユーザーズガイド』を注意深く読み、Web サイトで最新のアップデートを確認してください。

弊社では、お客様に高性能で価値の高いプリンタをお届けし、購入される製品に満足していただくことを第一の願いとしています。何か問題がある場合は、弊社までお問い合わせください。製品に精通したサポート担当者が、問題解決のお手伝いをいたします。また、改善のためのご意見・ご要望があれば、ぜひお寄せください。弊社では、お客様の声に耳を傾け、今後の製品・サービスの質の向上に役立てて参ります。

プリンタの情報とその入手先

必要な情報	入手先
初期セットアップの手順： <ul style="list-style-type: none"> プリンタの接続 プリンタソフトウェアのインストール 	セットアップマニュアル - セットアップマニュアルはプリンタに付属しています。また、Lexmark の Web サイト (http://support.lexmark.com) から入手することもできます。
追加のセットアップとプリンタの使用手順 <ul style="list-style-type: none"> 用紙および専用紙の選択と保管 用紙のセット プリンタ機種に応じた印刷 プリンタ設定の構成 原稿や写真の表示と印刷 プリンタソフトウェアのセットアップと使用 ネットワークに接続されたプリンタのセットアップと設定 (対応機種の場合) プリンタのお手入れとメンテナンス 問題のトラブルシューティングと解決 	ユーザーズガイド - 『ユーザーズガイド』は、『ソフトウェアおよびマニュアル CD』に収録されています。最新版については、弊社の Web サイト (http://support.lexmark.com) で確認してください。

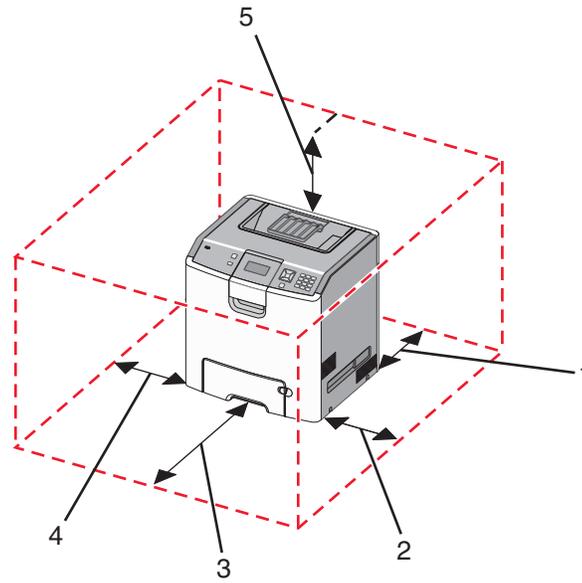
必要な情報	入手先
プリンタソフトウェアのヘルプ	Windows または Mac のヘルプ - プリンタソフトウェアのプログラムまたはアプリケーションを開いて、[ヘルプ]をクリックします。 状況に即した情報を表示するには、  をクリックします。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> ヘルプは、プリンタソフトウェアとともに自動的にインストールされます。 プリンタソフトウェアのある場所は、お使いのオペレーティングシステムによって、プリンタのプログラムフォルダまたはデスクトップのどちらかになります。
最新の補足情報、更新、および技術サポートは以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> マニュアル ドライバのダウンロード ライブチャットによるサポート E メールによるサポート 電話によるサポート 	Lexmark サポート用 Web サイト - http://support.lexmark.com メモ: 該当する地域と製品を選択すると、適切なサポートサイトが表示されます。 お住まいの地域または国にあるサポート窓口の電話番号と受付時間は、サポート用 Web サイトかプリンタに付属の保証書に記載されています。 より迅速なサポートの提供のため、お問い合わせになる際には、あらかじめ以下の情報を用意してください。これらの情報は、販売店の領収書やプリンタの背面に記載されています。 <ul style="list-style-type: none"> 機種番号 シリアル番号 ご購入日 購入店
保証に関する情報	保証に関する情報は国または地域によって、次のように異なります。 <ul style="list-style-type: none"> 米国 - このプリンタに付属、または http://support.lexmark.com に掲載されている限定保証規定を参照してください。 米国以外 - プリンタに付属の保証書を参照してください。

プリンタの設置場所を選ぶ

 **危険！ケガの恐れあり:** プリンタの重量は 18 kg (40 ポンド) 以上あるため、安全に持ち上げるには訓練を受けた技術者が 2 名以上必要です。

プリンタの設置場所を選ぶときは、カセット、カバー、ドアを開くための十分なスペースを確保します。オプションを取り付ける予定がある場合は、それらの分のスペースも確保します。以下の点が重要です。

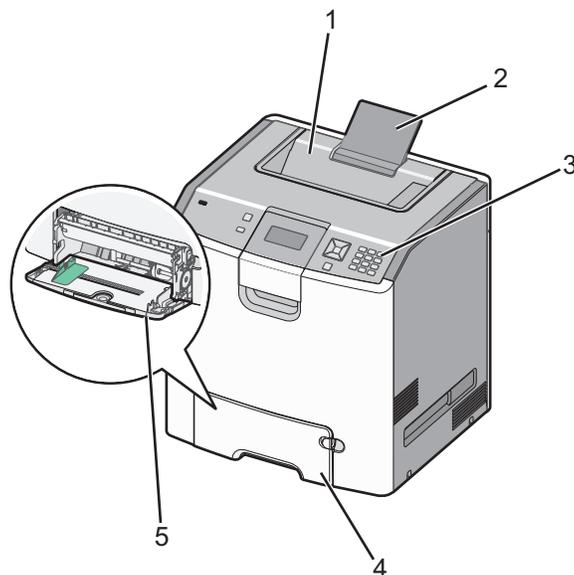
- 室内の空気の流れが最新改訂版の ASHRAE 62 基準を満たしていることを確認します。
- 設置面が平らかつ丈夫で、安定していることを確認します。
- プリンタを以下の状態に保ちます。
 - エアコン、ヒーター、換気装置の風が直接当たらないようにする
 - 直射日光、極度の湿気、激しい気温の変動を避ける
 - 清潔で乾燥した、ほこりのない状態にする
- 適切な通気を保つために、プリンタの周囲に以下のスペースを確保することをお勧めします。



1	152.4 mm(6.0 インチ)
2	101.6 mm(4.0 インチ)
3	609.6 mm(24.0 インチ)
4	152.4 mm(6.0 インチ)
5	304.8 mm(12.0 インチ)

プリンタの構成

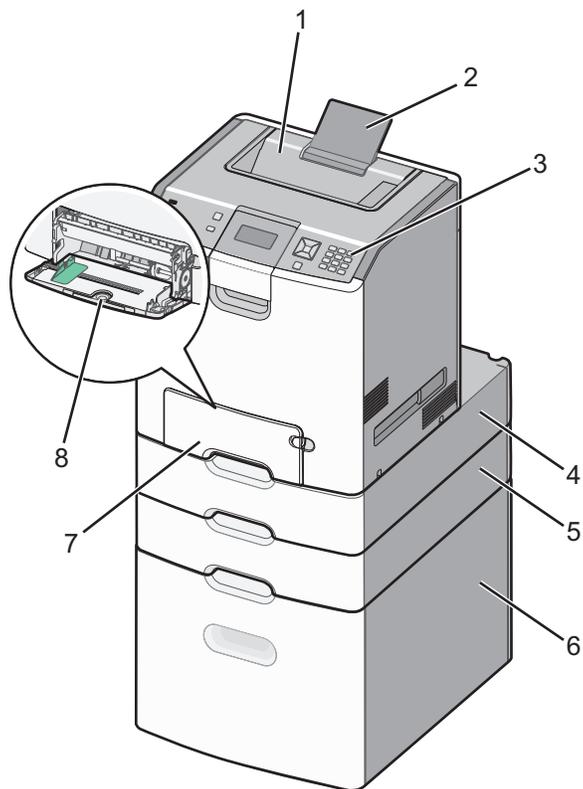
基本機種



1	標準排紙トレイ
2	用紙支え
3	プリンタ操作パネル
4	標準の 550 枚カセット(カセット 1)
5	多目的フィーダ

構成済み機種

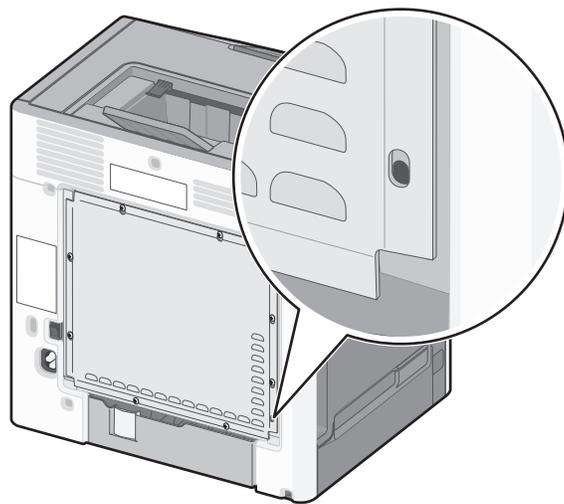
危険！転倒の恐れあり：床面に設置する場合は、安定性を確保するための器具が別途必要になります。高容量給紙カセット、両面印刷ユニット、および 1 つまたは複数の給紙オプションを使用している場合、プリンタスタンドまたはプリンタベースを使用する必要があります。スキャン、コピー、FAX が可能な多機能プリンタ(MFP)を購入した場合、追加の備品が必要になる場合があります。詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。



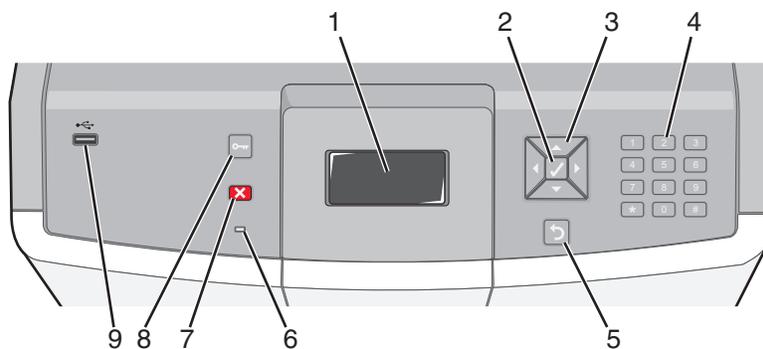
1	標準排紙トレイ
2	用紙支え
3	プリンタ操作パネル
4	オプションの 550 枚特殊用紙カセット
5	オプションの 550 枚カセット
6	オプションの 2,000 枚カセット
7	標準の 550 枚カセット(カセット 1)
8	多目的フィーダ

セキュリティロック機能を使用する

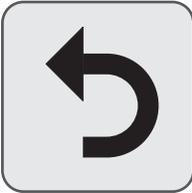
プリンタにはセキュリティロック機能が搭載されています。大半のノート型パソコンと互換性のあるロックを取り付けると、プリンタはロックされた状態になります。ロックされた状態では金属プレートとシステムボードを取り外すことはできません。プリンタの該当する場所にセキュリティロックを取り付けてください。



プリンタの操作パネルについて



操作パネルの項目		説明
1	画面	画面にはプリンタの状態を示すメッセージと図が表示されます。
2	選択	<div style="display: flex; align-items: center;">  <input checked="" type="checkbox"/> を押すと、メニュー項目が実行されます。 </div>

操作パネルの項目		説明
3	ナビゲーションボタン	 <p>メニューリスト内をスクロールするには、上または下矢印ボタンを押します。 別の画面にまたがる値またはテキストをスクロールするには、左または右矢印ボタンを押します。</p>
4	数値キーパッド	 <p>0 ~ 9 の数字、A ~ Z の文字、↑A、バックスペースボタンがあります。 メモ: ↑A ボタンは Caps Lock として機能し、# 文字を含みます。</p>
5	戻る	 <p>前の画面に戻ります。</p>
6	インジケータライト	<p>プリンタの状態を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オフ - 電源がオフ、またはプリンタがエコモードになっています。 • 緑に点滅 - プリンタが準備中、データ処理中、印刷中です。 • 緑に点灯 - プリンタの電源は入っていますが、待機中です。 • 赤に点灯 - ユーザの操作が必要です。
7	ストップ	 <p>プリンタの動作をすべて停止します。 画面に「停止中」と表示された後に、オプションの一覧が表示されます。</p>
8	メニュー	 <p>メニュー索引を開きます。 メモ: これらのメニューは、プリンタが[準備完了]状態のときにのみ使用できます。</p>
9	USB 直接印刷ポート	<p>USB フラッシュドライブを挿入し、プリンタにデータを送信します。 デジタルカメラからの USB ケーブルを挿入して、PictBridge 対応のデジタルカメラを使用して写真を印刷します。</p>

追加のプリンタのセットアップ

内蔵オプションを取り付ける

 **危険！感電の恐れあり：**プリンタを設定した後に、システムボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを取り付けたりする場合は、プリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてから、以下の手順を実施してください。プリンタにその他のデバイスを接続している場合は、それらのデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているコードを抜いてください。

オプションカードを追加して、プリンタ接続およびメモリ容量をカスタマイズできます。

使用可能な内蔵オプション

- メモリカード
 - プリンタメモリ
 - フラッシュメモリ
 - Fonts(フォント)
- ファームウェアカード
 - バーコード
 - PrintCryption™
- プリンタハードディスク
- Lexmark™ 内蔵ソリューションポート(ISP)
 - RS-232-C シリアル ISP
 - パラレル 1284-B ISP
 - MarkNet™ N8150 802.11 b/g/n ワイヤレス ISP
 - MarkNet N8130 10/100 ファイバー ISP
 - MarkNet N8120 10/100/1000 Ethernet ISP

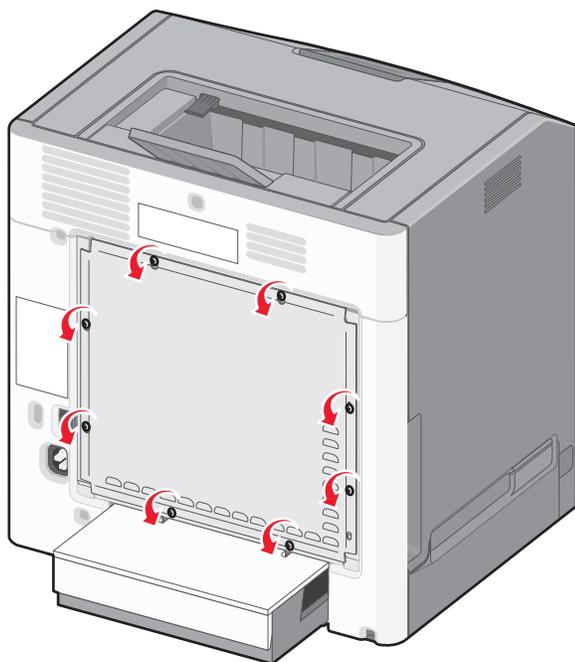
システムボードにアクセスして内蔵オプションを取り付ける

⚠ 危険！感電の恐れあり： プリンタを設定した後に、システムボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを取り付けたりする場合は、プリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてから、以下の手順を実施してください。プリンタにその他のデバイスを接続している場合は、それらのデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているコードを抜いてください。

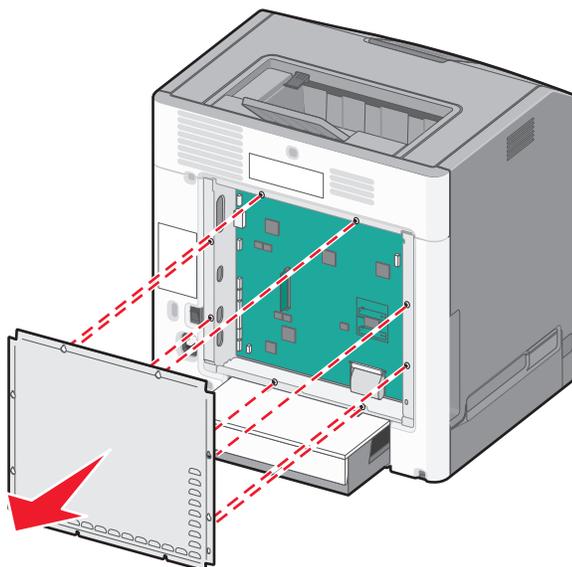
メモ： この作業には、マイナスドライバーが必要です。

1 カバーを取り外します。

- a カバーのねじを反時計方向に回してゆるめます。ただし、取り外さないでください。



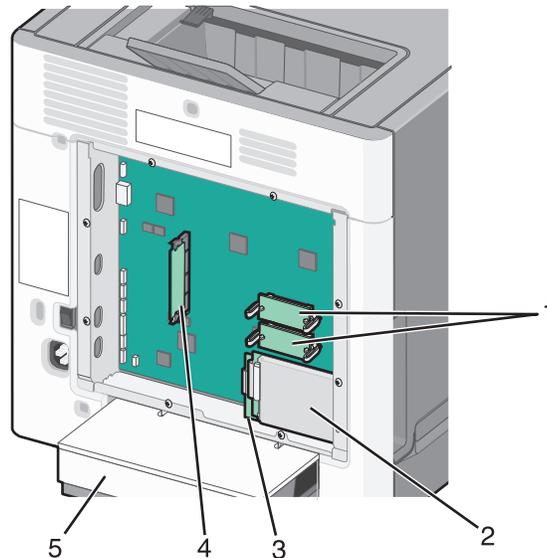
- b 各ねじがキーホールに入るまで、カバーを上にもスライドさせます。



- c カバーを手前に引いて取り外します。

2 以下の図を参照し、コネクタの正しい位置を確認します。

警告！破損の恐れあり：システムボードの電子部品は静電気によって損傷するおそれがあります。システムボードの電子部品またはコネクタに触れる前に、プリンタの金属部分に触れてください。



1	ファームウェアおよびフラッシュメモリカードコネクタ
2	ハードディスクコネクタ
3	内蔵プリントサーバコネクタ
4	メモリカードコネクタ
5	ダストカバー

メモリカードを取り付ける

⚠ 危険！感電の恐れあり：プリンタを設定した後に、システムボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを取り付けたりする場合は、プリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてから、以下の手順を実施してください。プリンタにその他のデバイスを接続している場合は、それらのデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているコードを抜いてください。

警告！破損の恐れあり：システムボードの電子部品は静電気によって損傷するおそれがあります。システムボードの電子部品またはコネクタに触れる前に、プリンタの金属部分に触れてください。

オプションのメモリカードを別途購入して、システムボードに取り付けることができます。メモリカードを取り付けるには、次の手順に従います。

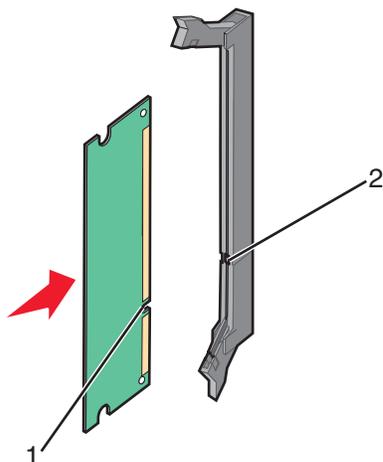
- 1 システムボードにアクセスします
- 2 メモリカードを梱包から取り出します。

メモ：カードの端にある接点には触れないでください。

3 メモリカードコネクタのラッチを開きます。

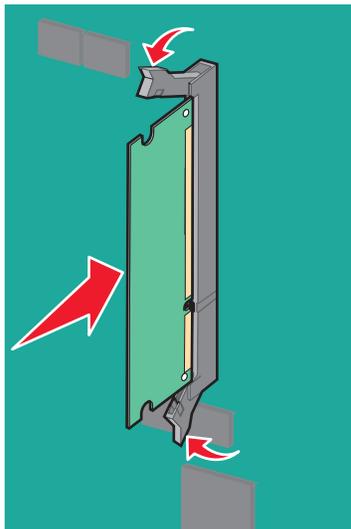


4 メモリカードの刻み目をコネクタの突起に合わせます。



1	刻み目
2	突起

- 5 メモリカードが所定の位置にはめ込まれるまで、コネクタにまっすぐ押し入れます。



- 6 システムボードのカバーを再度取り付けます。

フラッシュメモリカードまたはファームウェアカードを取り付ける

システムボードには、オプションのフラッシュメモリカードまたはファームウェアカード用のコネクタが2つあります。どちらか一方のみ取り付けることができますが、コネクタは互換性があります。

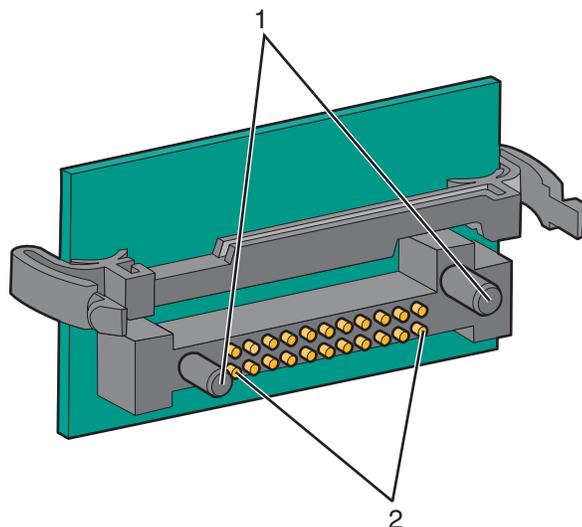
⚠ 危険！感電の恐れあり： プリンタを設定した後に、システムボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを取り付けたりする場合は、プリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてから、以下の手順を実施してください。プリンタにその他のデバイスを接続している場合は、それらのデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているコードを抜いてください。

警告！破損の恐れあり： システムボードの電子部品は静電気によって損傷するおそれがあります。システムボードの電子部品またはコネクタに触れる前に、プリンタの金属部分に触れてください。

- 1 システムボードにアクセスします
- 2 カードを梱包から取り出します。

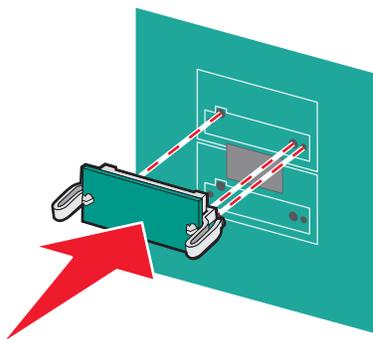
メモ： カードの端にある接点には触れないでください。

3 カードの側面を持ち、カードのプラスチックピンをシステムボードの穴に合わせます。



1	プラスチックピン
2	金属ピン

4 カードを所定の位置にしっかりと押し入れます。



メモ:

- カードのコネクタ全体がシステムボードに触れ、水平になっている必要があります。
- コネクタを損傷しないように注意してください。

5 システムボードのカバーを再度取り付けます。

内蔵ソリューションポートを取り付ける

システムボードは、オプションの Lexmark 内蔵ソリューションポート (ISP) を 1 つサポートしています。

メモ: この作業には、マイナスイボが必要で。

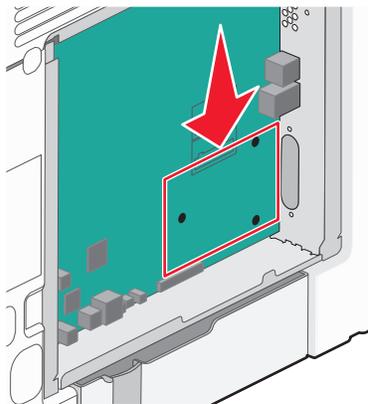
⚠ 危険！感電の恐れあり: プリンタを設定した後に、システムボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを取り付けたりする場合は、プリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてから、以下の手順を実施してください。プリンタにその他のデバイスを接続している場合は、それらのデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているコードを抜いてください。

警告！破損の恐れあり: システムボードの電子部品は静電気によって損傷するおそれがあります。システムボードの電子部品またはコネクタに触れる前に、プリンタの金属部分に触れてください。

- 1 システムボードにアクセスします
- 2 ISP とプラスチック製のティーを梱包から取り出します。

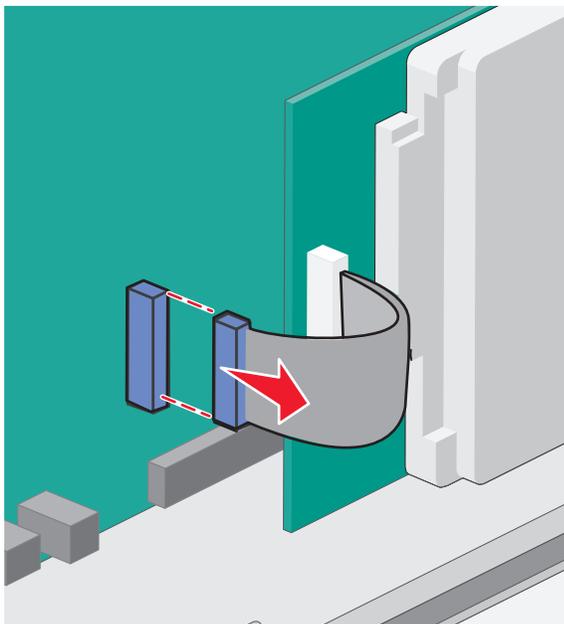
メモ: カード上の部品には触れないでください。

- 3 システムボードで該当するコネクタを見つけます。

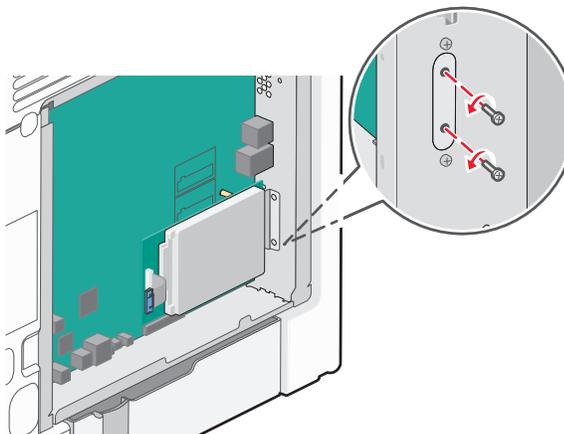


メモ: オプションのプリンタハードディスクが取り付けられている場合は、まずプリンタハードディスクを取り外す必要があります。プリンタハードディスクを取り外すには、以下の手順に従います。

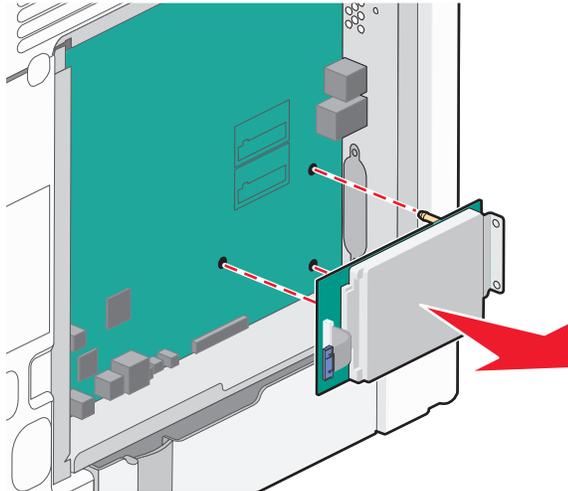
- a** システムボードからプリンタハードディスクのインターフェイスケーブルを抜き、ケーブルはプリンタハードディスクに取り付けたままにしておきます。ケーブルを抜くには、インターフェイスケーブルのプラグのパドルをつまみ、ラッチを外してからケーブルを引き抜きます。



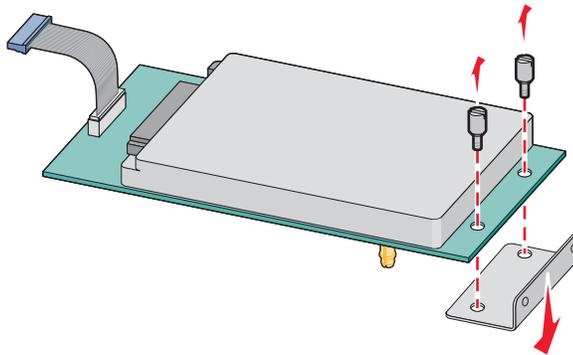
- b** プリンタハードディスクを所定の位置に保持しているねじを取り外します。



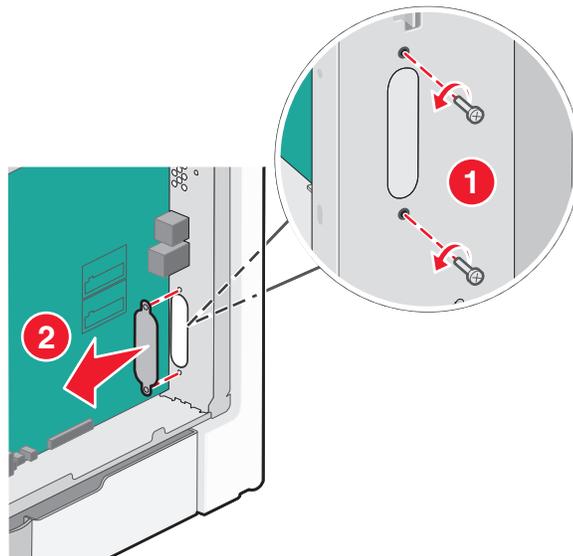
- c プリンタハードディスクを上引き上げて絶縁体を外しながら、プリンタハードディスクを取り外します。



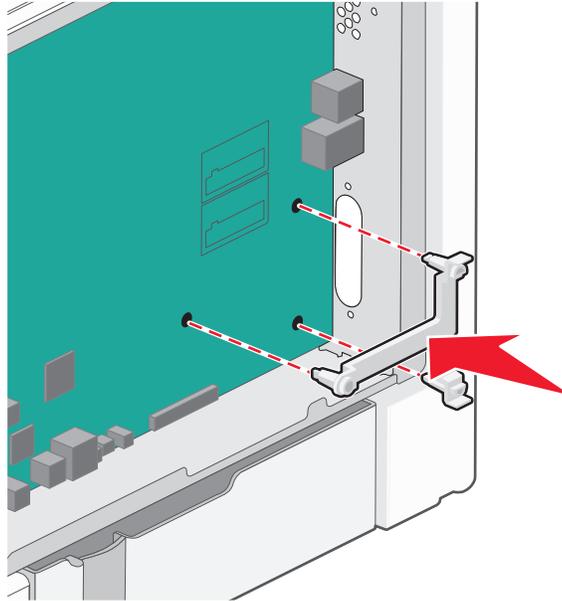
- d プリンタハードディスク取り付けブラケットをプリンタハードディスクに接続しているつまみねじを取り外し、ブラケットを取り外します。プリンタハードディスクを脇に置きます。



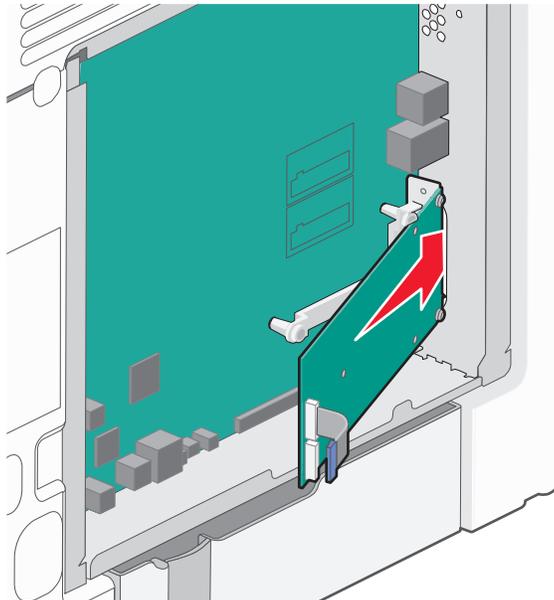
- 4 ISP の開口部から金属カバーを取り外します。



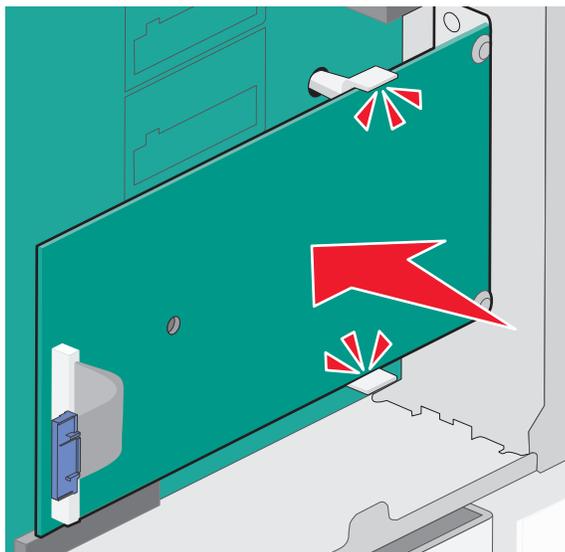
- 5 プラスチック製ティーの突起をシステムボードの穴に合わせ、ティーが所定の位置にカチッとハマるまで押し込みます。ティーの各突起が完全にはまっており、ティーがシステムボードにしっかりと固定されていることを確認してください。



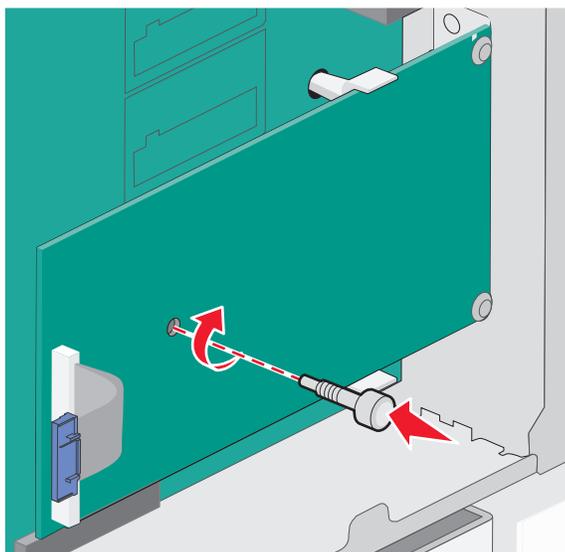
- 6 ISP をプラスチック製ティーに取り付けます。プラスチック製ティーに対する ISP の角度を調整してから、プラスチック製ティーを近づけて、突き出したコネクタがシステムボードケースの ISP の開口部を通るようにします。



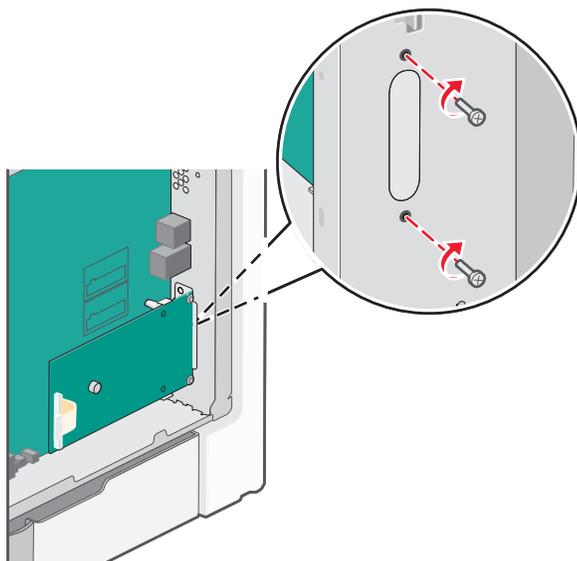
- 7 プラスチック製ティールに向けて ISP を下げ、ISP がプラスチック製ティールのガイド間に固定されるようにします。



- 8 長いつまみねじを差し込み、時計回りに回して、ISP を所定の位置に保持します。ただし、このときつまみねじを締め付けしないでください。



- 9 付属のねじ 2 本を取り付けて、ISP 取り付けブラケットをシステムボードケースに固定します。

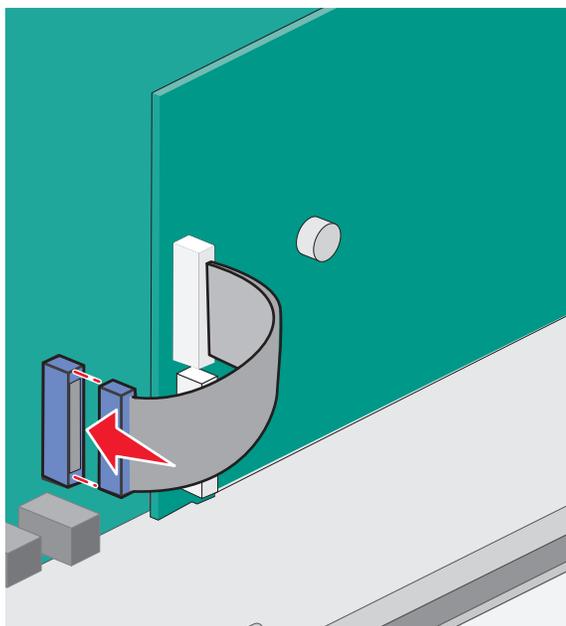


- 10 長いつまみねじを締めます。

警告！ 破損の恐れあり： つまみねじを締め付け過ぎないようにしてください。

- 11 ISP インターフェイスクーブルのプラグをシステムボードのソケットに差し込みます。

メモ： プラグとソケットは色分けされています。



- 12 システムボードのカバーを再度取り付けます。

プリンタのハードディスクを取り付ける

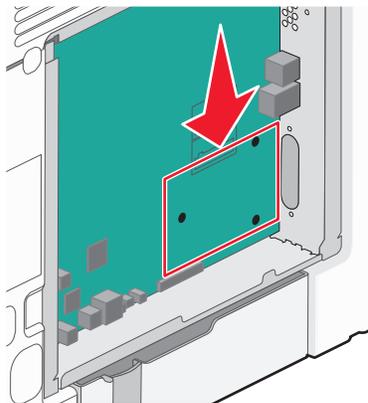
オプションのプリンタハードディスクは、Lexmark 内蔵ソリューションポート (ISP) を使用して取り付けることも、ISP を使用しないで取り付けることも可能です。

メモ: この作業には、マイナスインスライバが必要です。

⚠ 危険！感電の恐れあり: プリンタを設定した後に、システムボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを取り付けたりする場合は、プリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてから、以下の手順を実施してください。プリンタにその他のデバイスを接続している場合は、それらのデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているコードを抜いてください。

警告！破損の恐れあり: システムボードの電子部品は静電気によって損傷するおそれがあります。システムボードの電子部品またはコネクタに触れる前に、プリンタの金属部分に触れてください。

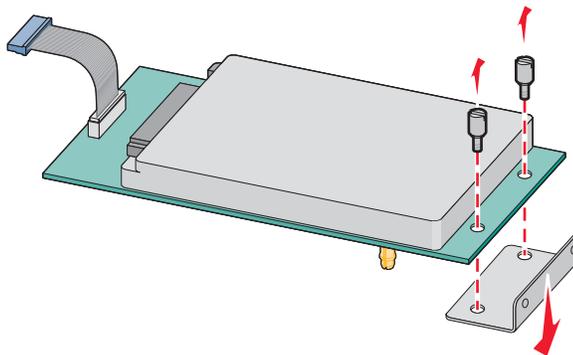
- 1 システムボードにアクセスします
- 2 プリンタのハードディスクを梱包から取り出します。
メモ: カード上の部品には触れないでください。
- 3 システムボードで該当するコネクタを見つけます。



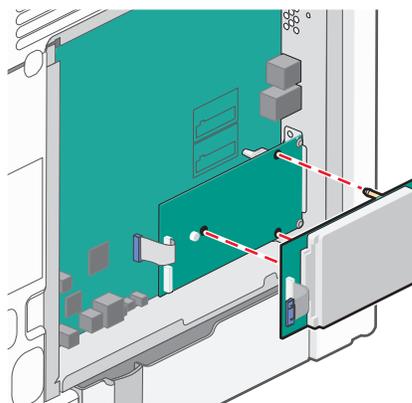
メモ: オプションの ISP が取り付けられている場合、ISP にプリンタのハードディスクを取り付ける必要があります。

ISP にプリンタのハードディスクを取り付けるには、以下の手順に従います。

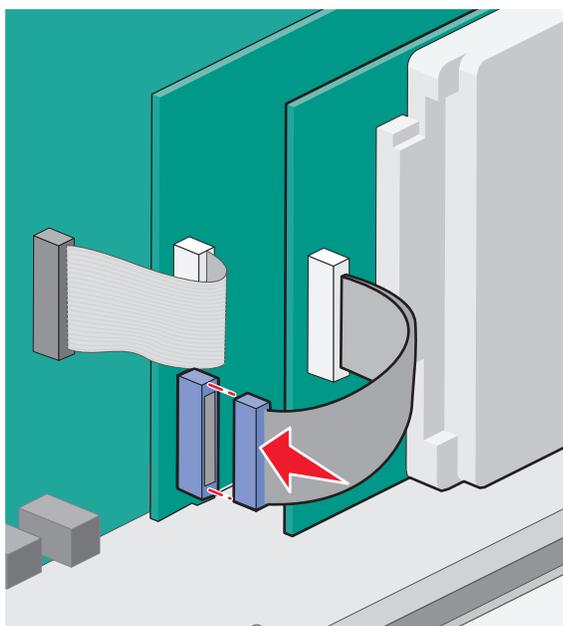
- a マイナスインスライバを使用してねじを緩め、プリンタハードディスク取り付けブラケットをプリンタハードディスクに接続しているつまみねじを取り外し、ブラケットを取り外します。



- b** プリンタハードディスクの絶縁体を ISP の穴と合わせ、プリンタハードディスクを押し下げて絶縁体を所定の位置にします。

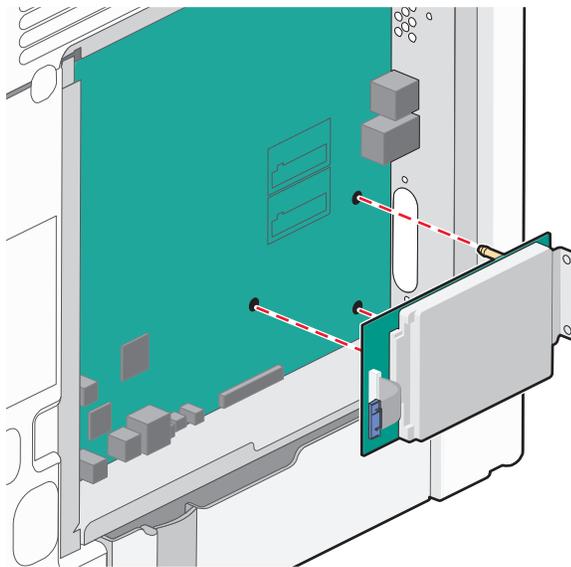


- c** プリンタハードディスクのインターフェiskeーブルのプラグを ISP のソケットに差し込みます。
メモ: プラグとソケットは色分けされています。

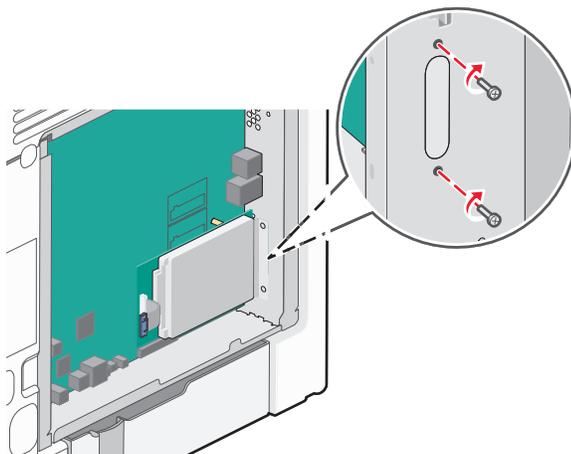


システムボードにプリンタのハードディスクを直接取り付けるには、以下の手順に従います。

- a** プリンタハードディスクの絶縁体をシステムボードの穴と合わせ、プリンタハードディスクを押し下げて絶縁体を所定の位置にします。

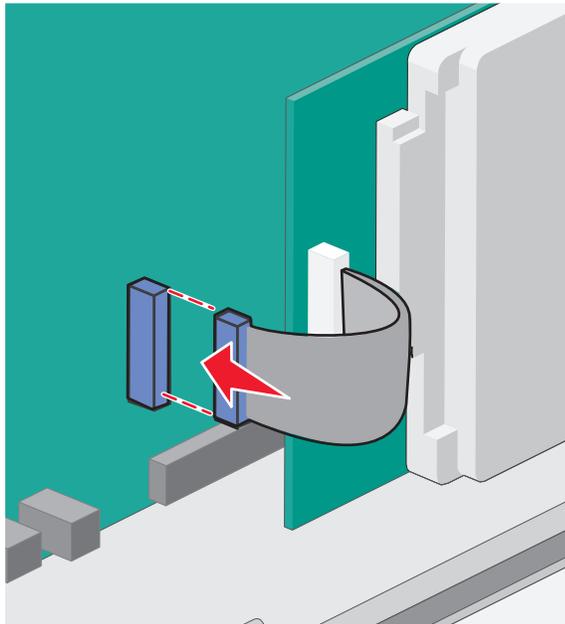


- b** 付属のねじ 2 本を取り付けて、プリンタハードディスク取り付けブラケットを固定します。



- c** プリンタハードディスクのインターフェースケーブルのプラグをシステムボードのソケットに差し込みます。

メモ: プラグとソケットは色分けされています。



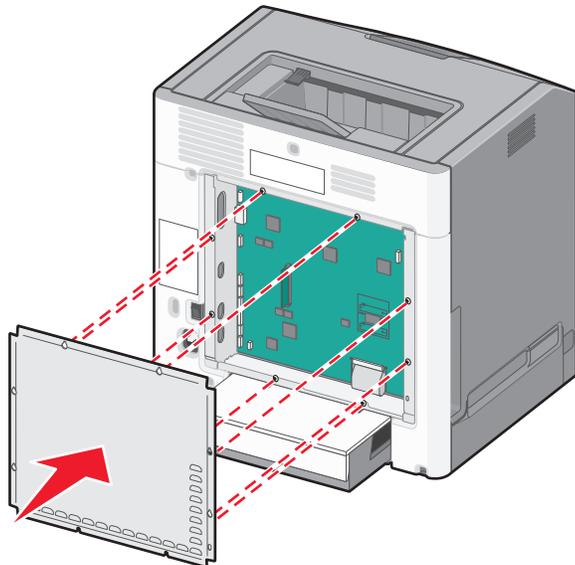
4 システムボードのカバーを再度取り付けます。

システムボードカバーを再度取り付け

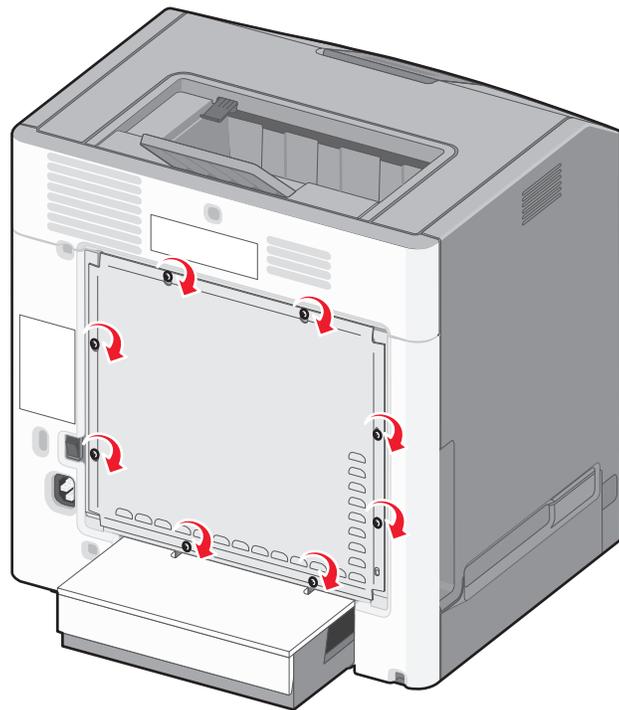
警告！破損の恐れあり：システムボードの電子部品は静電気によって破損するおそれがあります。システムボードの電子部品またはコネクタに触れる前に、プリンタの金属部分に触れてください。

メモ：この作業には平ねじ用のドライバが必要です。

1 8個のキーホールをねじと合わせてカバーを取り付けます。



2 カバーを下にスライドさせてから、各ねじを時計回りに回して締め付けます。



ハードウェアオプションを取り付ける

オプションカセットを取り付ける

プリンタは、オプションの 550 枚カセット、オプションの 2,000 枚カセット、およびオプションの 550 枚特殊用紙カセットの最大 3 タイプのオプション給紙源をサポートします。オプションの給紙源の取り付け手順はどれも同じです。

⚠ 危険！ 転倒の恐れあり： 床面に設置する場合は、安定性を確保するための器具が別途必要になります。高容量給紙カセット、両面印刷ユニット、および 1 つまたは複数の給紙オプションを使用している場合、プリンタスタンドまたはプリンタベースを使用する必要があります。スキャン、コピー、FAX が可能な多機能プリンタ (MFP) を購入した場合、追加の備品が必要になる場合があります。詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。

メモ： 機種が C736n、C736dn、および C736dtn のプリンタは、オプションの給紙源を合計 4 つサポートします。機種が C734n、C734dn、C734dtn、および C734dnw のプリンタは、オプションの給紙源を合計 3 つサポートします。

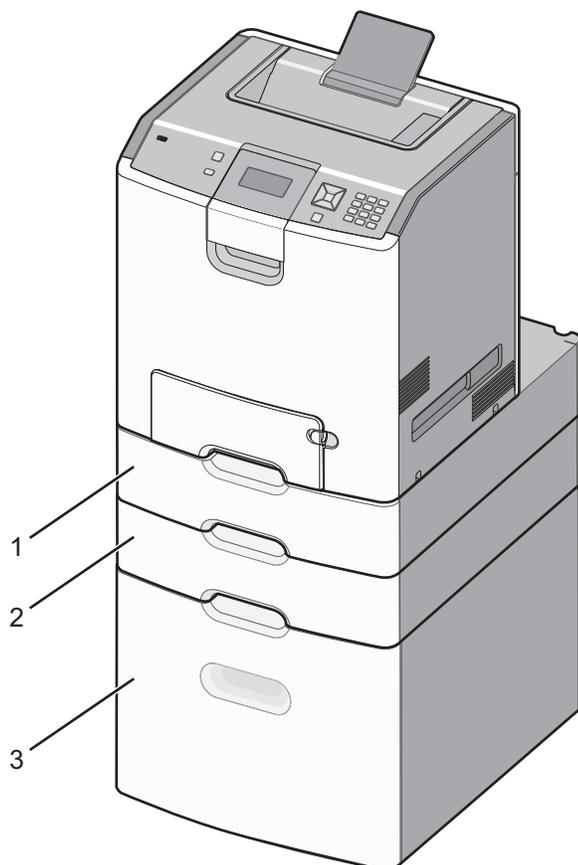
⚠ 危険！ ケガの恐れあり： プリンタの重量は 18 kg (40 ポンド) 以上あるため、安全に持ち上げるには訓練を受けた人が 2 名以上必要です。

⚠ 危険！ 感電の恐れあり： プリンタを設定した後に、システムボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを取り付けたりする場合は、プリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてから、以下の手順を実施してください。プリンタにその他のデバイスを接続している場合は、それらのデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているコードを抜いてください。

- 1 オプションのカセットを梱包から取り出し、梱包材をすべて取り除きます。
- 2 プリンタを設置する場所にこのカセットを置きます。

メモ: オプションのトレイを複数取り付ける場合は、常に 2,000 枚カセットを最初に取り付ける必要があります (下から順に構成します)

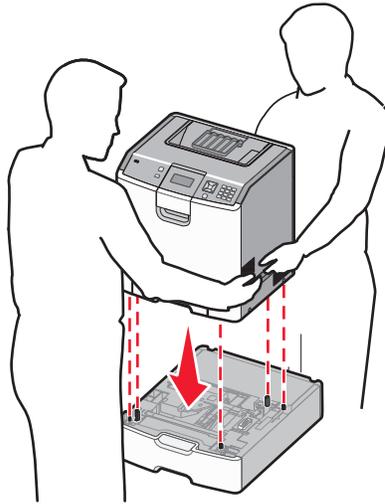
警告! 破損の恐れあり: オプションの 550 枚カセットとオプションの 550 枚特殊用紙カセットの位置は入れ替えられません。



1	オプションの 550 枚特殊用紙カセット
2	オプションの 550 枚カセット
3	オプションの 2,000 枚カセット

メモ: オプションのカセットは積み重ねるとロックされます。積み重ねたカセットは上から順に 1 つずつ取り外します。

3 プリンタをカセットに合わせ、プリンタを所定の位置まで下ろします。



4 付属の番号ラベルを上から順にカセットに貼り付けます。

メモ: 標準の 550 枚カセット(カセット 1)は 1 つ目のカセットとしてラベルを付ける必要があります。

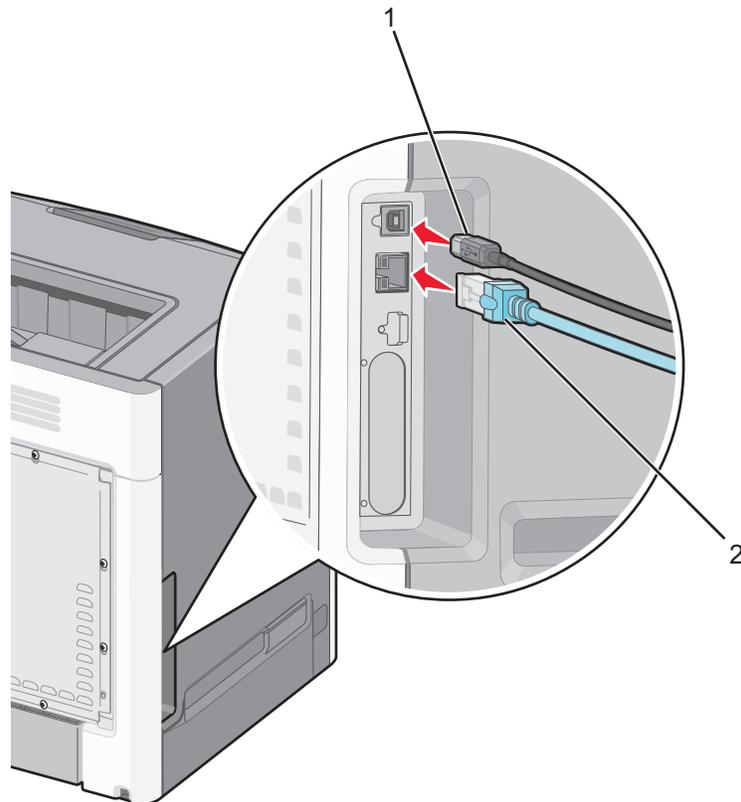
ケーブルを接続する

⚠ 危険！ケガの恐れあり: 雷雨時には FAX 機能を使用しないでください。雷雨時には、本機のセットアップや、FAX、電源コード、電話などの電氣的接続を行わないでください。

USB ケーブルまたは Ethernet ケーブルを使用してプリンタをコンピュータに接続します。

以下のものが一致していることを確認します。

- ケーブルの USB マークとプリンタの USB マーク
- 適切な Ethernet ケーブルと Ethernet ポート



1	USB ポート 警告！破損の恐れあり： 印刷中は、示されている範囲内の USB ケーブル、すべてのネットワークアダプタ、またはプリンタに触れないでください。データの損失や誤動作が発生する可能性があります。
2	Ethernet ポート

プリンタのセットアップを確認する

メニュー設定ページを印刷する

メニュー設定ページを印刷すると、現在のメニュー設定を調べたり、プリンタオプションが正しく取り付けられているかどうかを確認したりすることができます。

メモ：メニュー項目の設定を変更したことがない場合は、メニュー設定ページにすべての出荷時標準設定が一覧表示されます。メニューから他の設定を選択して保存すると、出荷時標準設定がユーザ標準設定に置き換わります。ユーザ標準設定は、メニューに再度アクセスして別の値を選択し、保存するまで、有効になります。

- 1 プリンタの電源が入った状態で、**[準備完了]**と表示されていることを確認します。
- 2 プリンタの操作パネルから  を押します。
- 3 **[レポート]**の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 4 **[メニュー設定ページ]**の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。

メニュー設定ページの印刷が終了すると、「**準備完了**」状態に戻ります。

ネットワーク設定ページを印刷する

プリンタがネットワークに接続されている場合は、ネットワーク設定ページを印刷してネットワーク接続を確認します。このページには、ネットワーク印刷の設定に役立つ重要情報も表示されます。

- 1 プリンタの電源が入った状態で、「準備完了」と表示されていることを確認します。
- 2 プリンタ操作パネルで  を押します。
- 3 [レポート]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 4 [ネットワーク設定]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
メモ: オプションの内蔵プリントサーバがインストールされている場合は、[ネットワーク < x > 設定]と表示されます。
- 5 ネットワーク設定ページの最初のセクションで、プリンタが「接続」されていることを確認します。
接続されていない場合は、LAN がアクティブでないか、ネットワークケーブルが誤動作している可能性があります。解決方法をシステムサポート担当者に問い合わせ、もう一度ネットワーク設定ページを印刷してください。

プリンタソフトウェアをセットアップする

プリンタソフトウェアをインストールする

プリンタドライバは、コンピュータをプリンタと通信させるためのソフトウェアです。プリンタソフトウェアは、通常、プリンタの初期設定時にインストールします。

Windows の場合

- 1 動作中のソフトウェアプログラムはすべて終了します。
- 2 ソフトウェアおよび説明書類 CD を挿入します。
- 3 メインインストールダイアログで、[プリンタおよびソフトウェアをインストール]をクリックします。
- 4 コンピュータ画面に表示される指示に従います。

Macintosh の場合

- 1 動作中のソフトウェアアプリケーションはすべて終了します。
- 2 ソフトウェアおよび説明書類 CD を挿入します。
- 3 Finder デスクトップで、自動的に表示されるプリンタ CD アイコンをダブルクリックします。
- 4 「プリンタおよびソフトウェアをインストール」アイコンをダブルクリックします。
- 5 コンピュータ画面に表示される指示に従います。

インターネットを使用する

- 1 Lexmark のホームページ (www.lexmark.com) を参照してください。
- 2 [Drivers & Downloads (ドライバとダウンロード)] メニューで [Driver Finder (ドライバの検索)] をクリックします。
- 3 プリンタを選択し、次にオペレーティングシステムを選択します。
- 4 ドライバをダウンロードし、プリンタソフトウェアをインストールします。

プリンタドライバの使用可能なオプションを更新する

プリンタソフトウェアとオプションをインストールした後、印刷ジョブで使用できるようにするためにプリンタドライバのオプションを手動で追加しなければならない場合があります。

Windows の場合

- 1 以下の手順でプリンタフォルダを開きます。
 - a  をクリックするか、[スタート] > [ファイル名を指定して実行]の順にクリックします。
 - b [検索開始]または[ファイル名を指定して実行]ボックスに「control printers」と入力します。
 - c **Enter** キーを押すか[OK]をクリックします。
プリンタフォルダが開きます。
- 2 プリンタを選択します。
- 3 プリンタを右クリックし、メニューから[プロパティ]を選択します。
- 4 [インストールオプション]タブをクリックします。
- 5 [使用可能なオプション]で、インストールされているハードウェアオプションを追加します。
- 6 [適用]をクリックします。

Macintosh の場合

Mac OS X 10.5 以降

- 1 アップルメニューから「システム環境設定」を選択します。
- 2 「プリントと FAX」をクリックします。
- 3 プリンタを選択し、「オプションとサプライ」をクリックします。
- 4 「ドライバ」をクリックし、インストールされているハードウェアオプションを追加します。
- 5 「OK」をクリックします。

Mac OS X 10.4 以前

- 1 Finder デスクトップから「移動」>「アプリケーション」の順に選択します。
- 2 「ユーティリティ」をダブルクリックし、「プリントセンター」または「プリンタ設定ユーティリティ」をダブルクリックします。
- 3 プリンタを選択し、「プリンタ」メニューから「情報を見る」を選択します。
- 4 ポップアップメニューから、「インストール可能なオプション」を選択します。
- 5 インストールされているハードウェアオプションを追加し、「変更を適用」をクリックします。

ワイヤレス印刷をセットアップする

メモ: SSID (Service Set Identifier) は、ワイヤレスネットワーク接続に割り当てられた名前です。WEP (Wireless Encryption Protocol) と WPA (Wi-Fi Protected Access) は、ネットワーク上で使用されているセキュリティの種類です。

ワイヤレスネットワーク上にプリンタを設定するために必要な情報

メモ: インストールケーブルまたはネットワークケーブルは、セットアップソフトウェアから指示があるまで接続しないでください。

- **SSID**-SSID も、ネットワーク名と見なされます。
- **ワイヤレスモード(ネットワークモード)**-インフラモードとアドホックモードのいずれかです。
- **チャンネル(アドホックネットワークの場合)**-標準設定では、インフラネットワークにはチャンネルが[自動]に設定されます。
一部のアドホックネットワークでも、[自動]に設定する必要があります。どちらのチャンネルを選択すべきか不明な場合は、システムサポート担当者にお問い合わせください。
- **[セキュリティの方法]**- [セキュリティの方法]には、以下の 3 つの基本オプションがあります。
 - WEP キー
ネットワークで複数の WEP キーが使用されている場合、スペースには 4 つまで入力できます。[標準設定の WEP 送信キー]を選択して、現在ネットワークで使用している WEP キーを選択します。
または
 - WPA または WPA2 パスフレーズ
WPA では、暗号化によってセキュリティの層が追加されています。暗号の種類には、AES と TKIP のいずれかを選択できます。ルータとプリンタで、同じ種類の暗号化を設定する必要があります。そうしないとプリンタがネットワークで通信できなくなります。
 - セキュリティなし
ワイヤレスネットワークでいかなる種類のセキュリティも使用していない場合は、セキュリティ情報がありません。
メモ: 非セキュアのネットワークは使用しないでください。

[詳細]方式を使って 802.1X ネットワークにプリンタをインストールする場合、以下の情報が必要です。

- 認証タイプ
- 内部認証の種類
- 802.1X ユーザー名とパスワード
- 証明書

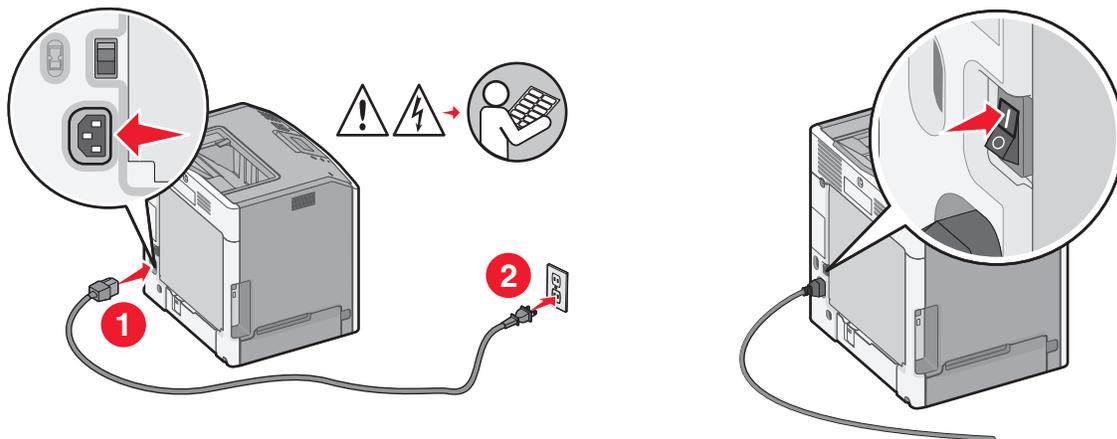
メモ: 802.1X セキュリティの構成についての詳細な情報は、「ソフトウェアおよびドキュメント」CD にある『ネットワークガイド』をご覧ください。

ワイヤレスネットワークにプリンタを接続する (Windows)

ワイヤレスネットワークにプリンタを接続する前に、以下のことを確認してください。

- ワイヤレスネットワークが正しくセットアップされて正常に動作している。
- お使いのコンピュータがセットアップしたいプリンタと同一のワイヤレスネットワークに接続されている。

- 1 電源ケーブルをプリンタに接続して、電源コードをプリンタおよび正しくアースしたコンセントに接続し、プリンタの電源を入れます。

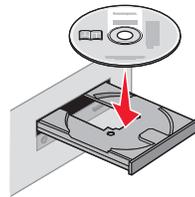


コンピュータとプリンタの電源が完全に入っていることを確認します。



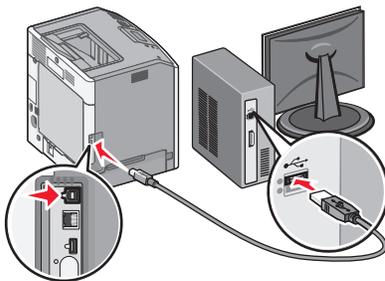
画面で指示があるまで USB ケーブルは接続しないでください。

2 ソフトウェアおよび説明書類 CD を挿入します。



- 3 [プリンタおよびソフトウェアをインストール]をクリックします。
- 4 [同意する]をクリックして使用許諾契約に同意します。
- 5 [OK]をクリックし、[Next(次へ)]をクリックします。
- 6 [ワイヤレスネットワーク接続]をクリックします。

- 7 ワイヤレスネットワークに接続されているコンピュータとプリンタを一時的に USB ケーブルで接続します。



メモ: プリンタを設定すると、ワイヤレスで印刷できるように一時的な USB ケーブルを取り外すようソフトウェアから指示されます。

- 8 画面に表示される指示に従い、プリンタソフトウェアのインストールを完了します。

メモ: [基本]を選択することをお勧めします。インストールをカスタマイズする場合にのみ[詳細]を選択します。

- 9 ワイヤレスネットワークにある他のコンピュータでこのワイヤレスプリンタを使用できるようにするには、各コンピュータで手順 2 ~ 6 と 8 を行います。

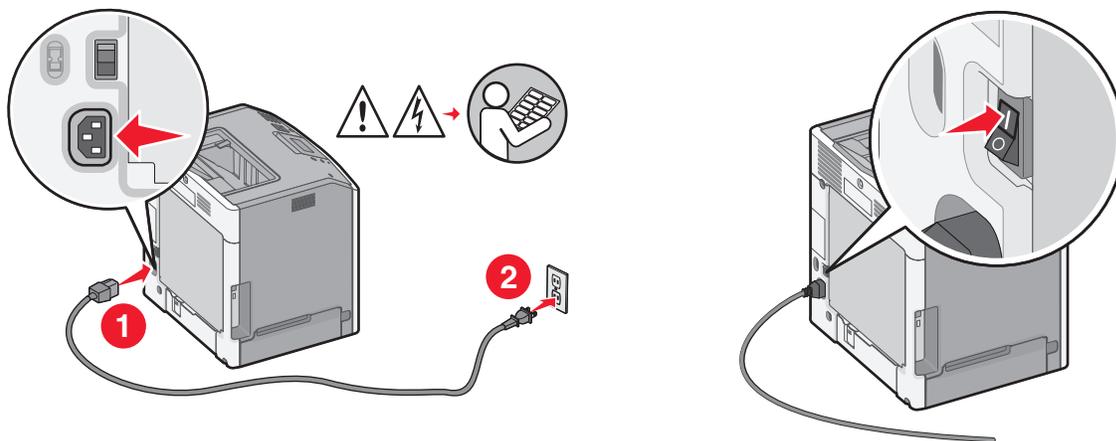
ワイヤレスネットワークにプリンタをインストールする (Macintosh)

プリンタ設定を準備する

- 1 プリンタに付属のシートでプリンタの MAC アドレスを確認します。下の空欄に、MAC アドレスの末尾 6 桁を書き留めます。

MAC アドレス: _____

- 2 電源コードをプリンタに接続してから、正しく接地されたコンセントに接続し、プリンタに電源を入れます。



プリンタ情報を入力する

- 1 AirMac オプションにアクセスします。

Mac OS X 10.5 以降

- a アップルメニューから「システム環境設定」を選択します。
- b 「ネットワーク」をクリックします。

c 「AirMac」をクリックします。

Mac OS X 10.4 以前

a Finder デスクトップから「移動」>「アプリケーション」の順に選択します。

b 「アプリケーション」フォルダで「インターネット接続」をダブルクリックします。

c ツールバーで「AirMac」をクリックします。

2 「ネットワーク」ポップアップメニューで「プリントサーバ xxxxxx」を選択します。ここで xxxxxx は MAC アドレスシートに記載されていた MAC アドレスの末尾 6 桁です。

3 Safari ブラウザを開きます。

4 「ブックマーク」ドロップダウンメニューで「表示」を選択します。

5 「コレクション」で「Bonjour」または「Rendezvous」を選択してからプリンタ名をダブルクリックします。

メモ: Mac OS X 10.3 では、アプリケーション名は Rendezvous でしたが、現在ではアップルにより Bonjour に変更されています。

6 内蔵 Web サーバのメインページから、ワイヤレス設定情報ページに移動します。

ワイヤレス接続用にプリンタを設定する

1 該当するフィールドにネットワーク名 (SSID) を入力します。

2 ワイヤレスルータを使用している場合、ネットワークモードでは「インフラ」を選択します。

3 ワイヤレスネットワークの保護に使用しているセキュリティのタイプを選択します。

4 プリンタをワイヤレスネットワークに追加するために必要なセキュリティ情報を入力します。

5 [送信] をクリックします。

6 コンピュータで AirMac アプリケーションを開きます。

Mac OS X 10.5 以降

a アップルメニューから「システム環境設定」を選択します。

b 「ネットワーク」をクリックします。

c 「AirMac」をクリックします。

Mac OS X 10.4 以前

a Finder デスクトップから「移動」>「アプリケーション」の順に選択します。

b 「アプリケーション」フォルダで「インターネット接続」をダブルクリックします。

c ツールバーで「AirMac」をクリックします。

7 「ネットワーク」ポップアップメニューでワイヤレスネットワークを選択します。

プリンタをワイヤレスで使用するためにコンピュータを設定する

Macintosh でネットワークプリンタに印刷するには、カスタム PostScript Printer Description (PPD) ファイルをインストールし、プリンタ設定ユーティリティまたはプリントセンターでプリンタを作成する必要があります。

1 コンピュータに PPD ファイルをインストールします。

a CD ドライブまたは DVD ドライブにソフトウェアおよび説明書類 CD を挿入します。

b プリンタのインストーラパッケージをダブルクリックします。

- c 「ようこそ」画面で「**続行**」をクリックします。
 - d Readme ファイルを読んでから、もう一度「**続行**」をクリックします。
 - e 使用許諾契約を確認してから「**続ける**」をクリックし、契約条件に同意したら「**同意します**」をクリックします。
 - f インストール先を選択し、「**続行**」をクリックします。
 - g 簡易インストール画面で「**インストール**」をクリックします。
 - h ユーザパスワードを入力し、「**OK**」をクリックします。
必要なすべてのソフトウェアがコンピュータにインストールされます。
 - i インストールが完了したら、「**閉じる**」をクリックします。
- 2 以下の手順でプリンタを追加します。
- a IP 印刷を使用する場合
 - Mac OS X 10.5 以降**
 - 1 アップルメニューから「**システム環境設定**」を選択します。
 - 2 「**プリントと FAX**」をクリックします。
 - 3 「**+**」をクリックします。
 - 4 一覧からプリンタを選択します。
 - 5 「**追加**」をクリックします。
 - Mac OS X 10.4 以前**
 - 1 Finder デスクトップから「**移動**」>「**アプリケーション**」の順に選択します。
 - 2 「**ユーティリティ**」フォルダをダブルクリックします。
 - 3 「**プリンタ設定ユーティリティ**」または「**プリントセンター**」をダブルクリックします。
 - 4 「**プリンタリスト**」で「**追加**」を選択します。
 - 5 一覧からプリンタを選択します。
 - 6 「**追加**」をクリックします。
 - b AppleTalk 印刷を使用する場合
 - Mac OS X 10.5**
 - 1 アップルメニューから「**システム環境設定**」を選択します。
 - 2 「**プリントと FAX**」をクリックします。
 - 3 「**+**」をクリックします。
 - 4 「**AppleTalk**」をクリックします。
 - 5 一覧からプリンタを選択します。
 - 6 「**追加**」をクリックします。
 - Mac OS X 10.4 以前**
 - 1 Finder デスクトップから「**移動**」>「**アプリケーション**」の順に選択します。
 - 2 「**ユーティリティ**」フォルダをダブルクリックします。
 - 3 「**プリンタ設定ユーティリティ**」または「**プリントセンター**」をダブルクリックします。
 - 4 「**プリンタリスト**」で「**追加**」を選択します。
 - 5 「**既定のブラウザ**」タブを選択します。
 - 6 「**ほかのプリンタ**」をクリックします。
 - 7 最初のポップアップメニューで「**AppleTalk**」を選択します。
 - 8 2 番目のポップアップメニューで「**ローカル AppleTalk ゾーン**」を選択します。

- 9 一覧からプリンタを選択します。
- 10 [追加]をクリックします。

有線ネットワークにプリンタをインストールする

この手順は、Ethernet ネットワーク接続および光ファイバネットワーク接続について説明しています。

有線ネットワークにプリンタをインストールする前に、次のことを確認してください。

- プリンタの初期セットアップが完了している。
- プリンタが適切なタイプのケーブルを使用してネットワークに接続されている。

Windows の場合

- 1 ソフトウェアおよび説明書類 CD を挿入します。
画面に[ようこそ]画面が表示されるまで待ちます。
1分待っても CD が自動的に起動しない場合は、次の操作を行います。
 - a  をクリックするか、[スタート] > [ファイル名を指定して実行]の順にクリックします。
 - b [検索開始]または[ファイル名を指定して実行]ボックスに「D:\setup.exe」と入力します。D は CD または DVD ドライブのドライブ文字です。
- 2 [プリンタおよびソフトウェアをインストール]をクリックします。
- 3 [同意する]をクリックして使用許諾契約に同意します。
- 4 [推奨]を選択してから、[次へ]をクリックします。
メモ: 静的 IP アドレスまたは IPv6 を使用してプリンタを構成するか、スクリプトを使用してプリンタを構成するには、[カスタム]を選択し、コンピュータ画面の指示に従います。
- 5 [有線ネットワーク接続]を選択してから、[次へ]をクリックします。
- 6 一覧からプリンタのメーカーを選択します。
- 7 一覧からプリンタ機種を選択し、[次へ]をクリックします。
- 8 ネットワーク上で検出されたプリンタの一覧からプリンタを選択し、[終了]をクリックします。
メモ: 検出されたプリンタの一覧に、設定したプリンタが表示されない場合は、[ポートを追加]をクリックし、コンピュータ画面の指示に従います。
- 9 コンピュータ画面の指示に従い、インストールを完了します。

Macintosh の場合

- 1 ネットワーク DHCP サーバがプリンタに IP アドレスを割り当てられるようにします。
- 2 プリンタからネットワーク設定ページを印刷します。ネットワーク設定ページの印刷については、『34 ページの「ネットワーク設定ページを印刷する」』を参照してください。
- 3 ネットワーク設定ページの TCP/IP セクションでプリンタの IP アドレスを見つけます。この IP アドレスは、プリンタと異なるサブネット上にあるコンピュータへのアクセスを構成する場合に必要になります。

4 ドライバをインストールし、プリンタを追加します。

a コンピュータに PPD ファイルをインストールします。

- 1 CDドライブまたはDVDドライブにソフトウェアおよび説明書類 CD を挿入します。
- 2 プリンタのインストーラパッケージをダブルクリックします。
- 3 「ようこそ」画面で「**続行**」をクリックします。
- 4 Readme ファイルを読んでから、もう一度「**続行**」をクリックします。
- 5 使用許諾契約を確認してから「**続ける**」をクリックし、契約条件に同意したら「**同意します**」をクリックします。
- 6 インストール先を選択し、「**続行**」をクリックします。
- 7 簡易インストール画面で「**インストール**」をクリックします。
- 8 ユーザパスワードを入力し、「**OK**」をクリックします。
必要なすべてのソフトウェアがコンピュータにインストールされます。
- 9 インストールが完了したら、「**再起動**」をクリックします。

b 以下の手順でプリンタを追加します。

- IP 印刷を使用する場合

Mac OS X 10.5 以降

- 1 アップルメニューから「**システム環境設定**」を選択します。
- 2 「**プリントと FAX**」をクリックします。
- 3 「**+**」をクリックします。
- 4 「**IP**」をクリックします。
- 5 「アドレス」フィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。
- 6 「**追加**」をクリックします。

Mac OS X 10.4 以前

- 1 Finder デスクトップから「**移動**」>「**アプリケーション**」の順に選択します。
- 2 「**ユーティリティ**」をダブルクリックします。
- 3 「**プリンタ設定ユーティリティ**」または「**プリントセンター**」をダブルクリックします。
- 4 「**プリンタリスト**」で「**追加**」をクリックします。
- 5 「**IP**」をクリックします。
- 6 「アドレス」フィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。
- 7 「**追加**」をクリックします。

- AppleTalk 印刷を使用する場合

Mac OS X 10.5

- 1 アップルメニューから「**システム環境設定**」を選択します。
- 2 「**プリントと FAX**」をクリックします。
- 3 「**+**」をクリックします。
- 4 「**AppleTalk**」をクリックします。
- 5 一覧からプリンタを選択します。
- 6 「**追加**」をクリックします。

Mac OS X 10.4 以前

- 1 Finder デスクトップから「**移動**」>「**アプリケーション**」の順に選択します。
- 2 「**ユーティリティ**」をダブルクリックします。
- 3 「**プリンタ設定ユーティリティ**」または「**プリントセンター**」をダブルクリックします。

- 4 「プリンタリスト」で「追加」をクリックします。
- 5 「既定のブラウザ」タブを選択します。
- 6 「ほかのプリンタ」をクリックします。
- 7 最初のポップアップメニューで「AppleTalk」を選択します。
- 8 2 番目のポップアップメニューで「ローカル AppleTalk ゾーン」を選択します。
- 9 一覧からプリンタを選択します。
- 10 [追加]をクリックします。

メモ: プリンタがプリンタ一覧に表示されない場合、IP アドレスを使用して追加する必要があります。システムサポート担当者に問い合わせてください。

内蔵ソリューションポートを取り付けた後でポート設定を変更する

新しいネットワーク Lexmark 内蔵ソリューションポート (ISP) をプリンタに取り付けると、プリンタには新しい IP アドレスが割り当てられます。ネットワーク経由でこのプリンタに印刷するためには、プリンタに接続するコンピュータでプリンタの設定をこの新しい IP アドレスで更新する必要があります。

メモ:

- 常に変化しない静的 IP アドレスがプリンタに割り当てられている場合、コンピュータの設定を変更する必要はありません。
- IP アドレスを使用せずに、常に変化しないネットワーク名によってプリンタへの印刷を行うようにコンピュータが設定されている場合は、コンピュータの設定を変更する必要はありません。
- 以前は有線接続用に設定されていたプリンタにワイヤレス ISP を追加する場合、プリンタをワイヤレスで動作するように設定するときは、有線ネットワークが接続されていないことを確認してください。有線ネットワークに接続したままの場合、ワイヤレス設定が完了してもワイヤレス ISP は有効になりません。プリンタを有線ネットワークに接続した状態で、ワイヤレス ISP の設定を行った場合、プリンタの電源を切ってから入れ直してください。これにより、ワイヤレス ISP が有効になります。
- 一度に使用できるネットワーク接続は 1 つだけです。接続タイプを有線とワイヤレスで切り替えたい場合、プリンタの電源を切ってからケーブルを接続するか (有線接続に切り替える場合)、ケーブルを取り外して (ワイヤレス接続に切り替える場合)、プリンタの電源を入れ直します。

Windows の場合

- 1 ネットワーク設定ページを印刷し、新しい IP アドレスを書き留めます。
- 2 プリンタフォルダを開きます。
 - a  をクリックするか、[スタート] > [ファイル名を指定して実行] の順にクリックします。
 - b [検索開始] または [ファイル名を指定して実行] ボックスに「control printers」と入力します。
 - c Enter キーを押すか [OK] をクリックします。
プリンタフォルダが開きます。
- 3 変更されたプリンタを見つけます。

メモ: プリンタが複数存在する場合、それらすべてを新しい IP アドレスに更新します。
- 4 プリンタを右クリックします。
- 5 [プロパティ] をクリックします。

- 6 [ポート]タブをクリックします。
- 7 一覧でポートを探し、選択します。
- 8 [ポートの設定]をクリックします。
- 9 [プリンタ名または IP アドレス]フィールドに新しい IP アドレスを入力します。新しい IP アドレスは、手順 1 で印刷したネットワーク設定ページにあります。
- 10 [OK]をクリックし、[閉じる]をクリックします。

Macintosh の場合

- 1 ネットワーク設定ページを印刷し、新しい IP アドレスを書き留めます。
- 2 ネットワーク設定ページの TCP/IP セクションでプリンタの IP アドレスを見つけます。この IP アドレスは、プリンタと異なるサブネット上にあるコンピュータへのアクセスを構成する場合に必要になります。
- 3 以下の手順でプリンタを追加します。
 - IP 印刷を使用する場合

Mac OS X 10.5 以降

- a アップルメニューから「システム環境設定」を選択します。
- b 「プリントと FAX」をクリックします。
- c 「+」をクリックします。
- d 「IP」をクリックします。
- e 「アドレス」フィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。
- f [追加]をクリックします。

Mac OS X 10.4 以前

- a 「移動」メニューで「アプリケーション」を選択します。
 - b 「ユーティリティ」をダブルクリックします。
 - c 「プリンタ設定ユーティリティ」または「プリントセンター」をダブルクリックします。
 - d 「プリンタリスト」で「追加」をクリックします。
 - e 「IP」をクリックします。
 - f 「アドレス」フィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。
 - g [追加]をクリックします。
- AppleTalk 印刷を使用する場合

Mac OS X 10.5

- a アップルメニューから「システム環境設定」を選択します。
- b 「プリントと FAX」をクリックします。
- c 「+」をクリックします。
- d 「AppleTalk」をクリックします。
- e 一覧からプリンタを選択します。
- f [追加]をクリックします。

Mac OS X 10.4 以前

- a 「移動」メニューで「アプリケーション」を選択します。
- b 「ユーティリティ」をダブルクリックします。

- c 「プリンタ設定ユーティリティ」または「プリントセンター」をダブルクリックします。
- d 「プリンタリスト」で「追加」をクリックします。
- e 「既定のブラウザ」タブを選択します。
- f 「ほかのプリンタ」をクリックします。
- g 最初のポップアップメニューで「AppleTalk」を選択します。
- h 2 番目のポップアップメニューで「ローカル AppleTalk ゾーン」を選択します。
- i 一覧からプリンタを選択します。
- j [追加]をクリックします。

シリアル印刷をセットアップする

シリアル印刷では、データが一度に 1 ビットずつ転送されます。通常、シリアル印刷はパラレル印刷より速度が遅くなりますが、プリンタとコンピュータの距離が非常に離れている場合や転送速度がより速いインターフェイスを使用できない場合などに便利です。

シリアルポートまたは通信 (COM) ポートを取り付けたら、通信を可能にするためにプリンタとコンピュータを設定する必要があります。プリンタの COM ポートにシリアルケーブルが接続されていることを確認してください。

- 1 プリンタでパラメータを設定します。
 - a プリンタ操作パネルで、ポート設定のメニューに移動します。
 - b シリアルポート設定のサブメニューを見つけます。
 - c シリアル設定に必要な変更を行います。
 - d 新しい設定を保存します。
 - e メニュー設定ページを印刷します。
- 2 プリンタドライバをインストールします。
 - a ソフトウェアおよび説明書類 CD を挿入します。CD が自動的に起動します。自動的に起動しない場合は、以下の手順に従います。
 - 1  をクリックするか、[スタート] > [ファイル名を指定して実行] の順にクリックします。
 - 2 [検索開始] または [ファイル名を指定して実行] ボックスに「D:\setup.exe」と入力します。D は CD または DVD ドライブのドライブ文字です。
 - b [プリンタおよびソフトウェアをインストール] をクリックします。
 - c [同意する] をクリックして、プリンタソフトウェア使用許諾契約に同意します。
 - d [カスタム] をクリックします。
 - e [コンポーネントを選択] が選択されていることを確認し、[次へ] をクリックします。
 - f メニューでプリンタモデルを選択し、[プリンタの追加] をクリックします。
 - g [コンポーネントを選択] でプリンタモデルの横の [+] をクリックします。
 - h [コンポーネントを選択] に適切な COM ポートがあることを確認します。これは、シリアルケーブルをコンピュータに接続するためのポートです (例: COM1)。
 - i 選択したプリンタモデルの横のボックスにチェックマークが付いていることを確認します。
 - j 他にインストールするオプションのソフトウェアを選択し、[次へ] をクリックします。
 - k [終了] をクリックして、プリンタソフトウェアのインストールを完了します。
- 3 COM ポートのパラメータを設定します。

プリンタドライバをインストールしたら、プリンタドライバに割り当てた COM ポートにシリアルパラメータを設定する必要があります。

COM ポートのシリアルパラメータは、プリンタに設定したシリアルパラメータと一致する必要があります。

a デバイスマネージャを開きます。

- 1  をクリックするか、[スタート] > [ファイル名を指定して実行]の順にクリックします。
- 2 [検索開始]または[ファイル名を指定して実行]ボックスに「devmgmt.msc」と入力します。
- 3 **Enter** キーを押すか[OK]をクリックします。
デバイスマネージャが開きます。

b [+]をクリックして、利用可能なポートの一覧を展開します。

c シリアルケーブルをコンピュータに接続した通信ポートを選択します(例:COM1)。

d [プロパティ]をクリックします。

e [ポートの設定]タブで、プリンタのシリアルパラメータと同じシリアルパラメータを設定します。
前の手順で印刷したメニュー設定ページのシリアル欄の下を参照し、プリンタ設定を確認します。

f [OK]をクリックし、すべてのウィンドウを閉じます。

g テストページを印刷して、プリンタが正しくインストールされていることを確認します。テストページの印刷が正常に終了したら、プリンタのセットアップは完了です。

プリンタの環境への影響を最小限に抑える

Lexmark は環境の維持に取り組んでおり、当社の製品であるプリンタを継続的に改良することで、環境に対する影響を削減する努力をしています。当社は、環境に配慮した設計を採用し、簡素な梱包に努めるとともに、製品の回収/リサイクルプログラムを実施しています。詳細については、以下を参照してください。

- 通知事項の章
- 環境維持に関する Lexmark のホームページ(www.lexmark.com/environment)
- リサイクルプログラムに関する Lexmark のホームページ(www.lexmark.com/recycle)

特定のプリンタ設定やタスクを選択することで、プリンタによる環境への影響をさらに低減できます。この章では、より優れた環境保護をもたらすような設定とタスクの概要を説明します。

用紙とトナーの節約

再生紙およびその他の事務用紙の使用

環境問題意識を持つ企業として、Lexmark は、レーザー(電子写真)プリンタ向けに特別に生産された事務用再生紙の使用を推奨しています。1998 年に Lexmark は、米国の大手工場生産された再生紙が普通紙と同様に給紙されることを示す調査報告を米国政府に提出しました。ただし、すべての再生紙がスムーズに給紙されるとは限りません。

Lexmark は、再生紙(消費財廃棄物の含有率 20 ~ 100%)および世界中から集めた各種のテスト紙を使用して、さまざまな温度や湿度の条件下でのチャンバー試験など、継続的にプリンタのテストを行っています。Lexmark では、今日の事務用再生紙の使用を阻む理由はありませんが、再生紙には一般的に次の特性ガイドラインが適用されます。

- 低い含水率(4 ~ 5%)
- 適切な平滑度(100 ~ 200 シェフィールド単位または 140 ~ 350 ベントセン単位、ヨーロッパ)

メモ: 著しく滑らかな用紙(プレミアム 24 lb レーザー用紙、50 ~ 90 シェフィールド単位など)や著しく粗い用紙(プレミアムコットン紙、200 ~ 300 シェフィールド単位)の中には、ざらつきがあってもレーザープリンタできわめてきれいに印刷できるように設計されているものもあります。こうした種類の用紙を使用する前に、用紙の供給元に問い合わせてください。

- 適切な紙間の摩擦係数(0.4 ~ 0.6)
- 給紙方向への十分な剛軟度

再生紙、軽量の用紙(60 g/m² [16 lb ボンド] 以下)および薄い用紙(3.8 mils [0.1 mm] 以下)および縦方向(または短辺)に給紙されるプリンタで横目に裁断された用紙は、確実な給紙に必要な剛軟度が不足していることがあります。このような種類の用紙をレーザー(電子写真)印刷に使用する場合は、前もって用紙の製造元に問い合わせてください。これらは一般的なガイドラインに過ぎず、これらのガイドラインを満たす用紙でもレーザープリンタで給紙の問題が発生することがあります(たとえば、通常の印刷条件で用紙が過度にカールしている場合など)。

消耗品を節約する

印刷時に用紙の使用量を減らし、トナーを節約するための方法がいくつかあります。目的

用紙の両面に印刷

お使いのプリンタ機種が両面印刷に対応している場合、[印刷]ダイアログボックスまたは Lexmark ツールバーから [両面印刷] を選択することによって、両面印刷にするかどうかを制御できます。

1 枚の用紙に複数のページを印刷する

[印刷]ダイアログボックスの [複数ページ印刷] (N アップ) セクションから設定を選択することによって、複数ページドキュメントの連続するページを、1 枚の用紙の片面に最大で 16 ページ印刷できます。

最初のコピーをチェックする

ドキュメントを複数部印刷またはコピーする前に以下の項目を実施します。

- [印刷]ダイアログボックスまたは Lexmark ツールバーから選択できるプレビュー機能を使用して、印刷前にドキュメントがどのように印刷されるかを確認します。
- ドキュメントを 1 部だけ印刷し、内容と形式に間違いがないかどうかを確認します。

紙づまりを防ぐ

紙づまりを防ぐため、用紙の選択とセットは慎重に行います (⇒「142 ページの「紙づまりを防ぐ」」)。

節電

エコモードを使用する

エコモードを使用すると、プリンタによる環境への影響を低減するための手段を 1 つまたは複数選択できます。

メモ: エコモードを選択するときに変更するさまざまな設定については、以下の表を参照してください。

項目	目的
電力	エネルギー消費を減らします。特にプリンタが待機中のときに効果的です。 <ul style="list-style-type: none"> • プリンタエンジンのモーターは、ジョブが印刷する準備を完了するまで動作しません。1 ページ目が印刷されるまでの時間が少し長くなる場合があります。 • 動作しない状態が 1 分続くと、プリンタは電力節約モードになります。 • プリンタが電力節約モードになると、操作パネルのライトが消灯します。
用紙	<ul style="list-style-type: none"> • 自動両面印刷の機能を有効にします (両面印刷がサポートされているプリンタ機種の場合)。 • ログ印刷機能をオフにします。
電力/用紙	エネルギーモードと紙モードに関連しているすべての設定を使用します。
オフ	エコモード関連設定をすべて出荷時標準設定にリセットします。この設定では、プリンタの仕様通りのパフォーマンスになります。

- 1 プリンタの電源が入った状態で、[準備完了]と表示されていることを確認します。
- 2 プリンタ操作パネルで  を押します。
- 3 [設定]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 4 [一般設定]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。

- 5 [エコモード]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 6 使用可能な設定のリスト内をスクロールするには、左または右矢印ボタンを押します。目的の設定で を押します。
「選択内容を送信中」と表示されます。

プリンタの動作音を抑える

プリンタの動作音を抑えるには、静音モードを使用します。

メモ: 静音モードを選択するときに変更するさまざまな設定については、次の表を参照してください。

項目	目的
オン(文字/グラフィック) メモ: この設定は、テキストと線画を印刷する際に最適です。	プリンタの動作音を抑えます。 <ul style="list-style-type: none"> • 印刷ジョブは通常の処理速度の半分で処理します。 • プリンタエンジンのモーターは、ジョブが印刷する準備を完了するまで動作しません。1 ページ目が印刷されるまでの時間が少し長くなります。 • ファンが低速で回転するか、まったく回転しません。 • お使いのプリンタに FAX 機能がある場合、FAX のスピーカや呼び出しなどの音声のボリュームが小さくなるか、無効になります。プリンタが待機モードになります。 • アラーム制御およびカートリッジのアラームサウンドがオフになります。 • プリンタは詳細開始コマンドを無視します。
オフ(イメージ/写真) メモ: ドライバで[写真]を選択すると、静音モードが無効になり、印刷品質を優先して、最大速度で印刷します。	工場出荷時の設定を使用します。この設定では、プリンタの仕様通りのパフォーマンスになります。

- 1 プリンタの電源が入った状態で、[準備完了]と表示されていることを確認します。
- 2 プリンタ操作パネルで  を押します。
- 3 [設定]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 4 [一般設定]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 5 [静音モード]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 6 使用可能な設定のリスト内をスクロールするには、左または右矢印ボタンを押します。目的の設定で を押します。
「選択内容を送信中」と表示されます。

電力節約を調整する

設定可能な範囲は 1 ~ 240 分です。出荷時の標準設定は 30 分です。

プリンタが電力節約モードに切り替わるまでの時間を変更するには、次のいずれかの手順に従います。

内蔵 Web サーバを使用する

- 1 Web ブラウザのアドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: お使いのプリンタの IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク設定ページを印刷し、TCP/IP のセクションに記載されている IP アドレスを確認してください。

- 2 [設定]、[一般設定]の順にクリックします。
- 3 [時間切れ]をクリックします。
- 4 [電力節約]ボックスでプリンタを電力節約モードに切り替わるまでの待機時間(分)を変更します。
- 5 [送信]をクリックします。

プリンタ操作パネルを使用する

- 1 プリンタの電源が入った状態で、「準備完了」と表示されていることを確認します。
- 2  を押します。
- 3 [設定]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 4 [一般設定]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 5 [時間切れ]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 6 [電力節約]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 7 上または下の矢印ボタンを押してプリンタが電力節約モードになるまでの時間を増減してから、 を押します。

ディスプレイの明るさを調整する

内蔵 Web サーバを使用する

- 1 Web ブラウザのアドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: お使いのプリンタの IP アドレスがわからない場合は、以下の方法で確認することができます。

- プリンタ操作パネルの[ネットワーク/ポート]メニューの TCP/IP セクションでプリンタの IP アドレスを確認します。
- ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、TCP/IP セクションで IP アドレスを確認します。

- 2 [設定]をクリックしてから、[ユーティリティ]メニューをクリックします。
- 3 [液晶表示明るさ]ボックスに、ディスプレイの明るさを入力します。設定可能な範囲は 1 ~ 10 です。出荷時の標準設定は[5]です。
- 4 [送信]をクリックします。

プリンタ操作パネルを使用する

- 1 プリンタの電源が入った状態で、「準備完了」と表示されていることを確認します。
- 2  を押します。
- 3 [設定]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 4 [ユーティリティ]メニューの横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。

- 5 [液晶表示明るさ]メニューの横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 6 上または下の矢印ボタンを押して設定を選択し、 を押します。

リサイクル

Lexmark はリサイクルのための回収プログラムや環境に関しての先進的な取り組みを行っています。詳細については、以下を参照してください。

- 通知事項の章
- 環境維持に関する Lexmark のホームページ(www.lexmark.com/environment)
- リサイクルプログラムに関する Lexmark のホームページ(www.lexmark.com/recycle)

Lexmark 製品をリサイクルする

Lexmark 製品を Lexmark に返却してリサイクルするには、以下の手順に従います。

- 1 Lexmark のホームページ(www.lexmark.com/recycle)を参照してください。
- 2 リサイクルする製品の種類を見つけて、一覧から国を選択します。
- 3 コンピュータ画面に表示される指示に従います。

Lexmark 製品の梱包材をリサイクルする

Lexmark は梱包材を最小限に抑えるよう絶えず努力しています。より少ない梱包材により、Lexmark プリンタは最も効率的で、かつ環境に配慮した方法で輸送され、梱包材の廃棄量の削減に貢献しています。これらの努力は、温室効果ガスのより少ない排出、省エネルギー、天然資源の節約をもたらします。

Lexmark のダンボール箱は、再生利用する施設がある地域ではすべてリサイクル可能です。その施設は、お住まいの地域にない可能性があります。

Lexmark の梱包材に使用されている発泡スチロールは、再生利用する施設がある地域ではリサイクル可能です。その施設は、お住まいの地域にない可能性があります。

Lexmark にカートリッジを返却する際には、配達時に梱包されていたダンボール箱を再利用できます。Lexmark はダンボール箱をリサイクルします。

再利用やリサイクルのために Lexmark カートリッジを返却する

Lexmark カートリッジ回収プログラムによって、再利用やリサイクルのために、手間をかけずに無料で使用済みカートリッジをお客様が Lexmark に返却することで、年間に何百万ものカートリッジがごみ廃棄場から転用されています。Lexmark に返却された空のカートリッジのほとんどが、リサイクル用に再利用されるか、別の製品にされます。また、カートリッジを返却するのに使用されるダンボール箱もリサイクルされます。

再利用またはリサイクル用に Lexmark カートリッジを返却するには、プリンタまたはカートリッジに同梱されている説明書に従い、料金元払いの発送用ラベルを使用してください。または、以下の方法もあります。

- 1 Lexmark のホームページ(www.lexmark.com/recycle)を参照してください。
- 2 トナーカートリッジのリストから、お住まいの国を選択してください。
- 3 コンピュータの画面に表示される手順に従います。

用紙および特殊用紙をセットする

このセクションでは、550 枚カセットの標準カセット(カセット 1)、オプションの 550 枚カセット、オプションの 2,000 枚カセット、多目的フィーダ、およびオプションの 550 枚特殊用紙カセットをセットする方法について説明します。用紙の向き、用紙サイズと用紙のタイプの設定、カセットのリンクとリンク解除についても説明します。

用紙のサイズとタイプを設定する

- 1 プリンタの電源が入った状態で、[準備完了]と表示されていることを確認します。
- 2 プリンタ操作パネルで  を押します。
- 3 [用紙]メニューの横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 4 [用紙サイズ/タイプ]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 5 正しいカセットまたはフィーダが表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 6 正しいサイズが表示されるまで左または右の矢印ボタンを押してから、 を押します。
[用紙のタイプ]が表示されます。
- 7 正しいタイプが表示されるまで左または右の矢印ボタンを押してから、 を押します。
[選択内容を送信中]と表示されます。プリンタの操作パネルの表示が[用紙サイズ/タイプ]メニューに戻ります。

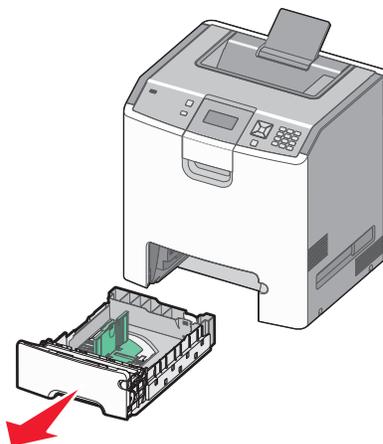
カセットに用紙をセットする

プリンタには、550 枚カセットの標準カセット(カセット 1)、オプション 550 枚カセット、オプション 2,000 枚カセット、多目的フィーダ、およびオプション 550 枚特殊用紙カセットの最大 5 つの給紙源があります。ほとんどの印刷ジョブで使用する用紙または専用紙は、カセット 1 にセットします。適切な用紙をセットすることで、紙づまりを防ぎ、問題のない印刷を行うことができます。

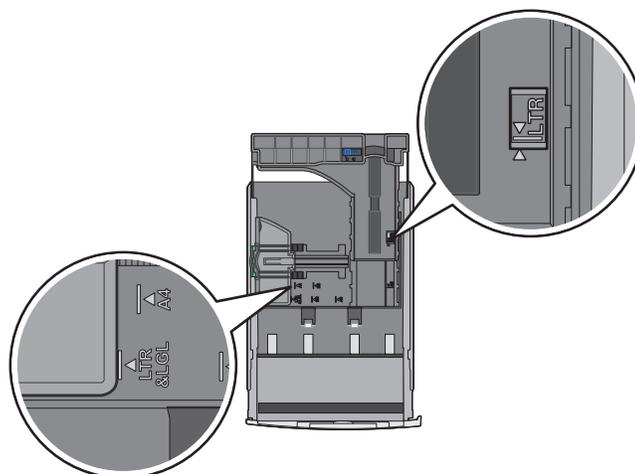
メモ: 機種が C736n、C736dn、および C736dtn のプリンタは、オプションの給紙源を合計 4 つサポートします。機種が C734n、C734dn、C734dtn、および C734dnw のプリンタは、オプションの給紙源を合計 3 つサポートします。

ジョブの印刷中、またはプリンタの操作パネルで[ビジー]が点滅しているときは、カセットを取り外さないでください。このような操作は紙詰まりの原因となります。

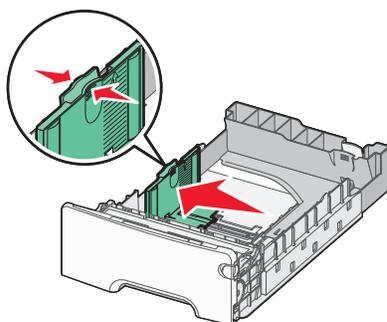
- 1 ハンドルを握り、カセットを引き出します。カセットを完全に取り外します。



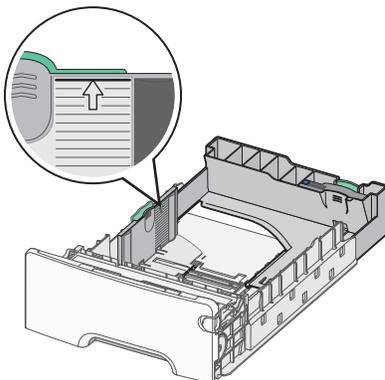
カセットの下部のサイズインジケータを確認してください。これらのインジケータを使用すると、ガイドを簡単に位置合わせできます。



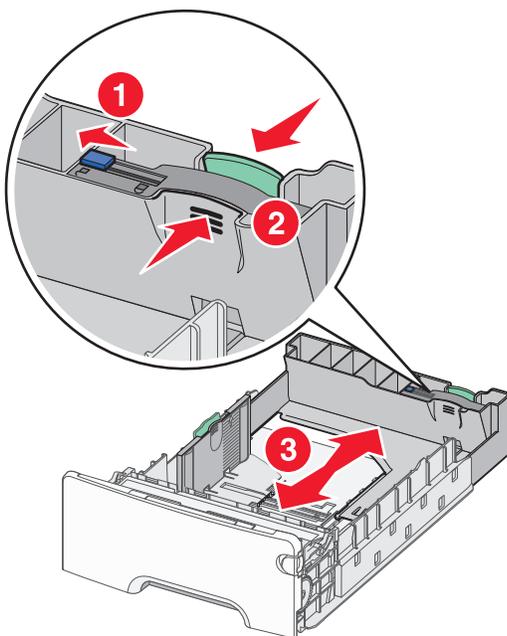
- 2 幅ガイドタブを図のように締め付け、セットする用紙のサイズに適した位置にスライドさせます。



用紙カセットの左側にあるセットラインに注意してください。このラインは、用紙をセットできる最大の高さを示します。

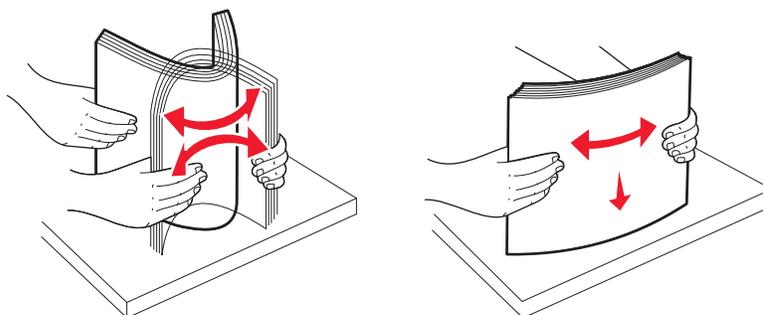


3 長さガイドタブをつまんで、セットする用紙のサイズに適した位置にスライドさせます。



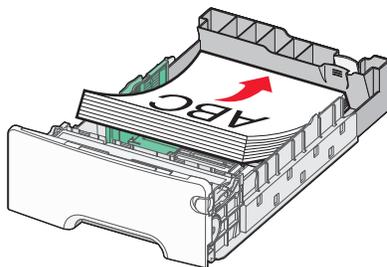
メモ: 長さガイドにはロック機構があります。カセットのロックを解除するには、図のように長さガイドの上部にあるボタンを左にスライドさせます。長さを選択した後でカセットをロックするには、ボタンを右にスライドさせて戻します。

4 用紙は上下にまげてほぐし、パラパラめくります。用紙を折ったり畳んだりしないでください。平らな面で端を揃えます。

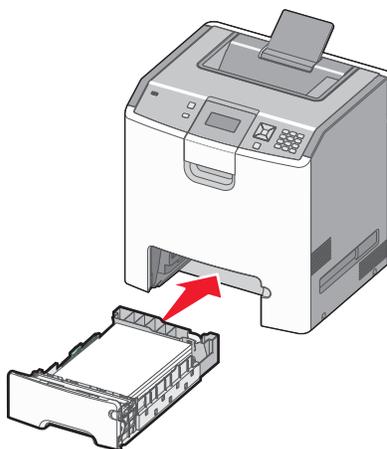


- 5 推奨される印刷面を上にして、用紙の束をセットします。図に示すように、用紙をカセットの背面に向けてセットします。

プレプリントされたレターヘッド紙を片面印刷用にセットする場合は、ヘッダーをカセットの前面に向けて置きます。



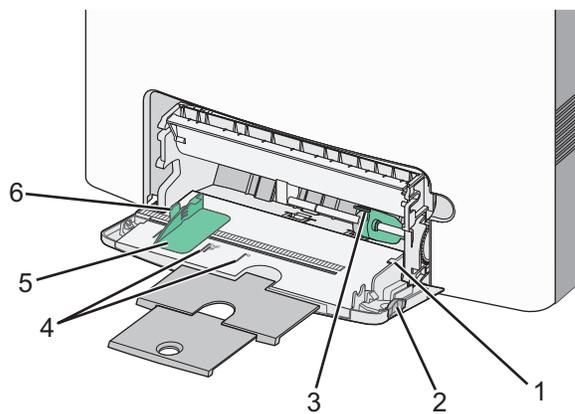
- 6 カセットを合わせてから再度挿入します。



- 7 カセットに以前にセットされていたタイプとは異なるタイプの用紙をセットした場合は、プリンタの操作パネルでカセットの用紙のタイプ設定を変更します(⇒「52 ページの「用紙のサイズとタイプを設定する」」)。

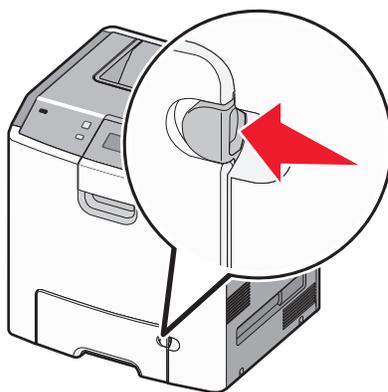
多目的フィーダに用紙をセットする

多目的フィーダには、封筒などさまざまな用紙をセットできます。カセットに保管されていない用紙も、多目的フィーダにセットできます。

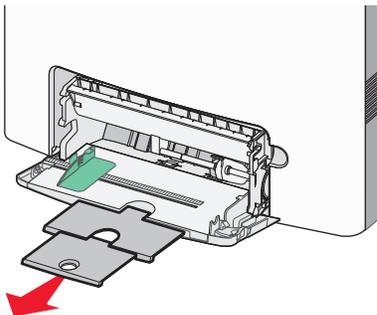


1	高さの上限を示す印
2	カセットリリースラッチ
3	用紙リリースレバー
4	サイズインジケータ
5	幅ガイド
6	幅ガイド解除タブ

1 カセットリリースラッチを左に押してから、多目的フィーダを下に引きます。

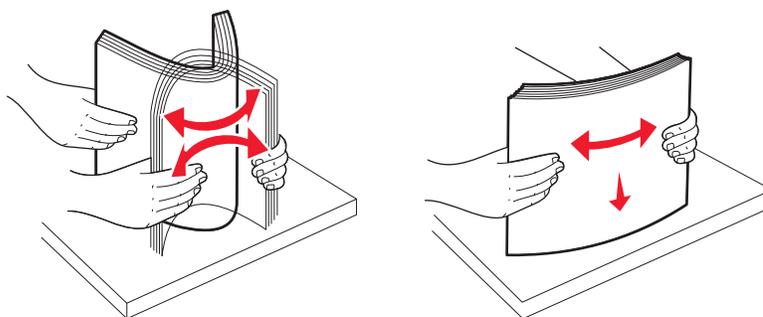


2 拡張ガイドが完全に伸びるまでゆっくりと引き出します。



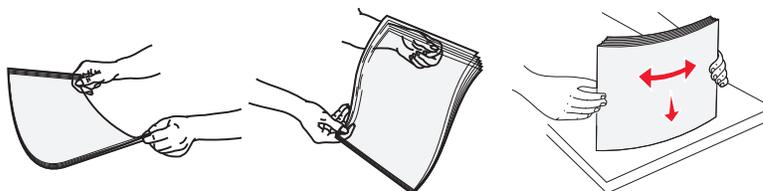
3 セットする用紙を準備します。

- 用紙を上下にまげてほぐし、パラパラめくります。用紙を折ったり畳んだりしないでください。平らな面で端を揃えます。



- OHP シートの端を持ち、パラパラめくります。平らな面で端を揃えます。

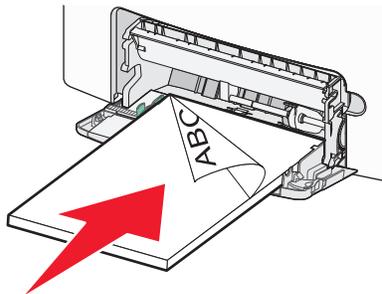
メモ: OHP シートの印刷面には触れないようにしてください。OHP シートに傷をつけないように注意してください。



- 封筒の束を上下にまげてほぐし、パラパラめくります。平らな面で端を揃えます。

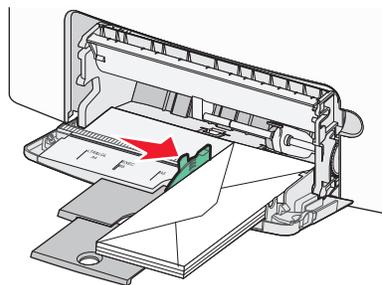


- 4 用紙は、推奨されている印刷面を下にし、上端をプリンタに向けてセットします。



メモ: 一度にセットする用紙は、サイズとタイプが同じものだけにしてください。

- 5 封筒は、フラップの面を上にし、差出人住所の側をプリンタに向けてセットします。



警告！破損の恐れあり: 切手、留め金、スナップ、窓、つや出し加工された内張り、封かん用口糊の付いた封筒は絶対に使用しないでください。このような封筒はプリンタに深刻な損傷を与える可能性があります。

- 6 用紙を軽く押して、できるだけ多目的フィーダの奥に入れます。用紙は平らで、多目的フィーダに余裕を持って収まるようにしてください。

メモ: 用紙を多目的カセットの奥まで押し込みすぎた場合は、用紙リリースレバーを押して取り除いてください。

- 7 プリンタの操作パネルで用紙のサイズとタイプを設定し、 を押します。

使用していないときには、多目的フィーダを閉じることができます。

カセットのリンクとリンクの解除

カセットをリンクする

カセットのリンクは大きな印刷ジョブや多くの部数を印刷する場合に便利です。リンクされている1つのカセットが空になると、リンクされている次のカセットから給紙されます。任意のカセットの用紙サイズと用紙タイプの設定が他のカセットと同じ場合は、それらのカセットは自動的にリンクされます。

用紙サイズの設定は、各カセットの用紙ガイドの位置に応じて自動的に検出されます(標準の550枚カセットと多目的フィーダを除く)。検出される用紙サイズは、A4、A5、JIS B5、レター、リーガル、エグゼクティブ、ユニバーサル用の用紙です。多目的フィーダおよびそれ以外の用紙サイズを使用しているカセットの場合は、[用紙サイズ/タイプ]メニューの[用紙サイズ]メニューを使用して手動でリンクさせることができます。

メモ: 多目的フィーダをリンクさせるには、[用紙]メニューで[多目的フィーダ設定]を[カセット]に設定して、[多目的フィーダサイズ]をメニュー項目に表示させる必要があります。

[用紙サイズ/タイプ]メニューの[用紙のタイプ]メニューで、すべてのカセットの用紙のタイプを必ず設定してください。

カセットのリンクを解除する

他のカセットと設定が異なるカセットはリンクされません。

カセットのリンクを解除するには、以下のカセット設定を変更して、他のカセットの設定と一致しないようにします。

- 用紙タイプ(普通紙、レターヘッド紙、ユーザ定義 <x> など)

用紙タイプ名は用紙の特性を示します。用紙に最も当てはまる名前がリンクされているカセットで使用されている場合は、カセットに別の用紙タイプ名(ユーザ定義 <x> など)を割り当てるか、ユーザ定義名を独自に定義します。

- 用紙サイズ(レター、A4、ステートメントなど)

別の用紙サイズをセットすると、カセットの用紙サイズ設定が自動的に変更されます。多目的フィーダの用紙サイズ設定は自動で検出されません。用紙サイズメニューから手動で設定する必要があります。

警告！破損の恐れあり：カセットにセットされている用紙のタイプと異なる用紙タイプ名を割り当てないでください。フューザの温度は、指定した用紙タイプに合わせて変化します。誤った用紙タイプを選択すると、用紙が正しく処理されない場合があります。

用紙のタイプのユーザー定義名を作成する

プリンタがネットワークに接続されている場合は、内蔵 Web サーバを使用して、セットされている用紙のユーザ定義タイプにユーザ定義タイプ < x > 以外の名前を定義することができます。

- 1 Web ブラウザのアドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ：お使いのプリンタの IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク設定ページを印刷し、TCP/IP のセクションに記載されている IP アドレスを確認してください。

- 2 [設定]をクリックします。

- 3 [用紙メニュー]をクリックします。

- 4 [ユーザ定義名]をクリックします。

- 5 ユーザ定義名 < x > ボックスに、用紙タイプの名前を入力します。

メモ：入力したユーザ定義名は、[ユーザ定義タイプ]および[用紙のサイズとタイプ]メニューの、ユーザ定義タイプ < x > 名を置き換えます。

- 6 [送信]をクリックします。

- 7 [ユーザ定義タイプ]をクリックします。

[ユーザ定義タイプ]と表示された後に、ユーザ定義名が表示されます。

- 8 ユーザ定義名の横に表示されている選択リストから、[用紙のタイプ]設定を選択します。

- 9 [送信]をクリックします。

ユーザ定義の用紙タイプ名をカセットに割り当てる

カセットをリンクするまたはリンクを解除するには、カセットにユーザ定義タイプ < x > 名を割り当てます。リンクする各カセットに同じユーザ定義 < x > 名を関連付けます。同じユーザ定義名を割り当てられたカセットのみがリンクされます。

- 1 プリンタの電源が入った状態で、「準備完了」と表示されていることを確認します。

- 2 プリンタ操作パネルで  を押します。

- 3 [用紙]メニューの横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 4 [用紙サイズ/タイプ]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 5 正しいカセットまたはフィーダが表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 6 正しいサイズが表示されるまで左または右の矢印ボタンを押してから、 を押します。
[用紙のタイプ]が表示されます。
- 7 [ユーザ定義タイプ< x >]またはその他のユーザ定義名の横に が表示されるまで左または右の矢印ボタンを押してから、 を押します。
「選択内容を送信中」と表示された後に、「用紙メニュー」と表示されます。
- 8 適切な用紙タイプがユーザ定義名に関連付けられていることを確認します。
メモ: すべてのユーザ定義タイプ < x >名とユーザ定義名に関連付けられている出荷時標準設定の用紙タイプは「普通紙」になっています。
 - a [用紙メニュー]で、[ユーザ定義タイプ]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
 - b ユーザ定義の用紙タイプ名の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
 - c 設定する用紙タイプの横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
[選択内容を送信中]と表示されます。

用紙および特殊用紙について

用紙に関するガイドライン

用紙特性

以下の用紙特性は、印刷の品質と信頼性に影響します。新しい用紙を評価する場合は、これらの特性を考慮してください。

重さ

プリンタは、重さが 60 ~ 220 g/m² (16 ~ 58 lb ボンド) の縦目の用紙を自動的に取込みます。60 g/m² (16 lb) より軽い用紙は、適切に取り込むには堅さが足りず、紙づまりの原因となります。最適なパフォーマンスを実現するには、75 g/m² (20 lb ボンド) の縦目の用紙を使用してください。182 x 257 mm (7 x 10 インチ) より小さい用紙の場合は、90 g/m² (24 lb) 以上の重さの用紙をお勧めします。

メモ: 両面印刷は、60 g/m² ~ 120 g/m² (16 ~ 32 lb ボンド) の用紙でのみサポートされます。

カール

カールとは、用紙の先端が丸まる現象のことです。カールが大きすぎると、用紙の取り込み時に問題が発生することがあります。カールは、高温になっているプリンタ内部を用紙が通過した後に発生することがあります。包装されていない用紙を高温、多湿、低温、または乾燥した状態で保管すると、それがカセット内であっても印刷前に用紙がカールすることがあり、取り込み時の問題となる場合があります。

平滑度

用紙の平滑度は、印刷品質に直接影響します。用紙のきめが粗すぎる場合、トナーが適切に定着しません。用紙が滑らかすぎると、用紙の取り込み時や印刷品質に対して問題となることがあります。必ず 100 ~ 300 シェフィールドポイントの用紙を使用してください。ただし、最高の印刷品質は 150 ~ 200 シェフィールドポイントの平滑度で実現されます。

含水率

用紙に含まれる水分の量は、印刷品質とプリンタの適切な用紙取り込みの両方に影響します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れたままにしておいてください。これにより、用紙が湿度の変化にさらされてパフォーマンスが低下する可能性を最小限に抑えることができます。

印刷時の 24 ~ 48 時間前から、用紙を元の包装に入れたままプリンタと同じ環境に保管し、用紙の状態を調整してください。保管または輸送環境がプリンタ環境と大きく異なる場合は、時間を数日延ばしてください。厚い用紙の場合も、より長時間の調整が必要になる場合があります。

紙目

紙目とは、用紙に含まれる繊維の方向のことです。紙目には、用紙の縦方向に延びる縦目と用紙の横方向に延びる横目があります。

60 ~ 135 g/m² (16 ~ 36 lb ボンド) の用紙の場合は、縦目の用紙をお勧めします。135 g/m² より重い用紙の場合は、横目をお勧めします。

繊維含有率

最高品質のゼログラフィ用紙は、100%の化学処理済みパルプ木材から作られています。この含有率により、用紙の安定度が高まるとともに、用紙の取り込みの問題が減少し、印刷品質が向上します。コットンなどの繊維を含む用紙は、用紙の処理に悪影響を与えるおそれがあります。

使用できない用紙

次の種類の用紙は、プリンタで使用しないでください。

- ノーカーボン紙、感圧複写紙(CCP)、またはカーボン不要(NCR)紙とも呼ばれる、コピーの作成に使用される化学処理済みの用紙
- プリンタを汚染する可能性のある化学薬品を使用したプレプリント用紙
- プリンタフューザの温度の影響を受ける可能性のあるプレプリント用紙
- 光学式文字認識(OCR)フォームなど、 ± 2.3 mm(± 0.9 インチ)よりも高い精度で位置合わせする必要があるプレプリント用紙

場合によっては、ソフトウェアアプリケーションで位置合わせを調整して、これらのフォームに正常に印刷できることがあります。

- コーティングされた用紙(消去可能ボンド)、合成紙、感熱紙
- 縁がぎざぎざな用紙、表面のきめが粗い用紙、ざらつきのある用紙、またはカールした用紙
- EN12281:2002(欧州)に準拠していない再生紙
- 重量が 60 g/m²(16 lb)未満の用紙
- マルチパートフォームまたはドキュメント

用紙を選択する

適切な用紙を使用すると、紙づまりを防ぎ、問題のない印刷を行うことができます。

紙づまりと印刷品質の低下を防ぐには

- 必ず新しく損傷のない用紙を使用する。
- 用紙をセットする前に、用紙の推奨印刷面を確認する。通常、この情報は用紙のパッケージに記載されています。
- 手で切った用紙は使用しない。
- 大きさ、種類、重さが異なる用紙を1つのカセットにセットしない。これらを混在させると紙づまりが発生します。
- 電子写真印刷用に特に設計されていない限り、コーティングされた用紙を使用しない。

プレプリントフォームとレターヘッド紙を選択する

プレプリントフォームとレターヘッド紙を選択する場合は、以下のガイドラインに従ってください。

- $60 \sim 90$ /m²(16 ~ 24 ポンド)の重さの縦目用紙を使用する。
- オフセットリトグラフ印刷または写真版印刷処理を使用して印刷されたフォームおよびレターヘッド紙のみ使用する。
- 表面のきめが粗い用紙やざらつきが大きい用紙は避ける。

ゼログラフィコピー機用に設計された耐熱インクを使用して印刷された用紙を使用する。このインクは、溶解したり有毒ガスを放出したりせずに190°Cまでの温度に耐えられる必要があります。トナーの樹脂に影響されないインクを使用してください。酸化状態または石油を主成分としたインクは一般にこれらの要件を満たしています。ラテックス製インクはこれらの要件を満たしていない場合があります。判別できない場合は、用紙の供給元に問い合わせてください。

レターヘッド紙などのプレプリントされた用紙は、溶解や有毒ガスの放出を伴わずに 190°C までの温度に耐えられる必要があります。

用紙の保管

紙づまりを防いで印刷品質を安定させるため、用紙の保管に関する以下のガイドラインに従ってください。

- 最良の印刷結果を得るため、温度 21°C (70°F)、相対湿度 40% の場所に用紙を保管してください。ほとんどのラベルメーカーは、温度が 18 ~ 24°C (65 ~ 75°F) で、相対湿度が 40 ~ 60% で印刷することを推奨しています。
- 可能な場合は、用紙をダンボール箱に入れ、台の上か棚において床より高い場所で保管してください。
- 梱包された用紙を平らな場所に保管してください。
- 梱包された用紙の上には何も置かないでください。

サポートされる用紙の大きさ、種類、重さ

以下の表に、標準およびオプションの給紙源と、サポートされる用紙の種類を示します。

メモ: 表に記載されていない用紙サイズを使用するには、[ユニバーサル用紙のサイズ]を設定します。

詳細については、Lexmark のホームページ (<http://support.lexmark.com>) から入手可能な『Card Stock & Label Guide』(英語版のみ)を参照してください。

プリンタでサポートされている用紙サイズ

測定値は、片面印刷にのみ適用されます。両面印刷の場合、最小サイズは 139.7 x 210 mm (5.50 x 8.27 インチ) です。

用紙サイズ	寸法	標準の 550 枚カセット (カセット 1)	オプション の 550 枚 カセット	オプション の 550 枚 特殊用紙カ セット	オプションの 2,000 枚カセ ット	多目的 フィーダ	両面 印刷ユ ニット
A4	210 x 297 mm (8.27 x 11.7 インチ)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
A5	148 x 210 mm (5.83 x 8.27 インチ)	✓	✓	✓	X	✓	✓
A6	105 x 148 mm (4.13 x 5.83 インチ)	X	X	✓	X	✓	X
JIS B5	182 x 257 mm (7.17 x 10.1 インチ)	✓	✓	✓	X	✓	✓
レター	215.9 x 279.4 mm (8.5 x 11 インチ)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
リーガル	215.9 x 355.6 mm (8.5 x 14 インチ)	✓	✓	✓	✓	✓	✓

¹ 機種が C734 のプリンタでのみサポートされます。

² 機種が C736 のプリンタでのみサポートされます。

³ このサイズ設定では、ソフトウェアアプリケーションでサイズが指定されていない限り、215.9 x 355.6 mm (8.5 x 14 インチ) の封筒のサイズに設定されます。

用紙サイズ	寸法	標準の 550 枚カセ ット(カセッ ト1)	オプシ ョン の 550 枚 カセッ ト	オプシ ョン の 550 枚 特殊用紙カ セッ ト	オプシ ョン の 2,000 枚カセ ット	多目的 フィー ダ	両面 印刷ユ ニッ ト
エグゼクティブ	184.2 x 266.7 mm (7.25 x 10.5 インチ)	✓	✓	✓	X	✓	✓
Oficio(メキシコ)	215.9 x 340.4 mm (8.5 x 13.4 インチ)	✓	✓	✓	X	✓	✓
フォリオ	215.9 x 330.2 mm (8.5 x 13 インチ)	✓	✓	✓	X	✓	✓
ステートメント	139.7 x 215.9 mm (5.5 x 8.5 インチ)	X	X	✓	X	✓	✓
ユニバーサル メモ: 標準用紙のサイズ に近いユニバーサルサ イズをサポートするに は、サイズ検知をオフに します。	148 x 210 mm ~ 215.9 x 355.6 mm (5.83 x 8.27 インチ ~ 8.5 x 14 インチ)	✓	✓	✓	X	✓	✓
	76.2 x 127 mm(3 x 5 イン チ) ~ 215.9 x 355.6 mm (8.5 x 14 インチ)	X	X	✓	X	✓	X
	76.2 x 127 mm(3 x 5 イン チ) ~ 215.9 x 914.4 mm (8.5 x 36 インチ) ¹	X	X	X	X	✓	X
	76.2 x 127 mm(3 x 5 イン チ) ~ 215.9 x 1219.2 mm (8.5 x 48 インチ) ²	X	X	X	X	✓	X
7 3/4 封筒(Monarch)	98.4 x 190.5 mm (3.875 x 7.5 インチ)	X	X	✓	X	✓	X
9 封筒	98.4 x 226.1 mm (3.875 x 8.9 インチ)	X	X	✓	X	✓	X
Com 10 封筒	104.8 x 241.3 mm (4.12 x 9.5 インチ)	X	X	✓	X	✓	X
DL 封筒	110 x 220 mm (4.33 x 8.66 インチ)	X	X	✓	X	✓	X
C5 封筒	162 x 229 mm (6.38 x 9.01 インチ)	X	X	✓	X	✓	X
B5 封筒	176 x 250 mm (6.93 x 9.84 インチ)	X	X	✓	X	✓	X
その他の封筒 ³	85.7 x 165 mm ~ 215.9 x 355.6 mm (3.375 x 6.50 インチ ~ 8.5 x 14 インチ)	X	X	✓	X	✓	X

¹ 機種が C734 のプリンタでのみサポートされます。

² 機種が C736 のプリンタでのみサポートされます。

³ このサイズ設定では、ソフトウェアアプリケーションでサイズが指定されていない限り、215.9 x 355.6 mm(8.5 x 14 インチ)の封筒のサイズに設定されます。

プリンタでサポートされている用紙のタイプと重さ

プリンタエンジンは、重さが 60 ~ 220g/m² (16 ~ 58 ポンド) の用紙に対応しています。両面印刷ユニットは、重さが 63 ~ 120g/m² (16 ~ 32 ポンド) の用紙に対応しています。

メモ: ラベル、OHP フィルム、封筒、および厚紙の印刷速度は常に遅くなります。

用紙のタイプ	標準の 550 枚カセット(カセット 1)	オプションの 550 枚カセット	オプションの 550 枚特殊用紙カセット	オプションの 2,000 枚カセット	多目的フィード	両面印刷ユニット
用紙 <ul style="list-style-type: none"> • 普通紙 • ボンド紙 • 色付き紙 • ユーザ定義タイプ < x > • レターヘッド紙 • 軽い • 重い • プレプリント紙 • ラフ/コットン紙¹ • 再生紙 	✓	✓	✓	✓	✓	✓
厚紙	✓	✓	✓	X	✓	X
OHP フィルム²	✓	✓	✓	X	✓	X
ラベル³ <ul style="list-style-type: none"> • 用紙 • ビニール 	✓	✓	✓	X	✓	X
光沢紙	✓	✓	✓	✓	✓	✓
封筒⁴	X	X	✓	X	✓	X

¹ このオプションは、両面印刷ユニットではサポートされていません。

² インクジェットまたは 3M CG3710 OHP フィルムは使用しないでください。

³ 用紙ラベルはサポートされています。ビニールなどの他の用紙を使用すると、環境によっては印刷の品質不良が発生する場合があります。また、ビニールラベルを長時間使用するとフューザの寿命が短くなる場合があります。詳細については、Lexmark のホームページ (<http://support.lexmark.com>) から入手可能な『Card Stock & Label Guide』(英語版のみ)を参照してください。

⁴ 封筒は、1 枚ずつテーブルに伏せて置いた場合に、平らになるものを使用してください。

印刷

この章では、印刷、プリンタレポート、ジョブの取り消しについて説明します。用紙および特殊用紙の選択と取り扱いは、印刷の信頼性に影響する場合があります。詳細については、「紙づまりを防ぐ」と「用紙を保管する」を参照してください。

ドキュメントを印刷する

ドキュメントを印刷する

- 1 カセットまたはフィーダに用紙をセットします。
- 2 プリンタの操作パネルの[用紙]メニューから、セットした用紙に応じた用紙サイズ・タイプを設定します。
- 3 次のように印刷ジョブを送信します。

Windows ユーザの場合

- a ドキュメントを開いて、[ファイル] > [印刷]の順にクリックします。
- b [プロパティ]、[設定]、[オプション]、または[セットアップ]をクリックしてから、必要に応じて設定を調整します。
メモ: 特殊なサイズまたはタイプの用紙に印刷するには、セットした用紙に合わせて用紙サイズまたは用紙タイプを調整するか、適切なカセットまたはフィーダを選択します。
- c [OK]をクリックし、さらに[OK]をクリックします。

Macintosh ユーザの場合:

- a [ページ設定]ダイアログで、必要に応じて設定を調整します。
 - 1 ドキュメントを開いて、[ファイル] > [ページ設定]の順に選択します。
 - 2 用紙サイズを選択するか、セットした用紙に合わせてカスタムサイズを作成します。
 - 3 [OK]をクリックします。
- b [プリント]ダイアログで、必要に応じて設定を調整します。
 - 1 ドキュメントを開いて、[ファイル] > [プリント]の順に選択します。
必要に応じて、三角形をクリックしてその他のオプションを表示します。
 - 2 [プリント]ダイアログおよびポップアップメニューで、必要に応じて設定を調整します。
メモ: 特殊なタイプの用紙に印刷するには、セットした用紙に合わせて用紙タイプを調整するか、適切なカセットまたはフィーダを選択します。
 - 3 [プリント]をクリックします。

特殊用紙を印刷する

レターヘッド紙を使用する際のヒント

給紙源または処理	印刷面	用紙方向
<ul style="list-style-type: none"> 標準 550 枚カセット オプションの 550 枚カセット オプションの 2,000 枚カセット オプションの 550 枚特殊用紙カセット 	レターヘッド紙のデザイン面は上に向けます。	ロゴが付いた用紙の上端を、カセットの前面に向けてセットします。
カセットからの両面印刷	レターヘッド紙のデザイン面は下に向けます。	ロゴが付いた用紙の上端を、カセットの背面に向けてセットします。
多目的フィーダ(片面印刷)	レターヘッド紙のデザイン面は下に向けます。	ロゴが付いた用紙の上端を先に多目的フィーダに入れます。
多目的フィーダ(両面印刷)	レターヘッド紙のデザイン面は上に向けます。	ロゴが付いた用紙の上端を後に多目的フィーダに入れます。
メモ: 選択したプレプリントレターヘッド紙をレーザープリンタで使用できるかどうかを判断するには、製造元または販売店に問い合わせてください。		

OHP フィルムを使用する上でのヒント

使用を検討している OHP フィルムを大量に購入する前に、その OHP フィルムにサンプルを印刷してください。

OHP フィルムに印刷する場合

- オプションの 2,000 枚カセット以外のカセットから OHP フィルムを給紙する。
- レーザープリンタ用に設計された OHP フィルムを使用する。メーカーまたはベンダに問い合わせ、OHP フィルムが溶解、退色、ずれ、または有毒ガスの放出を伴わずに 170°C までの温度に耐えられることを確認する。
- 印刷品質に関する問題を防ぐために、OHP フィルムに指紋が付着しないようにする。
- OHP フィルムをセットする前に、フィルムの束をパラパラめくって、くっつかないようにする。
- レターサイズの OHP フィルムには Lexmark 品番 12A8240、A4 サイズの OHP フィルムには Lexmark 品番 12A8241 が推奨される。

封筒を使用する上でのヒント

使用を検討している封筒を大量に購入する前に、その封筒にサンプルを印刷してください。

封筒に印刷する場合

- レーザープリンタ用に設計された封筒を使用する。メーカーまたはベンダに問い合わせ、封筒が封印、しわ、過度のねじれ、または有毒ガスの放出を伴わずに 190°C までの温度に耐えられることを確認する。
- 最適なパフォーマンスを実現するには、90 g/m² の用紙から作られた封筒を使用する。コットン含有率が 25% 以下の場合、105 g/m² までの重量の封筒を使用する。コットン 100% の封筒は重量が 90 g/m² 以下である必要がある。
- 新しい封筒のみ使用する。
- パフォーマンスを最適化し、紙詰りを最小限にするため、以下のような封筒は使用しない。
 - カールやねじれが大きい封筒
 - 封筒同士が張り付いているものや、何らかの損傷のある封筒

- 窓、穴、ミシン目、切り抜き、またはエンボスのある封筒
- 金属製の留め具、ひも、または折れ筋のある封筒
- かみ合わせのデザインのある封筒
- 切手が貼付されている封筒
- 垂れ蓋に封をしたとき、または閉じたときに接着剤がはみ出る封筒
- 角が折れ曲がった封筒
- きめの粗い、しわのある、またはすの目仕上げの封筒
- 幅ガイドを調節して、封筒の幅に合わせる。

メモ: 高い湿度(60%以上)と高い印刷温度が組み合わさると、封筒にしわがよったり封がされたりすることがあります。

ラベルを使用する上でのヒント

使用を検討しているラベルを大量に購入する前に、そのラベルにサンプルを印刷してください。

メモ: 用紙ラベルはサポートされています。ビニールなどの他の用紙を使用すると、環境によっては印刷の品質不良が発生する場合があります。また、ビニールラベルを長時間使用するとフューザの寿命が短くなる場合があります。

ラベルの印刷、特性、デザインの詳細については、Lexmark のホームページ(<http://support.lexmark.com>)から入手可能な『Card Stock & Label Guide』(英語版のみ)を参照してください。

ラベルに印刷する場合

- レーザープリンタ用に設計されたラベルを使用する。メーカーまたはベンダに以下の点を確認する。
 - ラベルが圧着、過度のカール、しわ、または有毒ガスの放出を伴わずに 190°C までの温度に耐えられること。
 - ラベルの接着剤、前面シート(印刷用ストック)、表面コーティングが、剥離、端のにじみ、または有毒ガスの放出を伴わずに 25 psi (172 kPa) の圧力に耐えられること。
- 裏面がつやのある素材でできているラベルは使用しない。
- ラベル用紙全体を使用する。用紙の一部だけを使用すると、印刷時にラベルがはがれ、紙づまりが発生することがあります。また、接着剤でプリンタやカートリッジが汚染され、プリンタやカートリッジの保証対象外となることもあります。
- 接着剤が露出しているラベルは使用しない。
- ラベルの端やミシン目から 1 mm (0.04 インチ) 以内の範囲、またはラベルのダイカットの間には印刷しない。
- 粘着性の背面が用紙の端からはみ出ないようにする。接着剤のゾーンコーティングが、端から少なくとも 1 mm (0.04 インチ) 離れているラベルの使用をお勧めします。接着剤によってプリンタが汚染され、保証対象外となる場合があります。
- 接着剤のゾーンコーティングが不可能な場合は、リーディングエッジとドライバエッジで 1.6 mm (0.06 インチ) の細片を取り除き、にじみ出てこない接着剤を使用する。
- バーコードを印刷する場合は、必ず縦方向に印刷する。

厚紙を使用する上でのヒント

厚紙とは、重量のある 1 層の専用紙です。含水率、厚さ、テクスチャなどのさまざまな特性が印刷品質に大きく影響します。使用を検討している厚紙を大量に購入する前に、その厚紙にサンプルを印刷してください。

厚紙に印刷する場合

- 用紙タイプが厚紙であることを確認します。
- 適切な用紙表面粗さの設定を選択します。

- プレプリント、ミシン目、折り目は、印刷品質に大きな影響を与えることがあり、紙づまりやその他用紙の取扱いに関する問題を引き起こす可能性があることに注意します。
- メーカーまたはベンダに問い合わせて、厚紙が有毒ガスの放出を伴わずに 190°C (374°F) までの温度に耐えられることを確認します。
- プリンタを汚染する可能性のある化学薬品を使用して製造されたプレプリント厚紙は使用しないでください。プレプリントから、半液体または揮発性の成分がプリンタに流れ込んでしまいます。
- 可能な場合は横目の厚紙を使用してください。

コンフィデンシャルジョブおよびその他の保持ジョブを印刷する

プリンタにジョブを保持する

プリンタにジョブを送信するときに、操作パネルでジョブを開始するまでジョブをプリンタのメモリに保持するよう指定することができます。ユーザがプリンタで開始できる印刷ジョブのことを保持ジョブといいます。

メモ: 保持されたジョブを新たに処理するために追加のメモリが必要となる場合、コンフィデンシャル印刷ジョブ、確認印刷ジョブ、予約印刷ジョブおよび繰り返し印刷ジョブが削除されることがあります。

ジョブの種類	説明
コンフィデンシャル	コンフィデンシャル印刷ジョブをプリンタに送信する場合は、コンピュータ上で暗証番号を作成する必要があります。暗証番号は 0 ~ 9 までの数字 4 桁にする必要があります。プリンタの操作パネルで暗証番号を入力してジョブの印刷または削除を選択するまで、ジョブはプリンタのメモリに保持されます。
確認	確認印刷ジョブを送信すると、1 部だけが印刷され、残りの部数はプリンタのメモリに保持されます。確認印刷により、最初に 1 部印刷し、間違いがないかどうかを確認してから残りの部数を印刷できます。すべての部数が印刷されると、ジョブは自動的にプリンタのメモリから削除されます。
予約	予約印刷ジョブを送信しても、すぐには印刷されません。ユーザが後で印刷できるよう、ジョブはメモリに保存されます。[保持されたジョブ]メニューでジョブを削除するまで、ジョブはメモリに格納されます。
繰り返し	繰り返し印刷ジョブを送信すると、ジョブで要求したすべての部数が印刷され、さらに、追加の部数を後で印刷できるようにジョブがメモリに格納されます。ジョブがメモリに格納されている間は、追加の部数を印刷することができます。

コンフィデンシャルジョブおよびその他の保持ジョブを印刷する

メモ: コンフィデンシャルジョブおよび確認印刷ジョブは、印刷後にメモリから自動的に削除されます。繰り返しジョブおよび予約ジョブは、削除を選択するまでプリンタに保持され続けます。

Windows の場合

- 1 ドキュメントを開いて、[ファイル] > [印刷] の順にクリックします。
- 2 [プロパティ]、[設定]、[オプション]、または [セットアップ] をクリックします。
- 3 [その他のオプション] をクリックし、次に [送信して保持] をクリックします。
- 4 ジョブの種類 (コンフィデンシャル、繰り返し、予約、確認) を選択し、ユーザ名を割り当てます。コンフィデンシャルジョブの場合は、4 桁の暗証番号も入力します。
- 5 [OK] または [プリント] をクリックします。ジョブはプリンタの操作パネルから印刷します。

- 6 プリンタ操作パネルで、[保持されたジョブ]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 7 ユーザ名の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 8 ジョブのタイプまたはジョブ名の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
ジョブ名を選択した場合は、70 ページの手順 11 に進みます。
- 9 ジョブタイプを選択した後、キーパッドを使用して PIN を入力します。
無効な暗証番号を入力すると、[無効な暗証番号]画面が表示されます。
 - 暗証番号を再度入力するには、 [再試行]が表示されてから、 を押します。
 - 暗証番号をキャンセルするには、[キャンセル]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 10 印刷するドキュメントの横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 11 印刷する部数の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
メモ: 必要に応じて、キーパッドを使用して部数を入力します。

Macintosh の場合

- 1 ドキュメントを開いて、[ファイル]→[プリント]の順に選択します。
必要に応じて、三角形をクリックしてその他のオプションを表示します。
- 2 印刷オプションまたは[印刷部数と印刷ページ]ポップアップメニューから[ジョブ振分け]を選択します。
- 3 ジョブの種類(コンフィデンシャル、繰り返し、予約、確認)を選択し、ユーザ名を割り当てます。コンフィデンシャルジョブの場合は、4桁の暗証番号も入力します。
- 4 [OK]または[プリント]をクリックします。ジョブはプリンタの操作パネルから印刷します。
- 5 プリンタ操作パネルで、[保持されたジョブ]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 6 ユーザ名の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 7 ジョブのタイプまたはジョブ名の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
ジョブ名を選択した場合は、70 ページの手順 10 に進みます。
- 8 ジョブタイプを選択した後、キーパッドを使用して PIN を入力します。
無効な暗証番号を入力すると、[無効な暗証番号]画面が表示されます。
 - 暗証番号を再度入力するには、 [再試行]が表示されてから、 を押します。
 - 暗証番号をキャンセルするには、[キャンセル]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 9 印刷するドキュメントの横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 10 印刷する部数の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
メモ: 必要に応じて、キーパッドを使用して部数を入力します。

フラッシュドライブから印刷する

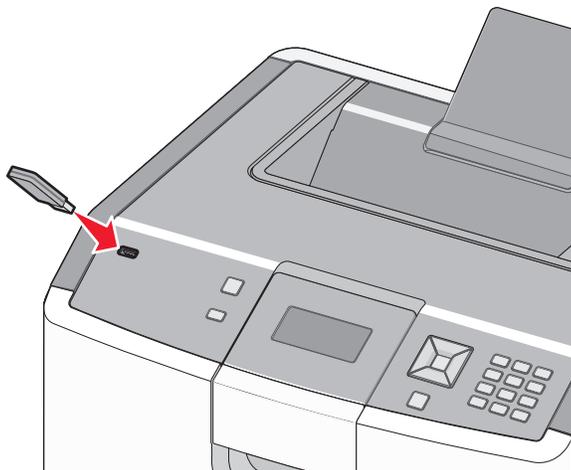
USB ポートはプリンタの操作パネルにあります。サポートされているファイルタイプを印刷する場合は、フラッシュドライブを挿入します。サポートされているファイルタイプは .pdf、.gif、.jpeg、.jpg、.bmp、.png、.tiff、.tif、.pcx、.xps、.dcm です。

メモ:

- ハイスピードフラッシュドライブは、フルスピード USB 規格をサポートしている必要があります。USB ロースピード機能のみに対応しているフラッシュドライブはサポートされていません。
- フラッシュドライブは FAT (File Allocation Table) システムをサポートしている必要があります。NTFS (New Technology File System) または他のファイルシステムでフォーマットされたフラッシュドライブはサポートされていません。
- 暗号化した PDF ファイルを印刷する場合、印刷する前にプリンタの操作パネルでファイルのパスワードを入力してください。
- 印刷の権限がない場合、そのファイルを印刷することはできません。

1 プリンタの電源が入った状態で、「準備完了」と表示されていることを確認します。

2 フラッシュドライブを正面の USB ポートに挿入します。



メモ:

- 紙づまりなどが発生してユーザーがプリンタを操作する必要がある場合にフラッシュドライブを挿入しても、フラッシュドライブは認識されません。
- 他のジョブを印刷中にフラッシュドライブを挿入すると、[プリンタ ビジー]が表示されます。フラッシュドライブから文書を印刷するには、他のジョブが終了したあとに、保持ジョブのリストを表示することが必要な場合があります。

- 印刷するドキュメントの横に が表示されるまで上または下矢印ボタンを押してから、 を押します。

メモ: フラッシュドライブで見つかったフォルダは、フォルダとして表示されます。ファイル名には .jpg などの拡張子が追加されます。

- を押して 1 部印刷します。またはキーパッドを使用して印刷部数を入力してから を押して印刷ジョブを開始します。

メモ: ドキュメントの印刷が終了するまでプリンタからフラッシュドライブを取り外さないでください。

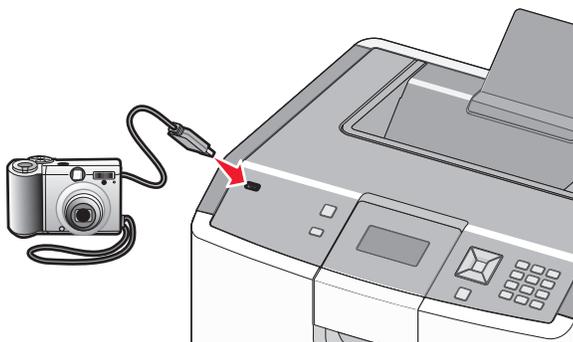
USB 初期メニュー画面を終了した後もフラッシュドライブをプリンタに挿入したままにしておくと、.pdf ファイルをフラッシュドライブから保持ジョブとして印刷できます

PictBridge 対応のデジタルカメラから写真を印刷する

- USB ケーブルの一方の端子をカメラに接続します。

メモ: カメラに付属の USB ケーブルのみを使用してください。

- USB ケーブルのもう一方の端子をプリンタ前面の USB ポートに接続します。



メモ:

- PictBridge 対応のデジタルカメラが適切な USB モードに設定されていることを確認します。詳細についてはカメラの説明書を参照してください。
- PictBridge の接続が成功すると、プリンタのディスプレイに確認メッセージが表示されます。

- カメラに表示される指示に従って、写真を選択し、印刷します。

メモ: カメラが接続されているときにプリンタの電源がオフになった場合は、カメラの接続を外して、再度接続する必要があります。

情報ページを印刷する

フォントのサンプルリストを印刷する

プリンタで現在使用可能なフォントを印刷するには、以下の手順に従います。

- プリンタの電源が入った状態で、「準備完了」と表示されていることを確認します。
- プリンタ操作パネルで  を押します。
- [レポート]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。

- 4 [フォント一覧を印刷]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 5 [PCL フォント]、[PostScript フォント]、または[PPDS フォント]の横に が表示されるまで上または下矢印ボタンを押してから、 を押します。
フォントのサンプルリストの印刷が終了すると、「準備完了」と表示されます。

ディレクトリリストを印刷する

ディレクトリリストには、フラッシュメモリまたはハードディスクに保存されているリソースが表示されます。

- 1 プリンタの電源が入った状態で、「準備完了」と表示されていることを確認します。
 - 2 プリンタ操作パネルで  を押します。
 - 3 [レポート]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
 - 4 [ファイルディレクトリを印刷]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- ディレクトリリストの印刷が終了すると、「準備完了」状態に戻ります。

印刷品質テストページを印刷する

印刷品質に関する問題を特定するには、印刷品質テストページを印刷します。

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 と右矢印ボタンを押しながらプリンタの電源を入れます。
- 3 時計が表示されたらボタンを放し、[構成設定メニュー]が表示されるのを待ちます。
- 4 [印刷品質ページ]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
印刷品質テストページが印刷されます。
- 5 [設定メニュー終了]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
「プリンタのリセット中」と短く表示された後で時計が表示され、次に「準備完了」と表示されます。

印刷ジョブを取り消す

プリンタの操作パネルから印刷ジョブをキャンセルする

ジョブが書式設定中か印刷中の場合は、画面の最初の行に「ジョブを削除」と表示されます。

- 1 [キャンセル]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押します。
ジョブのリストが表示されます。
- 2 キャンセルするジョブの横に が表示されるまで上または下矢印ボタンを押してから、 を押します。

メモ: 印刷ジョブが送信された後でジョブを簡単に取り消すには、 を押します。[停止]画面が表示されます。[ジョブをキャンセル]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。

コンピュータから印刷ジョブをキャンセルする

Windows の場合

- 1 プリンタフォルダを開きます。
 - a  をクリックするか、[スタート] > [ファイル名を指定して実行]の順にクリックします。
 - b [検索開始]または[ファイル名を指定して実行]ボックスに「control printers」と入力します。
 - c **Enter** キーを押すか[OK]をクリックします。
プリンタフォルダが開きます。
- 2 プリンタアイコンをダブルクリックします。
- 3 キャンセルするジョブを選択します。
- 4 キーボードの **Delete** キーを押します。

Windows タスクバーから操作する場合は、以下の手順に従います。

印刷するジョブを送信すると、タスクバーの右下隅に小さなプリンタアイコンが表示されます。

- 1 プリンタアイコンをダブルクリックします。
プリンタウィンドウに印刷ジョブのリストが表示されます。
- 2 キャンセルするジョブを選択します。
- 3 キーボードの **Delete** キーを押します。

Macintosh の場合

Mac OS X 10.5 以降:

- 1 アップルメニューから「システム環境設定」を選択します。
- 2 [プリントとファクス]で、プリンタアイコンをダブルクリックします。
- 3 プリンタウィンドウから、キャンセルするジョブを選択します。
- 4 ウィンドウ上部のアイコンバーから「削除」アイコンをクリックします。

Mac OS X 10.4 以前:

- 1 「移動」メニューで「アプリケーション」を選択します。
- 2 「ユーティリティ」をダブルクリックし、「プリンタ設定ユーティリティ」または「プリントセンター」をダブルクリックします。
- 3 プリンタアイコンをダブルクリックします。
- 4 プリンタウィンドウから、キャンセルするジョブを選択します。
- 5 ウィンドウ上部のアイコンバーから「削除」アイコンをクリックします。

モノクロで印刷する

ブラックトナーカートリッジのみですべてのテキストおよびグラフィックを印刷するには、プリンタを[白黒のみ]に設定します。

メモ: プリンタドライバはこの設定を無視できます。

- 1 プリンタ操作パネルで  を押します。
- 2 [設定]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 3 [印刷品質メニュー]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 4 [印刷モード]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 5 [白黒のみ]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
[選択内容を送信中]と表示されます。

最高印刷速度と最大イールドを使用する

最高印刷速度および最大イールドの設定を使用して、印刷速度を上げるかトナーイールドを高くするかを選択できます。出荷時の標準設定は[最大イールド]です。

- [最高印刷速度] - ドライバで白黒のみが選択されていない限り、カラーモードで印刷します。ドライバで白黒のみの設定が選択されている場合は、白黒モードで印刷します。
- [最大イールド] - 各ページのカラー内容に基づいて、白黒モードとカラーモードを切り替えます。頻繁にカラーモードの切り替えが行われると、ページの内容に白黒とカラーが混在している場合に印刷速度が遅くなる場合があります。

- 1 Web ブラウザのアドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: お使いのプリンタの IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク設定ページを印刷し、TCP/IP セクションに記載されているアドレスを確認してください。

- 2 [設定]をクリックします。
- 3 [印刷設定]をクリックします。
- 4 [セットアップ項目]をクリックします。
- 5 [プリンタ用途]リストから、[最高印刷速度]または[最大イールド]を選択します。
- 6 [送信]をクリックします。

プリンタのメニューについて

メニュー一覧

消耗品	用紙メニュー	レポート	設定
消耗品を交換	標準設定給紙源	メニュー設定印刷	一般設定
シアンカートリッジ	用紙サイズ/タイプ	デバイス統計	セットアップ項目
マゼンタカートリッジ	多目的フィーダ設定	ネットワーク設定	仕上げメニュー
イエローカートリッジ	代替サイズ	ネットワーク<x>設定	印刷品質メニュー
ブラックカートリッジ	用紙表面粗さ	プロファイル一覧	ユーティリティメニュー
シアン感光体	用紙重さ	NetWare 設定ページ	XPS メニュー
マゼンタ感光体	用紙セット方法	フォント一覧を印刷	PDF メニュー
イエロー感光体	ユーザ定義紙タイプ	ファイル外リを印刷	PostScript メニュー
ブラック感光体	グローバル設定	備品レポート	PCL メニュー
廃トナーボックス			HTML メニュー
フューザ			イメージメニュー
転写モジュール			PictBridge メニュー
			フラッシュドライブメニュー

セキュリティ	ネットワーク/ポート	ヘルプ
その他のセキュリティ設定	アクティブ NIC	全て印刷
コンフィデンシャル印刷	標準ネットワーク*	カラー品質
ディスク消去	標準 USB	印刷品質
セキュリティ監査ログ	パラレル<x>	印刷ガイド
日付と時間を設定	シリアル<x>	用紙ガイド
	SMTTP 設定	印刷不良
		メニューマップ
		情報ガイド
		接続ガイド
		移動ガイド
		消耗品ガイド

*プリンタの設定に応じて、このメニュー項目は[標準ネットワーク]、[ワイヤレスネットワーク]、または[ネットワーク<x>]と表示されます。

[消耗品]メニュー

[消耗品]メニュー

メニュー項目	説明
消耗品を交換 すべて シアン感光体 マゼンタ感光体 イエロー感光体 ブラック感光体	交換した感光体ユニット、またはすべての感光体ユニットの消耗品カウンタをリセットするかどうかを指定します。 感光体ユニットを選択してから、[はい]または[いいえ]を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [はい]を選択すると、消耗品カウンタがリセットされます。 • [いいえ]を選択すると、終了します。 メモ: 感光体ユニットを交換する場合は、消耗品カウンタを手動でリセットする必要があります。
シアン、マゼンタ、イエロー、またはブラックカートリッジ 早期警告 残り僅か 無効 交換 未装着または不良 OK サポートされていない	トナーカートリッジの状況を表示します。
シアン、マゼンタ、イエロー、またはブラック感光体 早期警告 残り僅か 交換 入っていません OK	感光体の状況を表示します。
廃トナーボックス ほとんど満杯 交換 入っていません OK	廃トナーボックスの状況を表示します。
フューザ 早期警告 残り僅か 交換 入っていません OK	フューザの状況を表示します。
転写モジュール 早期警告 残り僅か 交換 入っていません OK	転写モジュールの状況を表示します。

[用紙]メニュー

[標準設定給紙源]メニュー

メニュー項目	説明
標準設定給紙源 カセット < x > 多目的フィーダ 手差し用紙 手差し封筒	すべての印刷ジョブに対する標準設定の給紙源を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> メニュー設定に[多目的フィーダ]を表示するには、[用紙]メニューで、[多目的フィーダ設定]を[カセット]に設定する必要があります。 出荷時の標準設定は[カセット 1 (標準カセット)]です。 同じサイズとタイプの用紙を 2 つのカセットにセットし、[用紙サイズ]と[用紙のタイプ]設定をその用紙に一致させると、これらのカセットは自動的にリンクされます。一方のカセットが空になると、リンクされているカセットでジョブが印刷されます。

[用紙サイズ/タイプ]メニュー

メニュー項目	説明
カセット < x > サイズ A4 A5 JIS B5 リーガル レター エグゼクティブ Oficio (メキシコ) フォリオ ユニバーサル	各カセットにセットした用紙のサイズを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 米国の出荷時標準設定は[レター]です。米国以外の出荷時標準設定は[A4]です。 自動サイズ検知機能を備えたカセットの場合は、ハードウェアが検知したサイズのみが表示されます。 同じサイズとタイプの用紙を 2 つのカセットにセットし、[用紙サイズ]と[用紙のタイプ]設定をその用紙に一致させると、これらのカセットは自動的にリンクされます。一方のカセットが空になると、リンクされているカセットでジョブが印刷されます。
カセット < x > タイプ 普通紙 厚紙 OHP フィルム 光沢紙 重く光沢がある ラベル ビニールラベル ボンド紙 レターヘッド紙 プレプリント紙 色付き紙 軽量紙 重量紙 ラフ/コットン紙 再生紙 ユーザ定義タイプ < x >	各カセットにセットした用紙のタイプを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> [カセット 1]の出荷時標準設定は[普通紙]です。その他のカセットの出荷時標準設定は[ユーザー定義種 < x >]です。 ユーザーが定義した名前がある場合は、[ユーザー定義タイプ < x >]に代わってその名前が表示されます。 このメニュー項目を使用して、自動カセットリンクを設定します。
メモ: このメニューには取り付けられているカセットのみが表示されます。	

メニュー項目	説明
<p>多目的フィーダサイズ</p> <p>A4 A5 A6 エグゼクティブ Oficio(メキシコ) フォリオ JIS B5 リーガル レター ステートメント ユニバーサル 7 3/4 封筒 9 封筒 10 封筒 DL 封筒 C5 封筒 B5 封筒 その他の封筒</p>	<p>多目的フィーダにセットした用紙のサイズを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> メニュー項目に[多目的フィーダサイズ]を表示するには、[用紙]メニューで、[多目的フィーダ設定]を[カセット]に設定する必要があります。 米国の出荷時標準設定は[レター]です。米国以外の出荷時標準設定は[A4]です。
<p>多目的フィーダタイプ</p> <p>普通紙 厚紙 OHP フィルム 光沢紙 重く光沢がある ラベル ビニールラベル ボンド紙 封筒 表面の粗い封筒 レターヘッド紙 プレプリント紙 色付き紙 軽量紙 重量紙 ラフ/コットン紙 再生紙 ユーザ定義タイプ < x ></p>	<p>多目的フィーダにセットした用紙のタイプを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> メニュー項目に[多目的フィーダタイプ]を表示するには、[用紙]メニューで、[多目的フィーダ設定]を[カセット]に設定する必要があります。 出荷時の標準設定は[普通紙]です。
<p>メモ: このメニューには取り付けられているカセットのみが表示されます。</p>	

メニュー項目	説明
<p>手差しサイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> A4 A5 A6 JIS B5 レター リーガル エグゼクティブ Oficio(メキシコ) フォリオ ステートメント ユニバーサル 	<p>手差しでセットする用紙のサイズを指定します。</p> <p>メモ: 米国の出荷時標準設定は[レター]です。米国以外の出荷時標準設定は[A4]です。</p>
<p>手差し用紙タイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> 普通紙 厚紙 OHP フィルム 再生紙 光沢紙 重く光沢がある ラベル ビニールラベル ボンド紙 レターヘッド紙 プレプリント紙 色付き紙 軽量紙 重量紙 ラフ/コットン紙 ユーザ定義タイプ < x > 	<p>手差しでセットする用紙のタイプを指定します。</p> <p>メモ: 出荷時の標準設定は[普通紙]です。</p>
<p>手差し封筒サイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> 7 3/4 封筒 9 封筒 10 封筒 C5 封筒 B5 封筒 DL 封筒 その他の封筒 	<p>手差しでセットする封筒のサイズを指定します。</p> <p>メモ: 米国の出荷時標準設定は[10 封筒]です。米国以外の出荷時標準設定は[DL 封筒]です。</p>
<p>手差し封筒タイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> 封筒 表面の粗い封筒 ユーザ定義タイプ < x > 	<p>手差しでセットする封筒のタイプを指定します。</p> <p>メモ: 出荷時の標準設定は[封筒]です。</p>
<p>メモ: このメニューには取り付けられているカセットのみが表示されます。</p>	

[多目的フィーダ設定]メニュー

メニュー項目	説明
多目的フィーダ設定 カセット 手動	<p>多目的フィーダから用紙が選択されるタイミングを設定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[カセット]です。 [カセット]設定では、多目的フィーダが自動給紙源として設定されます。 [手差し]を選択すると、多目的フィーダは手差しの印刷ジョブでのみ使用できます。

[代替サイズ]メニュー

メニュー項目	説明
代替サイズ オフ ステートメント/A5 レター/A4 一覧の全て	<p>要求したサイズの用紙を使用できない場合に代替で使用する用紙のサイズを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[一覧の全て]です。使用可能な代替サイズの用紙がすべて使用されます。 [オフ]に設定した場合は、代替サイズの用紙は使用されません。 代替サイズを設定すると、ジョブの印刷中に「用紙を変更」メッセージが表示されません。

[用紙表面粗さ]メニュー

メニュー項目	説明
普通紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	<p>セットした用紙の相対的な粗さを指定します。</p> <p>メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。</p>
厚紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	<p>セットした厚紙の相対的な粗さを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[普通]です。 この設定は、厚紙がサポートされている場合のみ表示されます。
OHP フィルム粗さ 滑らか 普通 粗い	<p>セットした OHP フィルムの相対的な粗さを指定します。</p> <p>メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。</p>
再生紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	<p>セットした再生紙の相対的な粗さを指定します。</p>
光沢表面 滑らか 普通 粗い	<p>セットした用紙の相対的な粗さを指定します。</p> <p>メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。</p>

メニュー項目	説明
重く光沢がある粗さ 滑らか 普通 粗い	セットした用紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
ラベルの粗さ 滑らか 普通 粗い	セットしたラベルの相対的な粗さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
ビニール ラベル粗さ 滑らか 普通 粗い	セットしたラベルの相対的な粗さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
ボンド紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	セットした用紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[粗い]です。
封筒の粗さ 滑らか 普通 粗い	セットした封筒の相対的な粗さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
表面の粗い封筒の粗さ 滑らか 普通 粗い	セットした封筒の相対的な粗さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[粗い]です。
レターヘッド粗さ 滑らか 普通 粗い	セットした用紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
プレプリント粗さ 滑らか 普通 粗い	セットした用紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
色付き紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	セットした用紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
軽量紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	セットした用紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
重量紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	セットした用紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。

メニュー項目	説明
ラフ紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	セットした用紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[粗い]です。
ユーザー定義<x>粗さ 滑らか 普通 粗い	セットしたユーザー定義の用紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[普通]です。 • この設定は、ユーザー定義のタイプがサポートされている場合のみ表示されます。

[用紙重さ]メニュー

メニュー項目	説明
普通紙の重さ 軽い 普通 重い	セットした用紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
厚紙の重さ 軽い 普通 重い	セットした厚紙の相対的な重さを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[普通]です。 • この設定は、厚紙がサポートされている場合のみ表示されます。
OHP フィルム重さ 軽い 普通 重い	セットした OHP フィルムの相対的な重さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
再生紙の重さ 軽い 普通 重い	セットした再生紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
光沢紙重さ 軽い 普通 重い	セットした光沢紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
重く光沢がある重さ 軽い 普通 重い	セットした光沢紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
ラベルの重さ 軽い 普通 重い	セットしたラベルの相対的な重さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。

メニュー項目	説明
ビニール ラベル重さ 軽い 普通 重い	セットしたラベルの相対的な重さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
ボンド紙の重さ 軽い 普通 重い	セットした用紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[粗い]です。
封筒の重さ 軽い 普通 重い	セットした封筒の相対的な重さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
表面の粗い封筒の重さ 軽い 普通 重い	セットした封筒の相対的な重さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
レターヘッド重さ 軽い 普通 重い	セットした用紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
プレプリント重さ 軽い 普通 重い	セットした用紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
色付き紙の重さ 軽い 普通 重い	セットした用紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
軽量紙の重さ 軽い 普通 重い	セットした用紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
重量紙の重さ 軽い 普通 重い	セットした用紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
ラフ/コットンの重さ 軽い 普通 重い	セットした用紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。

メニュー項目	説明
ユーザ定義 < x > 重さ 軽い 普通 重い	セットしたユーザ定義の用紙の相対的な重さを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[普通]です。 この設定は、ユーザー定義のタイプがサポートされている場合のみ表示されます。

[用紙セット方法]メニュー

メニュー項目	説明
再生紙セット中 両面印刷 オフ	用紙の種類に[再生紙]を指定したすべてのジョブに対して、用紙をセットする方向を決定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オフ]です。
光沢紙 両面印刷 オフ	用紙の種類に[光沢紙]を指定したすべてのジョブに対して、用紙セット方向を決定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オフ]です。
重い光沢紙のセット 両面印刷 オフ	用紙の種類に[重い光沢紙]を指定したすべてのジョブに対して、用紙セット方向を決定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オフ]です。
ボンド紙 両面印刷 オフ	用紙の種類に[ボンド紙]を指定したすべてのジョブに対して、用紙セット方向を決定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オフ]です。
レターヘッドセット中 両面印刷 オフ	用紙の種類に[レターヘッド]を指定したすべてのジョブに対して、用紙セット方向を決定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オフ]です。
プレプリントセット中 両面印刷 オフ	用紙の種類に[プレプリント]を指定したすべてのジョブに対して、用紙セット方向を決定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オフ]です。
色付き紙 両面印刷 オフ	用紙の種類に[色付き紙]を指定したすべてのジョブに対して、用紙セット方向を決定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オフ]です。
軽量紙セット中 両面印刷 オフ	用紙の種類に[軽量紙]を指定したすべてのジョブに対して、用紙セット方向を決定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オフ]です。
重量紙セット中 両面印刷 オフ	用紙の種類に[重量紙]を指定したすべてのジョブに対して、用紙セット方向を決定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オフ]です。
メモ: <ul style="list-style-type: none"> [印刷プロパティ]で片面印刷を選択していない場合、[両面印刷]を選択すると、すべての印刷ジョブが標準設定で両面印刷になります。 [両面印刷]を選択すると、選択した用紙タイプのすべての印刷ジョブ(片面印刷も含む)が両面印刷ユニットに送られます。 	

メニュー項目	説明
ユーザー定義< x > 両面印刷 オフ	用紙の種類に[ユーザー定義 < x >]を指定したすべてのジョブに対して、用紙セット方向を決定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。 [ユーザー定義< x >セット中]は、ユーザー定義のタイプがサポートされている場合のみ選択できます。
メモ: <ul style="list-style-type: none"> [印刷プロパティ]で片面印刷を選択していない場合、[両面印刷]を選択すると、すべての印刷ジョブが標準設定で両面印刷になります。 [両面印刷]を選択すると、選択した用紙タイプのすべての印刷ジョブ(片面印刷も含む)が両面印刷ユニットに送られます。 	

[ユーザー定義タイプ]メニュー

メニュー項目	説明
ユーザー定義タイプ< x > 用紙 厚紙 光沢紙 OHP フィルム ラベル ビニールラベル 封筒	用紙または専用紙を[ユーザー定義タイプ< x >]名、または内蔵 Web サーバや MarkVision™ Professional から作成されたユーザー定義名に関連付けます。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[用紙]です。 選択したカセットやフィーダから印刷する場合は、ユーザー定義の用紙がその給紙源でサポートされている必要があります。
再生紙 用紙 厚紙 光沢紙 OHP フィルム ラベル ビニールラベル 封筒	カセットにセットされている再生紙の種類を指定します。これは、他のメニューの[再生紙]設定にも有効になります。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[用紙]です。 選択したカセットやフィーダから印刷する場合は、ユーザー定義の用紙がその給紙源でサポートされている必要があります。

[グローバル設定]メニュー

以下のメニュー項目を使用して、ユニバーサル用紙の高さおよび幅を指定します。[ユニバーサル用紙のサイズ]はユーザーが定義する用紙のサイズ設定のことです。この設定は、他の用紙サイズ設定とともに表示され、両面印刷や1枚の用紙への複数ページの印刷など、同様のオプションが含まれます。

メニュー項目	説明
測定単位 インチ mm	測定単位を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 米国の出荷時標準設定は[インチ]です。 米国以外の出荷時標準設定は[mm]です。

メニュー項目	説明
ポートレートの横の長さ 3 ~ 8.5 インチ 76 ~ 216 mm	縦長の横の長さを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> この長さが上限を超える場合は、プリンタで使用可能な最大長が使用されます。 米国の出荷時標準設定は[8.5 インチ]です。0.01 インチ間隔で増加できます。 米国以外の出荷時標準設定は[216 mm]です。1 mm 間隔で増加できます。
ポートレートの縦の長さ 3 ~ 14.17 インチ 76 ~ 360 mm	縦長の縦の長さを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> この長さが上限を超える場合は、プリンタで使用可能な最大長が使用されます。 米国の出荷時標準設定は[14 インチ]です。0.01 インチ間隔で増加できます。 米国以外の出荷時標準設定は[356 mm]です。1 mm 間隔で増加できます。
用紙取込み方向 短辺 長辺	用紙の取り込み方向を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[短辺]です。 [長辺]は、カセットでサポートされる最大幅よりも用紙の最大長辺が短い場合のみ表示されます。

[レポート]メニュー

[レポート]メニュー

メニュー項目	説明
メニュー設定印刷	カセットにセットされている用紙、搭載メモリ、総ページカウント、警報設定、時間切れ設定、プリンタ操作パネルの言語、TCP/IP アドレス、消耗品の状況、ネットワーク接続の状況などの情報のレポートを印刷します。 メモ: この項目を選択すると、印刷が開始されます。
デバイス統計	プリンタの統計情報(消耗品情報や印刷したページの詳細など)に関するレポートを印刷します。 メモ: この項目を選択すると、印刷が開始されます。
ネットワーク設定	ネットワークプリンタ設定(TCP/IP アドレス情報など)に関するレポートを印刷します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> このメニュー項目は、ネットワークプリンタ、またはプリントサーバーに接続されているプリンタの場合のみ表示されます。 この項目を選択すると、印刷が開始されます。
ネットワーク< x >設定	ネットワークプリンタ設定(TCP/IP アドレス情報など)に関するレポートを印刷します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> この項目は複数のネットワークオプションが取り付けられている場合のみ選択できます。 このメニュー項目は、ネットワークプリンタ、またはプリントサーバーに接続されているプリンタの場合のみ表示されます。 この項目を選択すると、印刷が開始されます。
プロファイル一覧	プリンタに保存されているプロファイルの一覧を印刷します。 メモ: この項目を選択すると、印刷が開始されます。

メニュー項目	説明
NetWare 設定ページ	ネットワーク設定の NetWare 固有の情報に関するレポートを印刷します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> このメニュー項目は、内蔵プリントサーバが取り付けられている場合にのみ表示されます。 この項目を選択すると、印刷が開始されます。
フォント一覧を印刷 PCL フォント PostScript フォント	現在プリンタに設定されているプリンタ言語で利用できるすべてのフォントに関するレポートを印刷します。 メモ: PCL と PostScript の各エミュレーションの一覧を別々に印刷できます。
ファイルディレクトリを印刷	オプションのフラッシュメモリカードまたはプリンタのハードディスクに保存されているリソースの一覧を印刷します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> [ジョブバッファサイズ]は 100% に設定する必要があります。 オプションのフラッシュメモリまたはプリンタのハードディスクが適切に取り付けられて正常に動作している必要があります。 この項目を選択すると、印刷が開始されます。
備品レポート	シリアル番号や機種名などのプリンタ資産情報を含むレポートを印刷します。 メモ: この項目を選択すると、印刷が開始されます。

[ネットワーク/ポート]メニュー

[アクティブ NIC]メニュー

メニュー項目	説明
アクティブ NIC 自動 <使用可能なネットワークカードのリスト >	メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は「Auto(自動)」です。 このメニュー項目は、オプションのハードディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。

[標準ネットワーク]または[ネットワーク< x >]メニュー

メモ: このメニューにはアクティブなポートのみが表示されます。非アクティブなポートはすべて省略されます。

メニュー項目	説明
PCL SmartSwitch オン オフ	印刷ジョブによって PCL エミュレーションが要求される場合、標準のプリンタ言語に関係なく、プリンタが自動的に PCL エミュレーションに切り替わるように設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オン]です。 [オフ]に設定すると、プリンタは受信データを検査しません。 [PS SmartSwitch]が[オン]に設定されている場合に[オフ]に設定すると、プリンタは PostScript エミュレーションを使用します。[PS SmartSwitch]が[オフ]に設定されている場合、[セットアップ項目]で指定した標準のプリンタ言語を使用します。

メニュー項目	説明
PS SmartSwitch オン オフ	印刷ジョブによって PS エミュレーションが要求される場合、標準のプリンタ言語に関係なく、プリンタが自動的に PS エミュレーションに切り替わるように設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オン]です。 [オフ]に設定すると、プリンタは受信データを検査しません。 [PCL SmartSwitch]が[オン]に設定されている場合に[オフ]に設定すると、プリンタは PCL エミュレーションを使用します。[PCL SmartSwitch]が[オフ]に設定されている場合、[セットアップ項目]で指定した標準のプリンタ言語を使用します。
NPA モード オフ 自動	NPA プロトコルで定義されている規則に従って、双方向通信を行うのに必要な特別な処理を実行するようにプリンタを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[自動]です。 プリンタの操作パネルでこの設定を変更し、メニューを終了すると、プリンタが再起動します。メニュー項目が更新されます。
ネットワークバッファ 自動 3 K ~ <許容最大サイズ>	ネットワーク入力バッファのサイズを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[自動]です。 値は 1 K 単位で変更できます。 設定可能な最大サイズは、プリンタのメモリ容量、他のリンクバッファのサイズ、[リソース保存]が[オン]と[オフ]のどちらに設定されているかによって異なります。 [ネットワークバッファ]の最大サイズを増加させるには、パラレル、シリアル、USB の各バッファを無効にするかサイズを縮小します。 プリンタの操作パネルでこの設定を変更し、メニューを終了すると、プリンタが再起動します。メニュー項目が更新されます。
ジョブバッファ中 オフ オン 自動	印刷前に一時的にジョブをプリンタのハードディスクに保存します。このメニューは、フォーマット済みのディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。 [オン]に設定すると、プリンタのハードディスクにジョブをバッファします。このメニュー項目は、フォーマットされたハードディスクが取り付けられており、そのディスクが正常な場合のみ表示されます。 [自動]に設定すると、他の入力ポートからのデータ処理のためプリンタがビジー状態の場合にのみ印刷ジョブをバッファします。 プリンタの操作パネルでこの設定を変更し、メニューを終了すると、プリンタが再起動します。メニュー項目が更新されます。
Mac バイナリ PS オン オフ 自動	Macintosh バイナリ形式の PostScript 印刷ジョブを処理するようにプリンタを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[自動]です。 [オフ]に設定すると、標準プロトコルを使用して印刷ジョブをフィルタリングします。 [オン]に設定すると、RAW バイナリの PostScript 印刷ジョブを処理します。

メニュー項目	説明
標準ネットワーク設定 レポートまたはネットワークレポート ネットワークカード TCP/IP IPv6 ワイヤレス AppleTalk NetWare LexLink	ネットワーク設定メニューの説明と設定については、以下を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 90 ページの「[ネットワークレポート]メニュー」 • 90 ページの「[ネットワークカード]メニュー」 • 91 ページの「[TCP/IP]メニュー」 • 92 ページの「[IPv6]メニュー」 • 93 ページの「[ワイヤレス]メニュー」 • 93 ページの「[AppleTalk]メニュー」 • 94 ページの「[NetWare]メニュー」 • 94 ページの「[LexLink]メニュー」
ネット< x >設定 レポートまたはネットワークレポート ネットワークカード TCP/IP IPv6 ワイヤレス AppleTalk NetWare LexLink	メモ: [ワイヤレス]メニューは、プリンタがワイヤレスネットワークに接続されている場合のみ表示されます。

[ネットワークレポート]メニュー

このメニューは、[ネットワーク/ポート]メニューから使用できます。

[ネットワーク/ポート] > [標準ネットワーク] または [ネットワーク< x >] > [標準ネットワークセットアップ] または [ネット< x >設定] > [レポート] または [ネットワークレポート]

メニュー項目	説明
設定ページを印刷 NetWare 設定ページを印刷	現在のネットワーク設定に関する情報を含むレポートを印刷します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [設定ページ]には、ネットワークプリンタに関する詳細情報 (TCP/IP アドレス情報など) が含まれます。 • [NetWare 設定ページ]メニュー項目は、NetWare をサポートするモデルでのみ表示され、NetWare 設定に関する情報を表示します。

[ネットワークカード]メニュー

このメニューは、[ネットワーク/ポート]メニューから使用できます。

[ネットワーク/ポート] > [標準ネットワーク] または [ネットワーク< x >] > [標準ネットワーク設定] または [ネットワーク< x >設定] > [ネットワークカード]

メニュー項目	説明
カードの状況を表示 接続済み 切断	ネットワークカードの接続状況を表示できます。

メニュー項目	説明
カード速度を表示	現在アクティブなネットワークカードの速度を表示できます。
ネットワークアドレス UAA LAA	ネットワークアドレスを表示できます
ジョブタイムアウト 0 ~ 225 秒	ネットワークの印刷ジョブをキャンセルするまでにそのジョブの処理にかかる時間(秒)を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は 90 秒です。 設定が[0]の場合、タイムアウトが無効になります。 [1]~[9]の値を選択した場合、[10]が設定として保存されます。
バナーページ オフ オン	プリンタでバナーページを印刷できます。 メモ: 出荷時の標準設定は[オフ]です。

[TCP/IP]メニュー

以下のメニュー項目を使用して、TCP/IP 情報を表示または設定します。

メモ: このメニューは、ネットワーク対応の機種またはプリントサーバーに接続されているプリンタの場合のみ使用できます。

このメニューは、[ネットワーク/ポート]メニューから使用できます。

[ネットワーク/ポート] > [標準ネットワーク]または[ネットワーク< x >] > [標準ネットワークセットアップ]または[ネット< x >設定] > [TCP/IP]

メニュー項目	説明
有効化 オン オフ	TCP/IP を有効にします。 メモ: 出荷時の標準設定は[オン]です。
ホスト名を表示	現在の TCP/IP ホスト名を表示できます。 メモ: これは、内蔵 Web サーバからのみ変更できます。
IP アドレス	現在の TCP/IP アドレスを表示または変更できます。 メモ: IP アドレスを手動で設定すると、[DHCP を有効化]および[自動 IP を有効化]設定はオフに設定されます。また、BOOTP および RARP をサポートするシステムでは[BOOTP を有効化]および[RARP を有効化]がオフに設定されます。
ネットマスク	現在の TCP/IP ネットマスクを表示または変更できます。
ゲートウェイ	現在の TCP/IP ゲートウェイを表示または変更できます。
DHCP を有効化 オン オフ	DHCP アドレスおよびパラメータ割り当て設定を指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オン]です。
RARP を有効化 オン オフ	RARP アドレス割り当て設定を指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オン]です。

メニュー項目	説明
BOOTP を有効化 オン オフ	BOOTP アドレス割り当て設定を指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オン]です。
自動 IP を有効化 はい いいえ	ゼロ構成ネットワーク設定を指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[はい]です。
FTP/FTTP を有効化 はい いいえ	内蔵 FTP サーバを有効にして、FTP によってファイルをプリンタに転送できるようにします。 メモ: 出荷時の標準設定は[はい]です。
HTTP サーバを有効化 はい いいえ	内蔵 Web サーバを有効化します。有効になっている場合、Web ブラウザを使用してリモートからプリンタを監視および管理できます。 メモ: 出荷時の標準設定は[はい]です。
WINS サーバアドレス	現在の WINS サーバアドレスを表示または変更できます。
DDNS を有効化 はい いいえ	現在の DDNS 設定を表示または変更できます。 メモ: 出荷時の標準設定は[はい]です。
mDNS を有効化 はい いいえ	現在の mDNS 設定を表示または変更できます。 メモ: 出荷時の標準設定は[はい]です。
DNS サーバアドレス	現在の DNS サーバアドレスを表示または変更できます。
HTTPS を有効化 はい いいえ	現在の mDNS 設定を表示または変更できます。 メモ: 出荷時の標準設定は[はい]です。

[IPv6]メニュー

以下のメニュー項目を使用して、IPv6 (Internet Protocol version 6) の情報を表示または設定します。

メモ: このメニューは、ネットワーク対応の機種またはプリントサーバーに接続されているプリンタの場合のみ使用できます。

このメニューは、[ネットワーク/ポート]メニューから使用できます。

[ネットワーク/ポート] > [標準ネットワーク]または[ネットワーク <x>] > [標準ネットワークセットアップ]または[ネット <x> 設定] > [IPv6]

メニュー項目	説明
IPv6 を有効化 オン オフ	プリンタの IPv6 を有効にします。 メモ: 出荷時の標準設定は[On(オン)]です。
自動構成設定 オン オフ	ルーターから送信される自動 IPv6 アドレス構成エントリをネットワークアダプタで受信するかどうかを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[On(オン)]です。

メニュー項目	説明
ホスト名を表示 アドレスを表示 ルーター アドレスを表示	現在の設定を表示できます。 メモ: これらの設定は、内蔵 Web サーバからのみ変更できます。
DHCPv6 を有効化 オン オフ	プリンタの DHCPv6 を有効にします。 メモ: 出荷時の標準設定は[On(オン)]です。

[ワイヤレス]メニュー

以下のメニュー項目を使用して、ワイヤレス内部プリントサーバの構成を表示または設定します。

メモ: このメニューは、ワイヤレスネットワークに接続されたモデルでのみ使用できます。

このメニューは、[ネットワーク/ポート]メニューから使用できます。

[ネットワーク/ポート] > [ネットワーク< x >] > [ネット< x >設定] > [ワイヤレス]

メニュー項目	説明
ネットワークモード インフラ アドホック	ネットワークモードを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [インフラ]モードでは、プリンタはアクセスポイントを介してネットワークにアクセスできます。 • 出荷時の標準設定は[アドホック]です。[アドホック]モードでは、ワイヤレスネットワーク接続用のプリンタをネットワークとコンピュータの間に直接構成します。
互換性 802.11n 802.11b/g 802.11b/g/n	ワイヤレスネットワークのワイヤレス標準を指定します。
ネットワークを選択 <使用可能なネットワークのリスト>	プリンタで使用可能なネットワークを選択できます。
信号品質を表示	ワイヤレス接続の品質を表示できます。
セキュリティモードを表示	ワイヤレス接続の暗号化方式を表示できます。[無効]は、ワイヤレスネットワークが暗号化されていないことを示します。

[AppleTalk]メニュー

このメニューは、[ネットワーク/ポート]メニューから使用できます。

[ネットワーク/ポート] > [標準ネットワーク]または[ネットワーク< x >] > [標準ネットワークセットアップ]または[ネット< x >設定] > [AppleTalk]

メニュー項目	説明
有効化 はい いいえ	AppleTalk サポートを有効化します。 メモ: 出荷時の標準設定は[はい]です。

メニュー項目	説明
名前を表示	割り当てられた AppleTalk 名を表示します。 メモ: 名前は、内蔵 Web サーバからのみ変更できます。
アドレスを表示	割り当てられた AppleTalk アドレスを表示します。 メモ: アドレスは、内蔵 Web サーバからのみ変更できます。
ゾーンを設定 ＜ネットワークで使用可能なゾーンの一覧＞	ネットワークで使用可能な AppleTalk ゾーンの一覧を指定します。 メモ: 標準設定は、ネットワークの標準ゾーンです。標準ゾーンが存在しない場合は、「*」マークの付いたゾーンが標準設定です。

[NetWare]メニュー

このメニューは、[ネットワーク/ポート]メニューから使用できます。

[ネットワーク/ポート] > [標準ネットワーク]または[ネットワーク< x >] > [標準ネットワークセットアップ]または[ネット< x >設定] > [NetWare]

メニュー項目	説明
有効化 はい いいえ	NetWare サポートを有効化します。 メモ: 出荷時の標準設定は[いいえ]です。
ログイン名を表示	割り当てられた NetWare ログイン名を表示できます。 メモ: これは、内蔵 Web サーバからのみ変更できます。
印刷モード	割り当てられた NetWare 印刷モードを表示できます。 メモ: これは、内蔵 Web サーバからのみ変更できます。
ネットワーク番号	割り当てられた NetWare ネットワーク番号を表示できます。 メモ: これは、内蔵 Web サーバからのみ変更できます。
SAP フレームを選択 Ethernet 802.2 Ethernet 802.3 Ethernet Type II Ethernet SNAP	Ethernet フレームタイプ設定を有効化します。 メモ: すべてのメニュー項目で、出荷時の標準設定は[オン]です。
パケットバースト はい いいえ	NetWare サーバに対して複数のデータパケットの転送および応答を可能にすることで、ネットワークのトラフィックを軽減します。 メモ: 出荷時の標準設定は[はい]です。
NSQ/GSQ モード はい いいえ	NSQ/GSQ モード設定を指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[はい]です。

[LexLink]メニュー

このメニューは、[ネットワーク/ポート]メニューから使用できます。

[ネットワーク/ポート] > [標準ネットワーク]または[ネットワーク< x >] > [標準ネットワークセットアップ]または[ネット< x >設定] > [LexLink]

メニュー項目	説明
有効化 オン オフ	LexLink サポートを有効化します。 メモ: 出荷時の標準設定は「Off(オフ)」です。
ニックネームを表示	割り当てられた LexLink ニックネームを表示できます。 メモ: LexLink ニックネームは、内蔵 Web サーバからのみ変更できます。

標準 USB メニュー

メニュー項目	説明
PCL SmartSwitch オン オフ	USB ポート経由で受信した印刷ジョブによって PCL エミュレーションが要求される場合、標準のプリンタ言語に関係なく、プリンタが自動的に PCL エミュレーションに切り替わるように設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オン]です。 [オフ]に設定すると、プリンタは受信データを検査しません。 [PS SmartSwitch]が[オン]に設定されている場合に[オフ]に設定すると、プリンタは PostScript エミュレーションを使用します。[PS SmartSwitch]が[オフ]に設定されている場合、[セットアップ項目]で指定した標準のプリンタ言語を使用します。
PS SmartSwitch オン オフ	USB ポート経由で受信した印刷ジョブによって PS エミュレーションが要求される場合、標準のプリンタ言語に関係なく、プリンタが自動的に PS エミュレーションに切り替わるように設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オン]です。 [オフ]に設定すると、プリンタは受信データを検査しません。 [PCL SmartSwitch]が[オン]に設定されている場合に[オフ]に設定すると、プリンタは PCL エミュレーションを使用します。[PCL SmartSwitch]が[オフ]に設定されている場合、[セットアップ項目]で指定した標準のプリンタ言語を使用します。
NPA モード オン オフ 自動	NPA プロトコルで定義されている規則に従って、双方向通信を行うのに必要な特別な処理を実行するようにプリンタを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[自動]です。 プリンタの操作パネルでこの設定を変更し、メニューを終了すると、プリンタが再起動します。メニュー項目が更新されます。
USB バッファ 無効 自動 3k ~ <許容最大サイズ>	USB 入力バッファのサイズを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[自動]です。 [無効]に設定すると、ジョブバッファがオフになります。既にディスクにバッファ済みのジョブは、通常の処理が再開される前に印刷されます。 USB バッファサイズの値は、1 K 単位で変更できます。 設定可能な最大サイズは、プリンタのメモリ容量、他のリンクバッファのサイズ、[リソース保存]が[オン]と[オフ]のどちらに設定されているかによって異なります。 [USB バッファ]の最大サイズを増加させるには、パラレル、シリアル、ネットワークの各バッファを無効にするかサイズを縮小します。 プリンタの操作パネルでこの設定を変更し、メニューを終了すると、プリンタが再起動します。メニュー項目が更新されます。

メニュー項目	説明
ジョブバッファ中 オフ オン 自動	印刷前に一時的にジョブをプリンタのハードディスクに保存します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。 [オン]に設定すると、プリンタのハードディスクにジョブをバッファします。 [自動]に設定すると、他の入力ポートからのデータ処理のためプリンタがビジー状態の場合にのみ印刷ジョブをバッファします。 プリンタの操作パネルでこの設定を変更し、メニューを終了すると、プリンタが再起動します。メニュー項目が更新されます。
Mac バイナリ PS オン オフ 自動	Macintosh バイナリ形式の PostScript 印刷ジョブを処理するようにプリンタを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[自動]です。 [オフ]に設定すると、標準プロトコルを使用して印刷ジョブをフィルタリングします。 [オン]に設定すると、RAW バイナリの PostScript 印刷ジョブを処理します。
ENA アドレス	USB ケーブルを使用してプリンタに接続されている外付けプリントサーバのネットワークアドレス情報を設定します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタが USB ポート経由で外付けプリントサーバに接続されている場合にのみ使用できます。
ENA ネットマスク	USB ケーブルを使用してプリンタに接続されている外付けプリントサーバのネットマスク情報を設定します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタが USB ポート経由で外付けプリントサーバに接続されている場合にのみ使用できます。
ENA ゲートウェイ	USB ケーブルを使用してプリンタに接続されている外付けプリントサーバのゲートウェイ情報を設定します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタが USB ポート経由で外付けプリントサーバに接続されている場合にのみ使用できます。

[パラレル< x >]メニュー

メニュー項目	説明
PCL SmartSwitch オン オフ	シリアルポート経由で受信した印刷ジョブによって PCL エミュレーションが要求される場合、標準のプリンタ言語に関係なく、プリンタが自動的に PCL エミュレーションに切り替わるように設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オン]です。 [オフ]に設定すると、プリンタは受信データを検査しません。 [PS SmartSwitch]が[オン]に設定されている場合に[オフ]に設定すると、プリンタは PostScript エミュレーションを使用します。[PS SmartSwitch]が[オフ]に設定されている場合、[セットアップ項目]で指定した標準のプリンタ言語を使用します。

メニュー項目	説明
PS SmartSwitch オン オフ	シリアルポート経由で受信した印刷ジョブによって PS エミュレーションが要求される場合、標準のプリンタ言語に関係なく、プリンタが自動的に PS エミュレーションに切り替わるように設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オン]です。 [オフ]に設定すると、プリンタは受信データを検査しません。 [PCL SmartSwitch]が[オン]に設定されている場合に[オフ]に設定すると、プリンタは PCL エミュレーションを使用します。[PCL SmartSwitch]が[オフ]に設定されている場合、[セットアップ項目]で指定した標準のプリンタ言語を使用します。
NPA モード オン オフ 自動	NPA プロトコルで定義されている規則に従って、双方向通信を行うのに必要な特別な処理を実行するようにプリンタを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は「自動」です。 プリンタの操作パネルでこの設定を変更し、メニューを終了すると、プリンタが再起動します。メニュー項目が更新されます。
パラレルバッファ 無効 自動 3 k ~ <許容最大サイズ>	パラレル入力バッファのサイズを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は「自動」です。 [無効]に設定すると、ジョブバッファがオフになります。既にディスクにバッファ済みのジョブは、通常の処理が再開される前に印刷されます。 パラレルバッファサイズの設定は、1 k 単位で変更できます。 設定可能な最大サイズは、プリンタのメモリ容量、他のリンクバッファのサイズ、[リソース保存]が[オン]と[オフ]のどちらに設定されているかによって異なります。 [パラレルバッファ]の最大サイズを増加させるには、USB、シリアル、ネットワークの各バッファを無効にするかサイズを縮小します。 プリンタの操作パネルでこの設定を変更し、メニューを終了すると、プリンタが再起動します。メニュー項目が更新されます。
ジョブのバッファ オフ オン 自動	印刷前に一時的にジョブをプリンタのハードディスクに保存します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。 [オフ]設定では、プリンタのハードディスクに印刷ジョブをバッファしません。 [オン]に設定すると、プリンタのハードディスクにジョブをバッファします。 [自動]に設定すると、他の入力ポートからのデータ処理のためプリンタがビジー状態の場合にのみ印刷ジョブをバッファします。 プリンタの操作パネルでこの設定を変更し、メニューを終了すると、プリンタが再起動します。メニュー項目が更新されます。
詳細状況 オン オフ	パラレルポート経由の双方向通信を有効にします。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オン]です。 [オフ]に設定すると、パラレルポートネゴシエーションが無効になります。

メニュー項目	説明
パラレルプロトコル 標準 Fastbytes	パラレルポートプロトコルを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[Fastbytes]です。これは既存の多くのパラレルポートとの互換性を保つ推奨設定です。 [標準]に設定すると、パラレルポート通信の問題解決を試行します。
初期化の受け付け オン オフ	コンピュータからのプリンタハードウェアの初期化要求を受け入れるかどうかを決定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。 コンピュータは、パラレルポートから初期化信号を送信することによって初期化を要求します。多くのパーソナルコンピュータは、コンピュータの電源を入れるたびに初期化信号を送信します。
パラレルモード 2 オン オフ	パラレルポートのデータをストロブのリーディングエッジまたはトレーリングエッジでサンプリングするかどうかを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オン]です。
Mac バイナリ PS オン オフ 自動	Macintosh バイナリ形式の PostScript 印刷ジョブを処理するようにプリンタを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は「自動」です。 [オフ]に設定すると、標準プロトコルを使用して印刷ジョブをフィルタリングします。 [オン]に設定すると、RAW バイナリの PostScript 印刷ジョブを処理します。
ENA アドレス <XXX>.<XXX>.<XXX>.<XXX>	USB ケーブルを使用してプリンタに接続されている外付けプリントサーバのネットワークアドレス情報を設定します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタが USB ポート経由で外付けプリントサーバに接続されている場合にのみ使用できます。
ENA ネットマスク <XXX>.<XXX>.<XXX>.<XXX>	USB ケーブルを使用してプリンタに接続されている外付けプリントサーバのネットマスク情報を設定します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタが USB ポート経由で外付けプリントサーバに接続されている場合にのみ使用できます。
ENA ゲートウェイ <XXX>.<XXX>.<XXX>.<XXX>	USB ケーブルを使用してプリンタに接続されている外付けプリントサーバのゲートウェイ情報を設定します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタが USB ポート経由で外付けプリントサーバに接続されている場合にのみ使用できます。

[シリアル< x >]メニュー

メニュー項目	説明
PCL SmartSwitch オン オフ	<p>シリアルポート経由で受信した印刷ジョブによって PCL エミュレーションが要求される場合、標準のプリンタ言語に関係なく、プリンタが自動的に PCL エミュレーションに切り替わるように設定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オン]です。 [オフ]に設定すると、プリンタは受信データを検査しません。 [PS SmartSwitch]が[オン]に設定されている場合に[オフ]に設定すると、プリンタは PostScript エミュレーションを使用します。[PS SmartSwitch]が[オフ]に設定されている場合、[セットアップ項目]で指定した標準のプリンタ言語を使用します。
PS SmartSwitch オン オフ	<p>シリアルポート経由で受信した印刷ジョブによって PS エミュレーションが要求される場合、標準のプリンタ言語に関係なく、プリンタが自動的に PS エミュレーションに切り替わるように設定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オン]です。 [オフ]に設定すると、プリンタは受信データを検査しません。 [PCL SmartSwitch]が[オン]に設定されている場合に[オフ]に設定すると、プリンタは PCL エミュレーションを使用します。[PCL SmartSwitch]が[オフ]に設定されている場合、[セットアップ項目]で指定した標準のプリンタ言語を使用します。
NPA モード オン オフ 自動	<p>NPA プロトコルで定義されている規則に従って、双方向通信を行うのに必要な特別な処理を実行するようにプリンタを設定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[自動]です。 [オン]に設定すると、プリンタは NPA 処理を実行します。データが NPA 形式でない場合、不良データとして拒否されます。 [オフ]に設定すると、プリンタは NPA 処理を実行しません。 [自動]に設定すると、プリンタはデータを検査して形式を特定し、それによってデータを処理します。 操作パネルでこの設定を変更し、メニューを終了すると、プリンタが再起動します。メニュー項目が更新されます。
シリアルバッファ 無効 自動 3 k ~ < 許容最大サイズ >	<p>シリアル入力バッファのサイズを設定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[自動]です。 [無効]に設定すると、ジョブバッファがオフになります。既にディスクにバッファ済みのジョブは、通常の処理が再開される前に印刷されます。 シリアルバッファサイズの設定は、1 k 単位で変更できます。 設定可能な最大サイズは、プリンタのメモリ容量、他のリンクバッファのサイズ、[リソース保存]が[オン]と[オフ]のどちらに設定されているかによって異なります。 [シリアルバッファ]の最大サイズを増加させるには、パラレル、シリアル、ネットワークの各バッファを無効にするかサイズを縮小します。 操作パネルでこの設定を変更し、メニューを終了すると、プリンタが再起動します。メニュー項目が更新されます。

メニュー項目	説明
ジョブのバッファ オフ オン 自動	印刷前に一時的にジョブをプリンタのハードディスクに保存します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。 [オフ]設定では、ハードディスクに印刷ジョブをバッファしません。 [オン]に設定すると、プリンタのハードディスクにジョブをバッファします。 [自動]に設定すると、他の入力ポートからのデータ処理のためプリンタがビジー状態の場合にのみ印刷ジョブをバッファします。 操作パネルでこの設定を変更し、メニューを終了すると、プリンタが再起動します。メニュー項目が更新されます。
シリアルプロトコル DTR DTR/DSR XON/XOFF XON/XOFF/DTR XONXOFF/DTRDSR	シリアルポートで使用するハードウェアおよびソフトウェアのハンドシェイク設定を選択します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[DTR]です。 [DTR/DSR]は、ハードウェアのハンドシェイク設定です。 [XON/XOFF]は、ソフトウェアのハンドシェイク設定です。 [XON/XOFF/DTR]および[XON/XOFF/DTR/DSR]は、ハードウェアとソフトウェアを組み合わせたハンドシェイク設定です。
ロバスト XON オン オフ	コンピュータにプリンタが使用可能であることを通知するかどうかを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。 このメニュー項目は、シリアルプロトコルが[XON/XOFF]に設定されているシリアルポートにのみ適用されます。
ボー 1200 2400 4800 9600 19200 38400 57600 115200 138200 172800 230400 345600	シリアルポート経由で受信するデータの伝送速度を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[9600]です。 ボーレート[138200]、[172800]、[230400]、[345600]は[標準シリアル]メニューにのみ表示されます。これらの設定は、[シリアルオプション 1]、[シリアルオプション 2]、[シリアルオプション 3]の各メニューでは表示されません。
データビット 7 8	各伝送フレームで送信されるデータのビット数を指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[8]です。
パリティ 偶数 奇数 なし 無視	シリアル入力およびシリアル出力のデータフレームのパリティを設定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[なし]です。

メニュー項目	説明
DSR 使用 オン オフ	プリンタで DSR 信号を使用するかどうかを指定します。DSR はほとんどのシリアルケーブルで使用されるハンドシェイク信号です。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。 シリアルポートでは、DSR を使用して、コンピュータから送信されたデータとシリアルケーブルで発生した電氣的ノイズを区別します。電氣的ノイズによって、不要な文字が印刷されることがあります。[オン]を選択すると、不要な文字が印刷されません。

[SMTP 設定]メニュー

以下のメニューを使用して SMTP サーバを設定します。

メニュー項目	説明
SMTP ゲートウェイ(一次) SMTP ゲートウェイポート(一次) SMTP ゲートウェイ(二次) SMTP ゲートウェイポート(二次)	SMTP サーバのポート情報を指定します メモ: 標準設定の SMTP ゲートウェイポートは 25 です。範囲は 1 ~ 65536 です。
SMTP タイムアウト 5 ~ 30	サーバが E メールを送信を停止するまでの時間(秒)を指定します メモ: 出荷時の標準設定は「30 秒」です。
返信アドレス	プリンタが E メールを送信する返信アドレスを最大 128 文字で指定します
SSL を使用 無効 交渉 必須	SMTP サーバに接続したときのセキュリティを高めるために SSL を使用するようプリンタを設定します メモ: <ul style="list-style-type: none"> [無効]は[SSL を使用]の出荷時標準設定です。 [交渉]設定を使用すると、SSL を使用するかどうかを SMTP サーバ が判断します。
SMTP サーバの認証 認証不要 ログイン/プレーン CRAM-MD5 Digest-MD5 NTLM Kerberos 5	必要なユーザ認証タイプを指定します メモ: 出荷時標準設定は[認証不要]です。
デバイスから送信される E メール なし デバイスの SMTP 証明書を使用 デバイスユーザ ID デバイスパスワード Kerberos 5 レルム NTLM ドメイン	SMTP サーバへの接続時に使用する資格証明書を指定します。SMTP サーバによっては、E メールを送信するのに資格証明書が必要となる場合があります。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> [デバイスから送信される E メール]には工場出荷時設定はありません。 [デバイスユーザ ID]と[デバイスパスワード]は、[デバイスの SMTP 証明書を使用]が選択されている場合に SMTP サーバへのログインに使用します。

[セキュリティ]メニュー

その他のメニュー

メニュー項目	説明
ログイン制限 ログイン失敗 1 ~ 10(3 回) 失敗時間枠 1 ~ 60(5 分) ロックアウト時間 1 ~ 60(5 分) パネルログインタイムアウト 1 ~ 900(3 秒) リモートログインタイムアウト 1 ~ 120(10 分)	プリンタ操作パネルでログインの失敗を許可する回数と時間枠を制限(この制限を超えるとすべてのユーザがロックアウトされる) メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [ログイン失敗]には、ログインの失敗を許可する回数を指定します(これを超えるとユーザはロックアウトされる)。出荷時標準設定での試行回数は 3 回です。 • [失敗時間枠]には、ログインの失敗を許可する時間枠を指定します(これを超えるとユーザはロックアウトされる)。出荷時の標準設定は 5 分です。 • [ロックアウト時間]には、ログインの失敗の制限を超えた後にユーザがロックアウトされる時間を指定します。出荷時の標準設定は 5 分です。 • [パネルログインタイムアウト]には、ホーム画面上でプリンタの待機状態がどのくらい継続するとユーザが自動的にログオフされるかを指定します。出荷時の標準設定は 3 秒です。 • [リモートログインタイムアウト]には、リモートインターフェイス(Web ページなど)の待機状態がどのくらい継続するとユーザが自動的にログオフされるかを指定します。出荷時の標準設定は 10 分です。
ドライブを有効化 有効化 無効化	正面の USB ポートを有効化または無効化します。 メモ: 出荷時の標準設定は[有効化]です。

[コンフィデンシャル印刷]メニュー

メニュー項目	説明
無効暗証番号許容回数 オフ 2 ~ 10	無効な暗証番号を入力できる回数を制限します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 標準設定は[オフ]です。 • このメニュー項目は、プリンタにハードディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。 • 制限回数に達すると、そのユーザ名と暗証番号のジョブは削除されます。
ジョブ期限切れ オフ 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	コンフィデンシャルジョブが削除されるまでにプリンタ内に残る時間を制限します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 標準設定は[オフ]です。 • コンフィデンシャルジョブがプリンタの RAM またはプリンタのハードディスク上にある間に[ジョブ期限切れ]設定が変更された場合、これらの印刷ジョブの有効期限は新しい標準設定値に変更されません。 • プリンタの電源をオフにすると、プリンタの RAM 内にあるコンフィデンシャルジョブはすべて削除されます。

[ディスク消去]メニュー

メニュー項目	説明
消去モード オフ 自動 手差し	ディスク消去は、プリンタハードディスクからファイルシステムによって現在使用されていない印刷ジョブデータのみを消去します。ダウンロードしたフォント、マクロ、保持ジョブなど、プリンタハードディスク上の永久的なデータはすべて保持されます。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> このメニュー項目は、フォーマット済みの不具合のないプリンタハードディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。 出荷時の標準設定は[オフ]です。 自動消去には大量のリソースが必要となるため、このオプションを有効化すると、プリンタがハードディスク領域を消去してサービスに戻すよりも速い速度でこれらの領域を必要とする場合、プリンタのパフォーマンスが低下する可能性があります。
手動消去 今すぐ開始 開始しない	ディスク消去は、プリンタハードディスクからファイルシステムによって現在使用されていない印刷ジョブデータのみを消去します。ダウンロードしたフォント、マクロ、保持ジョブなど、プリンタハードディスク上の永久的なデータはすべて保持されます。 手動消去は、処理された(印刷された)印刷ジョブのデータを保持するために使用していたディスク領域をすべて上書きします。このタイプの消去は、未処理の印刷ジョブに関連する情報を消去しません。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> このメニュー項目は、フォーマット済みの不具合のないプリンタハードディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。 標準設定は[開始しない]です。 ディスク消去のアクセス制御が有効化されている場合、ユーザは認証を受けて、ディスク消去を開始するために必要な承認を与えられる必要があります。
自動消去の方法 1回のパス 複数回のパス	ディスク消去は、プリンタハードディスクからファイルシステムによって現在使用されていない印刷ジョブデータのみを消去します。ダウンロードしたフォント、マクロ、保持ジョブなど、プリンタハードディスク上の永久的なデータはすべて保持されます。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> このメニュー項目は、フォーマット済みの不具合のないプリンタハードディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。 標準設定は[1回のパス]です。 機密性の高い情報は、複数回のパス方法のみを使用して消去してください。
手動消去の方法 1回のパス 複数回のパス	ディスク消去は、プリンタハードディスクからファイルシステムによって現在使用されていない印刷ジョブデータのみを消去します。ダウンロードしたフォント、マクロ、保持ジョブなど、プリンタハードディスク上の永久的なデータはすべて保持されます。 手動消去とスケジュールされた消去では、ファイルシステムはマークされたディスク領域を消去することなく再利用できます。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> このメニュー項目は、フォーマット済みの不具合のないプリンタハードディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。 標準設定は[1回のパス]です。 機密性の高い情報は、複数回のパス方法のみを使用して消去してください。

メニュー項目	説明
スケジュールされた消去の方法 1 回のパス 複数回のパス	ディスク消去は、プリンタハードディスクからファイルシステムによって現在使用されていない印刷ジョブデータのみを消去します。ダウンロードしたフォント、マクロ、保持ジョブなど、プリンタハードディスク上の永久的なデータはすべて保持されます。 手動消去とスケジュールされた消去では、ファイルシステムはマークされたディスク領域を消去することなく再利用できます。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> このメニュー項目は、フォーマット済みの不具合のないプリンタハードディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。 標準設定は[1 回のパス]です。 機密性の高い情報は、複数回のパス方法のみを使用して消去してください。 スケジュールされた消去は、ユーザに警告または確認メッセージを表示せずに開始されます。

[セキュリティ監査ログ]メニュー

メニュー項目	説明
ログをエクスポート	承認されたユーザはセキュリティログをエクスポートできます。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> プリンタの操作パネルからログをエクスポートするには、プリンタにフラッシュドライブが取り付けられている必要があります。 内蔵 Web サーバから、コンピュータにログをダウンロードできます。
ログを削除 今すぐ削除 削除しない	監査ログを削除するかどうかを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[今すぐ削除]です。
ログを構成 監査を有効化 はい いいえ リモート Syslog を有効化 はい いいえ リモート Syslog 機能 0 ~ 23 ログ記録するイベントの重大度 0 ~ 7	監査ログの作成方法を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> [監査を有効化]では、イベントをセキュリティ監査ログおよびリモート Syslog に記録するかどうかを指定します。出荷時の標準設定は[いいえ]です。 [リモート Syslog を有効化]は、ログがリモートサーバに送信されているかどうかを指定します。出荷時の標準設定は[いいえ]です。 [リモート Syslog 機能]は、リモート Syslog サーバにログを送信するために使用する値を指定します。出荷時の標準設定は[4]です。 セキュリティ監査ログを有効にすると、各イベントの重要度の値が記録されます。出荷時の標準設定は[4]です。

[日付と時間を設定]メニュー

メニュー項目	説明
日時を表示	プリンタの現在の日時設定を表示できます。
日付と時間を設定 <日時を入力>	メモ: 日時は YYYY-MM-DD HH:MM 形式で設定されます。
Time Zone (時間帯) <時間帯のリスト>	メモ: 出荷時の標準設定は[GMT]です。

メニュー項目	説明
DST を順守 オン オフ	メモ: 出荷時の標準設定は[オン]で、時間帯設定に関連付けられている夏時間を使用します。
NTP を有効化 オン オフ	ネットワーク上のデバイスの時計を同期する、ネットワークタイムプロトコルを有効化します。 メモ: 出荷時の標準設定は[On(オン)]です。

[設定]メニュー

[一般設定]メニュー

メニュー項目	説明
表示言語 英語 フランス語 ドイツ語 イタリア語 スペイン語 デンマーク語 ノルウェー語 オランダ語 スウェーデン語 ポルトガル語 フィンランド語 ロシア語 ポーランド語 マジャール語 トルコ語 チェコ語 簡体中国語 繁体中国語 韓国語 日本語	画面に表示されるテキストの言語を設定します。 メモ: すべてのプリンタですべての言語が表示されるわけではありません。
エコモード オフ 電力 電力/用紙 用紙	電力、用紙、または専用紙の使用を最小限に抑えます メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[オフ]です。[オフ]にすると、出荷時の標準設定にリセットされます。 • [電力]設定では、プリンタによる電力の使用量が最小限に抑えられます。パフォーマンスが低下することがありますが、印刷品質には影響しません。 • [用紙]に設定すると、印刷時の用紙および専用紙の使用量が最小限に抑えられます。パフォーマンスが低下することがありますが、印刷品質には影響しません。 • [電力/用紙]では、電力および用紙や専用紙の使用量が最小限に抑えられます。

メニュー項目	説明
静音モード オフ(イメージ/写真) オン(文字/グラフィック)	プリンタの動作音を抑えます メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。この設定では、プリンタの仕様通りのパフォーマンスになります。 [オン]にすると、プリンタの動作音が最小限に抑えられます。この設定は、テキストと線画を印刷する際に最適です。 色彩を多用したドキュメントの印刷を最適化するには、静音モードを[オフ]にします。 ドライバで[写真]を選択すると、静音モードが無効になり、印刷品質を優先して、最大速度で印刷します。
初期セットアップの実行 はい いいえ	プリンタでセットアップウィザードを実行します メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[はい]です。 国の選択画面で[終了]を選択してセットアップウィザードを完了すると、標準設定が[いいえ]になります。
用紙サイズ 米国 メートル法	メモ: <ul style="list-style-type: none"> 初期設定は、初期セットアップウィザードで選択した国によって決まります。 この設定を変更すると、[グローバル設定]メニューの[単位]設定および[用紙サイズ/タイプ]メニューの各給紙源の出荷時の標準設定も変更されます。
警報 アラーム音設定 カートリッジアラーム	プリンタがユーザの操作を要求する場合に警報を鳴らします。 各アラームで使用できる設定は以下のとおりです。 オフ 1 回 連続 メモ: <ul style="list-style-type: none"> [アラーム音設定]の出荷時標準設定は[1 回]です。[1 回]では、短いビープ音が 3 回鳴ります。 [カートリッジアラーム]の出荷時の標準設定は[オフ]です。[オフ]では警報が鳴りません。 [連続]では、3 回のビープ音を 10 秒ごとに繰り返します。
時間切れ 節電 1 ~ 240	プリンタがジョブの印刷後に省電力状態になるまでの待機時間を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は 30 分です。 設定を低くすると消費電力を節約できますが、ウォームアップ時間が長くなる場合があります。 室内照明と電気回路を共有している場合や、室内照明のちらつきがある場合は、最も低い設定を選択します。 プリンタを常時使用する場合は、高い設定を選択します。これによりほとんどの場合、最も短いウォームアップ時間で印刷できるようになります。
時間切れ 画面タイムアウト 15 ~ 300	プリンタの表示が「準備完了」状態に戻るまでの待機時間(秒)を設定します。 メモ: 出荷時の標準設定は 30 秒です。

メニュー項目	説明
時間切れ 印刷時間切れ 無効 1 ~ 255	残りの印刷ジョブをキャンセルするまでに、プリンタがジョブ終了メッセージの受信を待つ時間(秒)を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は 90 秒です。 時間切れになった場合、プリンタはプリンタ内に残っている一部印刷済みのページをすべて印刷したあと、新しい印刷ジョブが待機しているかどうかを確認します。 [印刷時間切れ]は、PCL エミュレーションを使用している場合のみ設定できます。この設定は、PostScript エミュレーションの印刷ジョブには影響しません。
時間切れ 待ち時間切れ 無効 15 ~ 6553515	印刷ジョブをキャンセルするまでに、プリンタが追加データを待つ時間(秒)を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は 40 秒です。 [待ち時間切れ]は、プリンタが PostScript エミュレーションを使用している場合のみ設定できます。この設定は、PCL エミュレーションの印刷ジョブには影響しません。
時間切れ ジョブ保持タイムアウト 5 ~ 255	使用不可リソースを必要とするジョブを保持し、印刷キュー内の他のジョブの印刷を継続する前にプリンタがユーザの介入を待つ時間を設定します メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は 30 秒です。 このメニュー項目は、ハードディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。
印刷リカバリー 自動継続 無効 5 ~ 255	指定した時間内に特定のオフライン状況が解決しない場合に、印刷を自動継続するようにプリンタを設定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[無効]です。
印刷リカバリー 紙づまり回復 オン オフ 自動	紙づまりが発生したページを再印刷するかどうかを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[自動]です。紙づまりが発生したページは、ページの保持に必要なメモリが他の印刷タスクで必要とされない場合に限り、再印刷されます。 [オン]に設定すると、紙づまりが発生したページは常に再印刷されます。 [オフ]に設定すると、紙づまりが発生したページは再印刷されません。
印刷リカバリー ページ保護 オフ オン	別の方法では印刷されない可能性があるページを正常に印刷できるように設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。ページ全体を印刷するためのメモリが不足している場合、[オフ]に設定するとページの一部が印刷されます。 [オン]に設定すると、プリンタはページ全体を処理するため、ページ全体が印刷されます。
出荷時標準設定 復元しない 復元する	プリンタの設定を出荷時の標準設定に戻します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[復元しない]です。[復元しない]は、ユーザ定義の設定を維持します。 [復元する]に設定すると、[ネットワーク/ポート]メニュー設定を除くすべてのプリンタ設定が出荷時の標準設定に戻ります。RAM に保存されているダウンロード物はすべて削除されます。フラッシュメモリまたはプリンタのハードディスクに保存されているダウンロード物には影響しません。

メニュー項目	説明
カスタムホームメッセージ オフ IP アドレス ホスト名 担当者名 場所 ゼロ構成名 ユーザ定義テキスト 1	プリンタの操作パネルディスプレイ上に選択したカスタムホームメッセージに関する情報を表示します。

[セットアップ]メニュー

メニュー項目	説明
プリンタ言語 PCL エミュレーション PS エミュレーション	標準のプリンタ言語を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • PCL エミュレーションでは、印刷ジョブの処理に PCL インタプリタを使用します。PostScript エミュレーションでは、印刷ジョブの処理に PS インタプリタを使用します。 • 出荷時の標準プリンタ言語は PCL です。 • あるプリンタ言語を標準設定として設定しても、ソフトウェアプログラムから別のプリンタ言語を使用する印刷ジョブを送信できます。
ジョブ待機 オン オフ	印刷ジョブが使用不可のプリンタオプションまたはカスタム設定を必要とする場合は印刷キューから削除することを指定します。削除されたジョブは別の印刷キューに保存されるため、その他のジョブは通常どおり印刷されます。不明な情報やオプションが取得されると、保存したジョブが印刷されます。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[オフ]です。 • このメニューは、読み取り専用ではないプリンタハードディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。この必要条件により、保存したジョブはプリンタの電源が失われた場合でも削除されません。
印刷領域 普通 用紙全体	論理的および物理的な印刷可能領域を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[普通]です。[普通]設定で定義される印刷可能領域外にデータを印刷しようとする、イメージが境界でクリッピングされます。 • [用紙全体]設定では、イメージを[普通]設定で定義される印刷可能領域外まで拡大することができます。ただし、イメージは[普通]設定の境界でクリッピングされます。 • [用紙全体]は、PCL 5e インタプリタを使用して印刷されるページにのみ影響します。この設定は、PCL XL または PostScript インタプリタを使用して印刷されるページには影響しません。
プリンタ用途 最大イールド 最高印刷速度	プリンタをより高い印刷速度またはトナーイールドに設定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[最大イールド]です。
白黒のみモード オフ オン	ブラクトナーカートリッジのみですべてのテキストおよびグラフィックを印刷するには、プリンタを[白黒のみ]に設定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オフ]です。

メニュー項目	説明
ダウンロード先 RAM フラッシュ ハードディスク	ダウンロード物の保存先を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[RAM]です。 ダウンロード物をフラッシュメモリまたはプリンタのハードディスクに保存するということは、永久的な記憶媒体に格納するということです。プリンタの電源を切っても、ダウンロード物はフラッシュメモリまたはプリンタのハードディスクに残ります。 ダウンロード物の RAM への保存は一時的な保存になります。 このメニューは、フラッシュやディスクオプションが取り付けられている場合のみ表示されます。
ジョブ統計情報 オフ オン	最新の印刷ジョブに関する統計情報をハードディスクに保存するかどうかを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。[オフ]に設定すると、ジョブ統計情報は保存されません。 この統計情報には、印刷エラーの記録、印刷時間、ジョブサイズ(バイト)、要求された用紙のサイズとタイプ、合計印刷ページ数、要求された総部数が含まれています。 [ジョブ統計情報]は、プリンタのハードディスクが取り付けられ、正常に動作している場合のみ使用できます。プリンタのハードディスクを読み取り/書き込み保護または書き込み保護しないでください。[ジョブバッファサイズ]は 100% に設定しないでください。 プリンタの操作パネルでこの設定を変更し、メニューを終了すると、プリンタがリセットされます。メニュー項目が更新されます。
リソース保存 オン オフ	プリンタの使用可能なメモリ容量を超えるメモリを必要とするジョブを受信した場合の、RAM に保存されているフォントやマクロなどの一時的なダウンロード物の処理方法を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。[オフ]に設定すると、メモリが必要になるまでダウンロード物が保持されます。印刷ジョブを処理するためにダウンロード物は削除されます。 [オン]に設定すると、言語変更時やプリンタリセット時にもダウンロード物が保持されます。メモリが不足すると、「38 メモリ満杯」が表示されます。ただし、ダウンロード物は削除されません。
全て印刷の順序 アルファベット順 最も古いものから 最新のものから	[全て印刷]が選択されているときに保持およびコンフィデンシャルジョブが印刷される順序を指定します メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[アルファベット順]です。 印刷ジョブはプリンタの操作パネルには常にアルファベット順で表示されます。

[仕上げ]メニュー

メニュー項目	説明
両面印刷 片面 両面	すべての印刷ジョブの標準設定として、両面印刷を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[片面]です。 ソフトウェアプログラムから両面印刷を設定するには、次の手順に従います。Windows の場合は、[ファイル] > [印刷]をクリックし、[プロパティ]、[設定]、[オプション]、または [セットアップ]をクリックして設定を調整します。Macintosh の場合は、「ファイル」>「プリント」をクリックし、「プリント」ダイアログおよびポップアップメニューから設定を調整します。

メニュー項目	説明
両面印刷綴じ 長辺 短辺	両面印刷されたページの綴じ方と、表面の印刷に対する裏面の印刷方向を定義します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[長辺]です。 [長辺]では、縦長のページの左綴じおよび横長のページの上綴じを指定します。 [短辺]では、縦長のページの上綴じおよび横長のページの左綴じを指定します。
部数 1 ~ 999	各印刷ジョブの標準設定の部数を指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[1]です。
空白ページ 印刷しない 印刷	印刷ジョブに空白ページを挿入するかどうかを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[印刷しない]です。
部単位印刷 オフ(1,1,1,2,2,2) オン(1,2,1,2,1,2)	複数部を印刷する場合に、印刷ジョブのページをページ順に積み重ねます。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。ページは丁合されません。 [オン]設定では、印刷ジョブを順番に積み重ねます。 どちらの設定も、[部数]メニューの設定で指定した回数だけジョブ全体を印刷します。
区切り紙 なし 各部の間 各ジョブの間 各ページの間	区切り紙を挿入するかどうかを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[なし]です。 [各部の間]は、[部単位印刷]が[オン]に設定されている場合に印刷ジョブの各部の間に白紙を挿入します。[部単位印刷]が[オフ]に設定されている場合、1 ページ目の束の後、2 ページ目の束の後のように、印刷した各ページの束の間に空白ページを挿入します。 [各ジョブの間]は、印刷ジョブの間に白紙を挿入します。 [各ページの間]は、印刷ジョブの各ページの間に白紙を挿入します。この設定は、OHP フィルムに印刷する場合や、ドキュメントにメモ用の空白ページを挿入する場合に便利です。
区切り紙給紙源 カセット<x> 多目的フィーダ	区切り紙をセットする給紙源を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[カセット 1 (標準カセット)]です。 メニュー設定に[多目的フィーダ]を表示するには、[用紙]メニューで、[多目的フィーダ設定]を[カセット]に設定する必要があります。
N アップ(片面に複数ページ) オフ 2 アップ 3 アップ 4 アップ 6 アップ 9 アップ 12 アップ 16 アップ	複数のページを 1 枚の用紙の片面に印刷するように指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。 選択した数字が、用紙の片面に印刷するページの数になります。
N アップ順序 横方向(左から) 横方向(右から) 縦方向(右から) 縦方向(左から)	[N アップ(片面に複数ページ)]を使用する場合に、複数ページの配置方法を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[横方向(左から)]です。 配置方法は、ページの数およびページの向きが縦向きか横向きかによって異なります。

メニュー項目	説明
用紙の向き 自動 ランドスケープ ポートレート	複数ページを印刷する用紙の向きを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[自動]です。縦か横かはプリンタによって選択されます。
N アップの枠 なし 塗り潰し	[N アップ(片面に複数ページ)]を使用する場合に、各ページの周囲に枠を印刷します。 メモ: 出荷時の標準設定は[なし]です。

[印刷品質]メニュー

メニュー項目	説明
印刷モード カラー 白黒のみ	イメージをモノクログレースケールとカラーのどちらで印刷するかを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[カラー]です。 • プリンタドライバはこの設定を無視できます。
カラー補正 自動 オフ 手差し	印刷ページのカラー出力を調整します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[自動]です。[自動]は、異なるカラー変換テーブルを印刷ページの各オブジェクトに適用します。 • [オフ]は、カラー補正をオフにします。 • [手動]は、[手動カラー]メニューの設定を使用してカラーテーブルをカスタマイズできるようにします。 • 加法混色と減法混色の違いのため、コンピュータのモニタに表示される一部のカラーは、印刷ページで再現することができません。
印刷解像度 1200 dpi 4800 CQ	印刷結果の解像度を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[4800 CQ]です。 • [1200 DPI]は、最高解像度で出力します。
トナーの濃さ 1 ~ 5	印刷結果の濃淡を調整します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[4]です。 • 小さい数を選択するほど、トナーを節約できます。 • [印刷モード]が[白黒のみ]に設定されている場合、[5]を設定すると、すべての印刷ジョブのトナー濃度および濃さが増加します。 • [印刷モード]が[カラー]に設定されている場合、[5]の設定は[4]の設定と同等です。

メニュー項目	説明
細かい線を強調 オン オフ	意匠図、地図、電気回路図、フローチャートなどのファイルに適した印刷モードを有効にします。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。 ソフトウェアプログラムから[細かい線を強調]に設定するには、ドキュメントを開いて[ファイル]>[印刷]の順に選択し、次に[プロパティ]、[設定]、[オプション]、または[セットアップ]をクリックします。 内蔵 Web サーバを使用して[細かい線を強調]に設定するには、ネットワークプリンタの IP アドレスをブラウザウィンドウに入力します。
カートナー節約 オン オフ	グラフィックスおよびイメージに使用するトナーの量を削減します。テキストに使用するトナーの量は削減されません。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。 [オン]に設定すると、[トナーの濃さ]の設定より優先されます。
RGB 明るさ -6 ~ 6	カラー出力の明るさを調整します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[0]です。 下限は[-6]です。上限は[6]です。 この設定は、CMYK カラーが使用されているファイルには影響しません。
RGB コントラスト 0 ~ 5	カラー出力のコントラストを調整します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[0]です。 この設定は、CMYK カラーが使用されているファイルには影響しません。
RGB 彩度 0 ~ 5	カラー出力の彩度を調整します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[0]です。 この設定は、CMYK カラーが使用されているファイルには影響しません。
カラーバランス シアン -5 ~ 5 マゼンタ -5 ~ 5 イエロー -5 ~ 5 ブラック -5 ~ 5 標準設定に初期化	各カラーに使用するトナーの量を増減することによって出力結果のカラーを調整します。 メモ: 出荷時の標準設定は[0]です。

メニュー項目	説明
カラーサンプル sRGB 表示 sRGB 鮮明 画面 - 真ブラック 鮮明 オフ - RGB US CMYK ユーロ CMYK 鮮明 CMYK オフ - CMYK	プリンタで使用する RGB と CMYK の各カラー変換テーブルのサンプルページを印刷します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • いずれかの設定を選択すると、サンプルが印刷されます。 • カラーサンプルは、一連のカラーチップと、その色を構成する RGB または CMYK の組み合わせで構成されます。これらのページを使用して、希望の印刷結果を得るために使用する組み合わせを選択できます。 • カラーサンプルページの完全な一覧を確認するには、ブラウザのウィンドウでプリンタの IP アドレスを入力し、内蔵 Web サーバにアクセスします。
手動カラー RGB イメージ 鮮明 sRGB 表示 画面 - 真ブラック sRGB 鮮明 オフ RGB 文字 鮮明 sRGB 表示 画面 - 真ブラック sRGB 鮮明 オフ RGB グラフィック 鮮明 sRGB 表示 画面 - 真ブラック sRGB 鮮明 オフ	RGB カラー変換をカスタマイズします。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [RGB イメージ]の出荷時標準設定は[sRGB 表示]です。この設定は、カラー変換テーブルを印刷出力に適用して、コンピュータのモニタに表示されるカラーに一致させます。 • [RGB 文字]および[RGB グラフィック]の出荷時標準設定は[sRGB 鮮明]です。[sRGB 鮮明]は、彩度を高めるカラーテーブルを適用します。ビジネスグラフィックスおよびテキストにはこの設定が適しています。 • [鮮明]は、より明度と彩度が高い色を作成するカラー変換テーブルを適用します。 • [画面 - 真ブラック]は、中間色のグレーにブラケットナーのみを使用するカラー変換テーブルを適用します。 • [オフ]は、カラー変換をオフにします。
手動カラー CMYK イメージ US CMYK ユーロ CMYK 鮮明 CMYK オフ CMYK 文字 US CMYK ユーロ CMYK 鮮明 CMYK オフ CMYK グラフィック US CMYK ユーロ CMYK 鮮明 CMYK オフ	CMYK カラー変換をカスタマイズします。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 米国の出荷時標準設定は[US CMYK]です。[US CMYK]は、印刷出力を SWOP カラー出力に一致させるためのカラー変換テーブルを適用します。 • 米国以外の出荷時標準設定は[ユーロ CMYK]です。[ユーロ CMYK]は、印刷出力を EuroScale カラー出力に一致させるためのカラー変換テーブルを適用します。 • [鮮明 CMYK]は、US CMYK カラー変換テーブルの彩度を高めます。 • [オフ]は、カラー変換をオフにします。

メニュー項目	説明
カラー調節	<p>カラー変換テーブルの再校正を開始し、印刷出力の色のばらつきを調整します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> このメニューを選択すると、調節が開始されます。処理が完了するまで、プリンタの操作パネルに「調節中」と表示されます。 印刷出力の色のばらつきは、室温や湿度などの変わりやすい条件に起因する場合があります。カラー調節は、プリンタアルゴリズムを使用して実行されます。この処理では、カラー整列も再校正されます。

[ユーティリティ]メニュー

メニュー項目	説明
保持中ジョブを削除 コンフィデンシャル 保持 復元できません すべて	<p>プリンタのハードディスクからコンフィデンシャルジョブおよび保持されたジョブを削除します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択した設定は、プリンタ内にある印刷ジョブにのみ影響します。しおり、フラッシュドライブにあるジョブ、その他の保持されたジョブには影響しません。 [復元できず]を選択すると、ディスクから復元されなかった、すべての印刷ジョブおよび保持されたジョブが削除されます。
フラッシュ初期化 はい いいえ	<p>フラッシュメモリをフォーマットします。フラッシュメモリとは、プリンタに取り付けられたオプションのフラッシュメモリのことです。</p> <p>警告！ 破損の恐れあり: フラッシュメモリをフォーマットしている間は、プリンタの電源を切らないでください。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> このメニュー項目を使用するには、オプションのフラッシュメモリカードがプリンタに取り付けられ、正常に動作している必要があります。オプションのフラッシュメモリカードは、絶対に読み取り/書き込み保護または書き込み保護しないでください。 [はい]を選択すると、フラッシュメモリに保存されているデータがすべて削除されます。 [いいえ]を選択すると、フォーマットリクエストがキャンセルされます。
ディスク上のダウンロードを削除 今すぐ削除 削除しない	<p>プリンタハードディスクから、すべての保持ジョブ、バッファされているジョブ、常駐ジョブを含め、ダウンロードを削除します。ジョブ統計情報は影響を受けません。</p> <p>メモ: 出荷時の標準設定は[今すぐ削除]です。</p>
ジョブ統計情報 印刷 クリア	<p>プリンタのハードディスクに保存されているすべてのジョブ統計情報の一覧を印刷するか、情報を削除します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> このメニュー項目を使用するには、プリンタのハードディスクがプリンタに取り付けられ、正常に動作している必要があります。 [印刷]を選択すると、統計情報の一覧が印刷されます。 [クリア]を選択すると、プリンタのハードディスクに保存されている統計情報が削除されます。 NPA を使用して[ジョブ統計情報]を MarkTrack™ に設定している場合、[クリア]は表示されません。

メニュー項目	説明
ダンプリスト 有効化	印刷ジョブで発生した問題の原因を特定するために使用します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [有効化]を選択すると、プリンタに送信されたすべてのデータが、16 進数と文字表現で印刷され、制御コードは実行されません。 • ダンプリストモードを終了するか無効にするには、プリンタの電源を切るかリセットします。
印刷比率の推定 オフ オン	1 ページに使用されたトナーの着色面率の推定値を計算します。各印刷ジョブの最後に概算値を記載したページを印刷します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オフ]です。
液晶コントラスト 1 ~ 10	表示のコントラストを調整します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[5]です。 • 数字を大きくすると、表示が明るくなります。 • 数字を小さくすると、表示が暗くなります。
液晶表示明るさ 1 ~ 10	表示の明度を調整します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[5]です。 • 数字を大きくすると、表示が明るくなります。 • 数字を小さくすると、表示が暗くなります。

[XPS]メニュー

メニュー項目	説明
エラーページの印刷 オフ オン	XML マークアップエラーを含め、エラーに関する情報を含むページを印刷します。 メモ: 出荷時の標準設定は「Off(オフ)」です。

[PDF]メニュー

メニュー項目	説明
用紙に合わせて拡張 はい いいえ	選択した用紙サイズに合わせてページの内容を拡大/縮小します。 メモ: 出荷時の標準設定は[いいえ]です。
注釈 印刷しない 印刷	PDF 内の注釈を印刷します。 メモ: 出荷時の標準設定は[印刷しない]です。

[PostScript]メニュー

メニュー項目	説明
PS エラーを印刷 オン オフ	PostScript エラーを含むページを印刷します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オフ]です。
フォント優先順位 常駐 フラッシュ/ディスク	フォントの検索順序を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[常駐]です。 このメニュー項目を使用するには、オプションのフォーマット済みフラッシュメモリカードまたはプリンタのハードディスクがプリンタに取り付けられ、正常に動作している必要があります。 フラッシュメモリオプションまたはプリンタのハードディスクは、読み取り/書き込み保護、書き込み保護、またはパスワード保護にできません。 [ジョブバッファ サイズ]は 100% に設定しないでください。
イメージ平滑化 オン オフ	低解像度イメージのコントラストとシャープネスを向上させ、カラートランジションを平滑化します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。 [イメージ平滑化]は、解像度が 300 dpi 以上のイメージには効果がありません。

[PCL]メニュー

メニュー項目	説明
フォントソース 常駐 ハードディスク ダウンロード フラッシュ すべて	[フォント名]メニュー項目で使用されるフォントセットを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[常駐]です。RAM にダウンロードされた出荷時の標準フォントセットを表示します。 [フラッシュ]および[ハードディスク]は、その該当オプションに内蔵されているすべてのフォントを表示します。 フラッシュメモリオプションは適切にフォーマットする必要があります。また、フラッシュメモリオプションは読み取り/書き込み保護、書き込み保護、またはパスワード保護にできません。 [ダウンロード]は、RAM にダウンロードされたすべてのフォントを表示します。 [すべて]は、各オプションで使用できるすべてのフォントを表示します。
フォント名 RO Courier	特定のフォントと、そのフォントが保存されているオプションを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[RO Courier]です。 [RO Courier]は、フォント名、フォント ID、プリンタ内の保存場所を表示します。フォントソースの短縮形は、R が[常駐]、F が[フラッシュ]、K が[ハードディスク]、D が[ダウンロード]です。

メニュー項目	説明
シンボルセット 10U PC-8 12U PC-850	各フォント名のシンボルセットを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 米国の出荷時標準設定は[10U PC-8]です。 • 米国以外の出荷時標準設定は[12U PC-850]です。 • シンボルセットは、英数字、句読点、特殊記号のセットです。シンボルセットでは、科学で使用される文字、数学記号など、異なる言語や特定のプログラムをサポートします。サポートされているシンボルセットのみ表示されます。
PCL 設定 ポイントサイズ 1.00 ~ 1008.00	スケーラブルな印刷フォントのポイントサイズを変更します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[12]です。 • ポイントサイズとは、フォント文字の高さのことです。1 ポイントは約 1/72 インチです。 • ポイントサイズは 0.25 ポイント単位で増減できます。
PCL 設定 ピッチ 0.08 ~ 100	スケーラブルな等幅フォントのフォントピッチを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[10]です。 • ピッチとは、1 インチあたりの固定スペース文字の数 (dpi) のことです。 • ピッチは 0.01 dpi 単位で増減できます。 • スケーラブルでない等幅フォントの場合、ピッチは画面に表示されますが、変更できません。
PCL 設定 用紙の向き ポートレート ランドスケープ	ページ上のテキストおよびグラフィックスの向きを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[ポートレート]です。 • [ポートレート]は、ページの短辺と平行にテキストおよびグラフィックスを印刷します。 • [ランドスケープ]は、ページの長辺と平行にテキストおよびグラフィックスを印刷します。
PCL 設定 1 ページ当りの行数 1 ~ 255 60 64	各ページに印刷する行数を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 米国の出荷時標準設定は[60]です。米国以外の標準設定は[64]です。 • プリンタは、[1 ページ当りの行数]、[用紙サイズ]、[用紙の向き]の各設定に基づいて行間のスペースを設定します。[用紙サイズ]および[用紙の向き]を選択してから[1 ページ当りの行数]を設定します。
PCL 設定 A4 サイズの幅 198 mm 203 mm	A4 サイズの用紙に印刷するようにプリンタを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[198 mm]です。 • [203 mm]は、10 ピッチの文字を 80 個印刷できるページ幅を設定します。
PCL 設定 LF 後に自動 CR オン オフ	プリンタで、ラインフィード(LF)制御コマンドのあとにキャリッジリターン(CR)を自動的に実行するかどうかを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[オフ]です。 • 設定の変更は[PPDS]メニューにも反映されます。

メニュー項目	説明
PCL 設定 CR 後に自動 LF オン オフ	プリンタで、キャリッジリターン(CR)制御コマンドのあとにラインフィード(LF)を自動的に実行するかどうかを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。 設定の変更は[PPDS]メニューにも反映されます。
カセット番号変更 多目的フィーダ割当て オフ なし 0 ~ 199 カセット < x > 割当て オフ なし 0 ~ 199 手差し用紙割当て オフ なし 0 ~ 199 手差し封筒割当て オフ なし 0 ~ 199	カセットとフィーダの給紙源割り当てが異なるプリンタソフトウェアまたはプログラムで動作するようにプリンタを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。 [なし]は選択できません。PCL 5 インタプリタで選択された場合のみ表示されます。 [なし]は用紙フィーダの選択コマンドを無視します。 0 ~ 199 では、ユーザー定義の設定を割り当てることができます。
カセット番号変更 出荷時設定を表示 多目的フィーダの標準設定 = 8 カセット 1 標準設定 = 1 カセット 2 の標準設定 = 4 カセット 3 の標準設定 = 5 カセット 4 の標準設定 = 20 カセット 5 の標準設定 = 21 封筒の標準設定 = 6 手差し用紙の標準設定 = 2 手差し封筒の標準設定 = 3	各カセットまたはフィーダに割り当てられている出荷時標準設定を表示します。
カセット番号変更 標準設定に復元 はい いいえ	すべてのカセットおよびフィーダの割り当てを出荷時標準設定に戻します。

[HTML]メニュー

メニュー項目		説明
フォント名 Albertus MT Antique Olive Apple Chancery Arial MT Avant Garde Bodoni Bookman Chicago Clarendon Cooper Black Copperplate Coronet Courier Eurostile Garamond Geneva Gill Sans Goudy Helvetica Hoefler Text	Intl CG Times Intl Courier Intl Univers Joanna MT Letter Gothic Lubalin Graph Marigold MonaLisa Recut Monaco New CenturySbk New York Optima Oxford Palatino StempelGaramond Taffy Times TimesNewRoman Univers Zapf Chancery	HTML ドキュメントの標準フォントを設定します。 メモ: フォントを指定しない HTML ドキュメントには、Times フォントが使用されます。

メニュー項目	説明
フォントサイズ 1 ~ 255 pt	HTML ドキュメントの標準フォントサイズを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[12 pt]です。 フォントサイズは、1 ポイント単位で増加できます。
拡大縮小 1 ~ 400%	HTML ドキュメントの標準フォントを拡大/縮小します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[100%]です。 拡大/縮小率は、1% 単位で増加できます。
用紙の向き ポートレート ランドスケープ	HTML ドキュメントのページの用紙の向きを設定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[ポートレート]です。
余白 8 ~ 255 mm	HTML ドキュメントのページの余白を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[19 mm]です。 余白は、1 mm 単位で増加できます。

メニュー項目	説明
背景 印刷しない 印刷	HTML ドキュメントの背景を印刷するかどうかを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[印刷]です。

[イメージ]メニュー

メニュー項目	説明
自動合せ オン オフ	最適な用紙サイズ、拡大/縮小率、用紙の向きを選択します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オン]です。 [オン]に設定すると、一部のイメージの拡大/縮小率および用紙の向きの設定がこのメニューの設定に変更されます。
反転 オン オフ	モノクロ 2 階調のイメージを反転します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。 この設定は、GIF または JPEG イメージには適用されません。
拡大、縮小 左上隅を固定 最適なフォントを選択 中央を固定 高さ/幅を合せる 高さを合せる 幅を合せる	選択した用紙サイズに合わせてイメージを拡大/縮小します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[最適に調整]です。 [自動合せ]を[オン]に設定すると、[拡大縮小]は自動的に[最適に調整]に設定されます。
用紙の向き ポートレート ランドスケープ 逆ポートレート 逆ランドスケープ	イメージの印刷方向を設定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[ポートレート]です。

[PictBridge]メニュー

メニュー項目	説明
写真サイズ 自動 L 2L はがき カードサイズ 100 x 150 mm 4 x 6 インチ 8 x 10 インチ レター A4 A5 JIS B5	最適な写真サイズを選択します メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[自動]です。 プリンタと PictBridge 対応デジタルカメラの両方にこの設定用の値がある場合は、カメラの値がプリンタの値より常に優先されます。
レイアウト 自動 オフ 2 アップ 3 アップ 4 アップ 6 アップ 9 アップ 12 アップ 16 アップ インデックス印刷	最適な写真レイアウトを選択します メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[自動]です。 プリンタと PictBridge 対応デジタルカメラの両方にこの設定用の値がある場合は、カメラの値がプリンタの値より常に優先されます。
印刷品質 普通 下書き 精細	最適な品質を選択します メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[普通]です。 プリンタと PictBridge 対応デジタルカメラの両方にこの設定用の値がある場合は、カメラの値がプリンタの値より常に優先されます。
給紙源 多目的フィーダ カセット<x> 手差し用紙	用紙を引き出すカセットを選択します メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[多目的フィーダ]です。 プリンタと PictBridge 対応デジタルカメラの両方にこの設定用の値がある場合は、カメラの値がプリンタの値より常に優先されます。

[フラッシュドライブ]メニュー

メニュー項目	説明
部数 1 ~ 999	各印刷ジョブの標準設定の部数を指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[1]です。

メニュー項目	説明
給紙源 カセット<x> 手差しフィーダ 封筒フィーダ	すべての印刷ジョブに対する標準設定の給紙源を指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[カセット 1 (標準カセット)]です。
カラー オン オフ	プリンタでカラー出力を生成できます。 メモ: 出荷時の標準設定は[オン]です。
部単位印刷 オフ(1,1,1,2,2,2) オン(1,2,1,2,1,2)	複数部を印刷する場合に、印刷ジョブのページをページ順に積み重ねます。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[オフ]です。ページは丁合されません。 • [オン]設定では、印刷ジョブを順番に積み重ねます。
両面印刷 片面 両面	ジョブを用紙の片面に印刷するか両面に印刷するかを選択します メモ: 出荷時の標準設定は[片面]です。
両面印刷綴じ 長辺 短辺	両面印刷されたページの綴じ方と、表面の印刷に対する裏面の印刷方向を定義します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[長辺]です。 • [長辺]では、縦長のページの左綴じおよび横長のページの上綴じを指定します。 • [短辺]では、縦長のページの上綴じおよび横長のページの左綴じを指定します。
用紙の向き 自動 ランドスケープ ポートレート	複数ページを印刷する用紙の向きを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[自動]です。縦か横かはプリンタによって選択されます。
N アップ(片面に複数ページ) オフ 2 アップ 3 アップ 4 アップ 6 アップ 9 アップ 12 アップ 16 アップ	複数のページ像を 1 枚の用紙の片面に印刷するように指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[オフ]です。 • 選択した数字が、用紙の片面に印刷するページの数になります。
N アップの枠 なし 塗り潰し	[N アップ(片面に複数ページ)]を使用する場合に、各ページの周囲に枠を印刷します。 メモ: 出荷時の標準設定は[なし]です。
N アップ順序 横方向(左から) 横方向(右から) 縦方向(右から) 縦方向(左から)	[N アップ(片面に複数ページ)]を使用する場合に、複数ページの配置方法を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[横方向(左から)]です。 • 配置方法は、ページの数およびページの向きが縦向きか横向きかによって異なります。

メニュー項目	説明
区切り紙 なし 各部の間 各ジョブの間 各ページの間	区切り紙を挿入するかどうかを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[なし]です。 [各部の間]は、[部単位印刷]が[オン]に設定されている場合に印刷ジョブの各部の間に白紙を挿入します。[部単位印刷]が[オフ]に設定されている場合、1 ページ目の束の後、2 ページ目の束の後のように、印刷した各ページの束の間に空白ページを挿入します。 [各ジョブの間]は、印刷ジョブの間に白紙を挿入します。 [各ページの間]は、印刷ジョブの各ページの間に白紙を挿入します。この設定は、OHP フィルムに印刷する場合や、ドキュメントにメモ用の空白ページを挿入する場合に便利です。
区切り紙給紙源 カセット < x > 手差しフィーダ	区切り紙をセットする給紙源を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[カセット 1 (標準カセット)]です。 メニュー設定に[手差しフィーダ]を表示するには、[用紙]メニューで、[手差しフィーダ設定]を[カセット]に設定する必要があります。
空白ページ 印刷しない 印刷	印刷ジョブに空白ページを挿入するかどうかを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[印刷しない]です。

[ヘルプ]メニュー

[ヘルプ]メニューは、プリンタに PDF として保存されている一連のヘルプページから構成されています。ヘルプページには、プリンタの使用および印刷タスクの実行に関する情報が含まれています。

プリンタには、英語版、フランス語版、ドイツ語版、スペイン語版のヘルプが保存されています。その他の言語のヘルプは、ソフトウェアおよび説明書類 CD に収録されています。

メニュー項目	説明
全て印刷	すべてのガイドを印刷します。
カラー品質	カラー印刷の調整とカスタマイズに関する情報を提供します。
印刷品質	印刷品質に関する問題の解決方法についての情報を提供します。
印刷ガイド	用紙またはその他の専用紙のセットに関する情報を提供します。
用紙ガイド	カセットおよびフィーダでサポートされる用紙の大きさが一覧で表示されます。
印刷不良	繰り返し発生する印刷不良の原因となるプリンタ部品を特定するためのヘルプを提供します。
メニューマップ	プリンタの操作パネルのメニューと設定の一覧が表示されます。
情報ガイド	追加情報を見つけるためのヘルプを提供します。
接続ガイド	プリンタのローカル接続(USB)とネットワーク接続に関する情報を提供します。
移動ガイド	プリンタを安全に移動するための手順を説明します。
消耗品ガイド	消耗品を注文する際の品番が記載されています。

プリンタのメンテナンス

最高の印刷品質を維持するために、定期的に行わなければならない作業があります。

プリンタの外側を掃除する

1 プリンタの電源が切れていて、電源コードが抜かれていることを確認します。

⚠ 危険！感電の恐れあり： プリンタの外側を掃除しているときに電気ショックを受ける危険を避けるため、コンセントから電源コードを抜き、プリンタから全てのケーブルを外してから、作業を始めてください。

2 標準排紙トレイから用紙を取り出す

3 水で湿らせた、清潔で糸くずの出ない布で原稿台を拭きます。

警告！破損の恐れあり： 家庭用の洗剤や溶剤を使わないでください。プリンタの表面に傷が付くことがあります。

4 プリンタの外側だけを拭き、標準の排紙トレイが付いていることを確認してください。

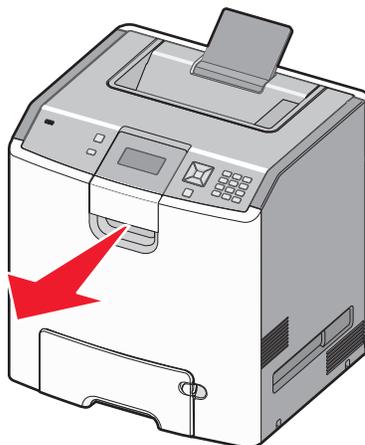
警告！破損の恐れあり： 水に濡らした布を使って内部を清掃すると、プリンタが損傷することがあります。

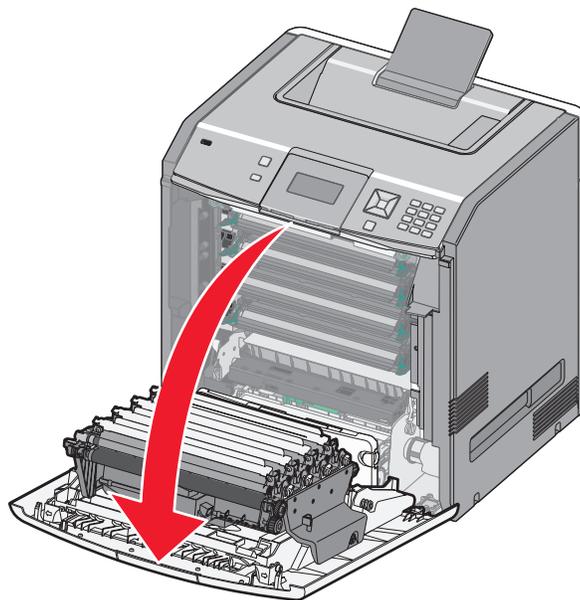
5 新しい印刷ジョブを開始する前に、用紙支えと標準の排紙トレイが乾いていることを確認してください。

プリントヘッドレンズを清掃する

印刷品質に問題が生じた場合は、プリントヘッドレンズを清掃します。

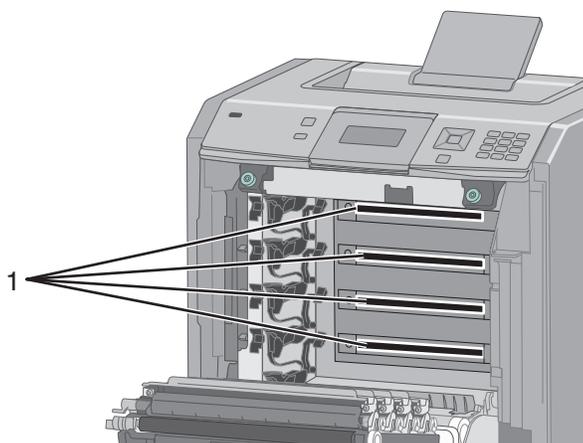
1 前面ドアを開きます。





警告！破損の恐れあり：感光体ユニットが露光しすぎないようにするため、前面ドアを 10 分以上開けたままにしないでください。

- 2 4 つのトナーカートリッジをすべて取り外します この手順では、感光体を取り外さないでください。
- 3 4 つのプリントヘッドレンズを確認します。

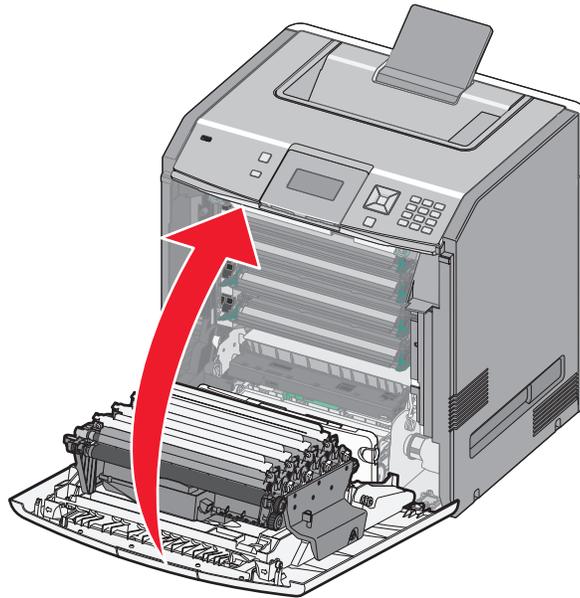


- 4 圧縮空気スプレーを使用して、レンズを清掃します。

警告！破損の恐れあり：プリントヘッドレンズには手を触れないでください。

- 5 4 つのトナーカートリッジを再度取り付けます。

6 前面ドアを閉じます。



消耗品の保管

プリンタの消耗品は、清潔で涼しい場所に保管する必要があります。また、使用するまでは梱包から出さずに正しい面を上にして保管してください。

以下の環境は避けてください。

- 直射日光の当たる場所
- 気温が 35°C (95°F) 以上の場所
- 湿度が 80% 以上の場所
- 潮風の当たる場所
- 有害ガスが当たる場所
- ほこりの多い場所

消耗品の状況を確認する

消耗品の交換が必要な場合、または保守が必要な場合は、画面にメッセージが表示されます。

プリンタ操作パネルから消耗品の状況を確認する

- 1 プリンタの電源が入った状態で、「準備完了」と表示されていることを確認します。
- 2 プリンタ操作パネルで、[状況 / 消耗品]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 3 [消耗品を表示]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
各消耗品の状況が表示されます。

ネットワーク上のコンピュータから消耗品の状況を確認する

メモ: コンピュータがプリンタと同じネットワークに接続されている必要があります。

- 1 お使いの Web ブラウザのアドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: プリンタの IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク設定ページを印刷して[TCP/IP]セクションの IP アドレスを確認します。

- 2 [デバイス状況]をクリックします。[デバイス状況]ページが表示され、消耗品残量の概要が表示されます。

消耗品を注文する

米国内で消耗品を注文する場合は、Lexmark に電話 (1-800-539-6275) で問い合わせて、各地域の Lexmark 認定サプライヤーについて確認してください。その他の国または地域の場合は、Lexmark のホームページ (www.lexmark.com) を参照するか、プリンタの購入元に問い合わせてください。

メモ: プリンタ消耗品の寿命はすべて、レターサイズまたは A4 サイズの普通紙に印刷する場合を基準に推定されています。

トナーカートリッジを注文する

[88 シアンカートリッジ残り僅か]、[88 マゼンタカートリッジ残り僅か]、[88 イエローカートリッジ残り僅か]、または [88 ブラックカートリッジ残り僅か] と表示されたら、新しいカートリッジを注文します。

[88 シアンカートリッジを交換]、[88 マゼンタカートリッジを交換]、[88 イエローカートリッジを交換]、または [88 ブラックカートリッジを交換] と表示されたら、指定されたトナーカートリッジを交換する必要があります。

トナーカートリッジの推定印刷ページ数は、1 色あたり 5% の印刷比率に基づいています。極端に低い印刷比率 (1 色あたり 1.25% 未満) で長時間印刷すると、その色の実際の印刷数に悪影響を与え、トナーの寿命がくる前にカートリッジ部品が損傷する原因になります。

感光体を注文する

[84 感光体残り僅か] または [84 <カラー>感光体残り僅か] が表示された場合は、交換用の感光体を注文します。

[84 <カラー>感光体を交換] が表示された場合は、指定された感光体を交換する必要があります。

品名	品番
感光体	C734X20G
感光体ユニット、マルチパック	C734X24G

フューザまたは転写モジュールを注文する

[80 フューザ寿命近し] または [83 転写モジュール寿命近し] と表示された場合は、交換用のフューザまたは転写モジュールを注文します。

[80 フューザを交換] または [83 転写モジュールを交換] と表示された場合は、新しいフューザまたは新しい転写モジュールを取り付けます。取り付けについては、部品に同梱の説明書類を参照してください。

品名	品番
フューザ	40X5095 (100 ボルト)
	40X5093 (115 ボルト)
	40X5094 (230 ボルト)
転写モジュール	40X5096

廃トナーボックスを注文する

[82 廃トナーボックスほぼ満杯]と表示された場合は、交換用の廃トナーボックスを注文します。操作パネルに[82 廃トナーボックスを交換]と表示されたら、廃トナーボックスを交換する必要があります。

メモ: 廃トナーボックスの再利用はお勧めできません。

品名	品番
廃トナーボックス	C734X77G

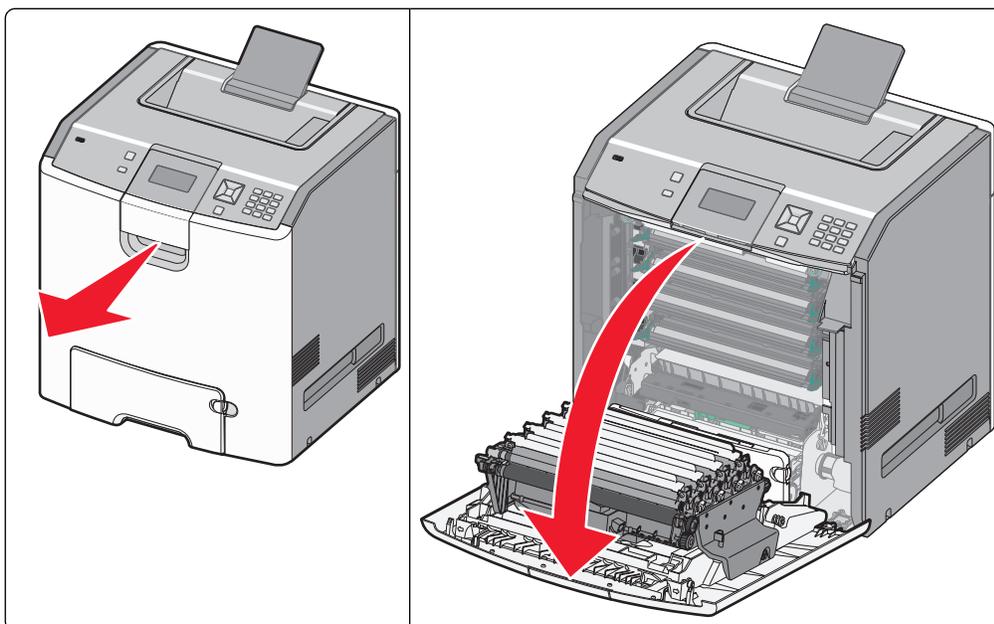
消耗品を交換する

トナーカートリッジを交換する

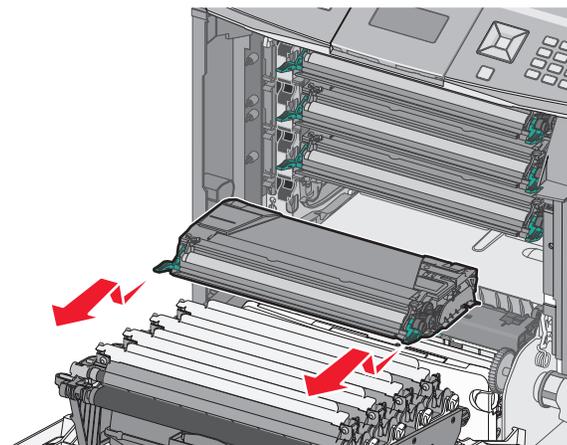
[88 <カラー>カートリッジを交換]、[88 <カラー>カートリッジほぼ残り僅か]、または[88 <カラー>カートリッジ残り僅か]がプリンタの操作パネルに表示された場合は、指定されたカートリッジの寿命を延ばす方法を試してみます。

1 前面ドアを開きます。

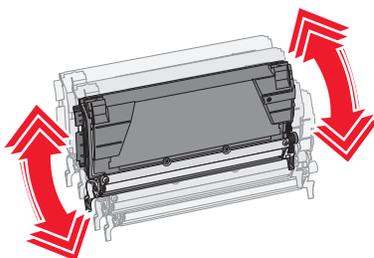
警告！ 破損の恐れあり: 感光体ユニットが露光しすぎないようにするため、プリンタのドアを 10 分以上開いたままにしないでください。



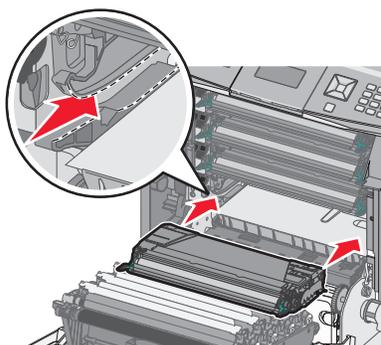
2 指定されたカートリッジの緑色のタブを上引き出して、カートリッジをプリンタから取り外します。



3 カートリッジを前後左右に振ってトナーの偏りをなくします。



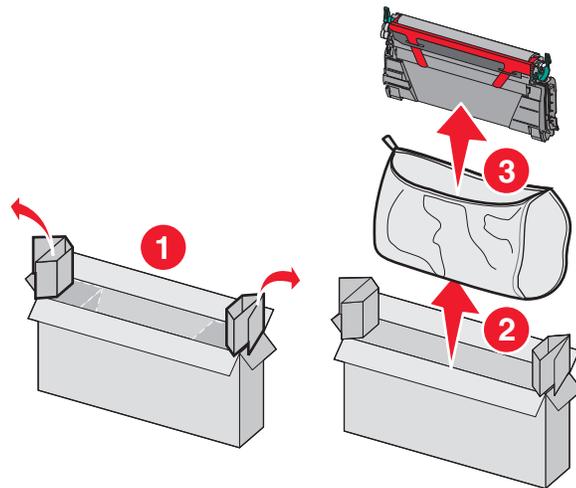
4 カートリッジを再度挿入して印刷を続行します。



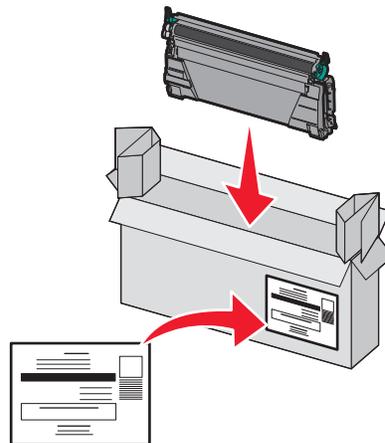
5 印刷されたテキストやグラフィックが薄い状態が続くようになるまで、この手順を繰り返します。

印刷されたテキストやグラフィックが薄い状態が続いたときは、指定されたカートリッジを交換します。手順 1 と 2 を繰り返してから、以下の手順を実行します。

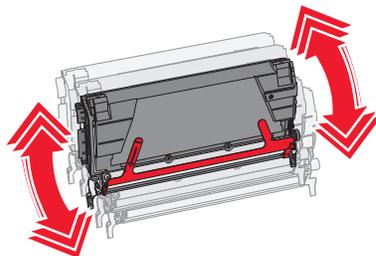
6 新しいカートリッジを包装から取り出します。



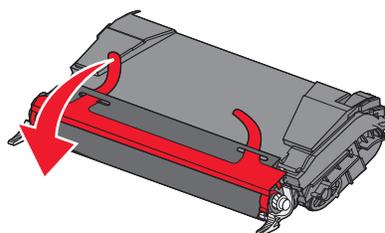
7 古いカートリッジを交換カートリッジの箱に入れ、箱に返送ラベルを貼って発送します。



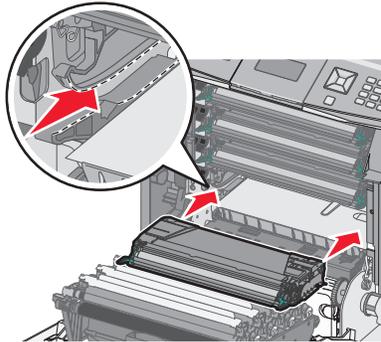
8 新しいカートリッジを前後左右に振ってトナーの偏りをなくします。



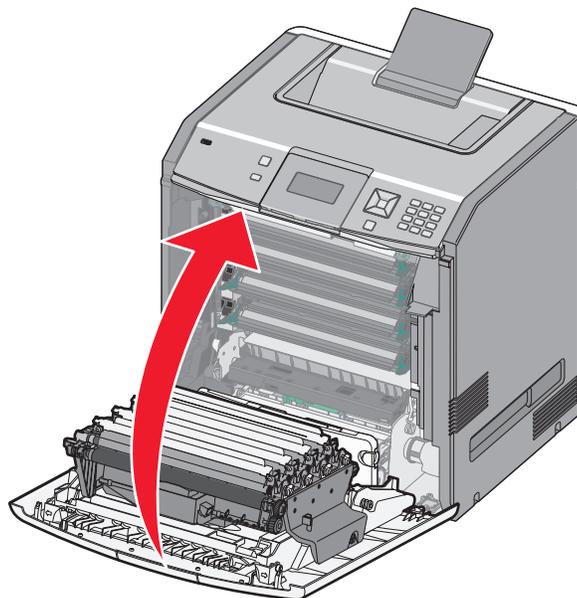
9 新しいカートリッジから赤色の梱包用の細片を取り除きます。



10 新しいカートリッジをプリンタに挿入します。



11 前面ドアを閉じます。



メモ: 各カートリッジが完全に押し込まれていることを確認します。カートリッジが正しく取り付けられていないと、プリンタで[<カラー>カートリッジ不明]メッセージが表示される場合があります。ここで、<カラー>はブラック、シアン、マゼンタ、またはイエローです。メッセージ[前面ドアを閉じる]が表示される場合もあります。

これらのメッセージのいずれかが表示された場合は、以下の手順を実行して、プリンタの操作パネルメッセージを消去し、印刷を続行します。

- 1 前面ドアを開きます。
- 2 指定されたカートリッジを取り外します。
- 3 指定されたカートリッジを再度取り付けます。
- 4 前面ドアを閉じます。
- 5 プリンタの操作パネルを調べて、メッセージが消去されているかどうかを確認します。
- 6 必要に応じて、その他のトナーカートリッジに対して手順を繰り返します。

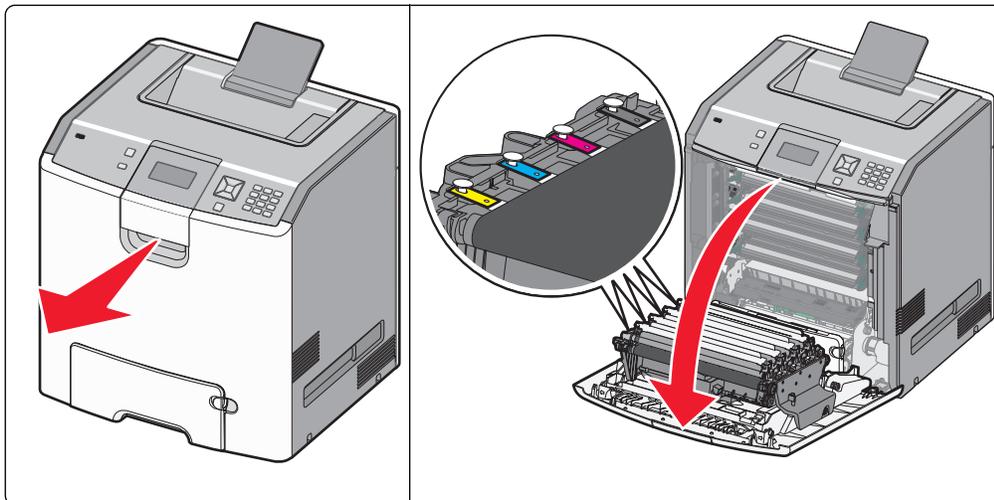
感光体の交換

感光体の交換が必要になった場合、「84 <カラー>感光体を交換」、「84 <カラー>感光体ほぼ残り僅か」、または「84 <カラー>感光体残り僅か」のいずれかのメッセージが表示されることがあります。

メモ: 交換用の感光体はどのカラーにも使用できます。

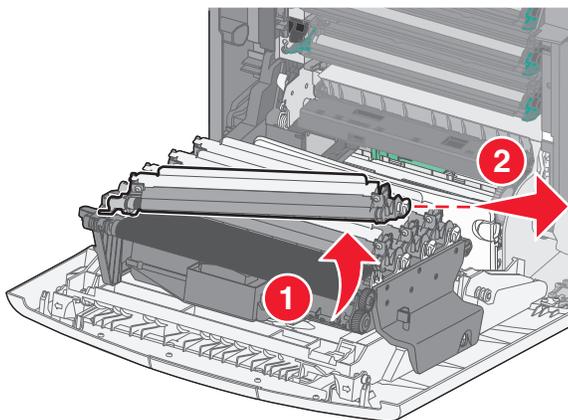
感光体の交換には、2つの作業があります。最初に、図に示されている手順に従って感光体を交換し、次に寿命をリセットしてプリンタメッセージを消去します。

- 1 前面ドアを開きます。

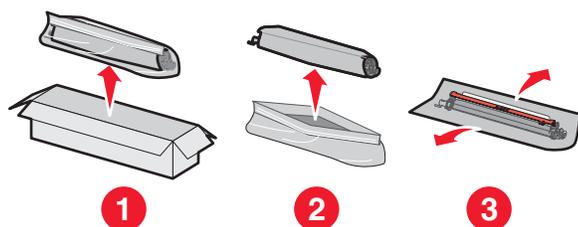


警告！ 破損の恐れあり: 感光体が露光しすぎないようにするため、ドアを10分以上開けたままにしないでください。

- 2 指定された感光体を引き上げて、右にスライドさせてプリンタから取り外します。

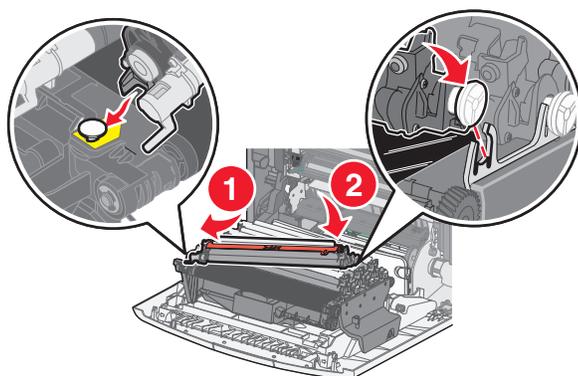


3 交換用の感光体を梱包から取り出します。

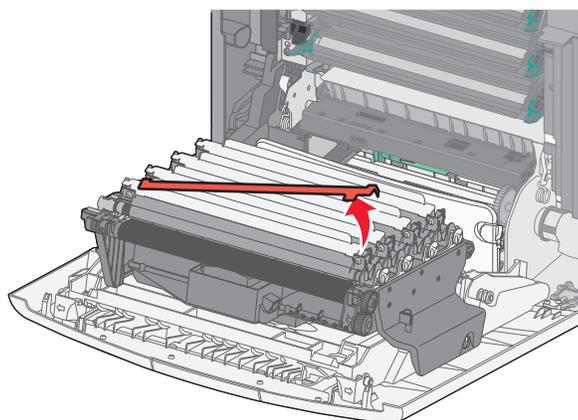


警告！破損の恐れあり：感光体ドラムの光沢部分に手を触れないでください。光沢部分に触れると感光体が損傷するおそれがあります。

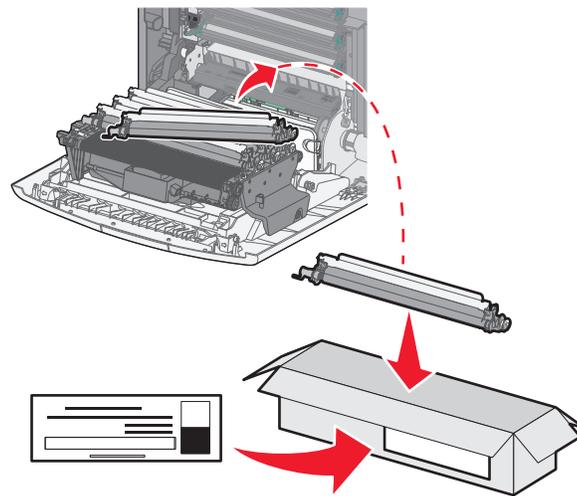
4 感光体の左端を合わせて挿入し、右端を所定の位置には収めてカチッと音がするまで押し入れます。



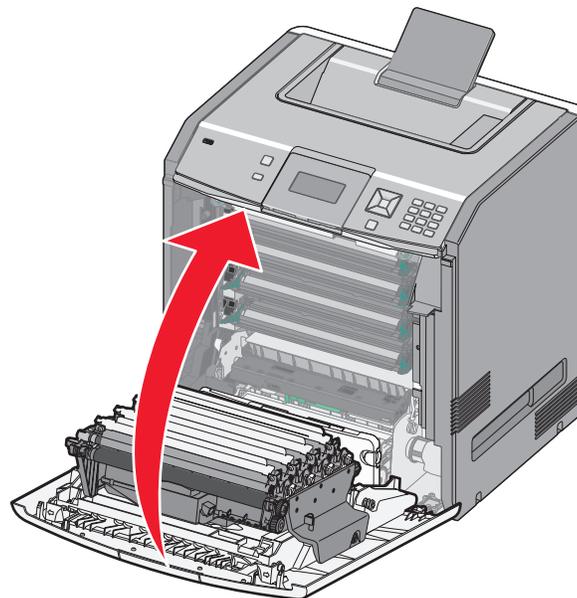
5 感光体の上部から赤色の封印用の細片を取り除きます。



- 6 リサイクルするため、古い感光体を交換用の感光体の箱に入れて、返却ラベルをボックスに貼り、Lexmark 宛てに発送します。



- 7 前面ドアを閉じます。



- 8 ディスプレイに「84 <カラー>感光体を交換」、「84 <カラー>感光体ほぼ残り僅か」、または「84 <カラー>感光体残り僅か」が表示されている場合は、[消耗品交換]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。

メモ: 寿命をリセットしないと、印刷品質が低下する場合があります。

「<カラー>感光体が交換されました」が表示されます。

[はい]と表示されます。

- 9 を押してメッセージを消去します。

感光体を1つだけ交換するよう指示されている場合は、「準備完了」が表示されます。これで作業は完了です。さらに別の感光体を交換するよう指示されている場合は、感光体ごとに手順1～9を繰り返します。すべての感光体の交換が完了すると、「準備完了」が表示されます。これで作業は完了です。

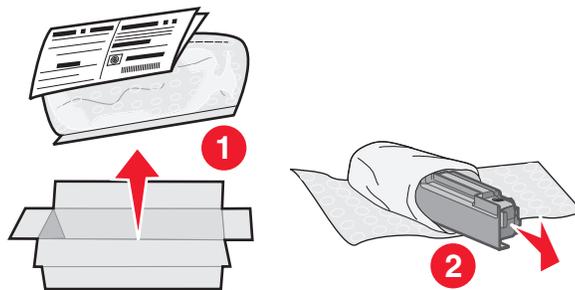
感光体を交換した後でプリンタの表示画面に「準備完了」が表示された場合は、以下の手順 1 ～ 7 を実行します。

- 1 交換した感光体を指定するには、 を押します。
√[消耗品]メニューが表示されます。
- 2 を押します。
√[消耗品を交換]が表示されます。
- 3 を押します。
- 4 √[すべて]、√[シアン感光体]、√[マゼンタ感光体]、√[イエロー感光体]、または√[ブラック感光体]のいずれか交換した感光体が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押します。
- 5 を押します。
「<カラー>感光体が交換されました」が表示されます。
√[はい]と表示されます。
- 6 を押します。
- 7 「準備完了」が表示されるまで  を押します。

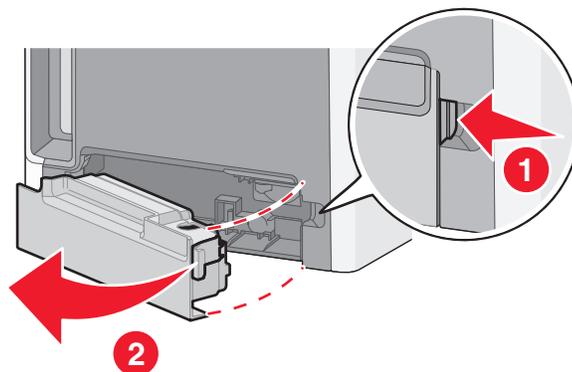
廃トナーボックスを交換する

[82 廃トナーボックスを交換]または[82 廃トナーボックスほぼ満杯]と表示された場合は、廃トナーボックスを交換します。廃トナーボックスを交換するまで、プリンタは印刷を中断します。

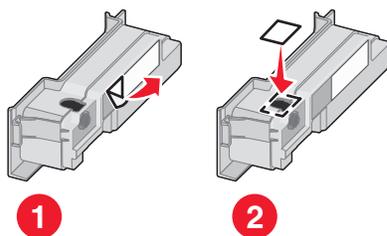
- 1 交換用の廃トナーボックスの梱包を取り外し、箱から取り出します。



- 2 プリンタの左側にある廃トナーボックスリリースボタンの位置を確認します。
- 3 リリースボタンを左に押し、廃トナーボックスを引き出し、プリンタから取り外します。

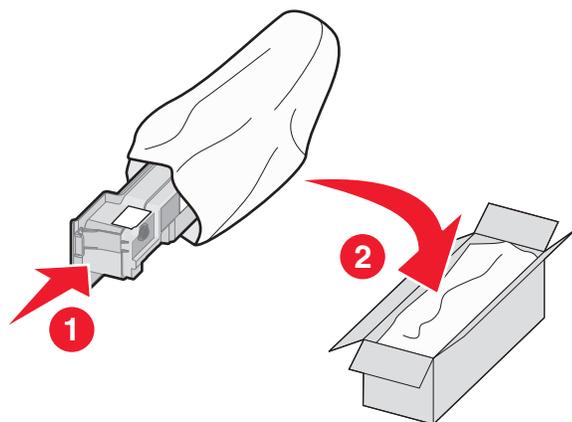


4 図のように満杯の廃トナーボックスの側面からシールをはがし、穴の上に貼って廃トナーボックスを封印します。

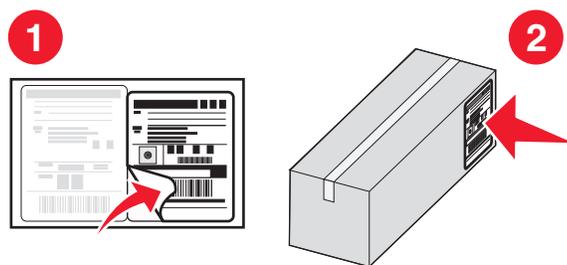


5 封印した廃トナーボックスをリサイクルバッグに入れます。

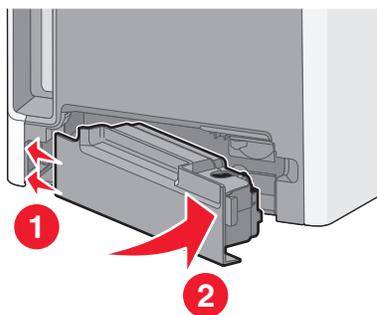
6 バッグを交換用部品を取り出した箱に入れます。



7 リサイクルラベルをはがして、箱に貼ります。



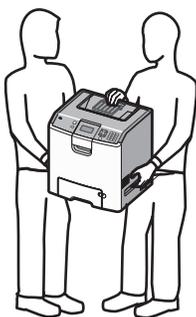
8 新しい廃トナーボックスをプリンタに挿入します。



プリンタを移動する

プリンタを移動する前に

⚠ 危険！ケガの恐れあり：プリンタの重量は 18 kg (40 ポンド) 以上あるため、安全に持ち上げるには訓練を受けた技術者が 2 名以上必要です。



⚠ 危険！ケガの恐れあり：プリンタを移動する前に、人体への傷害やプリンタの損傷を避けるために、次のガイドラインに従ってください。

- 電源スイッチでプリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。
- プリンタを移動する前に、プリンタからコードやケーブル類をすべて外してください。
- プリンタを持ち上げてオプションのドロワーから取り外し、脇に置きます。ドロワーとプリンタを一度に持ち上げようとししないでください。

メモ：持ち上げてオプションのドロワーから外すときには、プリンタの両側面および背面にある持ち手を使用してください。

警告！破損の恐れあり：不適切な移動によるプリンタへの損傷は保証の対象外です。

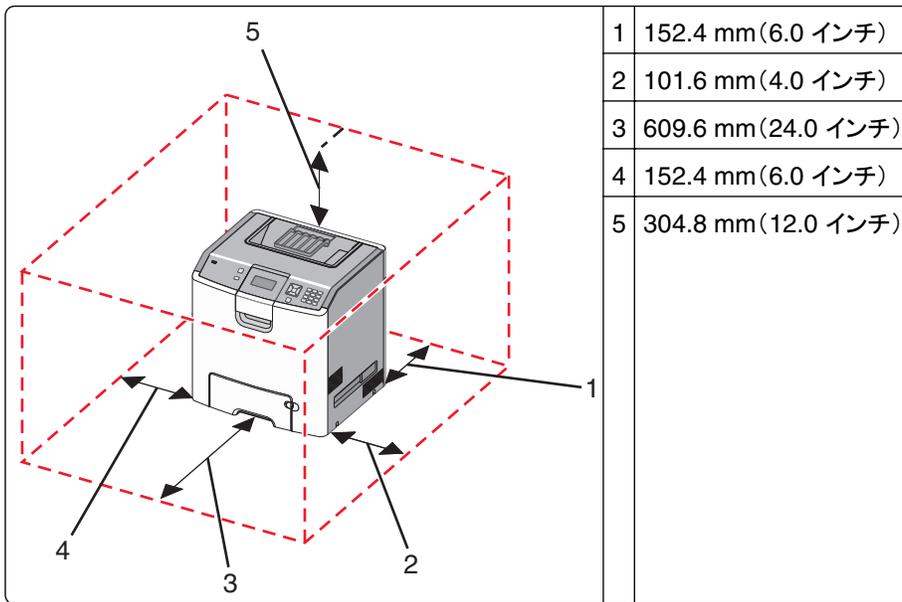
プリンタを別の場所に移動する

プリンタやオプションを別の場所に安全に移動するため、次の点に注意してください。

- プリンタの移動に台車を使用する場合は、プリンタの底面全体を載せられる台車を使用してください。オプションの移動に台車を使用する場合は、オプション全体を載せられる台車を使用してください。
- プリンタは直立状態に保ってください。
- 急激な動きは避けてください。

プリンタを新しい場所に設置する

プリンタを設置するときは、図に示すようにプリンタ周りに余裕を持たせます。



プリンタの輸送

プリンタを輸送する場合は、元の梱包材を使用するか、販売店に連絡して移動用キットをお求めください。

管理サポート

ネットワークおよび管理者の詳細情報を入手する

システムサポートタスクの詳細については、ソフトウェアおよび説明書類 CD にある『ネットワークガイド』および Lexmark のホームページ (<http://support.lexmark.com>) にある『内蔵 Web サーバ管理者ガイド』を参照してください。

内蔵 Web サーバを使用する

1 Web ブラウザのアドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: お使いのプリンタの IP アドレスがわからない場合は、以下の方法で確認することができます。

- プリンタ操作パネルの [ネットワーク/ポート] メニューの TCP/IP セクションでプリンタの IP アドレスを確認します。
- ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、TCP/IP セクションで IP アドレスを確認します。

2 いずれかのタブをクリックして、プリンタに関する情報の確認、設定の変更、またはレポートの表示を行います。

メモ: プリンタが USB ケーブルまたはパラレルケーブルでコンピュータに接続されている場合は、ローカルプリンタ設定ユーティリティ (Windows の場合) またはプリンタ設定 (Macintosh の場合) を開いてプリンタメニューにアクセスします。

仮想ディスプレイを確認する

仮想ディスプレイは、プリンタのコントロールパネルで動作する実際のディスプレイと同じように動作し、プリンタのメッセージを表示します。

内蔵 Web サーバにアクセスするには、プリンタの IP アドレスを Web ブラウザのアドレスフィールドに入力します。

メモ: お使いのプリンタの IP アドレスがわからない場合は、以下の方法で確認することができます。

- プリンタ操作パネルの [ネットワーク/ポート] メニューの TCP/IP セクションでプリンタの IP アドレスを確認します。
- ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、TCP/IP セクションで IP アドレスを確認します。

仮想ディスプレイは画面の上部左隅に表示されます。

デバイス状況を確認する

内蔵 Web サーバの [デバイス状況] ページでは、用紙カセットの設定、トナーカートリッジのトナー残量、感光体キットの残りの寿命、特定のプリンタ部品の容量測定値を確認できます。

1 Web ブラウザのアドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: お使いのプリンタの IP アドレスがわからない場合は、以下の方法で確認することができます。

- プリンタ操作パネルの [ネットワーク/ポート] メニューの TCP/IP セクションでプリンタの IP アドレスを確認します。
- ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、TCP/IP セクションで IP アドレスを確認します。

2 [デバイス状況] をクリックします。

E メール警告を設定する

消耗品の残量が少なくなってきたり、用紙の変更、追加、詰りの解消が必要な場合、プリンタから E メールを送信することができます。

1 Web ブラウザのアドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: お使いのプリンタの IP アドレスがわからない場合は、以下の方法で確認することができます。

- プリンタ操作パネルの[ネットワーク/ポート]メニューの TCP/IP セクションでプリンタの IP アドレスを確認します。
- ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、TCP/IP セクションで IP アドレスを確認します。

2 [設定]をクリックします。

3 [その他の設定]で[E メール警告セットアップ]をクリックします。

4 通知する項目を選択し、Eメールの受信に使用する E メールアドレスを入力します。

5 [送信]をクリックします。

メモ: E メールサーバを設定するには、システムサポート担当者にお問い合わせください。

レポートの表示

内蔵 Web サーバから一部のレポートを表示できます。これらのレポートは、プリンタ、ネットワーク、消耗品の状態を確認するのに役立ちます。

1 Web ブラウザのアドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: お使いのプリンタの IP アドレスがわからない場合は、以下の方法で確認することができます。

- プリンタ操作パネルの[ネットワーク/ポート]メニューの TCP/IP セクションでプリンタの IP アドレスを確認します。
- ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、TCP/IP セクションで IP アドレスを確認します。

2 [レポート]をクリックし、表示するレポートのタイプをクリックします。

出荷時標準設定を復元する

参照のために現在のメニュー設定のリストを保持したい場合は、出荷時標準設定を復元する前にメニュー設定ページを印刷します。詳細については、33 ページの「メニュー設定ページを印刷する」を参照してください。

警告！破損の恐れあり: 出荷時標準設定を復元すると、ほとんどのプリンタ設定が元の出荷時の標準設定に戻ります。例外は、表示言語、カスタムサイズおよびメッセージ、[ネットワーク/ポート]メニュー設定です。RAM に保存されているダウンロード物はすべて削除されます。フラッシュメモリまたはプリンタのハードディスクに保存されているダウンロード物には影響しません。

1 プリンタ操作パネルで  を押します。

2 [設定]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。

3 [一般設定]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。

- 4 [工場出荷時設定]の横に ✓ が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 5 [復元する]の横に ✓ が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
「出荷時標準設定に復元中」が表示されます。

他のプリンタに設定をコピーする

内蔵 Web サーバを使用して、最大 15 台の他のネットワークプリンタに設定をコピーできます。

- 1 Web ブラウザのアドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。
メモ: お使いのプリンタの IP アドレスがわからない場合は、以下の方法で確認することができます。
 - プリンタ操作パネルの[ネットワーク/ポート]メニューの TCP/IP セクションでプリンタの IP アドレスを確認します。
 - ネットワーク設定ページまたはメニュー設定ページを印刷し、TCP/IP セクションで IP アドレスを確認します。
- 2 [プリンタ設定のコピー]をクリックします。
- 3 言語を変更するには、ドロップダウンリストから言語を選択し、[言語を送信するにはここをクリック]をクリックします。
- 4 [プリンタ設定]をクリックします。
- 5 ソースプリンタおよび対象プリンタの IP アドレスを入力します。
メモ: 対象プリンタを追加するには、[対象 IP を追加]ボタンをクリックします。
- 6 [プリンタ設定のコピー]をクリックします。

紙づまりを除去する

紙づまりのエラーメッセージは画面に表示され、紙づまりが発生した場所を示します。紙づまりが複数発生した場合は、つまった用紙の枚数が表示されます。

紙づまりを防ぐ

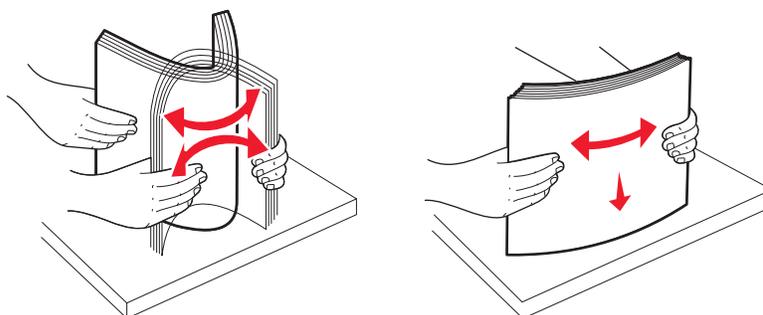
以下の項目に従うことで紙づまりを防ぐことができます。

用紙カセットに関する推奨事項

- 用紙はカセットに平らに置く。
- 印刷中はカセットを取り外さない。
- プリンタの印刷中はカセットに用紙をセットしない。印刷前に用紙をセットするか、用紙をセットするよう指示が表示されるまで待ちます。
- セットする用紙の量が多すぎないようにする。重ねた用紙の高さが、設定されている高さ制限を超えないようにする。
- カセットまたは多目的フィーダのガイドが正しい位置にあり、用紙または封筒をきつく固定していないことを確認する。
- 用紙をセットしたら用紙カセットをしっかり押し込む。

用紙に関する推奨

- 推奨用紙または専用紙のみを使用する。
- しわ、折り目のある用紙、湿っている用紙、曲がっている用紙はセットしない。
- ほぐしたり、パラパラめくったり、端を揃えたりしてから用紙をセットする。



- 手で切った用紙は使用しない。
- 用紙の大きさ、重さ、種類が異なる用紙を1つのカセットにセットしない。
- プリンタの操作パネルのメニューで、すべての用紙の大きさと種類が正しく設定されていることを確認する。
- メーカーが推奨する方法で用紙を保管する。

紙づまり箇所アクセスする

紙づまりが発生している場合は、紙づまりの場所を示すメッセージが画面に表示されます。紙づまり箇所アクセスするには、ドアとカバーを開いてカセットを取り外します。紙づまりのメッセージを解決するには、用紙経路から用紙をすべて取り除き、 を押す必要があります。

紙づまり番号	紙づまりの場所	作業
200 ~ 201	プリンタ内	前面ドアを開いて、感光体ユニットを取り外して、つまった紙を取り除きます。
202	プリンタ内	前面ドアを開いて、上部カバーを取り外して、つまった紙を取り除きます。
203	プリンタまたは標準排紙トレイ内	前面ドアを開いて、上部カバーを取り外して、つまった紙を取り除きます。
230	プリンタ内	カセット 1 を取り外し、前面ドアを開いて、つまった紙を取り除きます。
24x	用紙カセット内	各カセットを開いて、つまった紙を取り除きます。
250	多目的フィーダ	<ol style="list-style-type: none"> 1 多目的フィーダからすべての用紙を取り除きます。 2 用紙をほぐして積み重ねます。 3 多目的フィーダに再度セットします。 4 用紙ガイドを調整します。

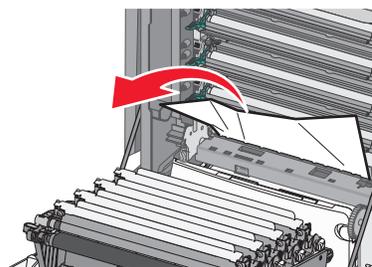
200 ~ 201 紙づまり

⚠ 危険！表面は高温です：プリンタの内部は高温になっている場合があります。高温になったコンポーネントで火傷などを負わないように、表面が冷えてから触れてください。

1 前面ドアを開きます。

警告！破損の恐れあり：感光体が露光しすぎないようにするため、前面ドアを 10 分以上開けたままにしないでください。

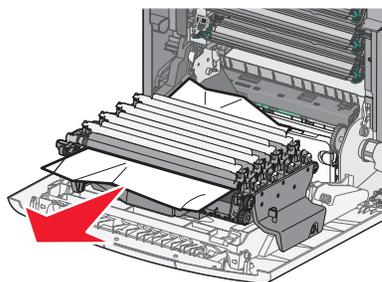
2 トナーカートリッジの背後で紙づまりが発生した場合は、つまった用紙を上を持ち上げて取り出します。



メモ：すべての紙片を取り除きます。

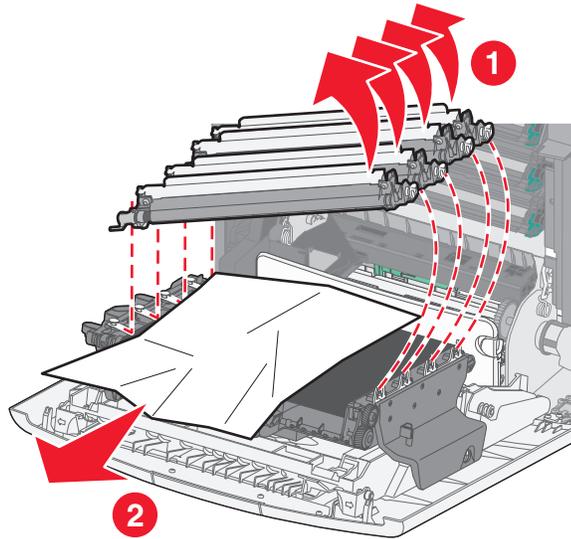
3 感光体の下で紙づまりが発生した場合：

a つまんだ用紙を手前に引き出します。



メモ：用紙が感光体ユニットの奥で詰まっている場合、感光体ユニットを取り外さなければならない場合があります。

b 各感光体ユニットを取り外し、平らな場所に置きます。



c つまっている用紙を取り除き、各感光体ユニットを元に戻します。

4 前面ドアを閉じます。

5 を押します。

202 紙づまり

標準排紙トレイから用紙が見える場合は、用紙をつかんでトレイから抜き取ります。



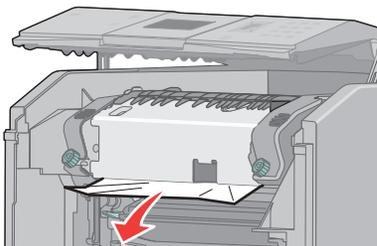
フューザユニットの下の紙づまり

警告！破損の恐れあり：感光体が露光しすぎないようにするため、前面ドアを10分以上開けたままにしないでください。

- 1 前面ドアを開いてから上部カバーを開きます。

 **危険！表面は高温です：**プリンタの内部は高温になっている場合があります。高温になったコンポーネントで火傷などを負わないように、表面が冷えてから触れてください。

- 2 つまった用紙の端をしっかりとつかみ、手前に引き出します。



- 3 上部カバーを閉じてから前面ドアを閉じます。

- 4 を押します。

フューザユニットの後ろの紙づまり

警告！破損の恐れあり：感光体が露光しすぎないようにするため、前面ドアを 10 分以上開けたままにしないでください。

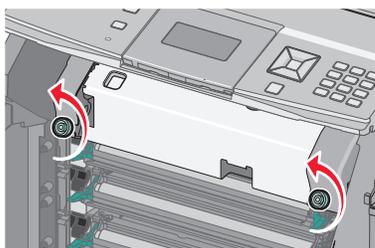
- 1 前面ドアを開いてから上部カバーを開きます。

 **危険！表面は高温です：**プリンタの内部は高温になっている場合があります。高温になったコンポーネントで火傷などを負わないように、表面が冷えてから触れてください。

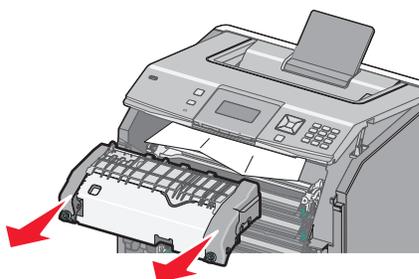
- 2 フューザの後ろで用紙がつまった場合は、フューザユニットを取り外す必要があります。

警告！破損の恐れあり：フューザユニットの中央部分には触れないでください。触れてしまうと、ヒューザユニットの底面にあるローラに指が接触する可能性があります。フューザローラーに触れると、フューザが損傷します。

- a フューザユニットのネジを左に回し、ネジを緩めます。

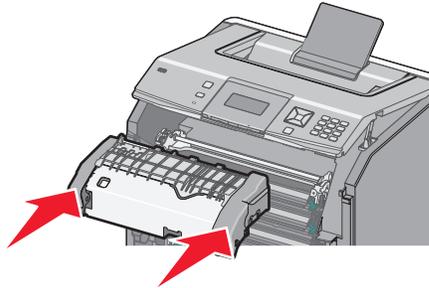


- b ヒューザユニットの両側にある取っ手を持ち上げて、前方に引っ張って取り外します。

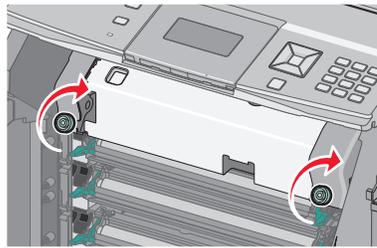


- c フューザユニットを平らな場所に置きます。

- 3 取り除くには、用紙をゆっくりとプリンタから引っ張るか、標準排紙トレイに向かって持ち上げます。
- 4 フューザユニットを再び取り付けます。
 - a 両側の取っ手を使用してフューザユニットをプリンタに取り付けなおします。



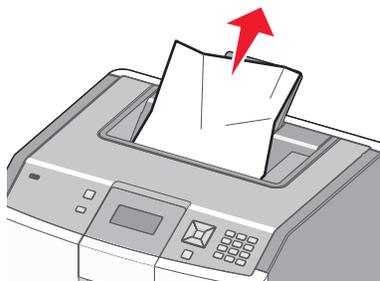
- b ネジを右に回し、フューザユニットをしっかりと固定します。



- 5 上部カバーを閉じてから前面ドアを閉じます。
- 6 を押します。

203、230 紙づまり

- 1 標準排紙トレイに紙づまりが発生した場合は、用紙をつかんでトレイから抜き取ります。



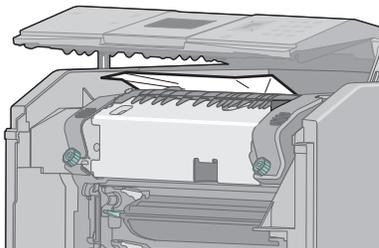
- 2 フューザ近くのローラーの下で紙づまりが発生した場合：

警告！破損の恐れあり：感光体が露光しすぎないようにするため、前面ドアを 10 分以上開けたままにしないでください。

a 前面ドアを開いてから上部カバーを開きます。

 **危険！表面は高温です：**プリンタの内部は高温になっている場合があります。高温になったコンポーネントで火傷などを負わないように、表面が冷えてから触れてください。

b 用紙の端をしっかりとつかみ、ゆっくりと引き出します。



c 上部カバーを閉じてから前面ドアを閉じます。

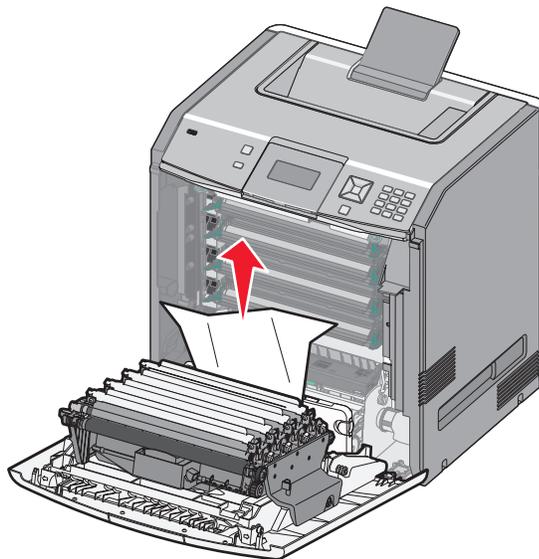
3 前面ドアとカセット 1 の間に紙づまりが発生した場合：

a カセット 1 を取り外します。

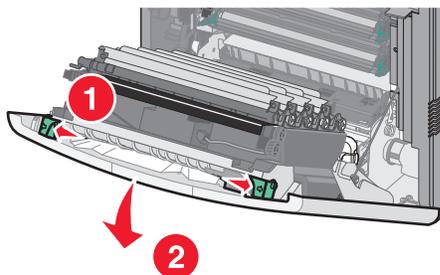
b 前面ドアを開きます。

警告！破損の恐れあり：感光体が露光しすぎないようにするため、前面ドアを 10 分以上開けたままにしないでください。

c つまった用紙をまっすぐ引き上げて取り除きます。



d リリースタブを引き出して前面ドアを分割します。



e つまった用紙をまっすぐ引き出して取り除きます。

f 前面ドアを閉じます。

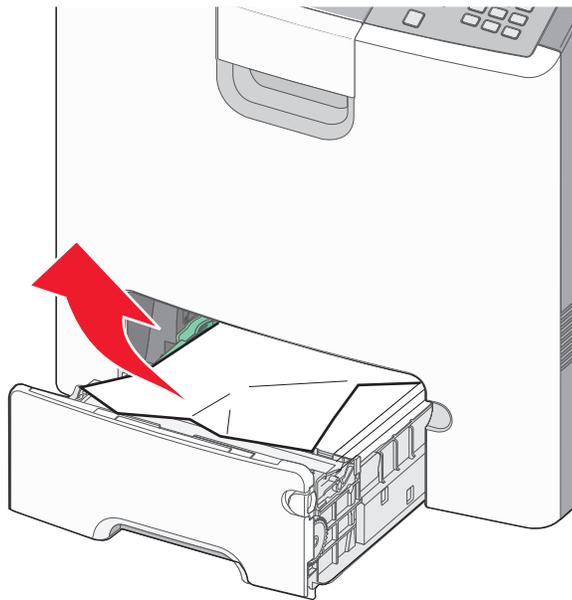
g カセット 1 を再度挿入します。

4 を押します。

24x 紙づまり

カセット 1 での紙づまり

1 カセット 1 を開き、つまった用紙をまっすぐに引き出します。

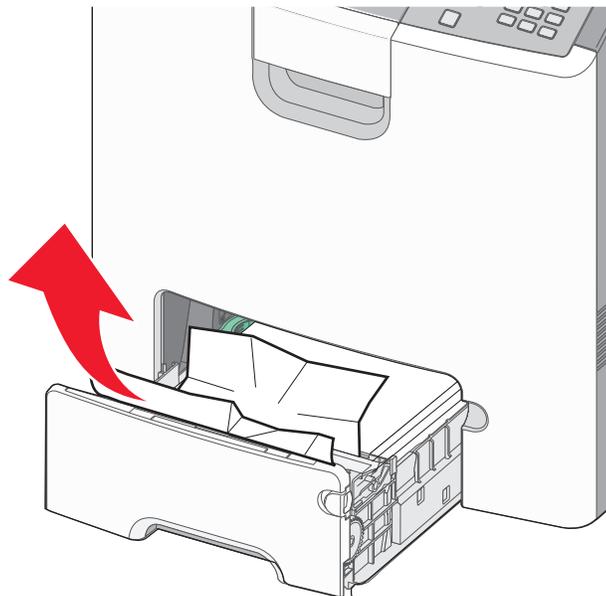


2 カセット 1 を閉じます。

3 を押します。

カセット 1 の前部での紙づまり

- 1 カセット 1 を開き、つまった用紙を引き出します。

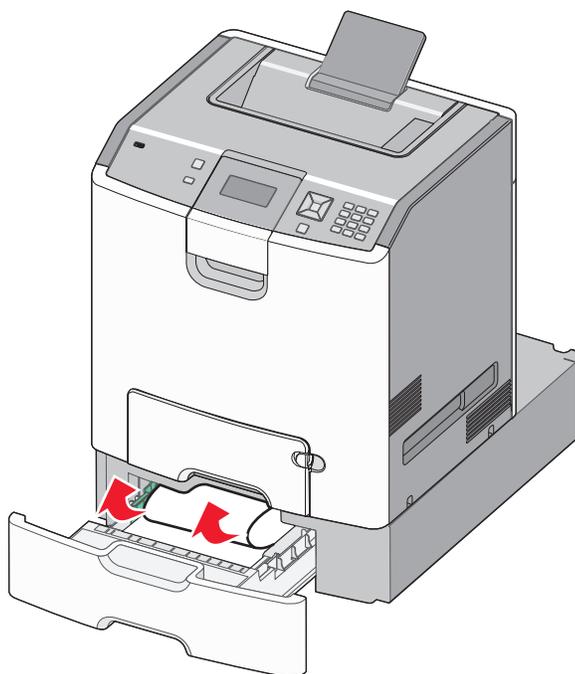


- 2 カセット 1 を閉じます。

- 3 を押します。

オプションのカセットでの紙づまり

- 1 特定のオプションカセットを開き、つまった用紙を図のように引き抜きます。

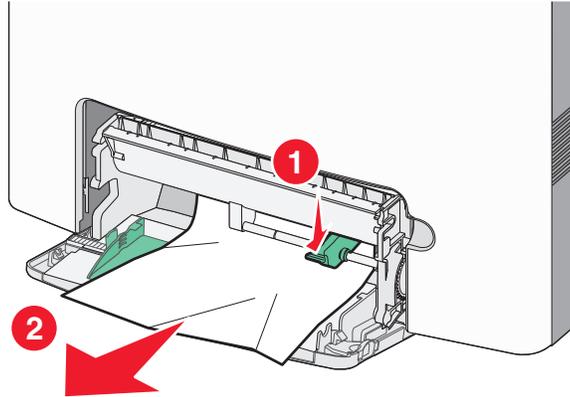


- 2 特定のオプションカセットを閉じます。

3 を押します。

250 紙づまり

1 用紙リリースレバーを押して、多目的フィーダからつまった紙を取り除きます。



2 用紙を多目的フィーダにセットします。

3 を押します。

トラブルシューティング

プリンタのメッセージについて

画面に手差しフィーダと表示された場合は、多目的カセット(多目的フィーダ)のことを意味します。

<給紙源>を<ユーザ定義タイプ名>に変更

印刷ジョブの残りに対して現在の給紙源を変更できます。フォーマット済みのページは、選択したカセットにセットされた用紙に印刷されます。これにより、文字やイメージがクリッピングされる可能性があります。以下の方法をいくつか試します。

- 適切な用紙サイズまたは用紙タイプの用紙カセットを選択するには、[用紙が変更されました、続行]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- メッセージを無視して、選択したカセットから印刷ジョブを印刷するには、[現在の<給紙源>を使用]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルするには、[ジョブをキャンセル]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 詳細については、[表示]の横に が表示されるまで、または[詳細説明]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。

<給紙源>を<ユーザー定義文字列>に変更

印刷ジョブの残りに対して現在の給紙源を変更できます。フォーマット済みのページは、選択したカセットにセットされた用紙に印刷されます。これにより、文字やイメージがクリッピングされる可能性があります。以下の方法をいくつか試します。

- 適切な用紙サイズまたは用紙タイプの用紙カセットを選択するには、[用紙が変更されました、続行]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- メッセージを無視して、選択したカセットから印刷ジョブを印刷するには、[現在の<給紙源>を使用]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルするには、[ジョブをキャンセル]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 詳細については、[表示]の横に が表示されるまで、または[詳細説明]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。

＜給紙源＞を＜サイズ＞に変更

印刷ジョブの残りに対して現在の給紙源を変更できます。フォーマット済みのページは、選択したカセットにセットされた用紙に印刷されます。これにより、文字やイメージがクリッピングされる可能性があります。以下の方法をいくつか試します。

- 適切な用紙サイズまたは用紙タイプの用紙カセットを選択するには、[用紙が変更されました、続行]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- メッセージを無視して、選択したカセットから印刷ジョブを印刷するには、[現在の＜給紙源＞を使用]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルするには、[ジョブをキャンセル]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 詳細については、[表示]の横に が表示されるまで、または[詳細説明]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。

＜給紙源＞を＜タイプ＞＜サイズ＞に変更

印刷ジョブの残りに対して現在の給紙源を変更できます。フォーマット済みのページは、選択したカセットにセットされた用紙に印刷されます。これにより、文字やイメージがクリッピングされる可能性があります。以下の方法をいくつか試します。

- 適切な用紙サイズまたは用紙タイプの用紙カセットを選択するには、[用紙が変更されました、続行]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- メッセージを無視して、選択したカセットから印刷ジョブを印刷するには、[現在の＜給紙源＞を使用]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルするには、[ジョブをキャンセル]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 詳細については、[表示]の横に が表示されるまで、または[詳細説明]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。

前面ドアを閉じる

前ドアを閉じて、メッセージを消去します。

上部アクセスカバーと前面ドアを閉じる

上部アクセスカバーと前面ドアを閉じて、メッセージを消去します。

ディスクが破損しています

プリンタはディスクの復元を試みましたが、復元できませんでした。[ディスクを初期化]が表示されます。 を押して、ディスクを再フォーマットしてください。

メモ: ディスクを再フォーマットすると、ディスクに格納されているファイルがすべて削除されます。

カセット＜x＞を挿入

プリンタに指定されたカセットを挿入します。

＜給紙源＞に＜ユーザ定義タイプ名＞をセットする

以下の方法をいくつか試します。

- メッセージを消去し、印刷を続行するには、指定された給紙源に指定された用紙をセットします。
- 適切な用紙サイズまたは用紙タイプの用紙カセットを選択するには、[用紙が変更されました、続行]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 印刷ジョブをキャンセルします。[ジョブをキャンセル]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 詳細については、[表示]の横に が表示されるまで、または[詳細説明]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。

＜給紙源＞に＜ユーザ定義文字列＞をセットする

以下の方法をいくつか試します。

- メッセージを消去し、印刷を続行するには、指定された給紙源に指定された用紙をセットします。
- 適切な用紙サイズまたは用紙タイプの用紙カセットを選択するには、[用紙が変更されました、続行]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 印刷ジョブをキャンセルします。[ジョブをキャンセル]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 詳細については、[表示]の横に が表示されるまで、または[詳細説明]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。

＜給紙源＞に＜タイプ＞＜サイズ＞をセットする

以下の方法をいくつか試します。

- メッセージを消去し、印刷を続行するには、指定された給紙源に指定された用紙をセットします。
- 適切な用紙サイズまたは用紙タイプの用紙カセットを選択するには、[用紙が変更されました、続行]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 印刷ジョブをキャンセルします。[ジョブをキャンセル]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 詳細については、[表示]の横に が表示されるまで、または[詳細説明]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。

＜給紙源＞に＜サイズ＞をセット

以下の方法をいくつか試します。

- メッセージを消去し、印刷を続行するには、指定された給紙源に指定された用紙をセットします。
- 適切な用紙サイズまたは用紙タイプの用紙カセットを選択するには、[用紙が変更されました、続行]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 印刷ジョブをキャンセルします。[ジョブをキャンセル]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 詳細については、[表示]の横に が表示されるまで、または[詳細説明]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。

手差しフィーダに<ユーザ定義タイプ名>をセットする

以下の方法をいくつか試します。

- 多目的フィーダに、適切なタイプとサイズの内紙をセットします。
- 要求を無視して、既にいずれかのカセットで使用されている用紙に印刷します。[自動で用紙を選択する]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
正しいタイプの用紙がセットされたカセットを検出すると、プリンタはそのカセットの内紙を使用します。正しいタイプの用紙がセットされたカセットを検出できない場合、プリンタは標準設定の給紙源にセットされている用紙に印刷します。
- [ジョブをキャンセル]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 詳細な情報が必要な場合は、 [表示] または [詳細説明] が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。

手差しフィーダに<ユーザー定義文字列>をセットする

以下の方法をいくつか試します。

- 多目的フィーダに、適切なタイプとサイズの内紙をセットします。
- 要求を無視して、既にいずれかのカセットで使用されている用紙に印刷します。[自動で用紙を選択する]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
正しいタイプの用紙がセットされたカセットを検出すると、プリンタはそのカセットの内紙を使用します。正しいタイプの用紙がセットされたカセットを検出できない場合、プリンタは標準設定の給紙源にセットされている用紙に印刷します。
- 印刷ジョブをキャンセルします。[ジョブをキャンセル]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 詳細については、[表示]の横に が表示されるまで、または[詳細説明]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。

手差しフィーダに<タイプ><サイズ>をセットする

以下の方法をいくつか試します。

- 多目的フィーダに適切なタイプとサイズの内紙をセットします。
- 要求を無視して、既にいずれかの給紙源で使用されている用紙に印刷します。[自動で用紙を選択する]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。現在のジョブが正しく印刷されない可能性があります。
正しいタイプの用紙がセットされた給紙源を検出すると、プリンタはその給紙源の内紙を使用します。正しいタイプの用紙がセットされた給紙源を検出できない場合、プリンタは標準設定の給紙源にセットされている用紙に印刷します。
- 印刷ジョブをキャンセルします。[ジョブをキャンセル]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 詳細については、[表示]の横に が表示されるまで、または[詳細説明]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。

手差しフィーダに〈サイズ〉をセットする

以下の方法をいくつか試します。

- 多目的フィーダに適切なサイズの用紙をセットします。
多目的フィーダに用紙がない場合は、多目的フィーダに白紙を 1 枚セットしてメッセージを消去します。
- 要求を無視して、既にいずれかの給紙源で使用されている用紙に印刷します。[自動で用紙を選択する]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
正しいタイプの用紙がセットされた給紙源を検出すると、プリンタはその給紙源の用紙を使用します。正しいタイプの用紙がセットされた給紙源を検出できない場合、プリンタは標準設定の給紙源にセットされている用紙に印刷します。
- 印刷ジョブをキャンセルします。[ジョブをキャンセル]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 詳細については、[表示]の横に が表示されるまで、または[詳細説明]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。

全てのカラー消耗品を取除く

プリンタが[構成設定メニュー]でカラーロック印刷を行うように設定されました。以下のいずれかの手順を実行します。

- カラートナーカートリッジと感光体ユニットをすべて取り外します。
メモ: ブラクトナーカートリッジまたは感光体ユニットは取り外さないでください。
- メッセージを消去してカラーロック印刷モードで印刷するには、[継続]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。

排紙トレイから用紙を取除く〔はいしとれいからようしをとりのぞく〕

排紙トレイにたまった用紙を取り除きます。

梱包材を取り除き、〈領域名〉を確認する

- 1 プリンタから梱包材をすべて取り外します。
- 2 フューザ、転写モジュール、カセット、消耗品が適切に取り付けられていることを確認してください。
- 3 [表示箇所]が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。

ディスク領域を確実に消去する

プリンタのハードディスク消去処理では、復元が必要です。すべてのブロックが消去されるとメッセージが消えます。

保持されたジョブを復元？

- プリンタのハードディスクに保持されているジョブをすべて復元するには、[復元]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- [復元しない]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。印刷ジョブは復元されません。

保持されたジョブが幾つか復元されませんでした

[続行]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押してメッセージを消去します。

サポートされないディスク

サポートされていないプリンタのハードディスクがインストールされています。サポートされていないデバイスを取り外してから、サポートされているデバイスを取り付けます。

このモードはサポートされていません。一度取り外してモードを変更してください

カメラが PictBridge の有効なモードになっていることを確認します。

サポートされていない USB ハブです、取り外してください

認識されていない USB ハブを取り外します。

サポートされていない USB デバイスです、取り外してください

認識されていない USB デバイスを取り外します。

31.yy <カラー>カートリッジが無いか不良

指定されたトナーカートリッジが無いか正常に機能していません。

- 指定されたトナーカートリッジを取り外してから、再び取り付けます。
- 指定されたトナーカートリッジを取り外してから、新しいカートリッジを取り付けます。

32.yy デバイスがサポートしていない<カラー>カートリッジ品番

指定されたトナーカートリッジを取り外してから、サポートされているトナーカートリッジを取り付けます。

34 用紙が短すぎます

以下の方法をいくつか試します。

- カセットに適切な用紙をセットします。
- [続行]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押して、メッセージを消去します。そのあと、他の給紙カセットを使用してジョブを印刷します。
- カセットの長さガイドおよび幅ガイドを確認して、用紙がカセットに合っていることを確認します。
- Windows の場合、[印刷]の[プロパティ]を確認して、印刷ジョブが適切な用紙のサイズとタイプを要求していることを確認します。

Machintosh の場合、「プリント」ダイアログ設定を確認して、印刷ジョブが適切な用紙のサイズとタイプを要求していることを確認します。

- 用紙のサイズが正しく設定されていることを確認します。たとえば、[多目的フィーダサイズ]が[ユニバーサル]に設定されている場合、印刷するデータに対して用紙のサイズが十分であることを確認してください。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルします。[ジョブをキャンセル]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。

35 リソース保存機能を使うにはメモリー不足です

以下の方法をいくつか試します。

- [続行]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押してリソース保存機能を無効にし、印刷を続行します。
- このメッセージが表示された後にリソース保存機能を有効にするには、リンクバッファが[自動]に設定されていることを確認してから、メニューを終了してリンクバッファの変更を有効にします。「準備完了」と表示されたら、リソース保存機能を有効にします。
- メモリを増設します。

37 ジョブの丁合いにはメモリ不足

以下の方法をいくつか試します。

- [続行]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押して、 を押し、保存済みのジョブを印刷してから、残りの印刷ジョブを丁合印刷します。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルします。[ジョブをキャンセル]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。

37 メモリー不足、保持されたジョブは幾つか削除されました

現在のジョブを処理するために、保持されたジョブの一部が削除されました。

[続行]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押してメッセージを消去します。

37 メモリー不足。保持されたジョブが幾つか復元されません

プリンタハードディスクのコンフィデンシャルジョブまたは保持されたジョブの一部またはすべてを復元できませんでした。

[続行]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押してメッセージを消去します。

38 メモリー フル

以下の方法をいくつか試します。

- [続行]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押してメッセージを消去します。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルします。[ジョブをキャンセル]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- プリンタメモリを増設します。

39 複雑なページ、印刷されない箇所があります

以下の方法をいくつか試します。

- [続行]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押してメッセージを消去し、印刷を続行します。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルします。[ジョブをキャンセル]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- プリンタメモリを増設します。

51 フラッシュメモリ不良

- [続行]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押してメッセージを消去し、印刷を続行します。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルします。

52 リソースのためのフラッシュメモリの空き領域が不足

以下の方法をいくつか試します。

- [続行]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押して、 を押してデフラグを中止し、印刷を続行します。
フラッシュメモリに保存されていないダウンロード済みのフォントおよびマクロは削除されます。
- フラッシュメモリに保存されているフォント、マクロ、その他のデータを削除します。
- より容量の大きなフラッシュメモリカードにアップグレードします。

54 ネットワーク< x >ソフトウェアエラー

- 印刷を継続するには、 [継続]が表示されるまで上向き矢印ボタンまたは下向き矢印ボタンを押してから、 を押します。
- プリンタの電源をいったん切り、再びオンにして、プリンタをリセットします。
- プリンタまたはプリントサーバのネットワークファームウェアをアップグレード(フラッシュ)します。

54 標準ネットワークソフトウェアエラー

以下の方法をいくつか試します。

- [続行]の横に が表示されるまで下矢印ボタンを押して、 を押してメッセージを消去します。
- プリンタの電源をいったん切り、再びオンにして、プリンタをリセットします。
- プリンタまたはプリントサーバのネットワークファームウェアをアップグレード(フラッシュ)します。

55 スロット< x >に非サポートのオプション

< x >はプリンタシステムボードのスロットです。

以下の方法をいくつか試します。

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 コンセントから電源コードを抜きます。

- 3 プリンタのシステムボードから、サポートされていないオプションのカードを取り外します。
- 4 電源コードを正しく接地されたコンセントに接続します。
- 5 プリンタの電源を入れます。

56 パラレルポート< x >が無効です

- [続行]の横に ✓ が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押してメッセージを消去します。プリンタがパラレルポートから受信したデータは破棄されます。
- [パラレルバッファ]メニュー項目が[無効]に設定されていないことを確認します。

56 シリアルポート< x >が無効です

- [続行]の横に ✓ が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押してメッセージを消去します。プリンタがシリアルポートから受信したデータは破棄されます。
- [シリアルバッファ]メニュー項目が[無効]に設定されていないことを確認します。

56 標準 USB ポートが無効です

以下の方法をいくつか試します。

- [続行]の横に ✓ が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押してメッセージを消去します。プリンタが USB ポートから受信したデータは破棄されます。
- [USB バッファ]メニュー項目が[無効]に設定されていないことを確認します。

57 構成設定変更の為、保持されたジョブが幾つか消失されました

[続行]の横に ✓ が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押してメッセージを消去します。

58 取付けられたディスクが多過ぎます

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 コンセントから電源コードを抜きます。
- 3 余分なディスクを取り外します。
- 4 電源コードを正しく接地されたコンセントに接続します。
- 5 プリンタの電源を入れます。

58 インストールされているフラッシュオプションが多過ぎます

余分なオプションのフラッシュメモリカードまたはオプションのファームウェアカードがプリンタにインストールされています。

以下の方法をいくつか試します。

- メッセージを消去して印刷を継続するには、√[継続]が表示されるまで上向き矢印ボタンまたは下向き矢印ボタンを押してから、を押します。
- 余分なフラッシュオプションを取り除くには、以下の手順に従います。
 - 1 プリンタの電源を切ります。
 - 2 コンセントから電源コードを抜きます。
 - 3 余分なフラッシュオプションを取り除きます。
 - 4 電源コードを正しくアースされたコンセントに接続します。
 - 5 プリンタの電源を入れます。

58 取付けられたカセットが多過ぎます

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 コンセントから電源コードを抜きます。

メモ: オプションのカセットは積み重ねるとロックされます。積み重ねたカセットは上から順に1つずつ取り外します。
- 3 余分なカセットを取り外します。
- 4 電源コードを正しく接地されたコンセントに接続します。
- 5 プリンタの電源を入れます。

59 非互換のカセット < x > です

このプリンタ専用に設計されたオプションのみサポートされています。

以下の方法をいくつか試します。

- 指定されたカセットを取り外します。
- メッセージを消去し、指定されたカセットを使用せずに印刷を続けるには、[続行]の横に√が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、を押します。

61 故障したハードディスクを取外し

- [続行]の横に√が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、を押してメッセージを消去し、印刷を続行します。
- ハードディスクが必要な操作を実行する前に、別のハードディスクを取り付けます。

62 ディスクフル

- [続行]の横に√が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、を押してメッセージを消去し、処理を続行します。
- ハードディスクに保存されているフォント、マクロ、その他のデータを削除します。
- さらに大容量のハードディスクを取り付けます。

63 ディスクが初期化されていません

- [続行]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押してメッセージを消去し、印刷を続行します。
- ディスクをフォーマットします。

エラーメッセージが表示され続ける場合、ハードディスクが不良の可能性があるので交換する必要があります。

80.xx フューザ寿命近し

- [続行]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押してメッセージを消去し、印刷を続行します。
- 直ちに交換用のフューザを注文します。印刷品質が低下したら、交換部品に同梱されている説明書類の手順に従って、新しい交換部品を取り付けます。

80.xx フューザ寿命近し

- [続行]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押してメッセージを消去し、印刷を続行します。
- 直ちに交換用のフューザを注文します。印刷品質が低下したら、交換部品に同梱されている説明書類の手順に従って、新しい交換部品を取り付けます。

80.xx フューザを交換

交換部品に同梱されている説明書類の手順に従って、フューザを交換します。

80.xx フューザがありません

フューザをプリンタに再び挿入します。

82.yy 廃トナーボックスを交換

廃トナーボックスがいっぱいです。

- 1 交換部品に同梱されている説明書類の手順に従って、廃トナーボックスを交換します。
- 2 用紙経路から紙づまりを除去します。

82.yy 廃トナー ボックス殆ど満杯

直ちに交換用の廃トナーボックスを注文します。

- 廃トナーボックスの挿入方法を確認する場合は、「表示」の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- [続行]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押してメッセージを消去し、印刷を続行します。

82.yy 廃トナーボックス未装着

廃トナーボックスをプリンタに再度取り付けます。

83.xx 転写モジュール寿命近し

- [続行]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 直ちに交換用の転写モジュールを注文します。印刷品質が低下したら、交換部品に同梱されている説明書類の手順に従って、新しい転写モジュールを取り付けます。

83.xx 転写モジュール寿命近し

- [続行]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 直ちに交換用の転写モジュールを注文します。印刷品質が低下したら、交換部品に同梱されている説明書類の手順に従って、新しい転写モジュールを取り付けます。

83.xx 転写モジュールを交換

交換部品に同梱されている説明書類の手順に従って、転写モジュールを交換します。

83.xx 転写モジュール未装着

転写モジュールをプリンタに挿入します。

84.xx <カラー>感光体残り僅か

- 1 [続行]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 2 直ちに交換用の感光体を注文します。印刷品質が低下したら、交換部品に同梱されている説明書類の手順に従って、新しい感光体を取り付けます。

84.xx <カラー>感光体ほぼ残り僅か

- 1 [続行]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 2 直ちに交換用の感光体を注文します。印刷品質が低下したら、交換部品に同梱されている説明書類の手順に従って、新しい感光体を取り付けます。

84.xx <カラー>感光体を交換

交換部品に同梱されている説明書類の手順に従って、指定されたカラー感光体を交換します。

84.xx <カラー>感光体がありません

プリンタに感光体を挿入します。

88.yy <カラー>カートリッジ残り僅か

このメッセージが表示された場合、トナーが残り僅かになっています。印刷の色あせが激しい場合は、指定されたトナーカートリッジを交換します。

メッセージを消去し、印刷を継続するには、√[続行]が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、を押します。

88.1x <カラー>カートリッジほぼ残り僅か

このメッセージが表示された場合、トナーが残り僅かになっています。印刷の色あせが激しい場合は、指定されたトナーカートリッジを交換します。

メッセージを消去し、印刷を継続するには、√[続行]が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、を押します。

88.2x <カラー>カートリッジを交換

1 トナーカートリッジが空になりました。指定されたトナーカートリッジを交換します。

メモ: トナーカートリッジの交換方法を確認する場合は、[表示]が表示されるまで上または下の矢印を押してから、を押します。

2 用紙経路から紙づまりを除去してメッセージをクリアし、印刷を続行します。

基本的な問題を解決する

プリンタで発生する基本的な問題を解決する

プリンタで基本的な問題が発生した場合、またはプリンタが応答しない場合は、以下を確認します。

- 電源コードをプリンタおよび正しくアースしたコンセントに接続している。
- コンセントをスイッチやブレーカーなどでオフにしていない。
- プリンタを、サージ保護器、UPS、または延長コードに接続していない。
- コンセントに接続した別の電気装置が稼働している。
- プリンタの電源が入っている。プリンタの電源スイッチを確認します。
- プリンタケーブルをプリンタおよびホストコンピュータ、プリントサーバ、オプション、またはその他のネットワークデバイスにしっかりと接続している。
- オプションがすべて適切に取り付けられている。
- プリンタドライバが正しく設定されている。

これらの可能性をすべて確認したら、プリンタの電源を切り、約 10 秒待ってから、再びプリンタの電源を入れます。多くの場合、これで問題が解決します。

内蔵 Web サーバが開かない

ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

ネットワークの接続を確認します

コンピュータとプリンタの電源が入っていて、同じネットワークに接続されていることを確認します。

ネットワーク設定を確認します

内蔵 Web サーバにアクセスするには、ネットワーク設定により、プリンタ IP アドレスの前に `http://` ではなく `https://` と入力する必要がある場合があります。詳細は、システム管理者に問い合わせてください。

印刷の問題を解決する

複数言語の PDF が印刷されない

文書に使用できないフォントが含まれている。

- 1 印刷する文書を Adobe Acrobat で開きます。
- 2 プリンタアイコンをクリックします。
[印刷]ダイアログボックスが表示されます。
- 3 [画像として印刷]を選択します。
- 4 [OK]をクリックします。

プリンタ操作パネルの画面に何も表示されないか、ひし形の記号のみが表示される

プリンタの自己診断が失敗した。プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。

時計のグラフィックスと[準備完了]が表示されない場合、プリンタの電源を切ってカスタマサポートに問い合わせてください。

USB ドライブの読み取り時にエラーメッセージが表示される

USB ドライブがサポートされていることを確認します。検証および承認済みの USB フラッシュメモリデバイスについては、71 ページの「フラッシュドライブから印刷する」を参照してください。

ジョブが印刷できない

ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

プリンタの印刷準備が完了していることを確認する

印刷するジョブを送信する前に、[準備完了]または[電力節約]が画面に表示されていることを確認します。

標準排紙トレイが満杯になっているかどうかを確認する

排紙トレイにたまった用紙を取り除きます。

給紙カセットが空かどうかを確認する

カセットに用紙をセットします。

正しいプリンタソフトウェアがインストールされていることを確認する

- 正しいプリンタソフトウェアを使用していることを確認します。
- USB ポートを使用している場合、サポートしているオペレーティングシステムを実行し、互換性のあるプリンタソフトウェアを使用していることを確認します。

内蔵プリントサーバが正しくインストールされ、動作していることを確認する

- 内蔵プリントサーバが正しくインストールされ、プリンタがネットワークに接続されていることを確認します。ネットワークプリンタのインストールについては、ソフトウェアおよび説明書類 CD の[ユーザーズガイドと説明書類を表示]をクリックしてください。
- ネットワーク設定ページを印刷し、ステータスが「**接続**」となっていることを確認します。ステータスが「**未接続**」となっている場合は、ネットワークケーブルを確認してから、再度ネットワーク設定ページを印刷します。ネットワークが正常に動作していることをシステムサポート担当者に問い合わせてください。

プリンタソフトウェアは Lexmark のホームページ www.lexmark.com から入手することもできます。

推奨プリンタケーブルを使用していることを確認します。

詳細については、Lexmark のホームページ (www.lexmark.com) を参照してください。

プリンタのケーブルがしっかりと接続されていることを確認する

ケーブルがプリンタとプリントサーバにしっかりと接続されていることを確認します。

詳細については、プリンタに同梱のセットアップ説明書類を参照してください。

コンフィデンシャルジョブまたはその他の保持ジョブが印刷できない

ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

ジョブが一部しかない、ジョブがない、または空白ページを印刷している

印刷ジョブに、フォーマットエラーまたは無効なデータが含まれている可能性があります。

- 印刷ジョブを削除し、もう一度印刷します。
- PDF ドキュメントの場合は、PDF を作成しなおしてもう一度印刷します。

インターネットから印刷する場合、プリンタは重複している複数のジョブタイトルを読み取り、最初のジョブ以外をすべて削除する可能性があります。

- Windows ユーザの場合は、[印刷プロパティ]を開きます。暗証番号を入力する前に、[印刷して保持]ダイアログボックスで、ユーザ名のテキストボックスの下にある[重複する文書を保存(KDD)]チェックボックスをオンにします。
- Macintosh ユーザの場合、各印刷ジョブは保存され、ジョブごとに違う名前が付けられてからプリンタに送信されます。

プリンタに十分なメモリ容量があることを確認します。

保持ジョブのリストをスクロールしてジョブをいくつか削除し、プリンタメモリの空き容量を増やします。

ジョブの印刷に予想以上の時間がかかる

ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

印刷ジョブを簡素化する

ジョブで使用するフォントの数とサイズ、イメージの数と複雑さ、またはページ数を減らします。

[ページ保護]設定をオフにする

- 1 プリンタ操作パネルで  を押します。
- 2 [設定]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 3 [一般設定]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 4 [印刷リカバリー]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 5 [ページ保護]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 6 [オフ]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。

ジョブが誤ったカセットまたは用紙に印刷される

用紙のタイプ設定を確認する

用紙のタイプ設定がカセットにセットした用紙のタイプと一致していることを確認する

- 1 プリンタ操作パネルの[用紙]メニューで、用紙のタイプの設定を確認します。
- 2 ジョブを送信して印刷する前に、正しいタイプ設定を指定してください。
 - Windows の場合、[印刷]の[プロパティ]でタイプを指定します。
 - Macintosh の場合、「プリント」ダイアログボックスでタイプを指定します。

印刷される文字が正しくない

プリンタがダンプリストモードになっていないか確認します。

画面に「16 進トレース」と表示されている場合は、ジョブを印刷する前にダンプリストモードを終了する必要があります。プリンタの電源を切ってから再び入れて、ダンプリストモードを終了します。

カセットがリンクしない

ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

同じサイズとタイプの用紙をセットする

- リンクされる各カセットに同じサイズとタイプの用紙をセットします。
- 各カセットにセットした用紙のサイズに合った正しい位置まで用紙ガイドを移動します。

用紙サイズと用紙の種類の設定を同じにします。

- メニュー設定ページを印刷し、各カセットの設定を比較します。
- 必要に応じて、[用紙サイズ/タイプ]メニューで設定を調整します。

メモ: 標準の 550 枚カセットと多目的フィーダでは、用紙サイズは自動的に検知されません。[用紙 サイズ/タイプ]メニューでサイズを設定する必要があります。

大きなジョブで丁合ができない

ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

[丁合印刷]が[オン]に設定されていることを確認する

[仕上げ]メニューまたは[印刷プロパティ]から、[丁合印刷]を[オン]に設定します。

メモ: ソフトウェアで[丁合印刷]を[オフ]に設定すると、[仕上げ]メニューの設定が変更されます。

印刷ジョブを簡素化する

フォントの数と大きさ、イメージの数と複雑性、ジョブのページ数を減らして、印刷ジョブを簡素化します。

プリンタのメモリが十分であることを確認する

プリンタメモリまたはオプションのハードディスクを増設します。

予期せずに印刷が中断する

以下の手順に従って[印刷時間切れ]の値を増やします。

- 1 プリンタ操作パネルで  を押します。
- 2 [設定]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 3 [一般設定]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 4 [時間切れ]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 5 [印刷時間切れ]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 6 希望の設定値が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。

オプションの問題を解決する

ソフトウェアプログラムまたはアプリケーションで選択した設定は、プリンタ操作パネルで選択した設定よりも優先されます。オプションが機能しない場合は、そのオプションがソフトウェアとプリンタ操作パネルの両方で選択されていることを確認してください。

オプションが正しく動作しないか、取り付け後に停止する

ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

プリンタをリセットする

プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。

オプションがプリンタに接続されているか確認する

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 プリンタの電源コードを抜きます。
- 3 オプションとプリンタ間の接続を確認します。

オプションが取り付けられていることを確認する

メニュー設定ページを印刷して、問題のオプションがインストールオプションの一覧に含まれているか確認します。オプションが一覧に含まれていない場合は、取り付け直します

オプションがプリンタドライバで有効になっていることを確認する

プリントジョブを有効にするために、プリンタドライバでオプションを手動で追加することが必要になります。詳細については、35 ページの「プリンタドライバの使用可能なオプションを更新する」を参照してください。

オプションが選択されていることを確認する

使用しているプログラムで、オプションを選択します。Mac OS 9 ユーザの場合は、「セレクト」でプリンタが設定されていることを確認します。

用紙カセット

ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

用紙が正しくセットされていることを確認する

- 1 用紙カセットを開けます。
- 2 紙詰りや給紙ミスがないか確認します。
- 3 用紙ガイドが用紙の端と合っているか確認します。
- 4 用紙カセットが正しく閉まっているか確認します。

プリンタをリセットする

プリンタの電源を切って約 10 秒間待ち、再びオンにします。

用紙カセットが正しく取り付けられていることを確認する

メニュー設定ページに用紙カセットが表示されていても、用紙カセットに入るときや用紙カセットから出るときに紙づまりが発生する場合は、用紙カセットが正しく取り付けられていない可能性があります。用紙カセットを取り外してから、再度取り付けます。詳細については、用紙カセットに付属のハードウェアセットアップ説明書を参照するか、<http://support.lexmark.com> で用紙カセットの説明書を参照してください。

2,000 枚ドロワーに関する問題を解決する

以下の方法をいくつか試します。

エレベータカセットが適切に機能していない

- プリンタが 2,000 枚ドロワーに正しく接続されていることを確認します。
- プリンタの電源が入っていることを確認します。
- 2,000 枚ドロワーの背面に電源コードがしっかりと接続されていることを確認します。
- カセットが空の場合、カセットに用紙をセットします。
- 紙づまりを除去します。

用紙フィードローラーが回転せず、用紙を送らない

- プリンタが 2,000 枚ドロワーに正しく接続されていることを確認します。
- プリンタの電源が入っていることを確認します。

ドロワーで紙づまりが毎回発生する

- 用紙をほぐします。
- ドロワーが正しく取り付けられていることを確認します。
- 用紙が正しくセットされていることを確認します。
- 用紙または専用紙が仕様に合っており、損傷がないことを確認します。
- ガイドが、セットされた用紙のサイズに合った正しい位置にあることを確認します。

メモリカード

メモリカードがプリンタのシステムボードにしっかりと取り付けられていることを確認します。

フラッシュメモリカード

フラッシュメモリカードがプリンタのシステムボードにしっかりと取り付けられていることを確認します。

アダプタ付きハードディスク

ハードディスクがプリンタのシステムボードにしっかりと接続されていることを確認します。

内部ソリューションポート

ここでは、Lexmark 内部ソリューションポート (ISP) が正しく動作しない場合の解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

ISP の接続を確認する

- ISP がプリンタのシステムボードにしっかりと取り付けられていることを確認します。
- ケーブルが正しいコネクタに確実に接続されていることを確認します。

ケーブルを確認する

正しいケーブルを使用してしっかりと接続されていることを確認します。

ネットワークソフトウェアが正しく設定されていることを確認する

ネットワーク印刷ソフトウェアのインストールについては、ソフトウェアおよび説明書類 CD の『ネットワークガイド』を参照してください。

内蔵プリントサーバ

ここでは、内蔵プリントサーバが正常に動作しない場合の解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

プリントサーバの接続を確認する

- 内蔵プリントサーバがプリンタのシステムボードにしっかりと取り付けられていることを確認します。
- 正しいケーブルを使用してしっかりと接続されていることを確認します (ケーブルで接続している場合)。

ネットワークソフトウェアが正しく設定されていることを確認する

ネットワーク印刷用のソフトウェアのインストールについては、ソフトウェアおよび説明書類 CD の[その他]をクリックし、[この CD に収録されている説明書類]の下の[ネットワークガイド]リンクを選択します。

USB/パラレル インターフェイスカード

USB/パラレル インターフェイスカードの接続を確認する

- USB/パラレル インターフェイスカードがプリンタのシステムボードにしっかりと接続されていることを確認します。
- 正しいケーブルを使用してしっかりと接続されていることを確認します。

給紙の問題を解決する

紙づまりが頻繁に発生する

ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

用紙を確認する

推奨用紙や専用紙を使用します。詳細については、用紙および専用紙に関するガイドの章を参照してください。

カセットの用紙の量が多すぎないことを確認する

セットした用紙の高さが、カセットまたは多目的フィーダに示されている上限を超えていないことを確認します。

用紙ガイドを確認する

セットした用紙のサイズに合った正しい位置までカセットのガイドを移動します。

湿度が高いため、用紙が湿気を吸収した可能性があります。

- 開封直後のパッケージから用紙をセットします。
- 用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。

紙づまりを除去した後も紙づまりのメッセージが表示されている

- 1 用紙経路全体から紙づまりを除去します。
- 2 [続行]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。

紙づまりを除去した後で紙づまりが発生したページが再印刷されない

[紙づまり後の処理]が[オフ]に設定されています。[紙づまり回復]を[自動]または[オン]に設定します。

- 1  を押します。
- 2 [設定]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 3 [一般設定]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 4 [印刷リカバリー]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 5 [紙づまり回復]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 6 [オン]の横に または [自動]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。

印刷品質の問題を解決する

以下のトピックには、印刷品質の問題を解決する際に役立つ情報が含まれています。これらの対処方法で問題が解決しない場合は、カスタマサポートにお問い合わせください。プリンタ部品の調整や交換が必要な場合があります。

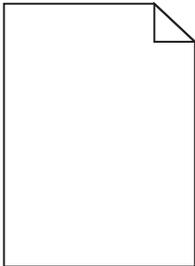
印刷品質に関する問題を特定する

印刷品質に関する問題を特定するには、印刷品質テストページを印刷します。

- 1 用紙がカセット 1 にセットされていることを確認します。
- 2 プリンタの電源を切ります。
- 3 プリンタの操作パネルで、 と右矢印ボタンを押しながらプリンタの電源を入れます。
- 4 時計が表示されたら両方のボタンを離し、[構成設定メニュー]が表示されるのを待ちます。

- 5 [印刷品質ページ]の横に✓が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、を押します。印刷品質テストページが印刷されます。
- 6 [設定メニュー終了]の横に✓が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、を押します。「プリンタのリセット中」と短く表示された後で時計が表示され、次に「準備完了」と表示されます。

空白ページが印刷される



ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

トナーカートリッジに梱包材が取り付けられたままになっている

トナーカートリッジを取り出し、梱包材が適切に取り外されていることを確認します。トナーカートリッジをもう一度取り付けます。

トナー残量が少ない

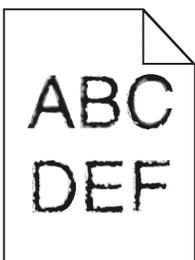
プリンタからトナーカートリッジを取り外します。カートリッジを何度か振って、再び取り付けます。必要に応じて、新しいトナーカートリッジを取り付けます。

トナーカートリッジが不良または空になっている。

トナーカートリッジを取り付けます。

それでも問題が解決しないときは、プリンタの保守サービスが必要な場合があります。詳細については、カスタマサポートにお問い合わせください。

文字の端がぎざぎざしている



ダウンロードしたフォントを使用している場合は、そのフォントがプリンタ、ホストコンピュータ、ソフトウェアプログラムによってサポートされていることを確認します。

カラーの見当ずれ



カラーが該当領域からずれたり、他のカラー領域と重なっています。以下のことを試してみます。

- 1 プリンタを再校正します。
[印刷品質メニュー]で[カラー調節]を選択します。
- 2 感光体を取り外し、再度取り付けます。
- 3 カラーアライメントを調整します(⇒「173 ページの「カラーアライメントを調整する」」)。

メモ: 問題が解決しない場合は、再び再校正を行ってください。必要であれば、カラーアライメントを再調整してください。

カラーアライメントを調整する

- 1 プリンタの電源が切れていることを確認します。
- 2 プリンタの操作パネルで、 と右矢印ボタンを押しながらプリンタの電源を入れます。
- 3 時計が表示されたら、両方のボタンを離します。
プリンタが電源投入シーケンスを実行し、「構成設定メニュー」が表示されます。
- 4 [カラーアライメント]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 5 をもう一度押して、プリントヘッド調整パターンを印刷します。
- 6 [A セット]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 7 印刷したシートから、文字 A の隣にある 20 本の線のうち、最もまっすぐな線を見つけます。
- 8 その番号が表示されるまで左または右の矢印ボタンを押してから、 を押します。
[選択内容を送信中]と表示されます。
- 9 手順 6 から手順 8 を繰り返して、A セットから L セットまで調整します。
- 10 を押します。
- 11 を押します。
- 12 [設定メニュー終了]の横に が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
「プリンタのリセット中」と短く表示された後で時計が表示され、次に「準備完了」と表示されます。

イメージがクリッピングされる

以下の方法をいくつか試します。

ガイドを確認する

セットした用紙のサイズに合った正しい位置まで、カセットの幅ガイドと長さガイドを移動します。

用紙サイズの設定を確認する

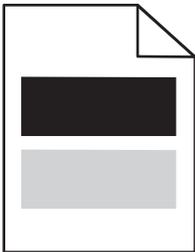
用紙サイズの設定がカセットにセットした用紙のサイズと一致していることを確認します。

- 1 プリンタ操作パネルの[用紙]メニューで、用紙サイズの設定を確認します。
- 2 ジョブを送信して印刷する前に、正しいサイズ設定を指定してください。
 - Windows の場合、[印刷]の[プロパティ]でサイズを指定します。
 - Macintosh の場合、「ページ設定」ダイアログボックスでサイズを指定します。

カラーページに現れる横方向の細かいすじ

写真や濃い色を使っているページに横方向の細かいすじを見つけることがあります。この現象は、プリンタが静音モードになっているときに発生します。この現象を解決するには、静音モードを[オフ(イメージ/写真)]に設定します。

ゴースト



用紙のタイプ設定と用紙の重さ設定を確認する

用紙のタイプ設定と用紙の重さ設定がカセットにセットされている用紙と一致していることを確認します。

- 1 プリンタの操作パネルの[用紙]メニューで、[用紙のタイプ]および[用紙重さ]の設定を確認します。
- 2 ジョブを送信して印刷する前に、正しいタイプ設定を指定してください。
 - Windows の場合、[印刷]の[プロパティ]でタイプを指定します。
 - Macintosh の場合、「プリント」ダイアログボックスでタイプを指定します。

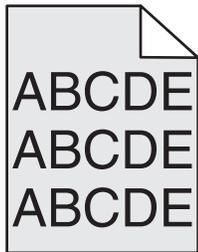
感光体が不良の可能性がある

感光体を交換します。

トナー残量が少ない

トナーカートリッジを取り付けます。

グレーの背景



[トナーの濃さ]設定を確認する

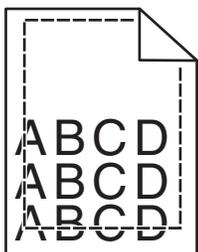
[トナーの濃さ]でより薄い設定を選択します。

- プリンタ操作パネルの[印刷品質]メニューで設定を変更します。
- Windows の場合、[印刷プロパティ]で設定を変更します。
- Macintosh の場合、「プリント」ダイアログボックスで設定を変更します。

トナーカートリッジが磨耗しているか不良の可能性がある

トナーカートリッジを取り付けます。

余白が正しくない



ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

用紙ガイドを確認する

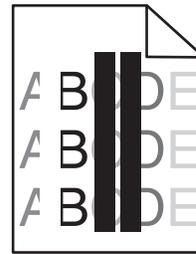
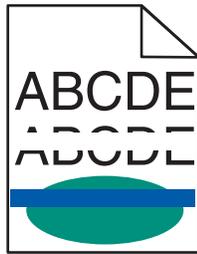
セットした用紙の大きさに合った正しい位置までカセットのガイドを移動します。

用紙サイズの設定を確認する

用紙サイズの設定がカセットにセットした用紙のサイズと一致していることを確認します。

- 1 プリンタ操作パネルの[用紙]メニューで、用紙サイズの設定を確認します。
- 2 ジョブを送信して印刷する前に、正しいサイズ設定を指定してください。
 - Windows の場合、[印刷]の[プロパティ]でサイズを指定します。
 - Macintosh の場合、「ページ設定」ダイアログボックスでサイズを指定します。

明るい色、白色、または不適切な色の線が印刷される



ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

トナーカートリッジが不良

不良なトナーカートリッジを交換します。

感光体が不良

不良の感光体を交換します。

転写モジュールが不良

転写モジュールを交換します。

プリントヘッドレンズが汚れている

プリントヘッドレンズを清掃します。

用紙のカール

ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

用紙のタイプ設定と用紙の重さ設定を確認する

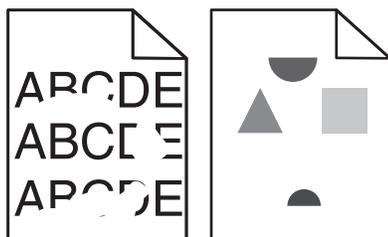
用紙のタイプ設定と用紙の重さ設定がカセットにセットされている用紙と一致していることを確認します。

- 1 プリンタの操作パネルの[用紙]メニューで、[用紙のタイプ]および[用紙重さ]の設定を確認します。
- 2 ジョブを送信して印刷する前に、正しいタイプ設定を指定してください。
 - Windows の場合、[印刷]の[プロパティ]でタイプを指定します。
 - Macintosh の場合、「プリント」ダイアログボックスでタイプを指定します。

湿度が高いため、用紙が湿気を吸収した

- 開封直後のパッケージから用紙をセットします。
- 用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。

印刷の抜け



ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

湿度が高いため、用紙が湿気を吸収した

開封直後のパッケージから用紙をセットします。

用紙のタイプ設定と用紙の重さ設定を確認する

用紙のタイプ設定と用紙の重さ設定がカセットにセットされている用紙と一致していることを確認します。

- 1 プリンタの操作パネルの[用紙]メニューで、[用紙のタイプ]および[用紙重さ]の設定を確認します。
- 2 ジョブを送信して印刷する前に、正しいタイプ設定を指定してください。
 - Windows の場合、[印刷]の[プロパティ]でタイプを指定します。
 - Macintosh の場合、「プリント」ダイアログボックスでタイプを指定します。

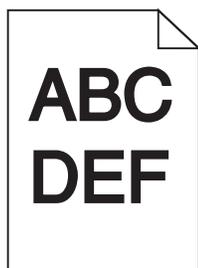
用紙を確認する

きめの粗い用紙は使用しないようにします。

トナーカートリッジ、転写モジュール、またはフューザが摩耗しているか不良の可能性がある

トナーカートリッジ、転写モジュール、またはフューザを交換します。

印刷が濃すぎる



ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

プリンタを再較正する

プリンタの操作パネルの[印刷品質]メニューで[カラー調節]を実行します。

濃さ、明度、コントラストの設定を確認する

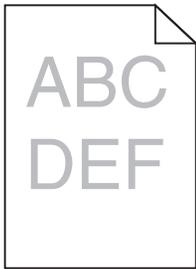
[トナーの濃さ]設定が濃すぎる、[RGB 明るさ]設定が暗過ぎる、または[RGB コントラスト]設定が高すぎます。

- プリンタの操作パネルの[印刷品質]メニューでこれらの設定を変更します。
- Windows の場合、[印刷]の[プロパティ]でこれらの設定を変更します。
- Macintosh の場合、「プリント」ダイアログボックスのポップアップメニューでこれらの設定を変更します。

トナーカートリッジが磨耗しているか不良の可能性がある

トナーカートリッジを取り付けます。

印刷が薄すぎる



ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

プリンタを再較正する

プリンタの操作パネルの[印刷品質]メニューで[カラー調節]を実行します。

濃さ、明度、コントラストの設定を確認する

[トナーの濃さ]設定が薄過ぎる、[RGB 明るさ]設定が明る過ぎる、または[RGB コントラスト]設定が低すぎます。

- プリンタの操作パネルの[印刷品質]メニューでこれらの設定を変更します。
- Windows の場合、[印刷]の[プロパティ]でこれらの設定を変更します。
- Macintosh の場合、「プリント」ダイアログボックスのポップアップメニューでこれらの設定を変更します。

湿度が高いため、用紙が湿気を吸収した

開封直後のパッケージから用紙をセットします。

用紙を確認する

きめの粗い用紙は使用しないようにします。

用紙のタイプ設定と用紙の重さ設定を確認する

用紙のタイプ設定と用紙の重さ設定がカセットにセットされている用紙と一致していることを確認します。

- 1 プリンタの操作パネルの[用紙]メニューで、[用紙のタイプ]および[用紙重さ]の設定を確認します。
- 2 ジョブを送信して印刷する前に、正しいタイプ設定を指定してください。
 - Windows の場合、[印刷]の[プロパティ]でタイプを指定します。
 - Macintosh の場合、「プリント」ダイアログボックスでタイプを指定します。

[カラートナー節約]が[オン]に設定されている

プリンタ操作パネルの[印刷品質]メニューで[カラートナー節約]をオフにします。

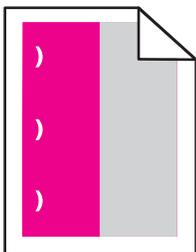
トナー残量が少ない

トナーカートリッジを取り付けます。

トナーカートリッジが磨耗しているか不良の可能性がある

トナーカートリッジを取り付けます。

印刷不良が繰り返し発生する



ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

次の間隔で印刷不良が繰り返し発生する場合は、トナーカートリッジを交換します。

- 33.0 mm (1.30 インチ)
- 35.3 mm (1.39 インチ)

次の間隔で印刷不良が繰り返し発生する場合は、感光体を交換します。

- 28.3 mm (1.11 インチ)
- 72.4 mm (2.85 インチ)

次の間隔で印刷不良が繰り返し発生する場合は、フューザを交換します。

- 47.4 mm (1.87 インチ)
- 94.8 mm (3.73 インチ)
- 113.0 mm (4.45 インチ)

印刷が傾く

ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

用紙ガイドを確認する

セットした用紙のサイズに合った正しい位置まで、カセットの長さガイドと幅ガイドを移動します。

- ガイドがセットした用紙から離れ過ぎていないことを確認します。
- ガイドが用紙をきつく挟み過ぎていないことを確認してください。

用紙を確認する

プリンタの仕様に合った用紙を使用していることを確認します。

ソリッドカラーページ



ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

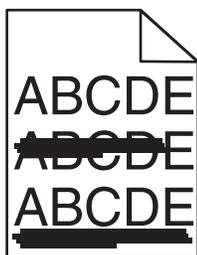
感光体が不良、または正しく取り付けられていない

感光体を取り外し、再度取り付けます。問題が解決しないときは、感光体の交換が必要です。

トナーカートリッジが不良またはトナーカートリッジのトナーが残り少ない

トナーカートリッジを取り出し、カートリッジを左右に振ってトナーの偏りをなくしてから、再び取り付けます。問題が解決しないときは、使用済みのトナーカートリッジを新品のカートリッジと交換します。場合によっては、プリンタの保守サービスも必要です。詳細については、カスタマサポートにお問い合わせください。

横方向のすじ



ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

トナーカートリッジが不良、空、または磨耗している

トナーカートリッジを取り付けます。

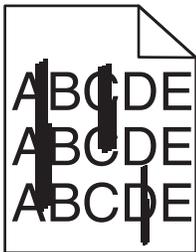
フューザが不良の可能性がある

フューザを交換します。

感光体が不良の可能性がある

感光体を交換します。

縦方向のすじ



ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

トナーに染みがある

以下の手順に従い、ジョブの給紙に別のカセットまたはフィーダを選択します。

- プリンタの操作パネルの[用紙]メニューで、[標準設定給紙源]を選択します。
- Windows の場合、[印刷]の[プロパティ]で給紙源を選択します。
- Macintosh の場合、「プリント」ダイアログのポップアップメニューから給紙源を選択します。

トナーカートリッジに欠陥がある

トナーカートリッジを取り付けます。

転写モジュールが磨耗しているか不良の可能性がある

転写モジュールを交換します。

ページ上にトナーフォグまたは背景のシェーディングが現れる

ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

トナーカートリッジが不良または正しく取り付けられていない

トナーカートリッジを取り付け直すか、交換します。

転写モジュールが磨耗しているか不良の可能性がある

転写モジュールを交換します。

感光体が磨耗しているか不良の可能性がある

感光体を交換します。

フューザが磨耗しているか不良の可能性がある

フューザを交換します。

用紙経路にトナーがある

プリンタの保守サービスが必要な場合があります。詳細については、カスタマサポートにお問い合わせください。

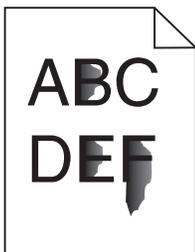
プリンタを再校正する

プリンタの操作パネルの[印刷品質]メニューで[カラー調節]を実行します。

ソフトウェアプログラムまたはアプリケーションをチェックする

ソフトウェアプログラムまたはアプリケーションで、オフホワイトの背景が指定されている可能性があります。

トナーのはがれ



ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

用紙のタイプ設定と用紙の重さ設定を確認する

用紙のタイプ設定と用紙の重さ設定がカセットにセットされている用紙と一致していることを確認します。

- 1 プリンタの操作パネルの[用紙]メニューで、[用紙のタイプ]および[用紙重さ]の設定を確認します。[用紙重さ]設定を[普通]から[重い]に変更します。
- 2 ジョブを送信して印刷する前に、正しいタイプ設定を指定してください。
 - Windows の場合、[印刷]の[プロパティ]でタイプを指定します。
 - Macintosh の場合、「プリント」ダイアログボックスでタイプを指定します。

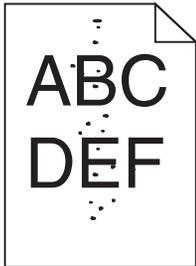
[用紙表面粗さ]設定を確認する

プリンタ操作パネルの[用紙]メニューで[用紙表面粗さ]設定がカセットにセットした用紙と一致していることを確認します。必要に応じて、[用紙表面粗さ]設定を[普通]から[粗い]に変更してください。

フューザが磨耗しているか不良の可能性がある

フューザを交換します。

トナーの染み



ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

トナーカートリッジが磨耗しているか不良の可能性がある

トナーカートリッジを取り付けます。

用紙経路にトナーがある

プリンタの保守サービスが必要な場合があります。詳細については、カスタマサポートにお問い合わせください。

感光体が不良の可能性がある

感光体を交換します。

OHP フィルムへの印刷品質が悪い

以下の方法をいくつか試します。

OHP フィルムを確認する

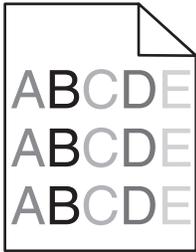
プリンタの仕様に適合する OHP フィルムのみを使用してください。

用紙のタイプ設定を確認する

用紙のタイプが [OHP フィルム] に設定されていることを確認します。

- 1 プリンタ操作パネルの [用紙] メニューで、用紙のタイプの設定を確認します。
- 2 ジョブを送信して印刷する前に、正しいタイプ設定を指定してください。
 - Windows の場合、[印刷] の [プロパティ] でタイプを指定します。
 - Macintosh の場合、「プリント」ダイアログボックスでタイプを指定します。

印刷濃度が一定でない



ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

トナーカートリッジが磨耗しているか不良である

磨耗または不良のトナーカートリッジを交換します。

感光体が不良

不良の感光体を交換します。

カラー品質の問題を解決する

このセクションでは、カラーに関連する基本的な質問について回答し、[印刷品質]メニューの機能を使用してカラー関連の典型的な問題を解決する方法について説明します。

カラー印刷のよくある質問

RGB カラーとは何ですか？

レッド、グリーン、ブルーの光をさまざまな分量で混ぜ合わせると、自然界で見られる多くのカラーが再現されます。たとえば、赤と緑を混ぜ合わせると黄色になります。テレビとコンピュータのモニターでは、この方法でカラーが再現されています。RGB カラーは、特定のカラーを再現するために必要な赤、緑、青の分量を示すことでカラーを表現する方法です。

CMYK カラーとは何ですか？

シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックのインクまたはトナーをさまざまな分量で印刷して、自然界で見られる多くのカラーを再現することができます。たとえば、シアンとイエローを混ぜ合わせるとグリーンになります。印刷機、インクジェットプリンタ、カラーレーザープリンタでは、この方法でカラーを再現しています。CMYK カラーは、特定のカラーを再現するために必要なシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの分量を示すことでカラーを表現する方法です。

ドキュメントに指定されたカラーは、どのように印刷されるのですか？

ソフトウェアプログラムでは、通常、RGB カラーまたは CMYK カラーによって、ドキュメント内のカラーを指定します。またユーザーは、ドキュメント内で各オブジェクトのカラーを変更できます。詳細については、ソフトウェアプログラムのヘルプを参照してください。

プリンタは、印刷するカラーをどのように識別するのですか？

ユーザがドキュメントを印刷するときに、各オブジェクトの種類とカラーを示す情報がプリンタに送信されます。カラー情報は、カラー変換テーブルを通じて渡されますが、このテーブルによって、目的のカラーを再現するために必要なシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの適切なトナー量に換算されます。適用するカラー変換テーブルはオブジェクト情報によって決まります。たとえば、テキストと写真イメージに異なるカラー変換テーブルを適用できます。

PostScript または PCL エミュレーションプリンタソフトウェアを使用する必要がありますか？ 最高のカラー品質を得るためにはどのような設定を使用すべきですか？

最高のカラー品質を得るためには、PostScript ドライバの使用を強く推奨します。PostScript ドライバの標準設定では、多くの印刷出力用に望ましいカラー品質が設定されています。

印刷したカラーが、コンピュータ画面上のカラーと一致しないのはなぜですか？

自動カラー補正モードで使用されるカラー変換テーブルでは、標準的なコンピュータモニタに近いカラーが再現されます。ただし、プリンタとモニタには技術的な違いがあり、モニタの種類や照明状況に影響を受けるカラーも多くあります。カラーの一致に関する問題を解決する場合は、プリンタのカラーサンプルページが役立ちます。推奨される手順については、質問「特定のカラー（会社のロゴなど）を一致させる方法は？」を参照してください。

印刷したページの色調が違って見えます。カラーを調整できますか？

印刷したページの色調が違って見える場合があります（たとえば、印刷面が赤みがかって見えるなど）。周囲の環境、用紙のタイプ、照明状況、ユーザの好みがこの問題の原因になっている可能性があります。これらの場合は、望ましいカラーを再現するために、[カラーバランス]設定を調整します。[カラーバランス]には、各カラープレーンで使用されるトナーの分量を微調整する機能があります。[カラーバランス]メニューでシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックに正または負の値を指定すると、選択したカラーで使用されるトナーの分量が指定に応じて多少増加または減少します。たとえば、印刷したページが赤みがかっている場合、マゼンタとイエローの両方の値を小さくすると、カラーバランスが改善することがあります。

カラー OHP フィルムを投影すると暗く見えます。カラーを改善するために何かできることがありますか？

この問題は通常、反射型 OHP で OHP フィルムを投影する場合に発生します。投影時に最高のカラー品質を実現するには、透過型 OHP を使用することを推奨します。反射型 OHP を使用する必要がある場合は、[トナーの濃さ]を 1、2、3 のいずれかの値に変更すると、OHP フィルムが明るくなります。推奨のカラー OHP フィルムで印刷していることを確認してください。

手動カラー補正とは何ですか？

手動カラー補正が有効な場合、ユーザーが選択したカラー変換テーブルが使用されてオブジェクトが処理されます。ただし、[カラー補正]を[手動]に設定する必要があります。それ以外の場合では、ユーザー定義のカラー変換は使用されません。手動カラー補正の設定は、印刷するオブジェクトのタイプ（テキスト、グラフィックス、イメージ）とソフトウェアプログラムでオブジェクトのカラーを指定する方法（RGB または CMYK）によって異なります。

メモ：

- ソフトウェアプログラムが RGB または CMYK でカラーを指定しない場合、手動カラー補正は役立ちません。また、ソフトウェアプログラムやコンピュータのオペレーティングシステムがカラー調整を制御している環境でも、設定が無効になります。
- [カラー補正]を[自動]に設定した場合、各オブジェクトに適用されるカラー変換テーブルによって、多くのドキュメントに対して適切なカラーが生成されます。

異なるカラー変換テーブルを手動で適用するには、以下の手順に従います。

- [印刷品質]メニューで、[カラー補正]を選択し、[手動]を選択します。
- [印刷品質]メニューで、[手動カラー]を選択し、適用するオブジェクトの種類に応じたカラー変換テーブルを選択します。

[手動カラー]メニュー

オブジェクトの種類	カラー変換テーブル
RGB イメージ RGB 文字 RGB グラフィック	<ul style="list-style-type: none"> • 鮮明 - より明るく彩度の高い色で印刷します。受信するすべてのカラー形式に適用できます。 • sRGB 表示 - コンピュータ画面の表示に近い色で印刷します。ブラクトナーの使用は写真印刷用に最適化されます。 • 画面 - 真ブラック - コンピュータ画面の表示に近い色で印刷します。中間色のグレーにはすべての階調でブラクトナーのみが使用されます。 • sRGB 鮮明 - sRGB 表示カラー補正の彩度を増加します。ブラックの使用はビジネスグラフィック印刷用に最適化されます。 • オフ - カラー補正を実行しません。
CMYK イメージ CMYK 文字 CMYK グラフィック	<ul style="list-style-type: none"> • US CMYK - カラー補正を適用して SWOP(米国のオフセット印刷標準規格)カラー出力を近似します。 • ユーロ CMYK - カラー補正を適用して、EuroScale カラー出力を近似します。 • 鮮明 CMYK - US CMYK カラー補正設定の彩度を増加します。 • オフ - カラー補正を実行しません。

特定のカラー(会社のロゴなど)を一致させる方法は？

[印刷品質]メニューで、9種類のカラーサンプルセットが入手できます。また、内蔵 Web サーバのカラーサンプルページからも入手できます。いずれかのサンプルセットを選択すると、数百のカラーボックスを含むページが数枚印刷されます。選択したテーブルに応じて、CMYK または RGB の組み合わせが各ボックスに示されます。各ボックスに印刷されるカラーは、ボックスのラベルに示されている CMYK または RGB の組み合わせを、選択したカラー変換テーブルによって表現したものです。

カラーサンプルセットを参照して、目的のカラーに最も近いカラーボックスを特定することができます。ボックスのラベルに示されているカラーの組み合わせを使用して、ソフトウェアプログラムでオブジェクトのカラーを変更します。詳細については、ソフトウェアプログラムのヘルプを参照してください。特定オブジェクトに対して選択したカラー変換テーブルを使用するときは、手動カラー補正が必要になる場合があります。

カラーの一致の問題を解決するためにどのカラーサンプルセットを選択するかは、使用するカラー補正の設定(自動、オフ、手動)、印刷するオブジェクトの種類(テキスト、グラフィックス、イメージ)、ソフトウェアプログラムでオブジェクトのカラーを指定する方法(RGB または CMYK)によって異なります。プリンタの[カラー補正]設定を[オフ]にすると、カラーは印刷ジョブ情報に基づいて決定され、カラー変換は実行されません。

メモ: ソフトウェアプログラムが RGB または CMYK でカラーを指定しない場合、カラーサンプルページは役立ちません。また、ソフトウェアプログラムやコンピュータのオペレーティングシステムが、それ自体のカラー管理機能を使用して、プログラムで指定された RGB または CMYK の組み合わせを調整する場合があります。その結果、印刷されるカラーがカラーサンプルページとは正確に一致しない可能性もあります。

詳細なカラーサンプルとは何のことで、どのようにアクセスするのですか？

詳細なカラーサンプルセットはネットワークプリンタの内蔵 Web サーバからのみ入手できます。詳細なカラーサンプルセットには、ユーザー定義した RGB または CMYK の値と類似した一連の陰影パターン(カラーボックスとして表示されます)が含まれます。セット内のカラーの類似は RGB または CMYK の[間隔]ボックスで入力した値によって異なります。

内蔵 Web サーバから詳細なカラーサンプルセットにアクセスするには、以下の手順に従います。

- 1 Web ブラウザのアドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: プリンタの IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク設定ページを印刷して[TCP/IP]セクションの IP アドレスを確認します。

- 2 [構成設定]をクリックします。

- 3 [カラーサンプル]をクリックします。
- 4 [詳細オプション]をクリックし、セットを 1 つのカラー範囲に制限します。
- 5 [詳細オプション]ページが表示されたら、カラー変換テーブルを選択します。
- 6 RGB または CMYK カラー番号を入力します。
- 7 [間隔]の値を 1 ~ 255 の範囲で入力します。
メモ: 値が 1 に近づくにしたい、表示されるカラーサンプル範囲は狭くなります。
- 8 [印刷]をクリックして、詳細なカラーサンプルセットを印刷します。

カスタマサポートへの問い合わせ

カスタマサポートに問い合わせをする場合は、発生している問題、画面に表示されているメッセージ、問題を解決するためにすでに試みたトラブルシューティング手順について説明してください。

プリンタ機種とシリアル番号を調べておく必要があります。詳細については、プリンタの上部フロントカバーの内側に貼ってあるラベルを参照してください。シリアル番号は、メニュー設定ページにも記載されています

米国またはカナダにお住まいの場合は、1-800-539-6275 までお問い合わせください。その他の国や地域の場合は、Lexmark のホームページ(<http://support.lexmark.com>)を参照してください。

通知事項

製品情報

製品名:

Lexmark C734n、C734dn、C734dtn、C734dw、C736n、C736dn、C736dtn

機種番号:

5026

機種:

210、230、280、410、430、480

改訂通知

2012年3月

この章に記載された内容は、これらの条項と地域法とに矛盾が生じる国では適用されないものとします。Lexmark International, Inc. は本ドキュメントを「現状有姿」で提供し、明示的または黙示的であるかを問わず、商品性および特定目的に対する適合性の黙示的保証を含み、これに限定されないその他すべての保証を否認します。一部の地域では特定の商取引での明示的または黙示的な保証に対する免責を許可していない場合があります、これらの地域ではお客様に対して本条項が適用されない場合があります。

本ドキュメントには、不正確な技術情報または誤植が含まれている場合があります。ここに記載された情報は定期的に変更され、今後のバージョンにはその変更が含まれます。記載された製品またはプログラムは、任意の時期に改良または変更が加えられる場合があります。

本ドキュメントで特定の製品、プログラム、またはサービスについて言及している場合でも、すべての国々でそれらが使用可能であることを黙示的に意味しているものではありません。特定の製品、プログラム、またはサービスについてのすべての記述は、それらの製品、プログラム、またはサービスのみを使用することを明示的または黙示的に示しているものではありません。既存の知的財産権を侵害しない、同等の機能を持つすべての製品、プログラム、またはサービスを代替して使用することができます。製造元が明示的に指定した以外の製品、プログラム、またはサービスと組み合わせた場合の動作の評価および検証は、ユーザーの責任において行ってください。

Lexmark テクニカルサポートについては、<http://support.lexmark.com> を参照してください。

消耗品とダウンロードについては、<http://www.lexmark.com> を参照してください。

インターネットにアクセスできない場合は、以下の Lexmark までお手紙でご連絡ください。

Lexmark International, Inc.
Bldg 004-2/CSC
740 New Circle Road NW
Lexington, KY 40550
USA

© 2010 Lexmark International, Inc.

All rights reserved.

UNITED STATES GOVERNMENT RIGHTS

This software and any accompanying documentation provided under this agreement are commercial computer software and documentation developed exclusively at private expense.

商標

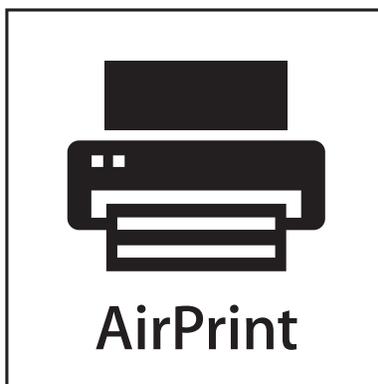
Lexmark、菱形の Lexmark デザイン、MarkNet、および MarkVision は、米国およびその他の国における Lexmark International, Inc. の商標です。

MarkTrack および PrintCryption は、Lexmark International, Inc. の商標です。

Mac、および Mac のロゴは、米国およびその他の国における Apple Inc. の商標です。

PCL® は Hewlett-Packard Company の登録商標です。PCL は、Hewlett-Packard Company のプリンタ製品に含まれている一連のプリンタコマンド(言語)と機能の名称です。本機は、PCL 言語と互換するように開発されています。つまり、プリンタは各種アプリケーションプログラムで使用される PCL コマンドを認識し、プリンタはコマンドに対応する機能をエミュレートします。

その他のすべての商標は、各所有者に帰属します。



AirPrint and the AirPrint logo are trademarks of Apple, Inc.

モジュールコンポーネントに関する通知事項

ワイヤレス機能を搭載しているモデルには、次のモジュールコンポーネントが搭載されています。

Lexmark 規制タイプ/モデル LEX-M04-001、FCC ID: IYLLEXM04001、IC: 2376A-M04001

騒音発生レベル

ISO 7779 に基づく以下の測定が実施され、ISO 9296 に準拠することが報告されました。

メモ: お使いの製品に一部のモードが適用されない場合もあります。

距離 1 m での平均音圧(単位 dBA)	
印刷時	55
スタンバイ時	33

これらの数値は変更される場合があります。最新の数値については、www.lexmark.com を参照してください。

廃棄電気・電子機器(WEEE)指令



WEEE のロゴは、EU 諸国での電気製品のリサイクルプログラムおよびその手順に関する特定の情報を示したものです。弊社では、製品のリサイクルを推進しています。リサイクルに関するお問い合わせの場合は、www.lexmark.co.jp から Lexmark ホームページにアクセスし、お近くの販売店の連絡先をお調べください。

静電気の発生について



このマークは、静電気に敏感な部品であることを示します。このマークの周辺に触れる前に、プリンタの金属フレームに触れてください。

Energy Star(国際エネルギースター)プログラム

起動画面に「ENERGY STAR」マークが表示される Lexmark 製品は、出荷時に EPA(Environmental Protection Agency) ENERGY STAR 要件に準拠するよう構成されていることが、Lexmark によって認定されています。



温度に関する情報

操作環境の温度	15.6°C ~ 32.2°C
輸送時および保管時の温度	-40°C ~ 40°C

レーザーに関する通知

本機は、米国においてクラス I(1)レーザー製品に対する DHHS 21 CFR Subchapter J の要件に準拠し、その他の国では IEC 60825-1 の要件に準拠するクラス I レーザー製品として認可されています。

クラス I レーザー製品は、危険性がないとみなされています。本機には、クラス IIIb (3b) レーザーが内蔵されています。これは、655 ~ 675 ナノメートルの波長で動作する定格 7 ミリワットのガリウムヒ素レーザーです。レーザーシステムとプリンタは、通常の操作、ユーザーによるメンテナンス、または所定のサービス条件の下で、ユーザーがクラス I レベルを超えるレーザー放射に絶対にさらされないように設計されています。

レーザー注意ラベル

本機には、図のようなレーザーに関する注意ラベルが貼られていることがあります。



電力消費

製品の消費電力

次の表は、本製品の消費電力を示したものです。

メモ: お使いの製品に一部のモードが適用されない場合もあります。

モード	説明	消費電力(W)
印刷時	製品がデータ入力により印刷を行っているとき。	490、530
コピー時	製品が原稿のコピーを行っているとき。	なし
スキャン時	製品が原稿のスキャンを行っているとき。	なし
準備完了時	プリンタが印刷ジョブを待機しているとき。	45
節電	製品がパワーセーブモードの状態にあるとき。	16
オフ時	製品の電源コードがコンセントに差し込まれていて、電源スイッチはオフの状態のとき。	0

上記の消費電力は、時間平均で測定したものです。瞬間的な消費電力は、時間平均の値よりも大幅に上回る場合があります。

これらの数値は変更される場合があります。最新の値については、www.lexmark.com を参照してください。

節電

本製品では、「節電モード」と呼ばれる省エネモードが使用できるように設計されています。節電モードは、スリープモードと同じ機能です。節電モードでは、一定時間未使用の場合に消費電力が低く抑えられます。本製品が使用されない状態で、節電タイムアウトと呼ばれる一定の時間が経過すると、自動的に節電モードに切り替わります。

本製品の工場出荷時の節電タイムアウト(分):	30
------------------------	----

設定メニューを使用して、節電タイムアウトの値を変更できます(1 ~ 240 分)。節電タイムアウトを短時間に設定すると、消費電力が抑えられますが、製品のレスポンスタイムが長くなる可能性があります。節電タイムアウトを長時間に設定すると、製品のレスポンスタイムは速いままですが、消費電力は増加します。

オフモード

オフモードでも、わずかながら電力を消費します。製品の電力消費を完全になくすには、電源コードをコンセントから抜いてください。

合計の消費電力量

合計の消費電力量を計算することも、役に立つ場合があります。消費電力の単位はワットで表されているため、実際の消費電力量を計算するには、それぞれの運転モードにおける動作時間をかける必要があります。合計の消費電力量は、それぞれの運転モードにおける消費電力量を合計したものとなります。

日本の VCCI 規定

製品にこのマークが表示されている場合、次の要件を満たしています。



この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

ワイヤレス製品の規制に関する通知

このセクションでは、(たとえばワイヤレスネットワークカードまたは非接触カードリーダーなどの)トランスミッターを含むワイヤレス製品の規制に関する情報を提供しています。

高周波エネルギーの放射に対する被爆

この装置の高周波放射出力は、FCC およびその他の監督機関の高周波エネルギーに対する被爆制限値よりはるかに低いものです。アンテナおよび人体から本機器までの距離を最低 20 cm (8 インチ) 確保することにより、FCC の高周波エネルギーに対する被爆制限を満たすことができます。

Lexmark ソフトウェア限定保証およびライセンス契約

本製品を使用する前に、以下の文書を必ずお読みください。本製品を使用した場合、このソフトウェア限定保証およびライセンス契約のすべての条項に拘束されることをお客様が同意したものといたします。このソフトウェア限定保証およびライセンス契約の条項に同意しない場合は、未使用の状態での製品をすぐに返送し、購入代金の返金を請求してください。この製品を第三者に使用させる目的でインストールした場合、製品の使用によりユーザーがこれらの条項に同意したものとみなされることを、お客様がユーザーに伝達するものといたします。

Lexmark ソフトウェアライセンス契約

このライセンス契約(以下「ソフトウェアライセンス契約」といいます)は、個人または単一の団体であるお客様と Lexmark International, Inc. (以下「Lexmark」といいます)との間で、Lexmark 製品またはソフトウェアプログラムに関するその他のソフトウェアライセンス契約がお客様と Lexmark または弊社の供給元との間で書面により締結されていない場合に、お客様と Lexmark との間の法的契約事項を示すもので、Lexmark 製品との接続のために Lexmark によってインストールまたは提供されるすべてのソフトウェアプログラムの使用に関する事項を定めたものです。「ソフトウェアプログラム」という用語には、機械言語による命令、画像および録音などのオーディオ/ビジュアルコンテンツ、および関連するメディア、印刷物、電子的文書が含まれ、Lexmark 製品に組み込みまたは同梱の状態では配布、または製品と共に使用されるものを示します。

- 1 ソフトウェア限定保証:** Lexmark は、ソフトウェアプログラムが付属する場合、それが格納されているメディア(ディスクまたはコンパクトディスクなど)に、保証期間内の通常の使用環境において材質上および加工上の欠陥がないことを保証します。保証期間は 90 日間とし、ソフトウェアプログラムが元のエンドユーザーに配送された日から起算します。この限定保証は、Lexmark または Lexmark の正規販売店または代理店から新しく購入されたソフトウェアプログラム用メディアにのみ適用されます。メディアがこの限定保証の条件を満たしていないと判断される場合、Lexmark はソフトウェアプログラムを交換いたします。
- 2 免責条項および保証の制限:** 本ソフトウェアライセンス契約に別段の定めがなく、また法律で許容される範囲において、Lexmark および供給元はソフトウェアプログラムを「現状有姿」で提供し、明示的または黙示的であることを問わず、権原、非侵害、商品性、特定目的に対する適合性、およびウィルスがないことに関する保証を含み、これに限定されないソフトウェアプログラムに関するすべての保証を否認します。Lexmark は、法律により商品性および特定目的への適合性の黙示的な保証の任意の構成要素の放棄が認められない範囲においては、その保証の期間を明示的なソフトウェア限定保証の 90 日間に制限します。

本契約は、該当する時点で適用され、保証または条件を黙示し、除外または変更を認められない義務を Lexmark に課する特定の法的事項との関連で解釈されます。それらの事項が適用される場合、Lexmark が保証能力を有する場合に限り、Lexmark はそれらの事項への違反については、ソフトウェアプログラムの交換、またはソフトウェアプログラムの購入代金の返金のいずれか一方に限定して保証するものとします。

本ソフトウェアプログラムに、他のソフトウェアアプリケーション、および Lexmark と関係のない第三者がホストまたは運営するインターネット Web サイトの両方または一方へのインターネットリンクが含まれる場合があります。お客様は、これらソフトウェアアプリケーションおよびインターネット Web サイトの両方または一方に関するホスティング、性能、操作、保守、または内容について、Lexmark が一切責任を負わないことについて了解し、同意するものとします。

- 3 救済の限定:** 法律で許容される範囲において、本ソフトウェアライセンス契約に基づき Lexmark が負うすべての責任は、本ソフトウェアに対して支払われた対価および 5 USドル(または現地通貨換算額)までに限られるものとします。このソフトウェアライセンス契約に基づく Lexmark に対するお客様の唯一の救済は、Lexmark がこの支払いに関して、お客様に対するこれ以上の一切の義務および責任を放棄および破棄した上で、これらの金額のいずれかを回復するよう求めることであるものとします。

いかなる場合も、すべての特定の、付随的、間接的、懲戒的、懲罰的、または派生的な損害(利益または収入の減少、黒字の減少、データまたは記録の使用中断・損失・誤謬・破損、第三者による請求、物理的または実体的な所有物への損害、またはソフトウェアプログラムのすべての使用形態または使用不能に関連する、またはその他本ソフトウェアライセンス契約に関連するプライバシーの侵害を含み、これに限定されない損害)に対し、または第三者からお客様への請求に基づく請求に対し、保証または契約の不履行および不法行為(過失または厳格責任を含む)を含み、これに限定されない請求原因のいかに関わらず、また、Lexmark、その供給元、提携企

業、または販売店が事前にそのような損害の可能性について通知を受けていたかどうかに関わらず、損害の排除が違法である場合を除き、Lexmark、その供給元、子会社、または販売店はいかなる責任も負いません。前段に示した救済がその本質的な目的を満たすことができない場合でも、上記の制限が適用されるものとします。

- 4 **アメリカ合衆国州法**:本ソフトウェア限定保証書は、お客様に特定の法的権利を付与するものです。司法管轄によっては、お客様にそれ以外のさまざまな権利が付与される場合があります。司法管轄によっては、黙示的保証の期間制限が禁じられる場合があります、また、派生的または付随的な損失の制限の除外が禁じられる場合があります。それらの地域では、本書に記載する制限事項はお客様に適用されません。
- 5 **ライセンス使用許諾**:Lexmark は、お客様が本ライセンス契約のすべての条項に準拠する限りにおいて、お客様に以下の権利を許諾します。
 - a **使用**:お客様はソフトウェアプログラムを 1 部使用することができます。「使用する」とは、ソフトウェアプログラムを保存、ロード、インストール、実行、または表示することを指します。Lexmark によってソフトウェアプログラムの同時使用が許諾されている場合、認証されるユーザー数を Lexmark とのライセンス契約に指定された数に限定する必要があります。ソフトウェアプログラムのコンポーネントを複数のコンピュータに分割して使用することはできません。お客様は、ソフトウェアプログラムによって通常コンピュータの画面に表示される、商標、社名、商取引用デザイン、または知的所有権に関する通知の視覚的表示を、上書き、変更、消去、不明瞭化、改変、または強調を解除する方法で、ソフトウェアプログラムを使用しないことに同意するものとします。
 - b **コピー**:お客様は、元のソフトウェアプログラムの所有権に関する通知をすべてコピーに含める限りにおいて、バックアップ、資料化、またはインストールのみの目的でソフトウェアプログラムのコピーを 1 部作成することができます。お客様は、ソフトウェアプログラムをいかなる公共または配布用ネットワークにコピーすることもできません。
 - c **権利の留保**:すべてのフォントを含むソフトウェアプログラムの著作権および所有権は、Lexmark International, Inc. またはその供給元に帰属します。Lexmark は、本ライセンス契約で明示的に許諾されていないすべての権利を留保します。
 - d **フリーウェア**:本ライセンス契約の条項に関わらず、サードパーティによって公共の使用を許諾されているソフトウェア(以下「フリーウェア」といいます)を含むソフトウェアプログラムの全部または一部は、契約が個別に存在する場合、開封により自動的に同意したものとみなされる契約の場合、またはダウンロード時に適用される電子的ライセンス条項の場合のいずれかに関わらず、そのフリーウェアに適用されるソフトウェアライセンス契約の条項に基づくものとします。お客様によるフリーウェアの使用については、そのライセンス条項のみが適用されるものとします。
- 6 **譲渡**:お客様は、ソフトウェアプログラムを別のエンドユーザーに譲渡することができます。譲渡する場合、すべてのソフトウェアコンポーネント、メディア、印刷物、および本ライセンス契約を含める必要があります。お客様はソフトウェアプログラムまたはそのコンポーネントのコピーを保持することはできません。委託など、間接的な方法で譲渡することはできません。譲渡に先立ち、ソフトウェアプログラムの譲渡を受けるエンドユーザーは、本ライセンス契約のすべての条項に同意する必要があります。ソフトウェアプログラムが譲渡される際、お客様のライセンスは自動的に終了します。本ライセンス契約に定めのある場合を除き、ソフトウェアプログラムを貸与、サブライセンス、または委譲することはできません。また、これらを目的とする計画はすべて無効です。
- 7 **アップグレード**:ソフトウェアプログラムのアップグレードを使用するには、Lexmark によってアップグレード対象と特定される元のソフトウェアプログラムのライセンスを最初に取得する必要があります。アップグレード後は、アップグレード対象であった元のソフトウェアプログラムを使用することはできません。
- 8 **リバースエンジニアリングに関する制限**:お客様は、相互運用性、エラー修正、およびセキュリティ試験の目的で明示的に許可されている場合、およびその場合のみを除き、ソフトウェアプログラムを改変、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、またはその他の方法により解釈することはできません。法律でそのような権利が付与されている場合、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、または逆コンパイルを行おうとする際には Lexmark に書面で通知してください。ソフトウェアプログラムの合法的な使用において必要とされない限り、ソフトウェアプログラムの暗号を解読することはできません。
- 9 **追加ソフトウェア**:Lexmark により、更新または追加ソフトウェアに伴う他の契約条項が提供されない限り、本ライセンス契約は、Lexmark が提供する元のソフトウェアプログラムの更新または追加ソフトウェアにも適用されるものとします。

- 10 **契約期間**: 本ライセンス契約は、終了または拒否されない限り有効であるものとします。お客様は、ソフトウェアプログラムのすべてのコピー、およびすべての修正プログラム、マニュアル、すべての形式の付随物、または本契約に記載するその他の物品を破棄することにより、いつでも本ライセンスを拒否または終了できるものとします。Lexmark は、お客様が本ライセンス契約のいずれかの条項に準拠しない場合、通知によりお客様のライセンスを終了することができます。ライセンスが終了された場合、お客様は、ソフトウェアプログラムのすべてのコピー、およびすべての修正プログラム、マニュアル、およびすべての形式の付随物を破棄することに同意するものとします。
- 11 **税金**: お客様は、本契約またはソフトウェアプログラムの使用に起因する、すべての物品・サービス、および個人財産に課せられる税金を含み、これに限定されないすべての税金を支払う義務を負うことに同意するものとします。
- 12 **訴訟の制限**: 適用法に別途の定めがある場合を除き、両当事者は、本契約に起因する訴訟を、その訴訟の原因が発生した時点から 2 年を超えた後には行わないものとします。
- 13 **適用法**: 本契約は、アメリカ合衆国ケンタッキー州法に準拠するものとします。その他のいかなる管轄権における法制度も選択できないものとします。国際動産売買契約に関する国際連合条約は適用されません。
- 14 **アメリカ合衆国政府の権利制限**: 本ソフトウェアプログラムは私的費用のみによって開発されました。ソフトウェアプログラムの使用に関するアメリカ合衆国政府の権利は、本契約に記載されたとおりとし、DFARS 252.227-7014 および FAR の同種条項(または同等の関係当局の規制または契約条項)によって制限されています。
- 15 **データ使用に関する合意**: お客様は、ソフトウェアプログラムに関してお客様の要求により実行されたサポートサービスの際にお客様が提供した情報を、Lexmark、提携企業、およびその代理人が収集および使用することに合意するものとします。Lexmark は、これらのサービスを提供するために必要とされる場合を除き、お客様を個人的に識別する形式でこれらの情報を使用しないことに同意するものとします。
- 16 **輸出に関する制限**: お客様は以下を行わないものとします。(a) ソフトウェアプログラムまたはそれから直接生成されるすべての製品を、適用される輸出関連法のいずれかに違反して、直接的または間接的な方法で取得、輸送、譲渡、または再輸出すること。(b) 核兵器、化学兵器、または生物兵器の拡散を含み、これに限定されない、適用される輸出関連法で禁じられる目的のためにソフトウェアプログラムの使用を許可すること。
- 17 **契約への電子的な合意**: お客様と Lexmark は、本ライセンス契約へ電子的形式で合意するものとします。すなわち、お客様がこのページの[同意する]または[はい]ボタンをクリックするか、本製品を使用すると、本ライセンス契約の条項および条件に合意したものとし、Lexmark との契約書に署名したものとみなされます。
- 18 **契約の能力および権限**: お客様は、本ライセンス契約に署名することにより、法的に成人であるものとみなされます。また、該当する場合、お客様の雇用者または主責任者により、本契約を締結する権限を正式に付与されているものとします。
- 19 **最終性条項**: 本ライセンス契約(ソフトウェアプログラムに含まれる、本ライセンス契約へのすべての補遺または修正条項を含む)は、ソフトウェアプログラムに関するお客様と Lexmark の間のすべての合意を網羅しています。本契約に別段の定めのない限り、これらの条項および条件は、ソフトウェアプログラムまたは本ライセンス契約に記載されているその他の従属物に関する、口頭または書面による従前または同時の一切の通信、提案、および表示に優先するものとします(これらの外的事項が、本ライセンス契約の条項、またはお客様と Lexmark によって署名された、ソフトウェアプログラムの使用に関する書面でのその他の合意事項に反しない場合を除きます)。サポートサービスに関する Lexmark のポリシーまたはプログラムのいずれかが本ライセンス契約の条項に反する場合、本ライセンス契約の条項により支配されるものとします。

Adobe Systems Incorporated の商標等について

本製品には、Adobe Systems Incorporated が開発した Flash®、Flash® Lite™、Reader® テクノロジーのいずれかまたは全部が搭載されています。

本製品には、Adobe Systems Incorporated のライセンスの下 Adobe® Flash® Player ソフトウェアが搭載されています。Copyright © 1995-2007 Adobe Macromedia Software LLC. All rights reserved. Adobe、Reader、および Flash は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

索引

数字

2,000 枚カセット
取り付け 30
31.yy <カラー>カートリッジが無
いか不良 156
32.yy デバイスがサポートしていな
い<カラー>カートリッジ品番 156
34 用紙が短すぎます 156
35 リソース保存機能を使うにはメ
モリ不足です 157
37 ジョブの丁合いにはメモリ不
足 157
37 メモリ不足、保持されたジョブは
幾つか削除されました 157
37 メモリ不足。保持されたジョブが
幾つか復元されません 157
38 メモリーフル 157
39 複雑なページ、印刷されない箇
所があります 158
51 フラッシュメモリ不良 158
52 リソースのためのフラッシュメモ
リの空き領域が不足 158
54 ネットワーク<x>ソフトウェア
エラー 158
54 標準ネットワークソフトウェアエ
ラー 158
550 枚カセット
取り付け 30
550 枚特殊用紙カセット
取り付け 30
55 スロットに非サポートのオプショ
ン 158
56 シリアルポート<x>が無効で
す 159
56 パラレルポート<x>が無効で
す 159
56 標準 USB ポートが無効で
す 159
57 構成設定変更の為、保持され
たジョブが幾つか消失されまし
た 159
58 取り付けたカセットが多過ぎま
す 160
58 取付けられたディスクが多過ぎ
ます 159
58 取付けられたフラッシュオプショ
ンが多すぎます 159

59 非互換のカセット<x>で
す 160
61 故障したハードディスクを取外
し 160
62 ディスクフル 160
63 ディスクが初期化されていま
せん 161
80.xx フューザがありません 161
80.xx フューザを交換 161
80.xx フューザ寿命近し 161
82.yy 廃トナー ボックス殆ど満
杯 161
82.yy 廃トナーボックスを交換 161
82.yy 廃トナーボックス未装
着 162
83.xx 転写モジュールを交換 162
83.xx 転写モジュール寿命近
し 162
83.xx 転写モジュール未装着 162
84.xx <カラー>感光体がありま
せん 162
84.xx <カラー>感光体ほぼ残り
僅か 162
84.xx <カラー>感光体を交
換 162
84.xx <カラー>感光体残り僅
か 162
88.1x <カラー>カートリッジほぼ
残り僅か 163
88.2x <カラー>カートリッジを交
換 163
88.yy <カラー>カートリッジ残り
僅か 163

アルファベット

[AppleTalk]メニュー 93
Ethernet ネットワーク
Macintosh 41
Windows 41
E メール
紙づまりの通知 140
消耗品残量少の通知 140
必要な用紙の通知 140
別の用紙が必要であることの通
知 140
Ethernet ポート 32
FCC 規定 192
[HTML]メニュー 119

[IPv6]メニュー 92
[LexLink]メニュー 94
Macintosh
ワイヤレスネットワークインスト
ール 38
[NetWare]メニュー 94
OHP フィルム
印刷 67
セット 55
[PCL]メニュー 116
[PDF]メニュー 115
[PictBridge]メニュー 121
PictBridge 対応の印刷
写真 72
[PostScript]メニュー 116
[SMTP 設定]メニュー 101
[TCP/IP]メニュー 91
USB ポート 32
Web サイト
検索 7
Windows
ワイヤレスネットワークインスト
ール 36
[XPS]メニュー 115

あ行

[アクティブ NIC]メニュー 88
アダプタ付きハードディスク
トラブルシューティング 169
厚紙
ヒント 68
安全に関する情報 5, 6
[一般設定]メニュー 105
移動、プリンタ 137
[イメージ]メニュー 120
印刷
Macintosh コンピュータから 66
OHP フィルム 67
Windows から 66
印刷品質テストページ 73
インストール、プリンタソフトウェ
ア 34
最高印刷速度と最大イールド 75
写真 72
ディレクトリリスト 73
ネットワーク設定ページ 34
フォントのサンプルリスト 72
フラッシュドライブから 71

- メニュー設定ページ 33
- モノクロ 75
- 印刷、コンフィデンシャルジョブおよびその他の保持ジョブ
 - Macintosh コンピュータから 69
 - Windows から 69
- 印刷のトラブルシューティング
 - USB ドライブ読取りエラー 164
 - 印刷される文字が正しくない 166
 - 大きなジョブで丁合ができない 167
 - カセットがリンクしない 167
 - 紙づまりが頻繁に発生する 170
 - ジョブが誤ったカセットで印刷される 166
 - ジョブが誤った用紙に印刷される 166
 - ジョブが印刷できない 164
 - ジョブに予想以上の時間がかかる 166
 - 複数言語の PDF が印刷されない 164
 - 保持ジョブが印刷できない 165
 - 用紙のカール 176
 - 予期せずに印刷が中断する 167
 - 余白が正しくない 175
- 印刷品質
 - 感光体を交換する 132
 - 廃トナーボックスを交換する 135
 - プリントヘッドレンズの清掃 124
- 印刷品質テストページ
 - 印刷 73
- 印刷品質のトラブルシューティング
 - OHP フィルムの印刷品質が悪い 183
 - 明るい色、白色、または不適切な色の線が印刷される 176
 - イメージがクリッピングされる 174
 - 印刷が薄すぎる 178
 - 印刷が傾く 180
 - 印刷が濃すぎる 177
 - 印刷濃度が一定でない 184
 - 印刷の抜け 177
 - 印刷品質テストページ 171
 - 印刷不良が繰り返し発生する 179
 - カラーの見当ずれ 173
 - 空白ページが印刷される 172
 - ゴースト 174
 - ソリッドカラーページ 180
 - 縦方向のすじ 181
- トナーの染み 183
- トナーのはがれ 182
- トナーフォグまたは背景のシェーディング 181
 - 背景が薄いグレーになる 175
 - 文字の端がぎざぎざしている 172
 - 横方向の細かいすじが発生する 174
 - 横方向のすじが発生する 180
- [印刷品質]メニュー 111
- インストール、プリンタソフトウェア
 - オプションの追加 35
- エコモードの設定 48
- 応答しないプリンタを確認する 163
- オプション
 - 2,000 枚カセット 30
 - 550 枚カセット 30
 - 550 枚特殊用紙カセット 30
 - 内蔵 14
 - 内部ソリューションポート 20
 - ネットワーク 14
 - ファームウェアカード 18, 14
 - フラッシュメモリカード 18
 - プリンタハードディスク 26
 - ポート 14
 - メモリカード 16, 14
- か行**
- 確認印刷ジョブ 69
 - Macintosh コンピュータからの印刷 69
 - Windows からの印刷 69
- カスタマサポートへの問い合わせ 187
- カセット
 - リンク 58, 59
 - リンクの解除 59
 - カセット<x>を挿入 152
 - カセットのリンク 59
 - カセットのリンクの解除 59
 - カセットのリンクを解除する 59
- 仮想ディスプレイ
 - アクセス方法 139
- 仮想ディスプレイの確認
 - 内蔵 Web サーバ 139
- 紙づまり
 - アクセス、紙づまり箇所 142
 - 発生箇所 142
 - 番号 142
 - 防ぐ 142
- 紙づまり、除去する
 - 200 ~ 201 143
 - 202 144
 - 203 146
 - 24x 148
 - 250 150
- 紙づまりの除去
 - 200 ~ 201 143
 - 202 144
 - 230 146
 - 24x 148
 - 250 150
- 画面 12
- 画面、プリンタ操作パネル
 - 輝度の調整 50
- 画面のトラブルシューティング
 - 画面に何も表示されない 164
 - 画面にひし形の記号のみが表示される 164
- カラー印刷のよくある質問 184
- 環境に配慮した設定 47
 - エコモード 48
 - 輝度の調整 50
 - 静音モード 49
- 感光体
 - 注文 127
- 輝度の調整 50
 - <給紙源>に<サイズ>をセットする 153
 - <給紙源>に<タイプ><サイズ>をセットする 153
 - <給紙源>に<ユーザ定義タイプ名>をセットする 153
 - <給紙源>に<ユーザ定義文字列>をセットする 153
 - <給紙源>を<サイズ>に変更 152
 - <給紙源>を<タイプ><サイズ>に変更 152
 - <給紙源>を<ユーザ定義タイプ名>に変更 151
 - <給紙源>を<ユーザー定義文字列>に変更 151
- 給紙のトラブルシューティング
 - 紙づまりが発生したページが再印刷されない 171
 - 紙づまりを除去した後もメッセージが表示されている 171
- 繰り返し印刷ジョブ 69
 - Macintosh コンピュータからの印刷 69
 - Windows からの印刷 69

グリーン設定

- エコモード 48
- 静音モード 49
- [グローバル設定]メニュー 86
- ケーブル
 - Ethernet 32
 - USB 32

構成

- プリンタ 10
- 構成設定情報
 - ワイヤレスネットワーク 36
- このモードはサポートされていません。一度取り外してモードを変更してください 156
- コンフィデンシャル印刷ジョブ 69
 - Macintosh コンピュータからの印刷 69
 - Windows からの印刷 69
- [コンフィデンシャル印刷]メニュー 102
- 梱包材を取り除く 155

さ行

- 最高印刷速度と最大イールド
 - 印刷 75
- 再生紙
 - 使用する 47
- サポートされていない USB デバイスです、取り外してください 156
- サポートされていない USB ハブです、取り外してください 156
- サポートされていないディスク 156
- [仕上げ]メニュー 109
- システムボード
 - アクセス 15
- システムボードカバー
 - 再取り付け 29
- 出荷時標準設定、復元中 140
- 状況を確認する、消耗品 126, 127
- 上部アクセスカバーを閉じる 152
- 情報の入手 7
- 消耗品
 - 状況 126, 127
 - 節約 47
 - 保存する 126
- 消耗品、注文する
 - 感光体 127
 - トナーカートリッジ 127
 - 廃トナーボックス 128
 - フューザまたは転写モジュール 127

消耗品の節約 47

- [消耗品]メニュー 77
- ジョブの印刷
 - キャンセル、Macintosh から 74
 - キャンセル、Windows 74
 - プリンタの操作パネルからのキャンセル 73
- ジョブのキャンセル
 - Macintosh から 74
 - Windows から 74
 - プリンタの操作パネルから 73
- [シリアル<x>]メニュー 99
- シリアル印刷
 - 設定 45
- シリアルポート 45
- 全てのカラー消耗品を取除く 155
- 静音モード 49
 - 印刷品質のトラブルシューティング 174
- 清掃
 - プリンタの外観 124
 - プリントヘッドレンズ 124
- [セキュリティ監査ログ]メニュー 104
- セキュリティロック 12
- 接続、ケーブル 32
- 設置
 - ワイヤレスネットワーク 36, 38
- 設定
 - TCP/IP アドレス 91
 - シリアル印刷 45
 - ポート設定 43
 - 用紙のサイズ 52
 - 用紙のタイプ 52
 - 複数のプリンタ 141
- [設定]メニュー 108
- 節電
 - 調整する 49
- セット
 - OHP フィルム 55
 - 多目的フィーダ 55
 - 封筒 55
 - 用紙カセット 52
- 節電設定
 - エコモード 48
 - 輝度の調整 50
 - 静音モード 49
- 説明書類の入手 7
- 前面ドアを閉じる 152
- 騒音発生レベル 189
- その他のメニュー 102

た行

- [代替サイズ]メニュー 81
- 多目的フィーダ
 - セット 55
- [多目的フィーダ設定]メニュー 81
- 注文
 - 感光体 127
 - トナーカートリッジ 127
 - 廃トナーボックス 128
 - フューザまたは転写モジュール 127
- 通知事項 189, 190, 191, 192
- ディスクが破損しています 152
- [ディスク消去]メニュー 103
- ディスク領域を確実に消去する 155
- ディレクトリリスト
 - 印刷 73
- 手差しフィーダに<サイズ>をセットする 155
- 手差しフィーダに<タイプ><サイズ>をセットする 154
- 手差しフィーダに<ユーザ定義タイプ名>をセットする 154
- 手差しフィーダに<ユーザー定義文字列>をセットする 154
- デバイス状況の確認
 - 内蔵 Web サーバ 139
- ドキュメントの印刷
 - Macintosh コンピュータから 66
 - Windows から 66
- トナーカートリッジ
 - 交換 128
 - 注文 127
 - リサイクル 51
- トラブルシューティング
 - 応答しないプリンタを確認する 163
 - カスタマサポートへの問い合わせ 187
 - カラー印刷のよくある質問 184
 - 基本的なプリンタの問題を解決する 163
- トラブルシューティング、印刷
 - USB ドライブ読取りエラー 164
 - 印刷される文字が正しくない 166
 - 大きなジョブで丁合ができない 167
 - カセットがリンクしない 167
 - 紙づまりが頻繁に発生する 170

ジョブが誤ったカセットで印刷される 166
 ジョブが誤った用紙に印刷される 166
 ジョブが印刷できない 164
 ジョブに予想以上の時間がかかる 166
 複数言語の PDF が印刷されない 164
 保持ジョブが印刷できない 165
 用紙のカール 176
 予期せずに印刷が中断する 167
 余白が正しくない 175
 トラブルシューティング、印刷品質
 OHP フィルムの印刷品質が悪い 183
 明るい色、白色、または不適切な
 色の線が印刷される 176
 イメージがクリッピングされる 174
 印刷が薄すぎる 178
 印刷が傾く 180
 印刷が濃すぎる 177
 印刷濃度が一定でない 184
 印刷の抜け 177
 印刷品質テストページ 171
 印刷不良が繰り返し発生する 179
 カラーの見当ずれ 173
 空白ページが印刷される 172
 ゴースト 174
 ソリッドカラーページ 180
 縦方向のすじ 181
 トナーの染み 183
 トナーのはがれ 182
 トナーフォグまたは背景のシェー
 ディング 181
 背景が薄いグレーになる 175
 文字の端がぎざぎざしてい
 る 172
 横方向の細いすじが発生す
 る 174
 横方向のすじが発生する 180
 トラブルシューティング、画面
 画面に何も表示されない 164
 画面にひし形の記号のみが表示
 される 164
 トラブルシューティング、給紙
 紙づまりが発生したページが再印
 刷されない 171
 紙づまりを除去した後もメッセー
 ジが表示されている 171

トラブルシューティング、プリンタオ
 プション
 2,000 枚ドロワー 169
 USB/パラレルインターフェイスカ
 ード 170
 アダプタ付きハードディスク 169
 オプションが動作しない 168
 内蔵プリントサーバ 170
 内部ソリューションポート 170
 フラッシュメモリカード 169
 メモリカード 169
 用紙カセット 168
 取り付け
 ドライバのオプション 35
 プリンタソフトウェア 34

な行

内蔵 Web サーバ 139
 E メール警告の設定 140
 管理者設定 139
 他のプリンタに設定をコピーす
 る 141
 デバイス状況の確認 139
 ネットワーク設定 139
 開かない 164
 内蔵 Web サーバ管理者ガイ
 ド 139
 内蔵プリントサーバ
 トラブルシューティング 170
 内部ソリューションポート
 トラブルシューティング 170
 取り付け 20
 内部ソリューションポート、ネットワ
 ーク
 ポート設定の変更 43
 入手
 Web サイト 7
 情報 7
 説明書類 7
 [ネットワーク<x>]メニュー 88
 ネットワークガイド 139
 [ネットワークカード]メニュー 90
 ネットワーク設定ページ
 印刷 34
 [ネットワークレポート]メニュー 90
 ノイズ
 抑制 49

は行

排紙トレイから用紙を取除く 155

廃トナーボックス
 交換 135
 注文 128
 [パラレル<x>]メニュー 96
 光ファイバー
 ネットワーク設定 41
 [日付と時間を設定]メニュー 104
 表示
 レポート 140
 [標準 USB]メニュー 95
 [標準設定給紙源]メニュー 78
 [標準ネットワーク]メニュー 88
 ヒント
 厚紙 68
 封筒 67
 ラベル、用紙 68
 ファームウェアカード
 取り付け 18
 封筒
 セット 55
 ヒント 67
 フォントのサンプルリスト
 印刷 72
 フューザまたは転写モジュール
 注文 127
 フラッシュドライブ 71
 [フラッシュドライブ]メニュー 121
 フラッシュメモリカード
 トラブルシューティング 169
 取り付け 18
 プリンタ
 新しい場所への設置 137
 移動 137
 機種 10
 最小クリアランス 8
 場所の選択 8
 輸送 138
 構成 10
 プリンタオプションのトラブルシュー
 ティング
 2,000 枚ドロワー 169
 USB/パラレルインターフェイスカ
 ード 170
 アダプタ付きハードディスク 169
 オプションが動作しない 168
 内蔵プリントサーバ 170
 内部ソリューションポート 170
 フラッシュメモリカード 169
 メモリカード 169
 用紙カセット 168
 プリンタ操作パネル 12
 出荷時標準設定、復元中 140

- プリンタの外観
清掃 124
- プリンタの設定
有線ネットワーク上
(Macintosh) 41
有線ネットワーク上
(Windows) 41
- プリンタの問題、基本的な問題を解決する 163
- プリンタの輸送 138
- プリンタハードディスク
取り付け 26
- プリンタメッセージ
31.yy <カラー>カートリッジが
無いか不良 156
32.yy デバイスがサポートして
いない<カラー>カートリッジ品
番 156
34 用紙が短すぎます 156
35 リソース保存機能を使うにはメ
モリ不足です 157
37 ジョブの丁合いにはメモリ不
足 157
37 メモリ不足、保持されたジョブ
は幾つか削除されました 157
37 メモリ不足。保持されたジョブ
が幾つか復元されません 157
38 メモリーフル 157
39 複雑なページ、印刷されない
箇所があります 158
51 フラッシュメモリ不良 158
52 リソースのためのフラッシュメ
モリの空き領域が不足 158
54 ネットワーク<x>ソフトウェ
アエラー 158
54 標準ネットワークソフトウェアエ
ラー 158
55 スロットに非サポートのオプシ
ョン 158
56 シリアルポート<x>が無効
です 159
56 パラレルポート<x>が無効
です 159
56 標準 USB ポートが無効で
す 159
57 構成設定変更の為、保持され
たジョブが幾つか消失されまし
た 159
58 取り付けられたカセットが多過ぎ
ます 160
58 取り付けられたディスクが多過
ぎます 159
- 58 取り付けられたフラッシュオプシ
ョンが多すぎます 159
- 59 非互換のカセット<x>で
す 160
- 61 故障したハードディスクを取外
し 160
- 62 ディスクフル 160
- 63 ディスクが初期化されていま
せん 161
- 80.xx フューザがありません 161
80.xx フューザを交換 161
80.xx フューザ寿命近し 161
- 82 廃トナーボックスほぼ満
杯 135
82 廃トナーボックスを交換 135
82.yy 廃トナーボックス殆ど満
杯 161
82.yy 廃トナーボックスを交
換 161
82.yy 廃トナーボックス未装
着 162
83.xx 転写モジュールを交
換 162
83.xx 転写モジュール寿命近
し 162
83.xx 転写モジュール未装
着 162
84 <カラー>感光体ほぼ残り僅
か 132
84.xx <カラー>感光体がありま
せん 162
84.xx <カラー>感光体ほぼ残り
僅か 162
84.xx <カラー>感光体を交
換 162
84.xx <カラー>感光体残り僅
か 162
84 <カラー>感光体残り僅
か 132
84 <カラー>感光体を交換 132
88 <カラー>カートリッジほぼ残
り僅か 128
88 <カラー>カートリッジを交
換 128
88.1x <カラー>カートリッジほぼ
残り僅か 163
88.2x <カラー>カートリッジを交
換 163
88.yy <カラー>カートリッジ残り
僅か 163
88 <カラー>カートリッジ残り僅
か 128
- カセット<x>を挿入 152
<給紙源>に<サイズ>をセッ
トする 153
<給紙源>に<タイプ><サイ
ズ>をセットする 153
<給紙源>に<ユーザ定義タイ
プ名>をセットする 153
<給紙源>に<ユーザ定義文字
列>をセットする 153
<給紙源>を<サイズ>に変
更 152
<給紙源>を<タイプ><サイ
ズ>に変更 152
<給紙源>を<ユーザー定義文
字列>に変更 151
<給紙源>を<ユーザ定義タイ
プ名>に変更 151
このモードはサポートされていま
せん。一度取り外してモードを変
更してください 156
梱包材を取り除く 155
サポートされていない USB デバ
イスです、取り外してくださ
い 156
サポートされていない USB ハブ
です、取り外してください 156
サポートされていないディス
ク 156
上部アクセスカバーを閉じる 152
全てのカラー消耗品を取除
く 155
前面ドアを閉じる 152
ディスクが破損しています 152
ディスク領域を確実に消去す
る 155
手差しフィーダに<サイズ>をセ
ットする 155
手差しフィーダに<タイプ><サ
イズ>をセットする 154
手差しフィーダに<ユーザ定義
タイプ名>をセットする 154
手差しフィーダに<ユーザー定義
文字列>をセットする 154
排紙トレイから用紙を取除く 155
保持されたジョブが幾つか復元さ
れませんでした 156
保持されたジョブを復元? 155
プリントヘッドレンズ
清掃 124
[ヘルプ]メニュー 123
放射について 189, 192

保持されたジョブが幾つか復元されませんでした 156
保持されたジョブを復元? 155
保持ジョブ 69
 Macintosh コンピュータからの印刷 69
 Windows からの印刷 69
保存する
 消耗品 126
 用紙 63
ポート設定
 設定 43

ま行

メニュー
 AppleTalk 93
 HTML 119
 IPv6 92
 LexLink 94
 NetWare 94
 PCL 116
 PDF 115
 PictBridge 121
 PostScript 116
 [SMTP 設定]メニュー 101
 TCP/IP 91
 XPS 115
 アクティブ NIC 88
 一般設定 105
 イメージ 120
 印刷品質 111
 コンフィデンシャル印刷 102
 仕上げ 109
 消耗品 77
 シリアル< x > 99
 セキュリティ監査ログ 104
 設定 108
 その他 102
 代替サイズ 81
 多目的フィーダ設定 81
 ディスク消去 103
 ネットワーク< x > 88
 ネットワークカード 90
 ネットワークレポート 90
 [パラレル< x >]メニュー 96
 日付と時間を設定 104
 標準 USB 95
 標準設定給紙源 78
 標準ネットワーク 88
 フラッシュドライブ 121
 ヘルプ 123
 ユーザ定義紙タイプ 86

ユーティリティ 114
用紙重さ 83
用紙サイズ/タイプ 78
用紙セット方法 85
用紙表面粗さ 81
レポート 87
ワイヤレス 93
メニュー、図 76
メニュー設定
 複数のプリンタに読み込む 141
メニュー設定ページ
 印刷 33
メモ리카ード
 トラブルシューティング 169
 取り付け 16
モノクロ
 印刷 75

や行

有線ネットワーク
 Macintosh の使用 41
有線ネットワークのセットアップ
 Windows の使用 41
ユーザ定義タイプ< x >
 名前の変更 59
ユーザ定義の用紙のタイプ名
 作成 59
[ユーザ定義タイプ]メニュー 86
[ユーティリティ]メニュー 114
ユニバーサル用紙のサイズ 86
用紙
 サイズを設定する 52
 再生 47
 使用できない 62
 設定、タイプ 52
 選択 62
 特性 61
 プレプリントフォーム 62
 保存する 63
 ユニバーサル用紙のサイズ 86
 レターヘッド紙 62
[用紙重さ]メニュー 83
用紙カセット
 セット 52
[用紙サイズ/タイプ]メニュー 78
[用紙セット方法]メニュー 85
用紙の大きさ、サポート 63
用紙のタイプ
 セットする場所 65
 プリンタで対応 65
 両面印刷サポート 65
[用紙表面粗さ]メニュー 81

予約印刷ジョブ 69
 Macintosh コンピュータからの印刷 69
 Windows からの印刷 69

ら行

ラベル、用紙
 ヒント 68
リサイクル
 Lexmark 製品 51
 Lexmark の梱包材 51
 WEEE に関する記述 190
トナーカートリッジ 51
リンク、カセット 58
レターヘッド紙
 ガイドライン 67
 使用上のヒント 67
レポート
 表示 140
[レポート]メニュー 87
ロック、セキュリティ 12

わ行

ワイヤレスネットワーク
 インストール、Macintosh を使用 38
 インストール、Windows を使用 36
 構成設定情報 36
[ワイヤレス]メニュー 93